

bizhub C200

ユーザーズガイド コピー機能編



はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、bizhub C200 の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処理方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず別冊の「安全にお使いいただくために」をお読みください。

商標およびライセンスについては、別冊の「商標／ライセンスについて」をごらんください。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

はじめに	1
もくじ	2
こんな機能があります	8
ページの見かた	10
原稿と用紙の表示について	11
マニュアル体系について	12
印刷物のユーザーズガイド	12
ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	12

第 1 章 ご使用いただく前に

1.1	各部の名称とはたらき	1-2
1.1.1	オプション構成	1-2
1.1.2	本体外部	1-4
1.1.3	本体内部	1-8
1.1.4	セパレータ JS-505	1-9
1.1.5	操作パネル	1-10
1.1.6	基本的な設定をする画面（基本設定画面）	1-11
1.1.7	タッチパネル内で表示されるアイコンについて	1-12
1.1.8	タッチパネルを拡大表示するとき	1-13
1.2	操作パネルの角度をかえる	1-14
1.2.1	操作パネルの角度のかえかた	1-14
1.3	主電源と副電源を入れる	1-16
1.3.1	電源の入れかた	1-16
1.3.2	ウォームアップ中に読みみる	1-17
1.3.3	電源の切りかた	1-18
1.3.4	自動的に設定を取消す（オートリセット）	1-18
1.3.5	自動的に節電状態にする（低電力）	1-19
1.3.6	自動的に節電状態にする（スリープ）	1-19
1.3.7	タッチパネルを暗くする（LCD バックライトオフ）	1-19
1.3.8	部門ごとに本機の使用者を制限する（部門認証）	1-20
1.4	トレイ 1 へ用紙をセットする	1-22
1.5	トレイ 2/3/4 へ用紙をセットする	1-26
1.6	LCT へ用紙をセットする	1-27
1.7	手差しトレイへ用紙をセットする	1-29

第 2 章 基本機能

2.1	コピー操作の流れ	2-2
2.2	組み合わせできない操作について	2-4
2.2.1	あとから設定した機能が優先される場合	2-4
2.2.2	先に設定した機能を優先する場合	2-5
2.3	原稿をセットする	2-6
2.3.1	ADF に原稿をセットする	2-6
2.3.2	原稿ガラス上に原稿をセットする	2-7
2.3.3	複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする	2-9
2.4	原稿の設定をする	2-11
2.4.1	サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）	2-11
2.4.2	折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿）	2-12
2.4.3	とじ代を設定する（原稿のとじ代）	2-13
2.4.4	原稿のとじ代の設定のしかた	2-13

2.5	印刷カラーを選ぶ	2-14
2.5.1	印刷カラーを選択する	2-14
2.6	用紙を選ぶ	2-16
2.6.1	自動的に用紙を選択する（自動用紙）	2-16
2.6.2	手動で目的の用紙を指定する	2-17
2.7	倍率を選ぶ	2-18
2.7.1	自動的に倍率を設定させる（自動倍率）	2-18
2.7.2	原稿と同じ倍率にする（等倍）	2-19
2.7.3	テンキーで倍率を指定する（ズーム）	2-20
2.7.4	原稿を少しだけ縮小させる（小さめ）	2-21
2.7.5	「縮小」、「拡大」から倍率を選択する（固定倍率）	2-22
2.7.6	テンキーで倍率を指定する（独立ズーム）	2-23
2.7.7	登録倍率から選択する	2-25
2.7.8	目的の倍率を登録する	2-26
2.8	片面 / 両面を選ぶ	2-28
2.8.1	片面コピーを選択する	2-29
2.8.2	両面コピーを選択する	2-30
2.9	集約コピーを選ぶ	2-31
2.9.1	複数枚の原稿を 1 枚の用紙に収める（集約）	2-32
2.10	原稿の画質を選ぶ	2-34
2.10.1	小さな文字や写真の入った原稿をセットする（原稿画質）	2-34
2.10.2	原稿画質の設定のしかた	2-35
2.11	濃度を選ぶ	2-36
2.11.1	印刷濃度を調整する（濃度）	2-37
2.11.2	下地濃度を調整する（下地調整）	2-38
2.11.3	印刷画像に光沢をつける（光沢コピー）	2-39
2.11.4	文字の再現レベルを調整する	2-40
2.12	仕上り機能を選ぶ	2-41
2.12.1	部数ごとに分けて排紙する（ソート）	2-42
2.12.2	ページごとに分けて排紙する（グループ）	2-43
2.13	読み込み・印刷を中止する	2-44

第 3 章 コピー補助機能

3.1	コピー条件を確認する（設定内容）	3-2
3.1.1	設定の確認のしかた	3-2
3.1.2	設定の変更のしかた	3-3
3.2	割込んでコピーする（割込み）	3-4
3.3	コピー条件を登録する	3-5
3.3.1	初期設定を登録する	3-5
3.3.2	プログラムを登録する	3-6
3.3.3	コピープログラムの削除のしかた	3-7
3.4	登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼出し）	3-9
3.5	操作パネルの設定をする（ユニバーサル）	3-10
3.5.1	ユニバーサル画面を表示させる	3-10
3.5.2	画面モードを設定する	3-11
3.5.3	キーリピートを設定する	3-12
3.5.4	オートリセット確認の表示を設定する	3-13
3.5.5	受付完了画面の表示を設定する	3-14
3.5.6	音量を設定する	3-15

3.5.7	音の高さを設定する	3-16
-------	-----------------	------

第4章 トラブルの処理

4.1	「トラブルです」が表示されたら（サービスコール）	4-2
4.2	「紙づまりです」と表示されたら	4-3
4.2.1	表示と紙づまり箇所	4-3
4.2.2	紙づまり位置表示	4-3
4.2.3	ADFでの紙づまり処理のしかた	4-4
4.2.4	定着部での紙づまり処理のしかた	4-7
4.2.5	本体内部での紙づまり処理のしかた	4-10
4.2.6	両面ユニットでの紙づまり処理のしかた	4-13
4.2.7	手差しトレイでの紙づまり処理のしかた	4-15
4.2.8	用紙縦搬送部での紙づまり処理のしかた	4-17
4.2.9	トレイ1での紙づまり処理のしかた	4-20
4.2.10	トレイ2での紙づまり処理のしかた	4-23
4.2.11	給紙キャビネット（トレイ3/4）での紙づまり処理のしかた	4-25
4.2.12	LCTでの紙づまり処理のしかた	4-26
4.2.13	セパレータでの紙づまり処理のしかた	4-29
4.3	「用紙を補給してください」と表示されたら	4-31
4.4	「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら	4-32
4.5	「…の交換時期です」と表示されたら	4-33
4.6	「…交換してください」と表示されたら	4-34
4.7	「現在ネットワーク登録中です すべての操作ができません しばらくお待ち ください」と表示されたら	4-35
4.8	簡単なトラブルの処理	4-36
4.9	おもなメッセージと処理のしかた	4-38

第5章 仕様

5.1	仕様	5-2
5.1.1	本体仕様	5-2
5.1.2	自動両面ユニット AD-505	5-3
5.1.3	自動両面原稿送り装置 DF-612	5-3
5.1.4	給紙キャビネット PC-105	5-4
5.1.5	給紙キャビネット PC-104	5-4
5.1.6	給紙キャビネット PC-204	5-5
5.1.7	給紙キャビネット PC-405	5-5
5.1.8	マルチ手差し給紙ユニット MB-502	5-6
5.1.9	セパレータ JS-505	5-6

第6章 用紙・原稿について

6.1	用紙について	6-2
6.1.1	使用できる用紙サイズ	6-2
6.1.2	用紙種類および用紙容量	6-3
6.1.3	専用紙について	6-3
6.1.4	用紙使用上の注意	6-4
6.1.5	用紙の保管	6-4
6.1.6	ATS 機能（自動トレイ切換え機能）	6-5
6.1.7	給紙トレイ切換え順位	6-5

6.2	用紙設定	6-6
6.2.1	用紙サイズを自動で検出させる（自動検出）	6-6
6.2.2	用紙サイズを指定する（サイズ指定）	6-7
6.2.3	不定形紙をセットする（不定形）	6-8
6.2.4	目的の用紙サイズを登録する（不定形）	6-10
6.2.5	ワイド紙の設定をする	6-11
6.2.6	専用紙として設定する	6-13
6.2.7	手動で両面印刷をする	6-15
6.3	原稿について	6-17
6.3.1	ADF にセットできる原稿	6-17
6.3.2	ADF にセットする原稿についての注意	6-17
6.3.3	原稿ガラス上にセットできる原稿	6-18
6.3.4	原稿ガラス上にセットする原稿についての注意	6-18

第 7 章 応用機能

7.1	カラー画質機能とサンプル	7-2
7.1.1	色についての知識	7-3
7.1.2	赤色	7-5
7.1.3	緑色	7-6
7.1.4	青色	7-7
7.1.5	カラーバランス（カラー CMYK 調整）	7-8
7.1.6	明度	7-10
7.1.7	コントラスト	7-11
7.1.8	彩度	7-12
7.1.9	シャープネス	7-13
7.1.10	コピー濃度	7-14
7.1.11	モノカラー	7-15
7.1.12	2 色カラー	7-16
7.1.13	ネガポジ反転	7-17
7.2	カラー反転や補色してコピーする（ネガポジ反転）	7-18
7.3	カラー画質を調整する	7-19
7.3.1	カラー画質機能の調整のしかた	7-19
7.4	カラーバランスを調整する	7-21

第 8 章 トナーカートリッジ交換／廃棄トナーボックス交換／イメージングユニット交換

8.1	トナーカートリッジを交換する	8-2
8.1.1	トナーカートリッジ交換のしかた	8-3
8.2	廃棄トナーボックスを交換する	8-5
8.2.1	廃棄トナーボックス交換のしかた	8-5
8.3	イメージングユニットを交換する	8-8
8.3.1	イメージングユニット交換のしかた	8-8

第 9 章 日頃の管理

9.1	清掃のしかた	9-2
9.1.1	外装カバー	9-2
9.1.2	原稿ガラス	9-2
9.1.3	スリットガラス	9-2
9.1.4	操作パネル	9-3
9.1.5	原稿押えパッド	9-3
9.1.6	プリントヘッド	9-4

9.2	カウントを確認する	9-5
9.2.1	セールスカウントを確認する	9-5
9.2.2	カバレッジレートを確認する	9-6
9.3	「装置の定期点検時期です」と表示されたら	9-7

第 10 章 ジョブ確認

10.1	ジョブリスト画面の概要	10-2
10.1.1	ジョブについて	10-2
10.1.2	ジョブリスト画面について	10-2
10.2	ジョブ操作をする	10-3
10.2.1	動作中のジョブを確認する	10-3
10.2.2	ジョブを削除する	10-4
10.2.3	プリント順を確認する	10-5
10.2.4	プリントの状態を確認する	10-6

第 11 章 設定メニュー

11.1	設定メニューの概要	11-2
11.1.1	登録・設定項目一覧表	11-2
11.2	ユーザ設定を選択する	11-5
11.2.1	環境設定	11-5
11.2.2	画面設定	11-6
11.2.3	初期設定	11-6
11.2.4	コピー設定	11-6
11.2.5	プリンタ設定	11-7
11.2.6	部門登録	11-8
11.2.7	ユーザ設定画面を表示させる	11-8
11.3	ユーザ保守を選択する	11-10
11.3.1	キー音	11-10
11.3.2	アラーム音	11-10
11.3.3	回線モニタ音	11-10
11.3.4	完了音	11-10
11.3.5	パネルクリーニング	11-10
11.3.6	露取り	11-10
11.3.7	POP3 受信	11-10
11.3.8	プリント処理	11-11
11.3.9	ユーザ保守画面を表示させる	11-11
11.4	宛先登録を選択する	11-12
11.4.1	ワンタッチ	11-12
11.4.2	インデックス	11-12
11.4.3	登録文字列	11-12
11.4.4	掲示板	11-12
11.4.5	宛先登録画面を表示させる	11-12
11.5	管理者保守を選択する	11-14
11.5.1	環境設定	11-14
11.5.2	宛先登録	11-16
11.5.3	管理者設定	11-16
11.5.4	部門管理	11-16
11.5.5	文書管理	11-17
11.5.6	プリンタ設定	11-17
11.5.7	ファクス設定	11-17

11.5.8	送信設定	11-17
11.5.9	受信設定	11-18
11.5.10	レポート設定	11-18
11.5.11	リストプリント	11-18
11.5.12	ネットワーク設定	11-18
11.5.13	ソフトウェア DIPSW 設定	11-19
11.5.14	Ping	11-19
11.5.15	ファームウェアバージョン表示	11-19
11.5.16	セキュリティ設定	11-19
11.5.17	管理者保守画面を表示させる	11-20
11.6	リストプリントを選択する	11-22
11.6.1	送信管理レポート	11-22
11.6.2	受信管理レポート	11-22
11.6.3	掲示板リスト	11-22
11.6.4	ワンタッチリスト	11-22
11.6.5	プログラム一覧	11-22
11.6.6	リストプリント画面を表示させる	11-23
11.7	色重ねズレの補正をする	11-24
11.7.1	色重ねズレ補正（シアン、マゼンタ、イエロー）	11-24
11.8	階調補正	11-27
11.9	プリンタ調整	11-29
11.9.1	メディア調整	11-29
11.10	認証設定	11-31
11.10.1	認証設定のしかた	11-31
11.11	部門管理設定	11-32
11.11.1	部門登録	11-32
11.11.2	部門カウンタ	11-38
11.11.3	部門カウンタの表示のしかた	11-39
11.12	ファームウェアのバージョンを確認する	11-40
11.13	セキュリティ設定をする	11-41

第 12 章 付録

12.1	文字を入力するには	12-2
12.1.1	入力モードを切替える	12-2
12.1.2	ひらがなを入力する	12-2
12.1.3	漢字を入力する	12-3
12.1.4	カタカナを入力する	12-4
12.1.5	英数字を入力する	12-5
12.1.6	記号を入力する	12-6
12.1.7	文字コードで入力する	12-6
12.2	入力文字一覧	12-8
12.3	用語集	12-15

第 13 章 索引

13.1	使用別索引	13-2
13.2	項目別索引	13-6

こんな機能があります

印刷カラーを選ぶ

フルカラーやブラックなど、コピーするときの印刷カラーを設定できます。



詳しくは、[p. 2-14](#) をごらんください。

用紙を自動的に選択する

原稿のサイズと選択した倍率に合わせて、用紙を自動的に選択しコピーできます。



詳しくは、[p. 2-16](#) をごらんください。

用紙サイズに合わせてコピーする

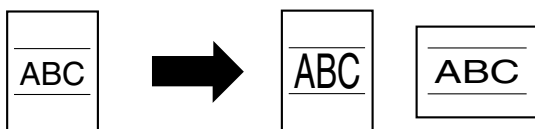
原稿のサイズと選択した用紙のサイズに合わせて、倍率を自動的に選択しコピーできます。



詳しくは、[p. 2-18](#) をごらんください。

縦と横の倍率を別々に設定する

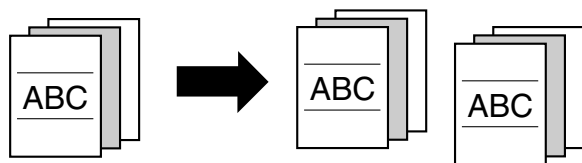
縦、横それぞれの倍率を変えることで、原稿の画像を変形させてコピーできます。



詳しくは、[p. 2-23](#) をごらんください。

仕分けしてコピーする

コピーの仕上がり方法を選択できます。



詳しくは、[p. 2-42](#)、[p. 2-43](#) をごらんください。

複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする

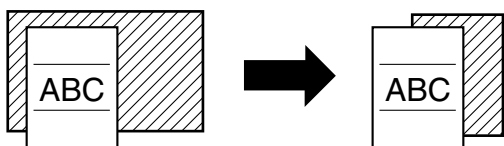
複数枚の原稿を、1 枚の用紙にまとめてコピーできます。



詳しくは、[p. 2-32](#) をごらんください。

サイズが異なる原稿を一緒にコピーする

サイズが異なる原稿を、1 度に読み込んでコピーできます。



詳しくは、[p. 2-11](#) をごらんください。

原稿の画質に合わせてコピーする

原稿の画質に合った画像でコピーできます。



詳しくは、[p. 2-34](#)、[p. 2-36](#) をごらんください。

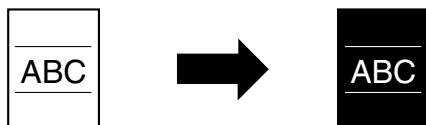
ネガポジ反転してコピーする

原稿の画像をネガポジ反転してコピーできます。

カラーモードがフルカラーの場合、色相と明度を反転し、カラーモードがブラック、モノカラーの場合、明度を反転してコピーできます。



詳しくは、[p. 7-18](#) をごらんください。



カラーコピー画質を最適にする

カラー原稿を目的のイメージに合った画質に調整します。



詳しくは、[p. 7-19](#) をごらんください。

コピーを管理する

印刷待ち状況の確認をし、管理できます。



詳しくは、[p. 10-2](#) をごらんください。

コピー条件を登録する

よく使うコピー条件を登録し、必要なときに呼出してコピーできます。



詳しくは、[p. 3-5](#) をごらんください。

設定内容を確認する

設定した内容を確認できます。また設定した内容の変更もできます。



詳しくは、[p. 3-2](#) をごらんください。

タッチパネルの文字サイズを大きくする

タッチパネルの文字やキーを見やすい大きな表示にし、基本的な操作をしやすくします。



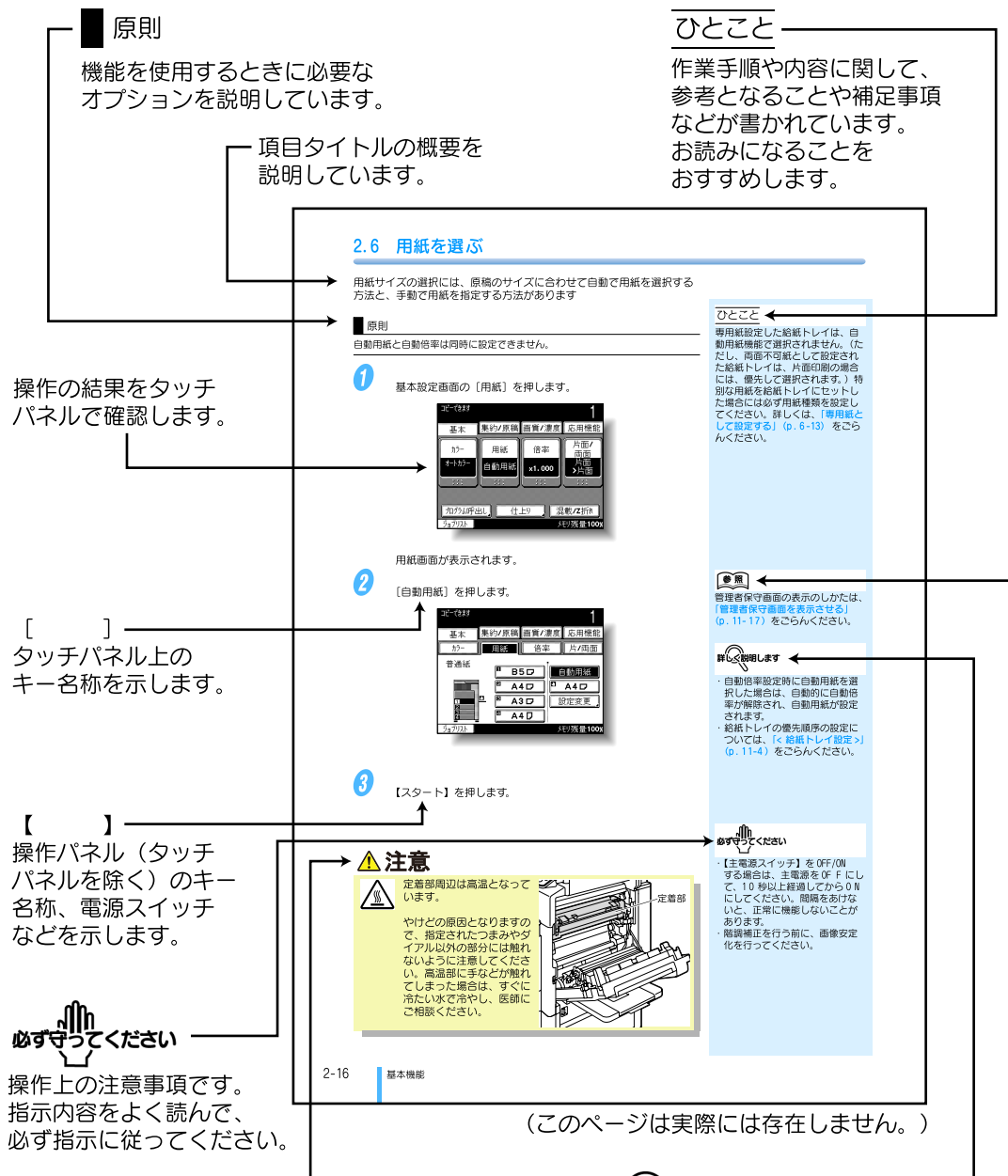
詳しくは、[p. 1-13](#) をごらんください。

割込んでコピーする

コピーしているジョブを中断し、割込んでコピーできます。



詳しくは、[p. 3-4](#) をごらんください。



警告、注意

機械を安全に使用していただくための注意事項です。警告は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。注意は、表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性または物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

詳しく説明します

操作手順や内容に関して、さらに詳しく説明しています。

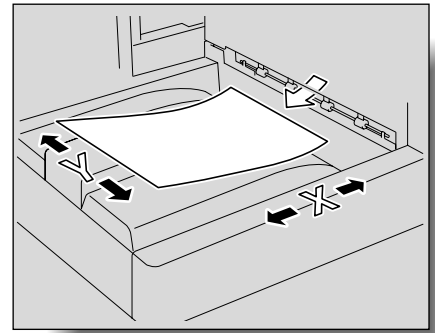
参照

参照先を指示します。必要に応じてご覧ください。

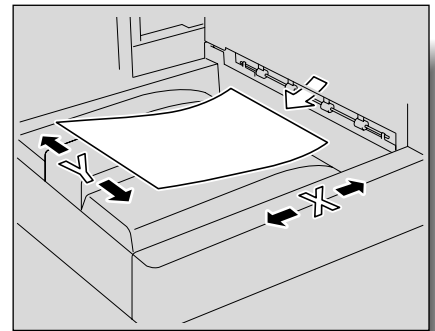
原稿と用紙の表示について

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。

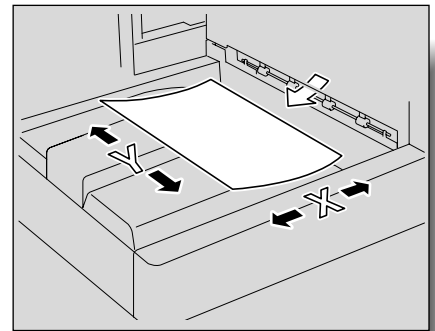
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。



幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが大きいものを □ と表示します。



幅 (Y) よりも長さ (X) のほうが小さいものを ▢ と表示します。



マニュアル体系について

本製品のユーザズガイドには、印刷物の冊子でご提供するユーザズガイドと、ユーザズガイド CD に収められた PDF のユーザズガイドがあります。

印刷物のユーザズガイド

●すぐに使える操作ガイド

すぐに本製品をご利用いただけるよう使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。

本製品をはじめてお使いになる場合や機能の概要を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。

ユーザズガイド CD 収録のユーザズガイド

●ユーザズガイド（コピー機能編）＜本書＞

本製品のコピー機能およびメンテナンス方法について記載しています。

用紙と原稿について、便利な応用コピーのとりかた、消耗品の交換方法、紙づまりなどのトラブル対処方法を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●ユーザズガイド（プリンター機能編）

標準装着のプリンターコントローラーで設定できるプリンター機能について記載しています。

プリンター機能の使い方を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●ユーザズガイド（ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編）

ネットワークスキャン機能、G3 ファクス機能、ネットワークファクス機能について記載しています。

E メールなどによるネットワークスキャン機能や G3 ファクス、インターネットファクス、IP アドレスファクス、IP 中継配信の使い方を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

G3 ファクス機能、インターネットファクス機能、IP アドレスファクス機能、IP 中継配信機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザズガイド（ファクスドライバー機能編）

コンピューターから直接ファクス送信を行うファクスドライバーの機能について記載しています。

PC-FAX の使い方を知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

ファクス機能をご利用になるには、別途オプションの FAX キットを購入していただく必要があります。

●ユーザズガイド（ネットワーク管理者編）

本製品をネットワークに接続して利用するときに必要な設定の内容や、ソフトウェア DIPSW による設定の変更方法、Assistant tool for C200 の使い方について記載しています。

ネットワーク設定、ソフトウェア DIPSW、Assistant tool for C200 について知りたい場合は、このユーザズガイドをごらんください。

●商標／ライセンスについて

商標およびライセンスについて記載しています。

本製品をお使いになる前に必ずお読みください。



第 1 章

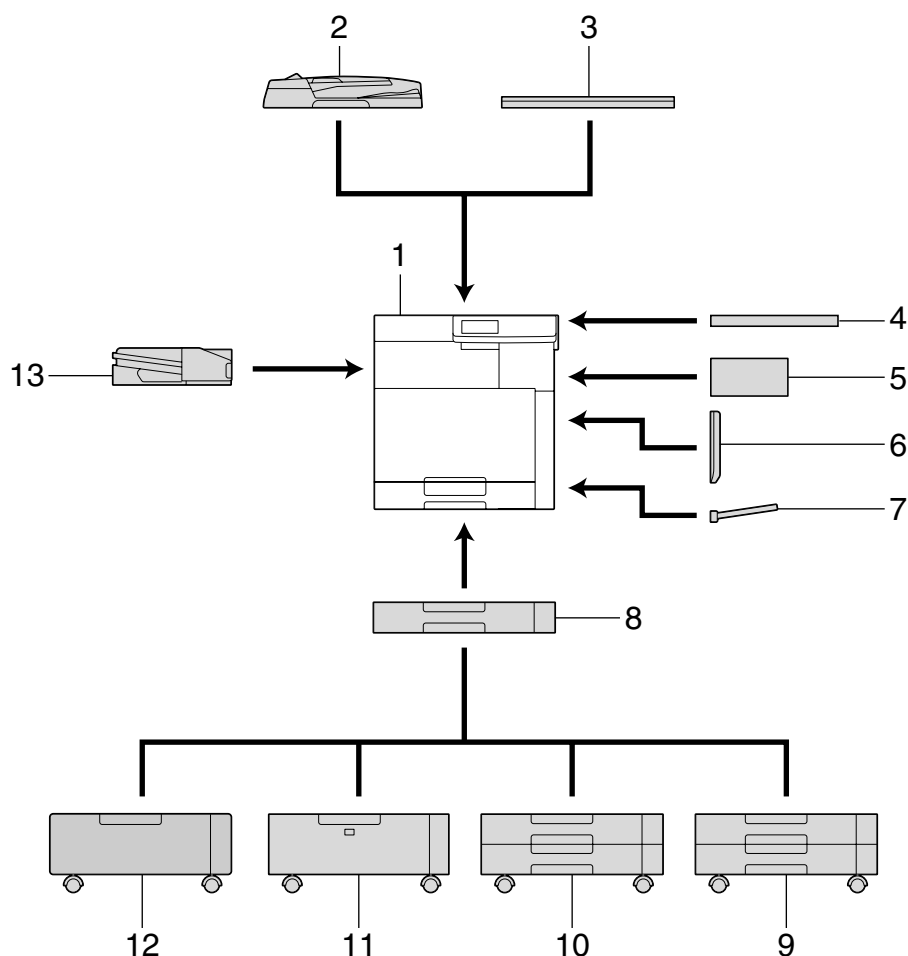
ご使用いただく前に

ご使用いただく前に知っておきたいことや準備しておくことについて説明します。

1.1	各部の名称とはたらき	1-2
1.2	操作パネルの角度をかえる	1-14
1.3	主電源と副電源を入れる	1-16
1.4	トレイ 1 へ用紙をセットする	1-22
1.5	トレイ 2/3/4 へ用紙をセットする	1-26
1.6	LCT へ用紙をセットする	1-27
1.7	手差しトレイへ用紙をセットする	1-29

1.1 各部の名称とはたらき

1.1.1 オプション構成



No	名称	説明
1	本体部	スキャナー部で原稿が読込まれ、読取った画像がプリンター部で印刷されます。 以降本文中では本機、本体、C200 と呼びます。
2	自動両面原稿送り装置 DF-612	自動的に原稿が 1 枚ずつ送り出され、読込まれます。両面原稿も自動的に反転して読込まれます。 以降本文中では ADF と呼びます。
3	オリジナルカバー OC-508	セットした原稿が動かないように押さえます。 以降本文中ではオリジナルカバーと呼びます。
4	ワーキングテーブル WT-503	原稿などを一時的に置くことができます。
5	ハンドセット HS-502	本機を通話にも使用する場合に取付けます。 FAX キットを取付けたときだけに装着できるオプションです。
6	自動両面ユニット AD-505	印刷された用紙が自動的に反転され、用紙の両面に印刷されます。 以降本文中では両面ユニットと呼びます。
7	マルチ手差し給紙ユニット MB-502	100 枚までの用紙をセットできます。 以降本文中では手差しトレイと呼びます。
8	給紙キャビネット PC-105	500 枚までの用紙をセットできます。 以降本文中では増設給紙キャビネットと呼びます。
9	給紙キャビネット PC-104	上段には 500 枚までの用紙をセットでき、下段は収納ボックスとして使用できます。 以降本文中では 1 段給紙キャビネットと呼びます。
10	給紙キャビネット PC-204	上段・下段に各 500 枚までの用紙をセットできます。 以降本文中では 2 段給紙キャビネットと呼びます。

No	名称	説明
11	給紙キャビネット PC-405	2,500 枚までの用紙をセットできます。 以降本文中では LCT と呼びます。
12	専用デスク DK-504	専用デスクを使用することにより、本機をフロアに設置できます。 以降本文中では専用デスクと呼びます。
13	セパレータ JS-505	本体の排紙トレイに装着すると、印刷された用紙を仕分けすることができます。 以降本文中ではセパレータと呼びます。
14	アシストハンドル AH-101 ^{*1}	オリジナルカバーまたは ADF を閉じるときに使用します。
15	FAX キット FK-507 ^{*2}	本機をファクス機として使用できます。
16	回線拡張キット ML-504 ^{*2}	ファクス専用の電話回線を増設することができます。
17	ファクス済みスタンプユニット SP-503 ^{*2}	原稿が読取られたことをスタンプで確認できます。 詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。
18	交換用スタンプ MS-501 ^{*2}	ファクス済みスタンプユニットの交換用スタンプです。
19	拡張メモリ EM-310 ^{*2}	512MB の拡張メモリーです。 プリンター機能で両面印刷、セキュリティ印刷、ソート排紙、PDF のダイレクトプリントを行う場合や、スキャン機能の TWAIN ドライバーで原稿のデータを圧縮せずにスキャンする場合や、セパレータ装着時のシフト排紙を行う場合に必要です。

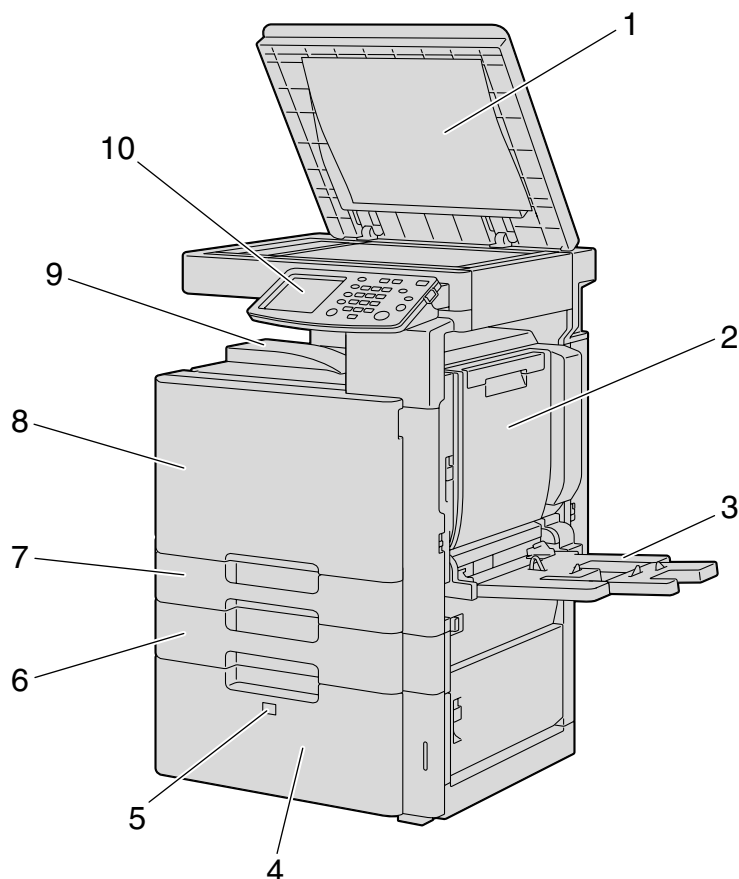
*1 印は図解してありません。

*2 印は本体内蔵のため図解してありません。



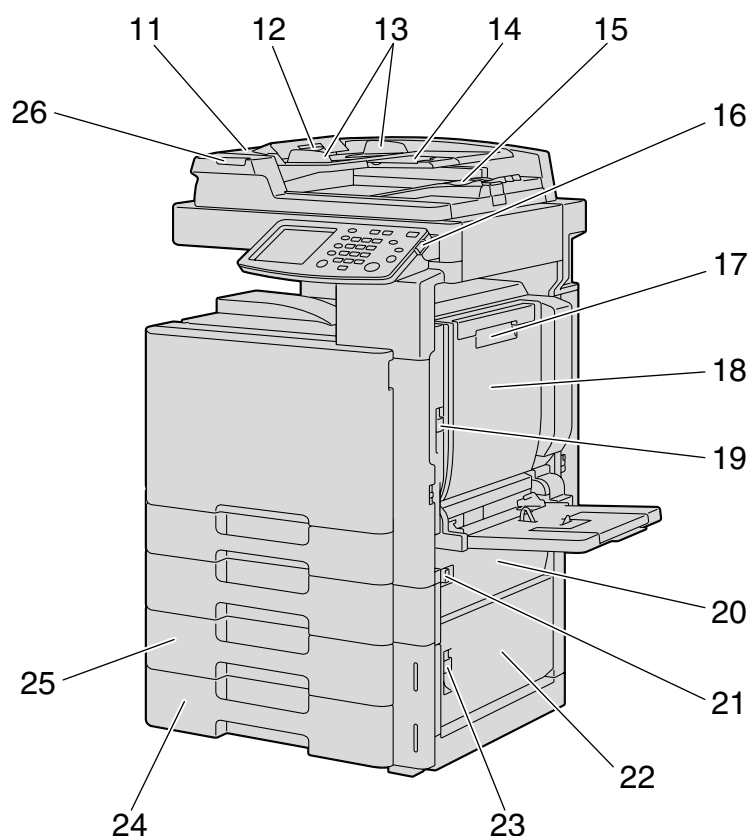
製品の機能、品質を保持するため、床置きする場合には、専用デスクまたは給紙キャビネットを使用してください。

1.1.2 本体外部



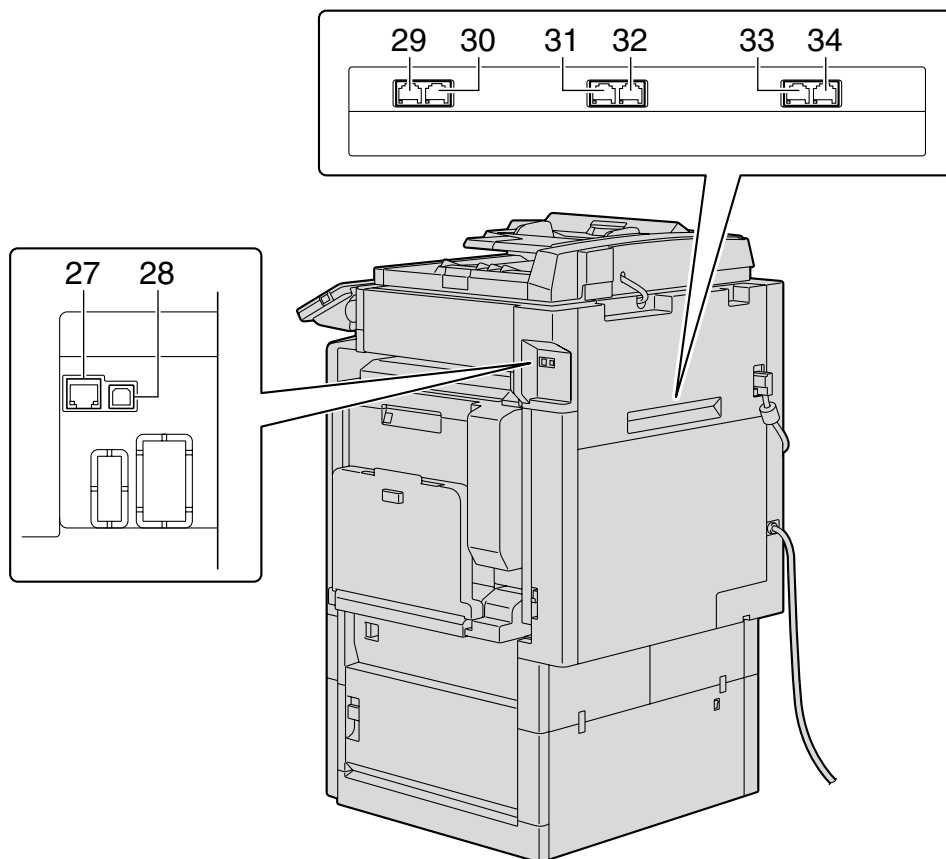
※本図は本体にオプションのオリジナルカバー、両面ユニット、手差しトレイ、増設給紙キャビネット、LCT を装着しています。

No	名称	説明
1	原稿押えパッド	セットした原稿が動かないように押さえます。
2	両面ユニット	両面印刷を行うときに、用紙を反転します。
3	手差しトレイ	給紙トレイにセットされていないサイズ of 用紙や厚紙、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙に印刷するときに使います。 普通紙は 100 枚、厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3、OHP フィルム、はがき、ラベル用紙は 20 枚、封筒は 10 枚までセットできます。
4	LCT	2,500 枚までの普通紙をセットできます。 厚紙1、厚紙2、厚紙3 は 1,000 枚までセットできます。
5	トレイ解除ボタン	LCT を引出すときに押します。
6	トレイ 2	500 枚までの普通紙をセットできます。 厚紙1、厚紙2、厚紙3 は 150 枚までセットできます。
7	トレイ 1	250 枚までの普通紙をセットできます。 厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3、OHP フィルム、はがき、ラベル用紙、封筒は 20 枚までセットできます。
8	前ドア	トナーカートリッジの交換、廃棄トナーボックスの交換、イメージングユニットの交換、プリントヘッド清掃時に開きます。
9	排紙トレイ	印刷された用紙が排紙されます。
10	操作パネル	本機での各種設定を行います。

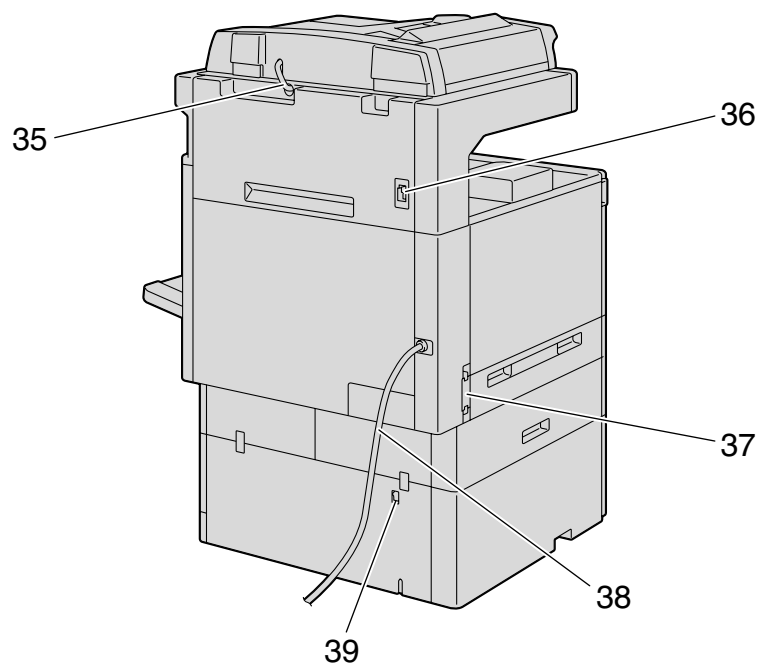


※本図は本体にオプションの ADF、両面ユニット、手差しトレイ、増設給紙キャビネット、2 段給紙キャビネットを装着しています。

No	名称	説明
11	左カバー	紙づまり処理をするときに開きます。
12	左カバー解除レバー	左カバーを開くときに使用します。
13	ガイド板	原稿の幅に合わせて調整します。
14	原稿給紙トレイ	原稿を上向きにセットします。
15	原稿排出トレイ	読込みの終わった原稿が排出トレイの上に排紙されます。
16	副電源スイッチ	本機の動作を ON/OFF します。 OFF のときは節電状態になります。
17	両面ユニットロック解除レバー	両面ユニットドアを開いて紙づまりを処理するときに使用します。
18	両面ユニットドア	両面ユニット内で紙づまりを処理するときに開きます。
19	右上ドア解除レバー	右上ドアを開くときに使用します。
20	右中ドア	トレイ 2 給紙部で紙づまりを処理するときに開きます。
21	右中ドア解除レバー	右中ドアを開くときに使用します。
22	右下ドア	トレイ 3/4 で紙づまりを処理するときに使用します。
23	右下ドア解除レバー	右下ドアを開くときに使用します。
24	トレイ 4/ 収納ボックス	1 段給紙キャビネット装着時、収納ボックスとして使用します。 2 段給紙キャビネット装着時、500 枚までの普通紙をセットできます。 厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3 は 150 枚までセットできます。
25	トレイ 3	500 枚までの普通紙をセットできます。厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3 は 150 枚までセットできます。
26	プリントランプ	本機の状態に合わせて点滅、点灯します。 緑色点滅：印刷中 オレンジ色点灯：警告中



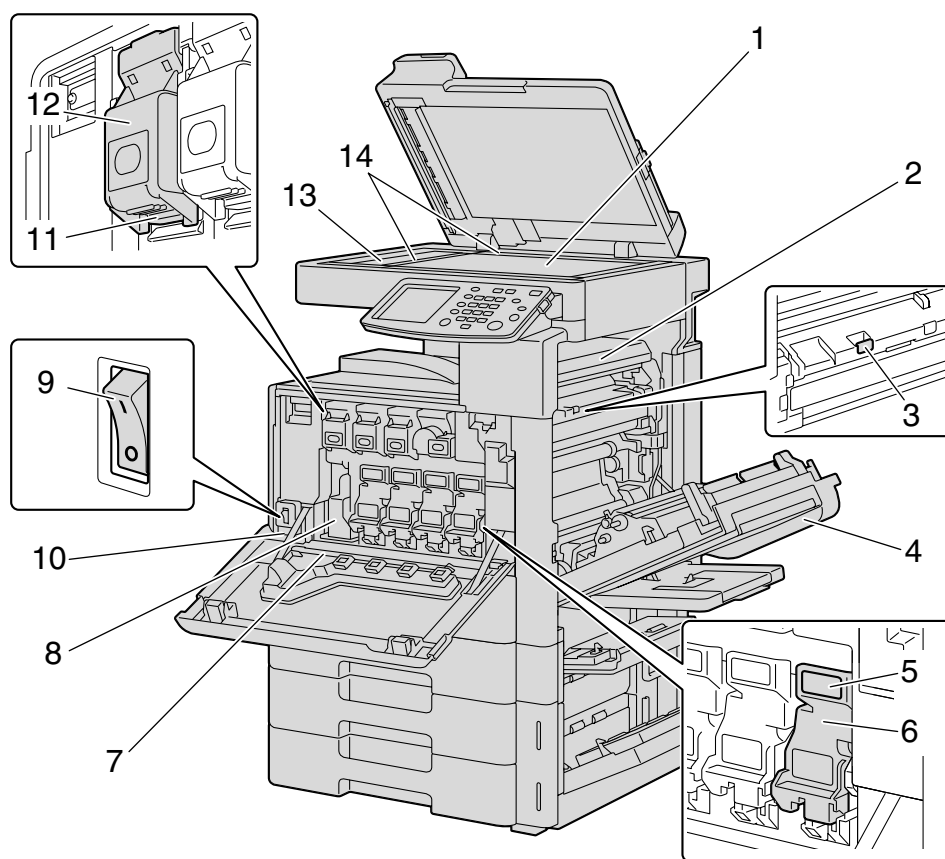
※本図は本体にオプションの ADF、両面ユニット、手差トレイ、増設給紙キャビネット、LCT、FAX キット、回線拡張キットを装着しています。



※本図は本体にオプションの ADF、両面ユニット、手差トレイ、増設給紙キャビネット、2 段給紙キャビネットを装着しています。

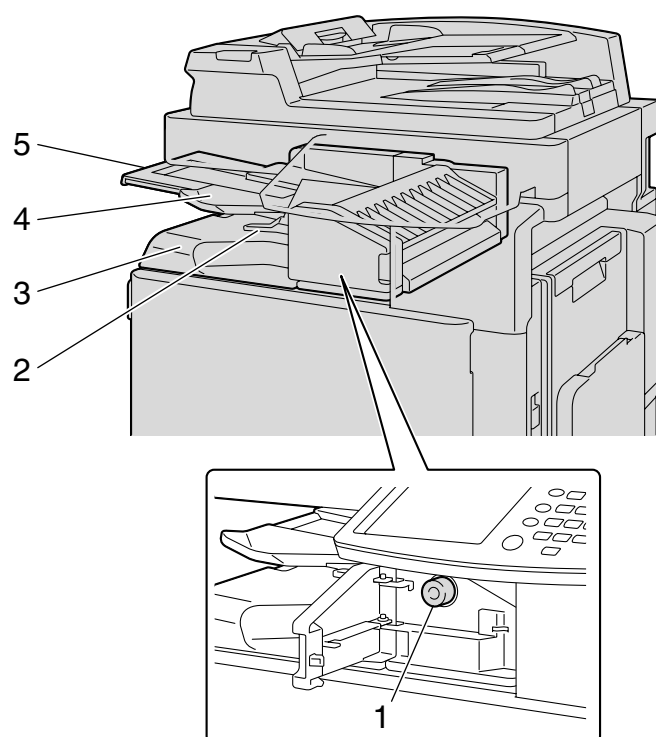
No	名称	説明
27	ネットワーク用ポート (10Base-T/100Base-TX)	本機をネットワークプリンター、ネットワークスキャナーとして使用するときにネットワークケーブルを接続します。
28	USB ポート (タイプ B) USB2.0/1.1	USB 接続のプリンターとして使用するときに接続します。
29	ポート 2 回線コネクタ (LINE PORT2)	一般加入電話回線を接続するときに使用します。 オプションの回線拡張キットを装着した場合に使用します。
30	外付け電話機接続用コネクタ (TEL PORT2)	外付け電話機のコードを接続します。
31	ポート 1 回線コネクタ (LINE PORT1)	一般加入電話回線を接続するときに使用します。
32	外付け電話機接続用コネクタ (TEL PORT1)	外付け電話機のコードを接続します。
33	ハンドセット用コネクタ (HAND SET)	オプションのハンドセットを接続するときに使用します。
34	外付け電話機接続用コネクタ (TEL)	外付け電話機のコードを接続します。 オプションのハンドセットを装着した場合は、外付け電話機接続用コネクタ (TEL PORT1) は使用できません。
35	ADF 用コネクタ	ADF のコードを接続します。
36	セパレータ用コネクタ	セパレータのコードを接続します。
37	オゾンフィルター	本体内部で発生したオゾンを回収します。
38	電源コード	本機に電源を供給します。
39	防湿ヒーター電源スイッチ	防湿ヒーターの動作を ON/OFF します。ON のとき用紙の湿気を防止します。 防湿ヒーターはオプションの 1 段 / 2 段給紙キャビネット、LCT、専用デスクを購入した場合にご利用になれます。

1.1.3 本体内部



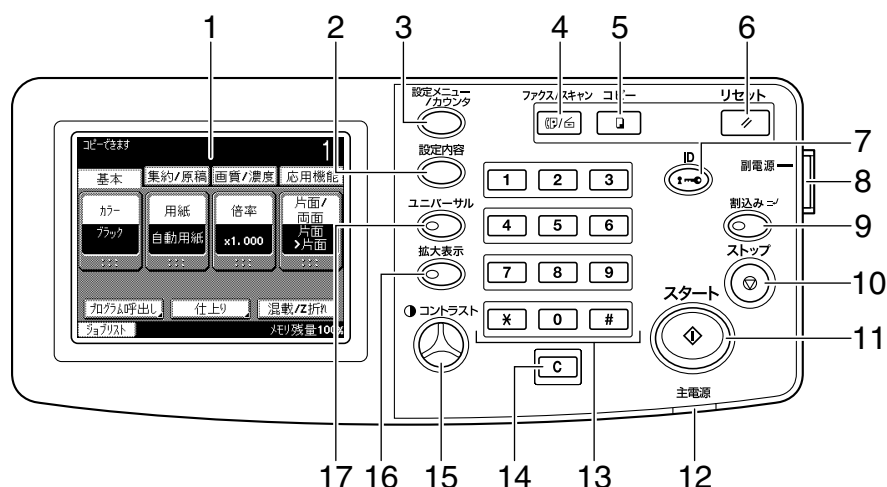
No	名称	説明
1	原稿ガラス	セットした原稿の画像を読み込みます。
2	定着ユニット上カバー	定着部での紙づまり処理をするときに開きます。
3	定着カバーレバー 【M2】	定着部での紙づまり処理をするときに開きます。
4	右上ドア	本体内部での紙づまりの処理をするときに開きます。
5	ロック解除つまみ	イメージングユニットを取外すときに使用します。
6	イメージングユニット	印刷イメージを生成します。
7	プリントヘッド窓清掃具	イメージングユニットの交換時などに、プリントヘッド窓の表面を清掃します。
8	廃棄トナーボックス	使用済みの廃棄トナーをボックス内に回収します。
9	主電源スイッチ	本体の電源の ON または OFF を行います。
10	トータルカウンター	現在までの総印刷枚数を表示します。
11	ロックツメ	トナーカートリッジを取外すときに使用します。
12	トナーカートリッジ	シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y)、ブラック (K) の 4 色のトナーカートリッジがあります。4 色のトナーを組合わせてフルカラー画像を生成します。
13	スリットガラス	ADF 使用時にこの部分で原稿の画像を読み取ります。
14	原稿スケール	スケールに合わせて原稿をセットします。またセットした原稿のサイズを測るときに使用します。

1.1.4 セパレータ JS-505



No	名称	説明
1	紙づまり処理ダイヤル	セパレータ内で紙づまりをおこした用紙を取出すときに回します。
2	取出し補助レバー	印刷された用紙を取出すときに使用します。
3	第 2 排紙トレイ	印刷された用紙が排紙されます。
4	第 1 排紙トレイ	印刷された用紙が排紙されます。
5	補助トレイ	A4 □ より長い用紙のときに引出して使用します。

1.1.5 操作パネル



No	名称	説明
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルに直接タッチして各設定を行うことができます。
2	【設定内容】キー	各種機能の設定を確認することができます。
3	【設定メニュー/カウンタ】キー	設定メニュー画面、セールスカウンタ画面に切替えることができます。
4	【ファクス/スキャン】キー	ファクス機能、スキャナー機能に切替わります。 ファクス機能、スキャナー機能中は【ファクス/スキャン】が緑色に点灯します。 詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。
5	【コピー】キー	コピー機能に切替わります。(初期設定ではコピー機能が選択されています。) コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。
6	【リセット】キー	操作パネル、またはタッチパネルで入力した全ての設定（登録した設定は除く）をリセットできます。
7	【ID】キー	部門管理を設定している場合、部門名とパスワードを入力したあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。
8	【副電源スイッチ】	本機の動作を ON/OFF します。OFF のときは節電状態となります。
9	【割込み】キー	割込み機能に切替わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに「割込み中です」と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能を解除できます。
10	【ストップ】キー	コピー中に【ストップ】を押すと、コピーを中止します。動作中のコピージョブは削除されます。詳しくは、「 読込み・印刷を中止する 」(p. 2-44)をごらんください。 スキャン中に【ストップ】を押すと、読込んだデータの削除確認画面が表示されます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。
11	【スタート】キー	コピー、スキャン、ファクスなどの動作を開始します。本機が動作を開始できる状態のときは【スタート】が青色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときはコピーを開始できません。一時停止中のジョブが再開します。ジョブについて詳しくは、「 ジョブリスト画面の概要 」(p. 10-2)をごらんください。
12	主電源ランプ	【主電源スイッチ】が ON のときに緑色に点灯します。
13	テンキー	部数の設定ができます。 倍率の入力ができます。 各種の設定値の入力ができます。

No	名称	説明
14	【C】クリアキー	テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）を取消することができます。
15	【コントラスト】ダイヤル	タッチパネルのコントラストの調整ができます。
16	【拡大表示】キー	拡大表示画面に切換えることができます。
17	【ユニバーサル】キー	ユニバーサル機能の設定画面に切換わります。



タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。
タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

1.1.6 基本的な設定をする画面（基本設定画面）

電源を入れてコピー可能な状態になると、基本設定画面が表示されます。
画面内に表示されたキーを指で軽く押すことにより、表示された機能やモードを選択できます。

基本設定画面



No	名称	説明
1	メッセージ表示エリア	本機の状態や操作手順などを表示します。
2	機能表示エリア	機能を選択するキーが表示されています。 キーを押すことにより、画面が各機能の設定画面に切換わります。
3	アイコン表示エリア	ジョブの状態、装置の状態を表すアイコンを表示します。
4	【混載/Z折れ】キー	サイズの異なる原稿や、折ぐせ（Z折れ原稿）のついた原稿をセットして読込ませるときに押します。
5	【仕上り】キー	ソート、グループ、仕分けの設定をします。
6	【ジョブリスト】キー	現在実行中、および待機中のジョブを表示します。
7	【プログラム呼出し】キー	よく使うコピーの設定を登録し、登録したコピープログラムを呼出してコピーできます。

1.1.7 タッチパネル内で表示されるアイコンについて

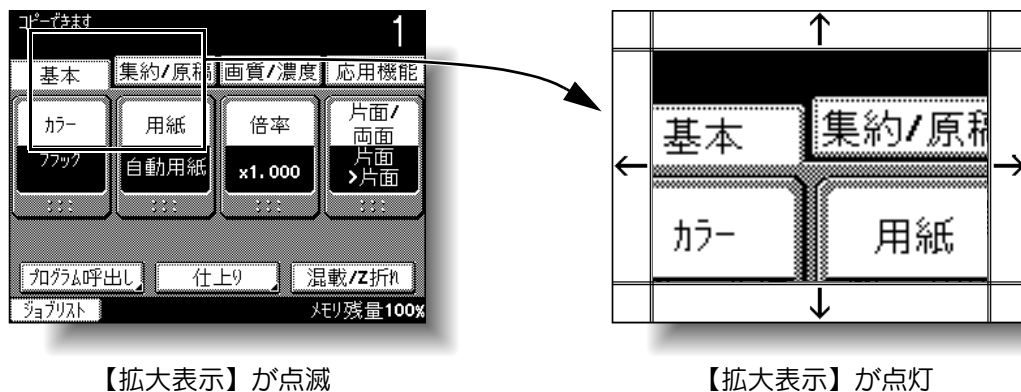
アイコン	説明
	コピー動作中を示します。
	受信ジョブの印刷中を示します。
	印刷待ちのジョブがあることを示します。
	受信ジョブの印刷停止が設定されていることを示します。
	機能に関係なく、本機がデータを受信していることを示します。
	機能に関係なく、本機からデータを送信していることを示します。
	部門管理モードで、部門にログインしている状態を示します。
	給紙トレイに用紙がセットされていないことを示します。
	トナーカートリッジの交換時期を示します。
	イメージングユニットの交換時期を示します。
	廃棄トナーボックスの交換時期を示します。
	POP サーバーへの接続エラー時に表示されます。
	画像安定化機能、印刷機能、スキャナー機能に異常が発生していることを示します。 サービス実施店に連絡してください。

1.1.8 タッチパネルを拡大表示するとき

【拡大表示】を押すと拡大表示が点滅します。点滅中に拡大したい部分を押すと、タッチパネルの表示が拡大されます。もう一度【拡大表示】を押すと元の表示に戻ります。

【拡大表示】が点滅中は、他のキーを操作できません。

拡大した状態でもタッチパネルの操作を行うことができます。

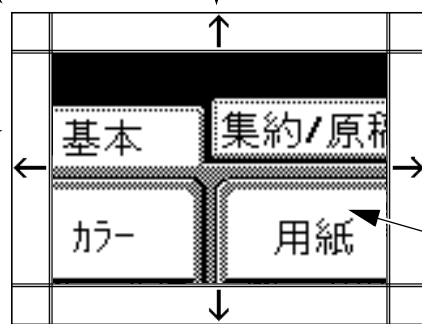


この部分を押すと、左
上方向にスクロールし
ます。

矢印を押すと、上方向
にスクロールします。

この部分を押すと、右
上方向にスクロールし
ます。

矢印を押すと、左方向
にスクロールします。
左端までスクロールす
ると、一行分改行して
右端を表示します。



矢印を押すと、右方向
にスクロールします。
右端までスクロールす
ると、一行分改行して
左端を表示します。

キー操作をして他の画面
に切換えると元の表示に
戻りますが、もう一度
タッチパネルを押すと、
拡大表示に戻ります。

この部分を押すと、左
下方向にスクロールし
ます。

矢印を押すと、下方向
にスクロールします。

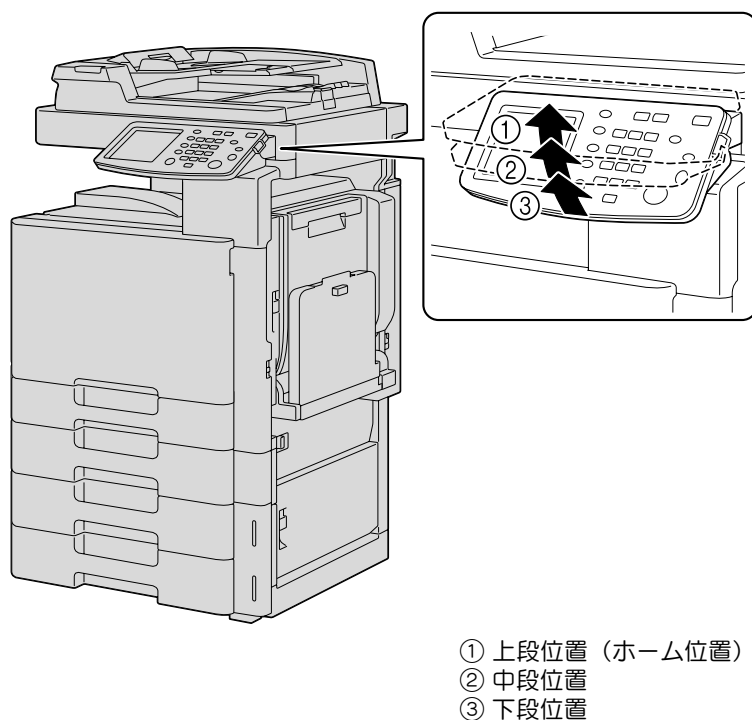
この部分を押すと、右
下方向にスクロールし
ます。

ひとこと

拡大表示中にタッチパネルを操作したときの画面表示のしかたは、ソフトウェア DIPSW（モード 501）で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

1.2 操作パネルの角度をかえる

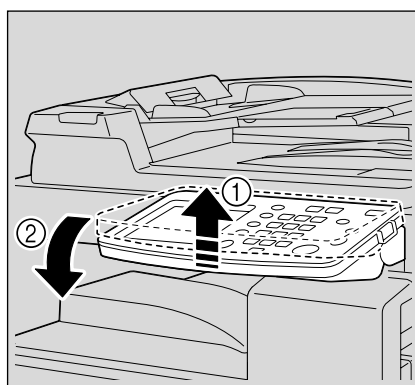
本機の操作パネルは、操作面の角度を 3 段階に設定できます。
使いやすい角度を選んでご使用ください。



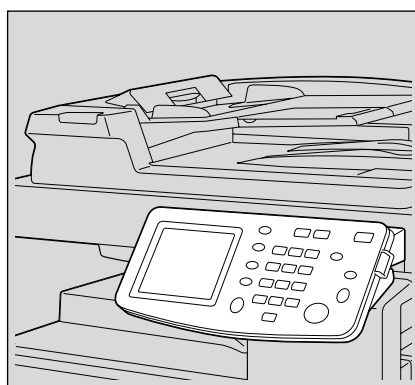
1.2.1 操作パネルの角度のかえかた

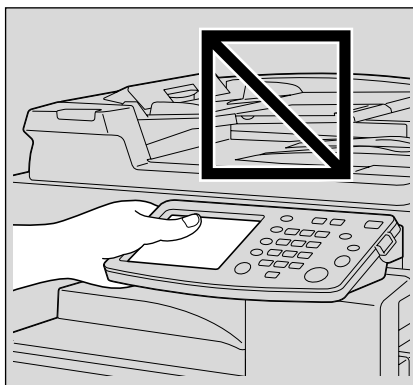
1

操作パネルを少し持ち上げロックを解除します。



操作パネルがゆっくりと下り、下段位置で止まります。

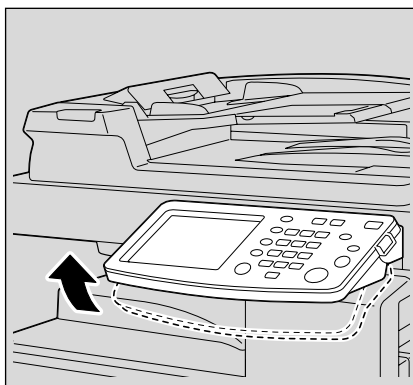




操作パネルを持上げる場合にタッチパネルを持つての移動は行わないでください。

2

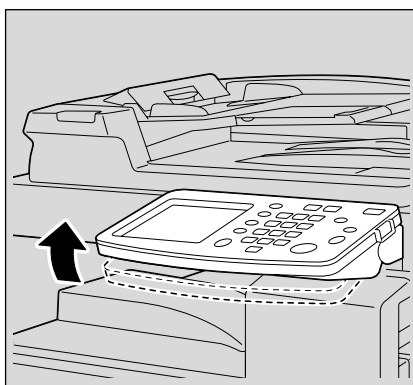
操作パネルを下段位置から中段位置に止める場合は、操作パネルを中段位置まで持上げます。



操作パネルが中段位置で止まります。

3

操作パネルを中段位置から上段位置に止める場合は、操作パネルを上段位置まで持上げます。



操作パネルが上段位置で止まります。

ひとこと

操作パネルを中段位置から下段位置に戻す場合は、上段位置まで持上げてロックを解除して、下段位置に戻してください。

1.3 主電源と副電源を入れる

本機には、【主電源スイッチ】と【副電源スイッチ】の2つの電源スイッチがあります。

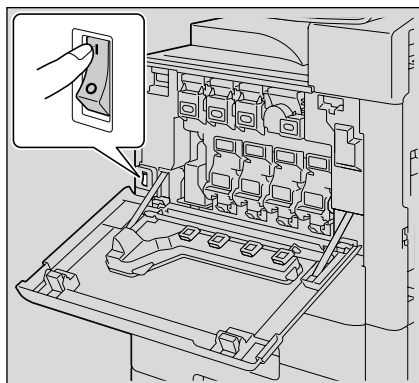
1.3.1 電源の入れかた

【主電源スイッチ】は、本機の全ての機能に対して ON/OFF します。通常、【主電源スイッチ】は ON の状態にしておきます。

【副電源スイッチ】では、コピー、印刷、スキャナー機能など本機の動作に対して ON/OFF をします。【副電源スイッチ】を OFF にすると節電状態となります。

1

前ドアを開き、【主電源スイッチ】の【I】を押します。

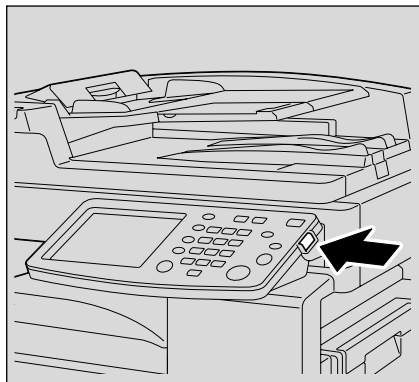


2

前ドアを閉じます。

3

【副電源スイッチ】を押します。



タッチパネルの表示を確認します。

詳しく説明します

【副電源スイッチ】を ON にすると、【スタート】がオレンジ色に点灯し、起動中を表す画面が表示されます。数秒後、メッセージが「ウォームアップ中です。読み込みできます」に切りかわり、【スタート】が青色に点灯すると、ジョブの予約を受け付けることができます。

ひとこと

【副電源スイッチ】を ON にしたあとのウォームアップ中でも、ジョブを予約できます。詳しくは、「ウォームアップ中に読み込みする」(p. 1-17) をごらんください。ウォームアップ完了後に、読み込んだ画像が印刷されます。

参照

ウォームアップ時間については、「本体仕様」(p. 5-2) をごらんください。

詳しく説明します

電源を ON にしてから操作パネル、タッチパネルで設定をする前の状態、または【リセット】を押して操作パネル、タッチパネルで入力した設定を取消した状態を初期設定と呼びます。初期設定は変更できます。詳しくは、「コピー設定」(p. 11-6) をごらんください。出荷時に設定されている本機の状態を出荷時設定といいます。

1.3.2 ウォームアップ中に読み込む

1

【副電源スイッチ】を ON にします。

【スタート】がオレンジ色に点灯します。

ウォームアップ画面が表示されたあと、基本設定画面が表示され、【スタート】が青色に点灯します。

2

タッチパネルの「ウォームアップ中です。読み込みできます」というメッセージを確認します。



3

原稿をセットします。

4

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

5

テンキーでコピー部数を設定します。

6

【スタート】を押します。

○ ウォームアップが完了したとき、自動的に印刷を開始します。

詳しく説明します

【副電源スイッチ】を ON にして出力できるまでのウォームアップ中に、コピー条件を設定し、原稿を読み込むコピー予約ができます。ウォームアップが完了すると自動的に出力できます。

参照

電源の入れ方については、「[電源の入れかた](#)」(p. 1-16) をごらんください。

参照

原稿のセットについては、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をごらんください。

参照

コピー部数設定については、「[コピー操作の流れ](#)」(p. 2-2) をごらんください。

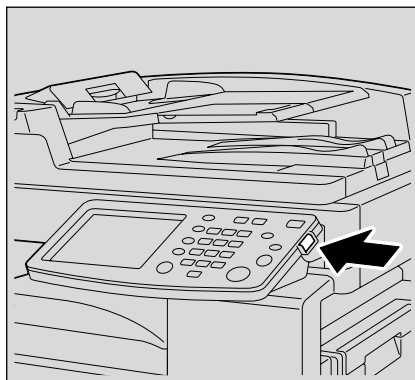
参照

印刷中にコピージョブを停止したいときは、【ストップ】を押します。詳しくは、「[読み込み・印刷を中止する](#)」(p. 2-44) をごらんください。

1.3.3 電源の切りかた

1

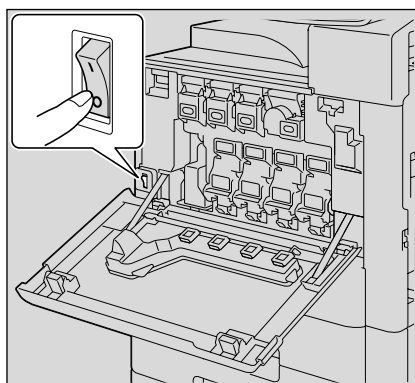
【副電源スイッチ】を押します。



タッチパネルの表示が消えたことを確認します。

2

前ドアを開き、【主電源スイッチ】の【O】を押します。



3

前ドアを閉じます。

1.3.4 自動的に設定を取消す（オートリセット）

【リセット】を押さなくても、本機を操作しなくなってから一定時間経過したときコピー枚数など登録されていない設定が取消され、初期設定に戻ります。

これをオートリセットといいます。

出荷時設定では 1 分を経過するとオートリセット機能がはたらきます。

必ず守ってください

- ・【主電源スイッチ】を OFF したあとに、すぐに ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。
- ・印刷中に【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にしないでください。紙づまりをおこします。
- ・画像の読み込み中や、送受信中に【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にしないでください。読み込み中のデータや、通信中のデータは削除されてしまいます。
- ・登録されたジョブや、蓄積されたジョブの印刷待機中に【主電源スイッチ】を OFF にしないでください。印刷されていないジョブは削除されてしまいます。

詳しく説明します

【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にすると、以下の項目が取消されます。

- ・登録されていない設定
- ・印刷待機中のジョブ

参照

- ・オートリセット機能がはたらくまでの時間や、オートリセットをするかしないかの設定は、設定メニューで変更できます。詳しくは、「<パワーセーブ設定>」(p. 11-14) をご覧ください。

1.3.5 自動的に節電状態にする（低電力）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、タッチパネルの表示を消すなど、自動的に節電状態になります。

これを低電力モードといいます。

低電力モードのときでも、本機はジョブを受け付けることができます。出荷時設定では 10 分を経過すると低電力モードになります。

<低電力モードからの復帰のしかた>

- 操作パネル上のキー、またはタッチパネル面を押します。
- ADF に原稿をセットしたり、ADF、オリジナルカバーを開けた場合も低電力モードから復帰します。
 - タッチパネルの表示が点灯し、ウォームアップを開始します。

1.3.6 自動的に節電状態にする（スリープ）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、自動的に節電状態になります。

低電力モードよりも節電効果が得られますが、再度コピーを行うためのウォームアップにかかる時間は低電力モードよりもかかります。

出荷時設定では 20 分を経過するとスリープモードになります。

<スリープモードからの復帰のしかた>

- 操作パネル上のキー、またはタッチパネル面を押します。
- ADF に原稿をセットしたり、ADF、オリジナルカバーを開けた場合もスリープモードから復帰します。
 - タッチパネルの表示が点灯し、ウォームアップを開始します。

1.3.7 タッチパネルを暗くする（LCD バックライトオフ）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、タッチパネルの表示を消し節電状態となります。

出荷時設定では 1 分を経過するとタッチパネルの表示が消えます。

< LCD バックライトオフからの復帰のしかた>

- 操作パネル上のキー、またはタッチパネル面を押します。
- ADF に原稿をセットしたり、ADF、オリジナルカバーを開けた場合も LCD バックライトオフから復帰します。



低電力モードに切替わる時間を変更できます。

詳しくは、「<パワーセーブ設定>」(p. 11-14) をご覧ください。



スリープモードが動作するまでの時間を変更できます。詳しくは、「<パワーセーブ設定>」(p. 11-14) をご覧ください。



詳しく説明します

出荷時設定では本機を操作しなくなってから 10 分が経過すると、低電力モードになり、20 分が経過するとスリープモードに切替わります。

1.3.8 部門ごとに本機の利用者を制限する（部門認証）

管理者によって部門管理設定が行われると、部門登録された特定の方のみが本機を使用できます。また部門ごとに印刷枚数などの管理もできます。

これを部門管理といいます。

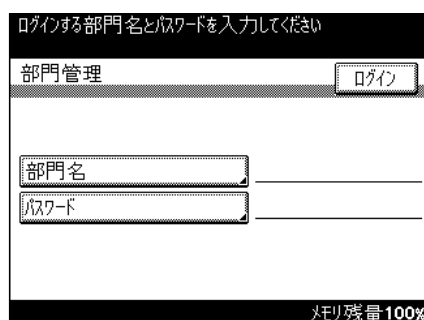
原則

部門管理機能を使用すると、各部門に設定された部門名、パスワードを入力した方がのみが、本機を使用できます。

部門名、パスワードが不明な場合は、管理者の方にご確認ください。

1

「部門名」を押します。



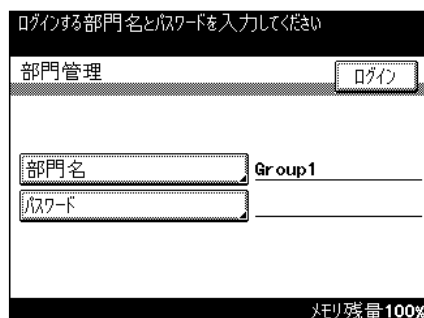
2

部門名を入力し、「OK」を押します。



3

「パスワード」を押します。



部門管理の設定手順については、「[認証設定](#)」(p. 11-31)をごらんください。



詳しく説明します

- ・ 部門管理は設定メニューの管理者保守で設定します。設定は管理者の方が行ってください。
- ・ 部門は 50 件まで登録できます。
- ・ 部門管理でログインすると、割込みコピーを行うことはできません。
- ・ 部門管理モードにログインするときの画面表示のしかたは、ソフトウェア DIPSW (モード 471) で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「[ユーザーズガイド ネットワーク 管理者編](#)」をごらんください。

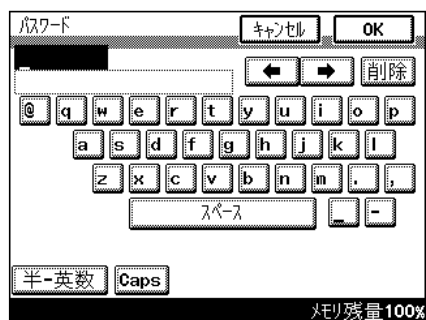


詳しく説明します

パスワードを登録していない場合は、パスワードを入力せずログインできます。

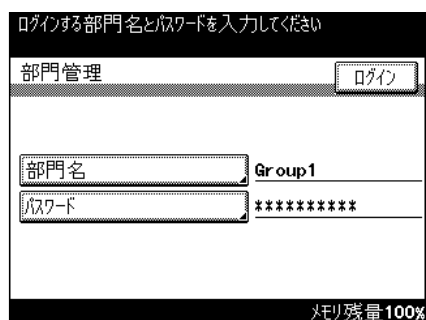
4

パスワードを入力し、[OK] を押します。



5

[ログイン] または【ID】を押します。



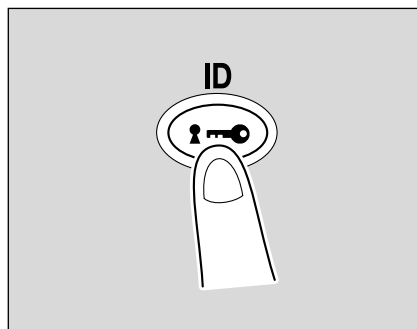
基本設定画面が表示されます。

6

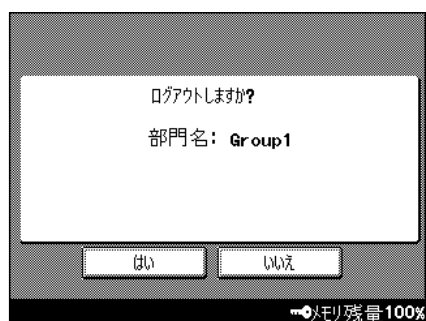
目的の機能でコピーします。

7

操作がすべて終了したら、【ID】を押します。



ログアウト確認画面が表示されます。



8

[はい] を押します。

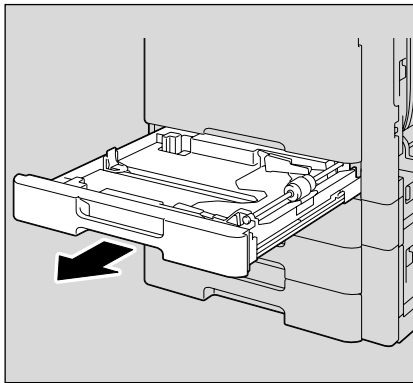
部門認証画面が表示されます。

1.4 トレイ 1 へ用紙をセットする

ここではトレイ 1 へ用紙をセットする手順を説明します。

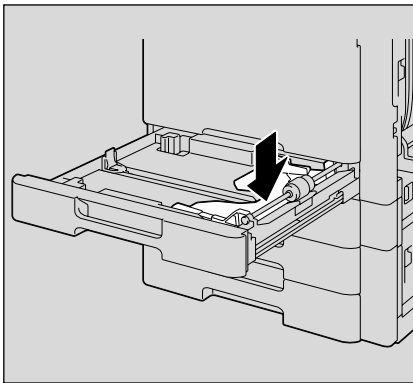
1

トレイ 1 を引出します。



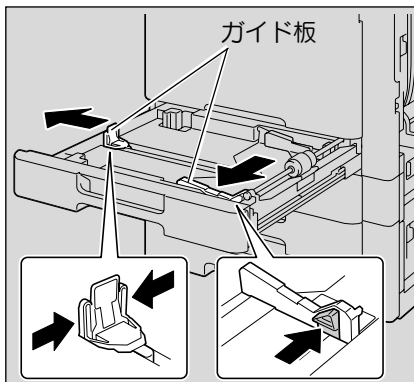
2

押し上げ板を“カチッ”とロックするまで押下げます。



3

ガイド板をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。



トレイ 1 へセットできる用紙サイズ、用紙種類については、「[用紙について](#)」(p. 6-2) をご覧ください。



必ず守ってください

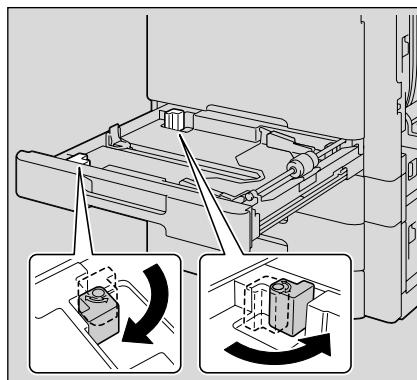
ローラーには手を触れないように注意してください。



必ず守ってください

セットした用紙に対して、ガイド板の位置が合っていない場合、用紙サイズを正しく検出できません。必ずガイド板は、セットした用紙サイズの位置に合わせてください。

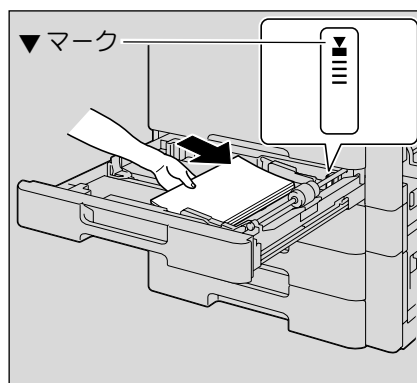
- A3 サイズを超える用紙をセットする場合は、トレイ左側のガイドを図のようにセットしてください。



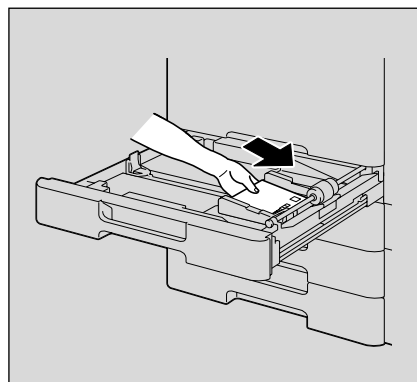
4

印刷したい面（用紙の開封した面）を上向きにして用紙をセットします。

< 普通紙の場合 >



< はがきの場合 >



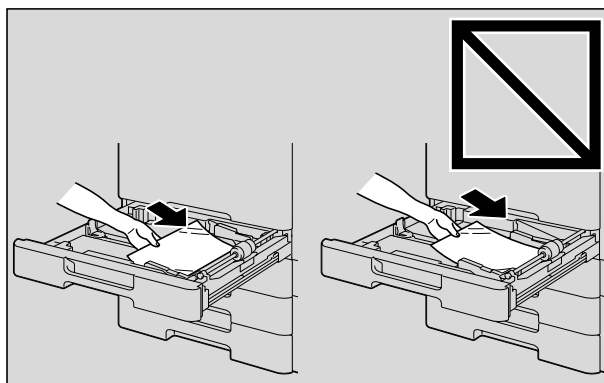
必ず守ってください

- ・ 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。
- ・ 用紙は ▼マークを超えないようにセットしてください。
- ・ 用紙はガイドに乗上げないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。

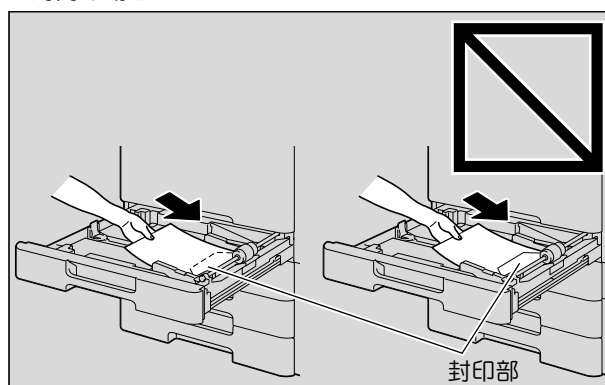
必ず守ってください

- ・ はがきとは、100 × 148 mm（郵政はがき）を指します。100 × 148 mm（郵政はがき）以外のはがきを使用する場合は、使用するのはがきのサイズを確認したうえで、不定形サイズ画面にてサイズ設定したのちご使用ください。
- ・ はがきをセットした場合は、[サイズ指定] で [はがき] を設定してください。
- ・ トレイ 1 には最大 20 枚のはがきをセットできます。

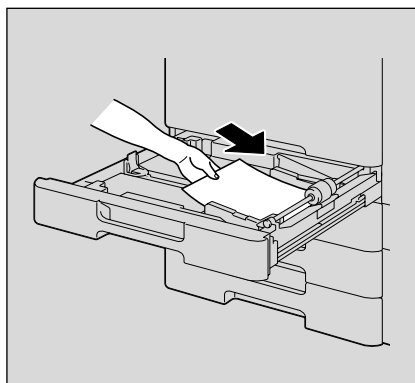
< OHP フィルムの場合 >



< 封筒の場合 >



< ラベル用紙の場合 >



必ず守ってください

- ・ OHP フィルムをセットする場合は、図のように 方向にセットしてください。 方向にはセットしないでください。
- ・ トレイ 1 には最大 20 枚の OHP フィルムをセットできます。

必ず守ってください

- ・ 封筒をセットする場合は、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折り目をしっかり押さえてください。空気が残っていたり、折り目がしっかり押さえられていないと、紙にしわがでたり、紙づまりの原因になります。
- ・ 封筒をセットする場合は、図のように封印部を下側にしてセットしてください。封印部を上側にしてセットすると紙づまりの原因になります。封印部側に印刷はできません。
- ・ トレイ 1 には最大 20 枚の封筒をセットできます。

必ず守ってください

トレイ 1 には最大 20 枚のラベル用紙をセットできます。

5

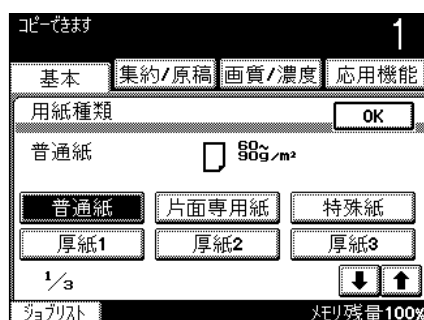
トレイ 1 を閉じます。

参照

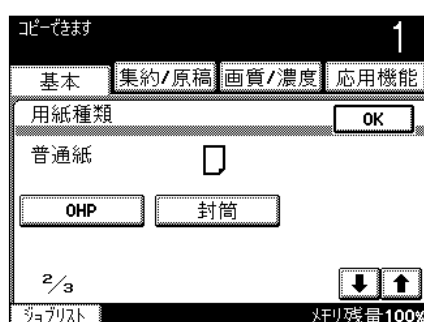
専用紙をセットした場合は、用紙種類の設定が必要です。詳しくは「[専用紙として設定する](#)」(p. 6-13) をごらんください。

6

用紙種類を選択します。



- OHP フィルム、封筒に印刷する場合は、[↓] を押してから選択します。



7

[OK] を押します。
基本設定画面に戻ります。



- ・ はがき以外をセットした場合は、適した用紙種類に変更してください。
- ・ ラベル用紙を使用する場合は、[厚紙 1] に設定してください。
- ・ OHP フィルムはブラック印刷のみに対応しています。OHP フィルムを選択するときは、カラー設定で「ブラック」を指定してから用紙種類を選択してください。

ひとこと

「はがき」を選択すると、用紙の種類は「厚紙 3」に自動設定されます。

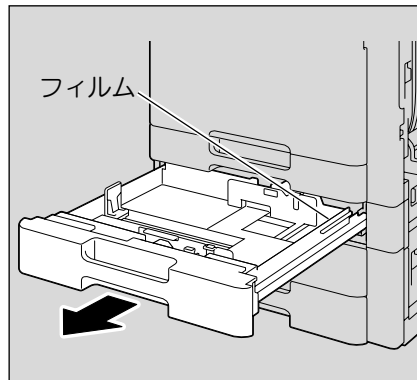
参照

- ・ 用紙サイズの詳細については、「[用紙について](#)」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・ 不定形サイズの設定のしかたについては、「[不定形紙をセットする\(不定形\)](#)」(p. 6-8) をご覧ください。
- ・ ワイド紙の設定のしかたについては、「[ワイド紙の設定をする](#)」(p. 6-11) をご覧ください。
- ・ 特殊紙の詳細については、「[専用紙について](#)」(p. 6-3) をご覧ください。

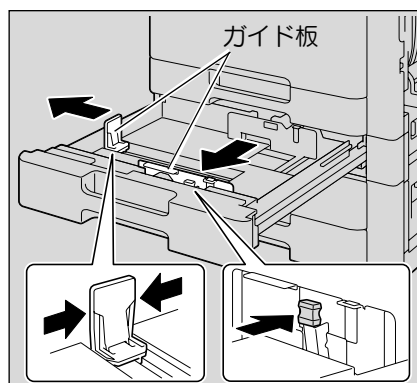
1.5 トレイ 2/3/4 へ用紙をセットする

用紙のセット方法は、トレイ 2/3/4 で同じ手順です。
ここではトレイ 2 へ用紙をセットする場合の手順を説明します。

- 1** トレイ 2 を引出します。

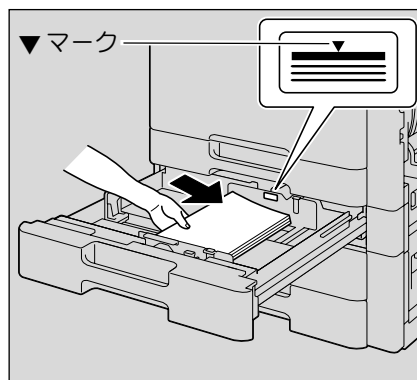


- 2** ガイド板をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。



- 3** 印刷したい面（用紙の開封した面）を上向きにして用紙をセットします。

< 普通紙の場合 >



- 4** トレイ 2 を閉じます。

ひとこと

トレイ 2/3/4 はオプションです。



トレイ 2/3/4 へセットできる用紙サイズ、用紙種類については、「[用紙について](#)」(p. 6-2) をごらんください。



必ず守ってください

フィルムには手を触れないように注意してください。



必ず守ってください

セットした用紙に対して、ガイド板の位置が合っていない場合、用紙サイズを正しく検出できません。必ずガイド板は、セットした用紙サイズの位置に合わせてください。



必ず守ってください

- ・用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。
- ・用紙は ▼マーク を超えないようにセットしてください。

ひとこと

- ・OHP フィルム、ラベル用紙、封筒、はがきに印刷したい場合は、トレイ 1 または手差しトレイを使用してください。



専用紙をセットした場合は、用紙種類の設定が必要です。詳しくは「[専用紙として設定する](#)」(p. 6-13) をごらんください。

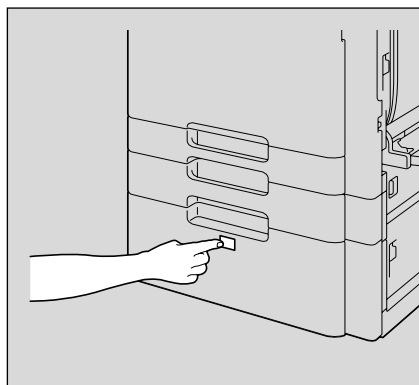
1.6 LCT へ用紙をセットする

1

トレイ解除ボタンを押します。

原則

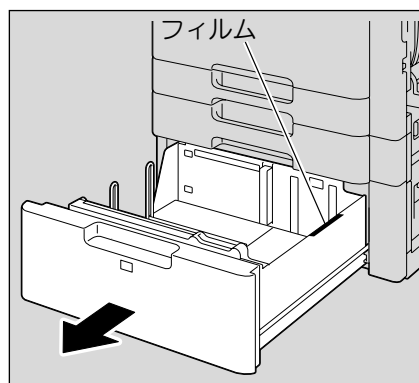
【主電源スイッチ】が ON になっている場合でも、【副電源スイッチ】が OFF になっているときは、トレイ解除ボタンを押しても LCT を引出すことができません。【副電源スイッチ】も ON にしてください。



LCT のロックが解除されて、LCT のトレイが少し前に出てきます。

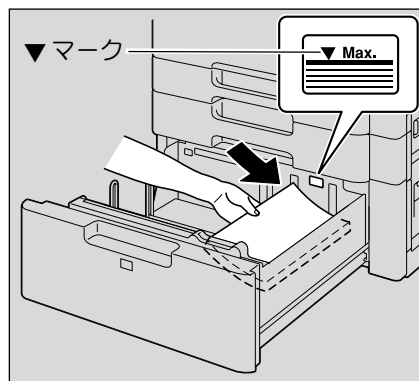
2

LCT を引出します。



3

LCT の右段に、印刷したい面（用紙の開封した面）を上向きにして、用紙をセットします。



ひとこと

- ・ LCT はオプションです。
- ・ 低電力モード時やスリープモード時にトレイ解除ボタンを押しても LCT は引出すことができません。低電力モード、スリープモードから復帰してください。



必ず守ってください

フィルムには手を触れないように注意してください。

ひとこと

LCT へセットできる用紙サイズ、用紙種類については、「[用紙について](#)」(p. 6-2) をごらんください。



必ず守ってください

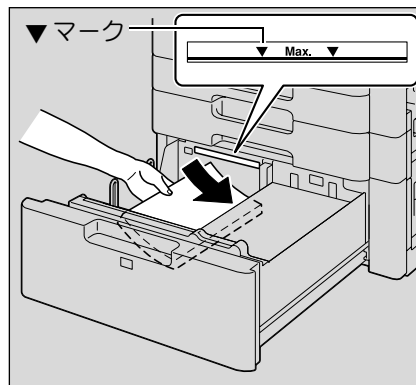
- ・ 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。
- ・ 用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。

ひとこと

- ・ OHP フィルム、ラベル用紙、封筒、はがきに印刷したい場合は、トレイ 1 または手差しトレイを使用してください。

4

LCT の左段に、印刷したい面（用紙の開封した面）を上向きにして、用紙をセットします。



5

LCT を閉じます。



必ず守ってください

用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。



専用紙をセットした場合は、用紙種類の設定が必要です。詳しくは「専用紙として設定する」(p. 6-13) をごらんください。

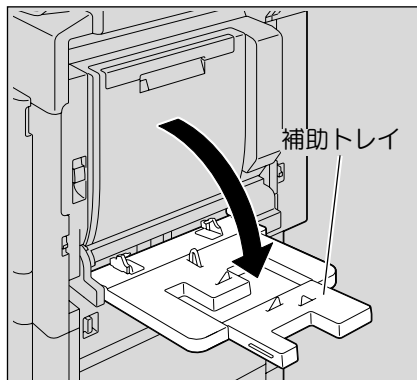
1.7 手差しトレイへ用紙をセットする

給紙トレイにセットされていないサイズの内紙や、はがき、封筒、OHPフィルム、ラベル用紙に印刷したい場合に手差しトレイを使用します。

1

手差しトレイを開きます。

- 大きなサイズの用紙をセットする場合は、補助トレイを開きます。

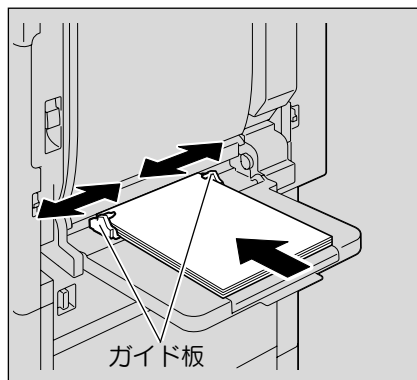


2

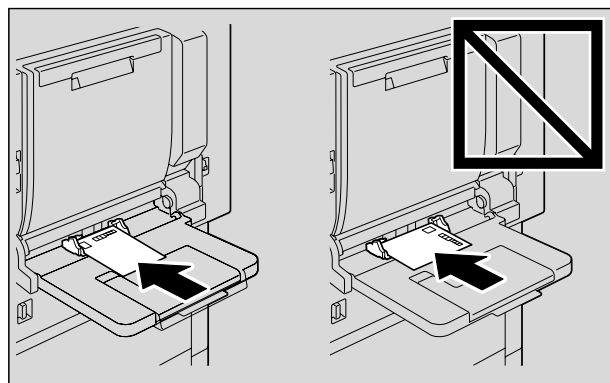
印刷したい面を下向きにし、用紙の先端を奥まで差込んでセットします。

3

ガイド板をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。



<はがきの場合>



ひとこと

手差しトレイはオプションです。



手差しトレイの内紙サイズの設定については、「[用紙サイズを指定する \(サイズ指定\)](#)」(p. 6-7) をご覧ください。



必ず守ってください

- ・用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。
- ・用紙は手差しトレイに対して水平にセットしてください。後端が持上がった状態で用紙をセットすると、用紙サイズが正しく検出されないことがあります。
- ・ガイド板を確実に用紙の端面に合わせてください。
- ・用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。



詳しく説明します

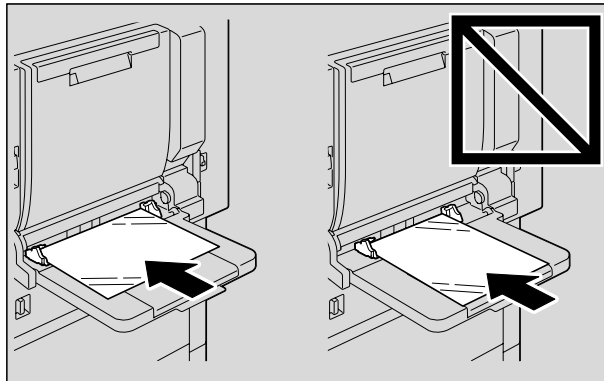
セットする用紙の下面に画像が印刷されます。



必ず守ってください

- ・はがきとは、100 × 148 mm (郵政はがき) を指します。100 × 148 mm (郵政はがき) 以外のはがきを使用する場合は、使用するはがきのサイズを確認したうえで、不定形サイズ画面にてサイズ設定したのちご使用ください。
- ・はがきをセットした場合は、[サイズ指定] で [はがき] を設定してください。
- ・はがきをセットする場合は、図のように □ 方向にセットしてください。▣ 方向にはセットしないでください。
- ・手差しトレイには最大 20 枚のはがきをセットできます。

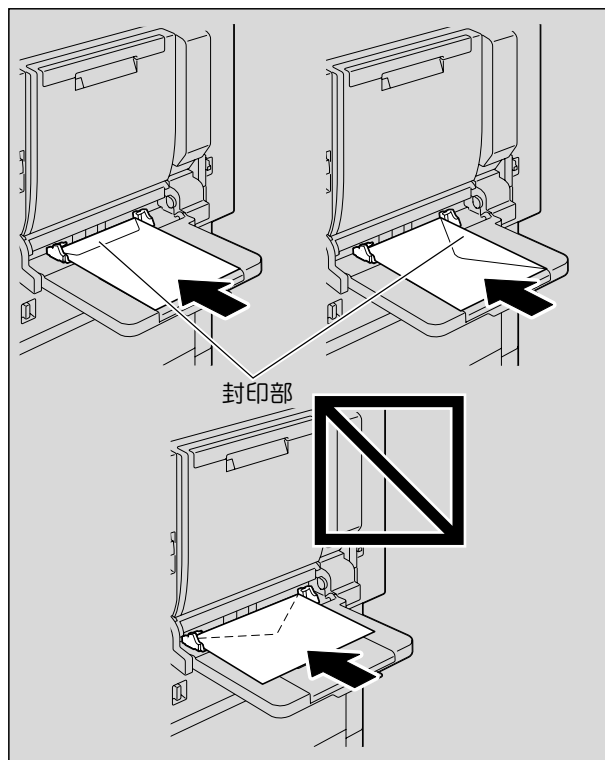
< OHP フィルムの場合 >



必ず守ってください

- ・ OHP フィルムをセットする場合は、図のように **□** 方向にセットしてください。 **□** 方向にはセットしないでください。
- ・ 手差しトレイには最大 20 枚の OHP フィルムをセットできます。

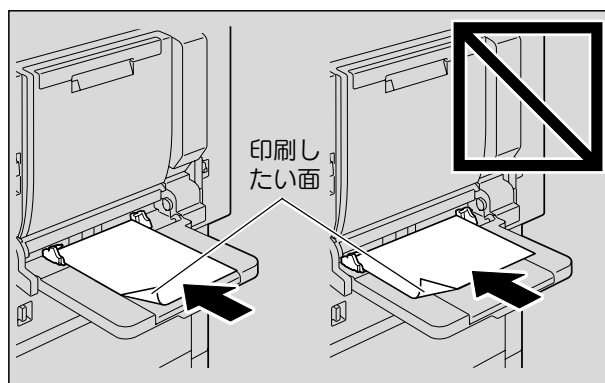
< 封筒の場合 >



必ず守ってください

- ・ 封筒をセットする場合は、封筒内部の空気を押し出し、封筒の折り目をしっかり押さえてください。空気が残っていたり、折り目がしっかり押さえられていないと、紙にしわがでたり、紙づまりの原因になります。
- ・ 封筒をセットする場合は、図のように封印部を上側にしてセットしてください。封印部を下側にしてセットすると紙づまりの原因になります。封印部側に印刷はできません。
- ・ 手差しトレイには最大 10 枚の封筒をセットできます。

< ラベル用紙の場合 >

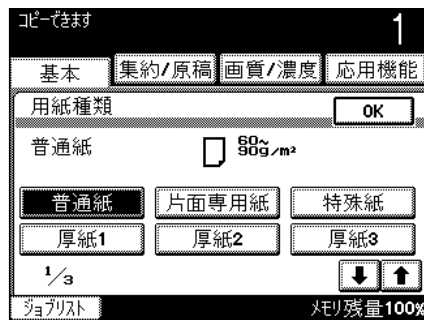


必ず守ってください

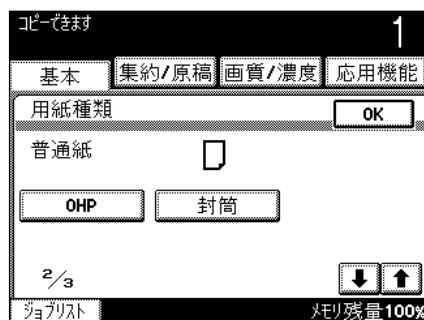
- ・ ラベル用紙をセットする場合は、図のように **□** 方向にセットしてください。 **□** 方向にはセットしないでください。
- ・ 手差しトレイには最大 20 枚のラベル用紙をセットできます。

4

用紙種類を選択します。



- OHP フィルム、封筒に印刷する場合は、[↓] を押してから選択します。



5

[OK] を押します。
基本設定画面に戻ります。



- ・ はがき以外をセットした場合は、適した用紙種類に変更してください。
- ・ ラベル用紙を使用する場合は、[厚紙 1] に設定してください。
- ・ OHP フィルムはブラック印刷のみに対応しています。OHP フィルムを選択するときは、カラー設定で「ブラック」を指定してから用紙種類を選択してください。

ひとこと

「はがき」を選択すると、用紙の種類は「厚紙 3」に自動設定されます。



- ・ 用紙サイズの詳細については、「[用紙について](#)」(p. 6-2) をご覧ください。
- ・ 不定形サイズの設定のしかたについては、「[不定形紙をセットする\(不定形\)](#)」(p. 6-8) をご覧ください。
- ・ ワイド紙の設定のしかたについては、「[ワイド紙の設定をする](#)」(p. 6-11) をご覧ください。
- ・ 特殊紙の詳細については、「[専用紙について](#)」(p. 6-3) をご覧ください。



第 2 章

基本機能

基本的なコピーのとりかたについて説明します。

2.1	コピー操作の流れ	2-2
2.2	組合わせできない操作について	2-4
2.3	原稿をセットする	2-6
2.4	原稿の設定をする	2-11
2.5	印刷カラーを選ぶ	2-14
2.6	用紙を選ぶ	2-16
2.7	倍率を選ぶ	2-18
2.8	片面 / 両面を選ぶ	2-28
2.9	集約コピーを選ぶ	2-31
2.10	原稿の画質を選ぶ	2-34
2.11	濃度を選ぶ	2-36
2.12	仕上り機能を選ぶ	2-41
2.13	読込み・印刷を中止する	2-44

2.1 コピー操作の流れ

コピーをとるときの手順を説明します。

ここでは、片面原稿を基本的な操作でコピーする方法を説明します。

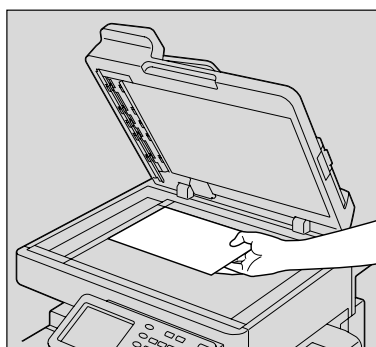
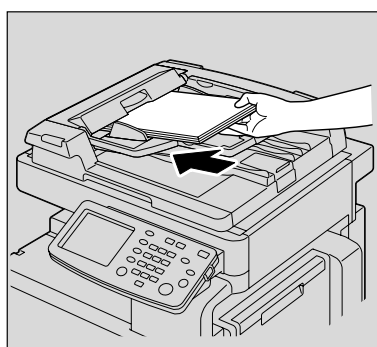
1

【コピー】を押し、コピー機能画面を表示させます。

2

原稿をセットします。

- 原稿のセットのしかたについて詳しくは、(p. 2-6) をご覧ください。



3

必要に応じて、各機能の設定をします。



- 出荷時設定では、初期設定として以下の設定がされています。
 - [カラー]：ブラック
 - [用紙]：自動用紙
 - [倍率]：等倍 (× 1.000)
 - [片面 / 両面]：片面 > 片面
 - [画質 / 濃度]：文字写真
- カラーの設定については、(p. 2-14) をご覧ください。
- 用紙サイズの設定については、(p. 2-16) をご覧ください。
- 倍率の設定については、(p. 2-18) をご覧ください。
- 原稿とコピー機能の設定については、(p. 2-28) をご覧ください。
- 原稿の画質については、(p. 2-34) をご覧ください。
- コピー濃度の設定については、(p. 2-36) をご覧ください。
- 集約コピーの設定については、(p. 2-31) をご覧ください。
- コピーの仕上りについては、(p. 2-41) をご覧ください。
- 応用機能の設定については、(p. 7-1) をご覧ください。

ひとこと

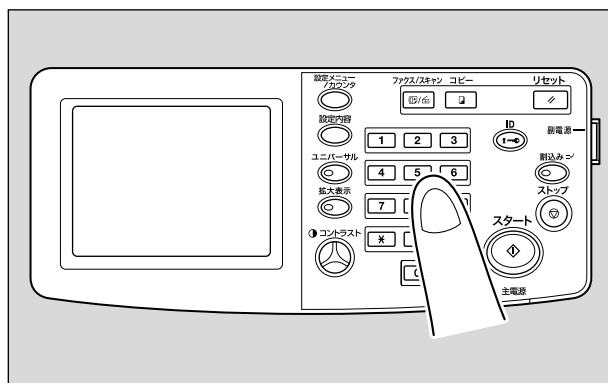
コピー機能の使用を許可するかどうかはソフトウェア DIPSW (モード 403) で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク 管理者編」をご覧ください。

参照

- ・ 各機能には組合わせて設定できないものがあります。組合わせて設定できない機能については、「組合わせて設定できない操作について」(p. 2-4) をご覧ください。
- ・ 一度にコピーできる部数の上限を設定できます。設定のしかたについては、「セキュリティ設定をする」(p. 11-41) をご覧ください。

4

テンキーでコピー部数を入力します。



- コピー部数を間違えて入力した場合は、【C】を押してもう1度入力しなおしてください。

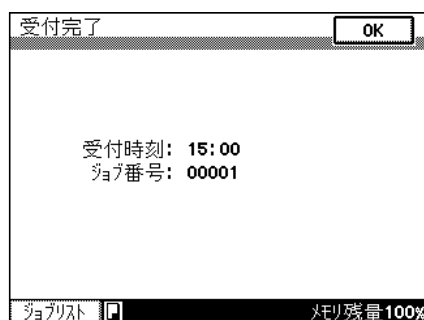
5

【スタート】を押します。



6

受付時刻、ジョブ番号を確認し、[OK] を押します。



- [OK] を押さなくても、自動的にコピーが開始されます。
- コピーを中止したい場合は、【ストップ】を押してください。
詳しくは、(p. 2-44) をごらんください。

ひとこと

受付完了画面の表示時間を変更できます。変更のしかたについては、「[受付完了画面の表示を設定する](#)」(p. 3-14) をごらんください。

2.2 組み合わせできない操作について

各機能には組合わせて設定できないものがあります。

組み合わせできない操作を行った場合の動作には、以下の2種類があります。

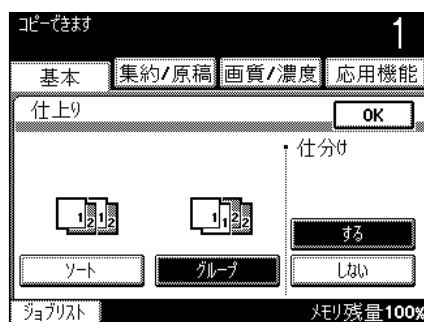
- あとから設定したものが優先される。(先に設定したものは解除される。)
- 先に設定したものが優先される。(警告メッセージが表示される。)

2.2.1 あとから設定した機能が優先される場合

ここでは、仕分けを設定してから混載 / Z 折れを設定する場合について説明します。

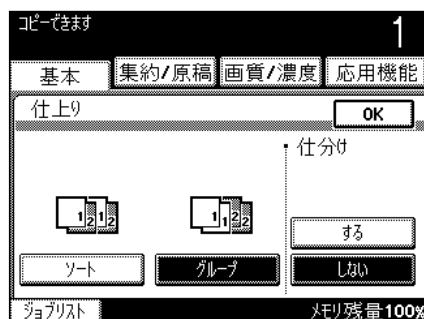
1

仕分けを設定します。



2

混載 / Z 折れを設定します。



仕分けは自動で解除され、混載 / Z 折れが有効になります。

仕分けを有効にする場合は、混載 / Z 折れを解除し、再度仕分けの設定を行います。

2.2.2 先に設定した機能を優先する場合

組み合わせ禁止の警告メッセージが表示された場合、それらの機能は組み合わせできません。

ここでは、混載 /Z 折れを設定してから仕分けを設定する場合について説明します。

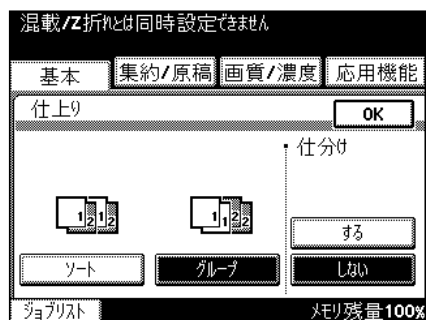
1

混載 /Z 折れを設定します。



2

仕分けを設定します。



「混載 /Z 折れとは同時設定できません」と表示され、仕分けは設定できません。

混載 /Z 折れが有効となり、仕分けは無効となります。

仕分けを有効にする場合は、混載 /Z 折れを解除し、再度仕分けの設定を行います。

2.3 原稿をセットする

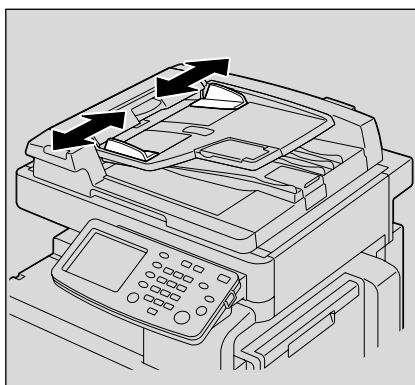
原稿のセット方法には以下の 2 種類の方法があります。原稿の種類に合わせて最適な原稿セットを行ってください。

原稿セット方法	特長
ADF の場合	複数枚の原稿の上から自動的に 1 枚ずつ送り出し、読み込みます。両面原稿も自動的に読み込むことができます。
原稿ガラスの場合	原稿を原稿ガラス上に直接セットして原稿を読み込みます。本などの ADF にセットできない原稿を読み込むのに適しています。

2.3.1 ADF に原稿をセットする

1

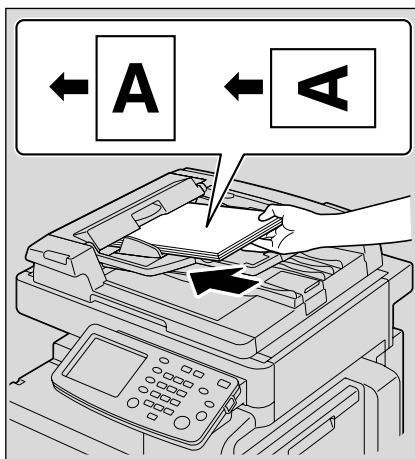
ガイド板を原稿のサイズに合わせます。



2

原稿のオモテ面を上にして、原稿を読み込み順に原稿給紙トレイにセットします。

- 原稿の天部（上側）が奥側、または左側になるようにします。



ひとこと

ADF はオプションです。

必ず守ってください

クリップやステーブルなどでとじられた原稿は、絶対にセットしないでください。

参照

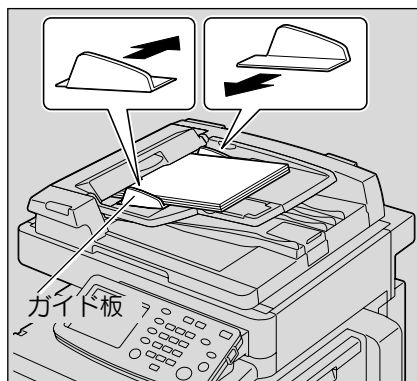
ADF にセットできる原稿については、「[原稿について](#)」(p. 6-17) をご覧ください。

必ず守ってください

- ・ 原稿は 70 枚または ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。
- ・ 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

3

ガイド板を原稿に沿わせます。



- ・サイズの異なる原稿（混載原稿）のセットのしかたについては、「[サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）](#)」（p. 2-11）をごらんください。
- ・原稿のとり代位置の指定のしかたについては、「[とり代を設定する（原稿のとり代）](#)」（p. 2-13）をごらんください。

2.3.2 原稿ガラス上に原稿をセットする

1

ADF またはオリジナルカバーを開きます。

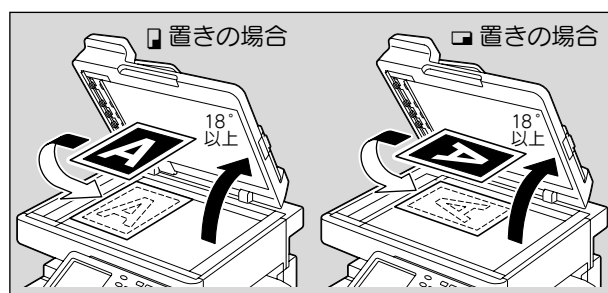
原則

原稿をセットするときは、必ず ADF またはオリジナルカバーを 18° 以上開いてください。
18° 以上開けずに原稿をセットすると原稿のサイズを検出できない場合があります。

2

原稿のオモテ面を下にして、原稿を原稿ガラス上にセットします。

- 原稿の天部（上側）が奥側、または左側になるようにします。



原稿ガラス上にセットできる原稿については、「[原稿について](#)」（p. 6-17）をごらんください。

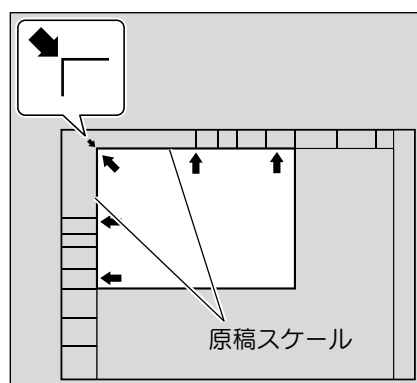


必ず守ってください

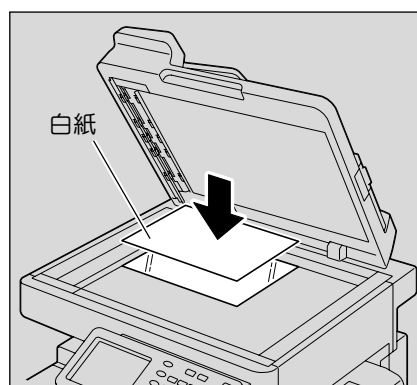
- ・原稿ガラス上には 2 kg を超えるような重い原稿は載せないでください。また本の見開き原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないようにしてください。故障の原因となります。
- ・原稿が厚い本や立体物である場合は、ADF またはオリジナルカバーを閉じずに読み込みを行ってください。ADF またはオリジナルカバーを閉じずに読み込みを行った場合、光が漏れることがありますので、原稿ガラス面を直視しないようにしてください。ただし、漏れ出る光はレーザー光線ではありませんので、レーザーの危険にさらされることはありません。

3

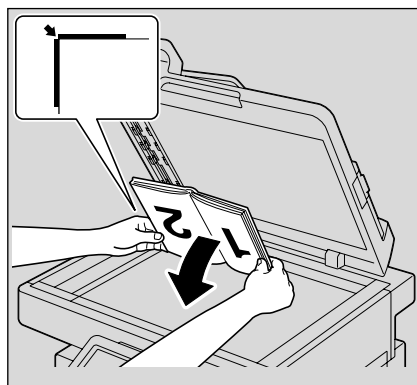
原稿スケール左奥側の ▲ マークに合わせて原稿をセットします。



- 透明度の高い原稿をセットする場合、原稿と同じサイズの白紙を原稿の上に重ねます。



- 本や雑誌などのとじてある見開き原稿をセットする場合、図のように原稿の天部（上側）を奥側にして原稿を置き、原稿スケール左奥側の ▲ マークに合わせてます。



4

ADF またはオリジナルカバーを閉じます。

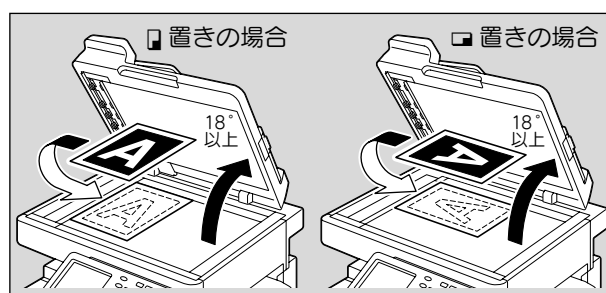


・ 原稿のとり代位置の指定のしかたについては、「[とり代を設定する（原稿のとり代）](#)」(p. 2-13) をご覧ください。

2.3.3 複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする

ソートや両面コピー、集約コピーなどを原稿ガラスを使用してコピーする場合、複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットし、読みませます。ここでは、原稿ガラスを使用して片面＞両面コピーをとる場合の手順を説明します。

- 1 ADF またはオリジナルカバーを開きます。
- 2 1 枚目または 1 面目の原稿のコピーしたい面を下側に向け、原稿ガラス上にセットします。
 - 原稿のセットのしかたについては、「[原稿ガラス上に原稿をセットする](#)」(p. 2-7) をご覧ください。

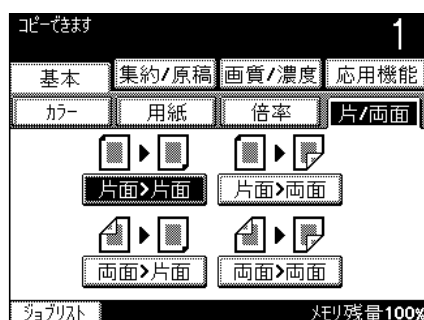


- 3 ADF またはオリジナルカバーを閉じます。
- 4 基本設定画面の「片面 / 両面」を押します。



片面 / 両面画面が表示されます。

- 5 「片面＞両面」を押します。



詳しく説明します

- ・「仕上り」の「グループ」が設定されている場合、原稿を 1 枚読み込むごとに、設定部数分のコピーが行われます。
- ・「仕上り」の「ソート」が設定されている場合、すべての原稿を読み込み終えたあと、設定部数単位に分けてコピーが行われます。

ひとこと

「片面＞両面」を設定した場合、原稿のとじ代位置を設定してください。原稿のとじ代位置を設定していない場合があります。目的のコピーにならないことがあります。原稿のとじ代については、「[とじ代を設定する\(原稿のとじ代\)](#)」(p. 2-13) をご覧ください。

6

【スタート】を押します。
読み込みが開始されます。



7

2枚目または2面目の原稿をセットし、【スタート】を押します。
○ 残りの原稿がある場合、手順7を繰り返し行います。



8

全ての原稿を読み込んだあと、「読み込み終了」を押します。



9

【スタート】を押します。

2.4 原稿の設定をする

2.4.1 サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）

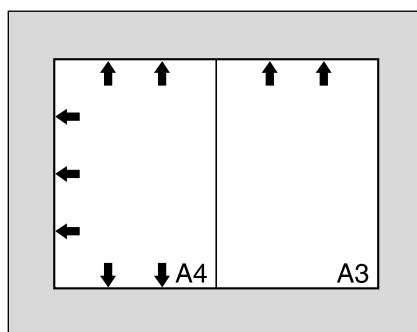
サイズの異なる原稿（同一幅で長さが異なる原稿）を ADF に 1 度にセットし、自動的に 1 枚ずつ送り出し、読み込みます。

1

ADF のガイド板を最も大きな原稿のサイズに合わせます。

2

コピーしたい面を上向きにし、図のように揃えます。

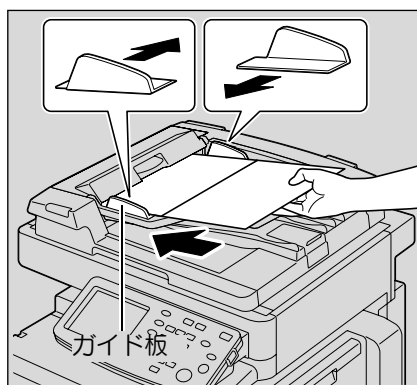


3

原稿のオモテ面を上にして、原稿を読み込み順に原稿給紙トレイにセットします。

ガイド板を原稿に沿わせます。

- 原稿は、ADF に対して左側と奥側を基準にしてセットします。



4

基本設定画面の「混載 / Z 折れ」を押します。



ひとこと

ADF はオプションです。

詳しく説明します

混載できる原稿サイズの組み合わせは、セットする原稿の最大幅（ガイド板の開き幅）により異なります。

参照

ADF に混載できる原稿サイズの組み合わせについては、「[ADF にセットできる原稿](#)」(p. 6-17) をご覧ください。

詳しく説明します

- ・ 原稿は 70 枚または ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。
- ・ 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

詳しく説明します

混載原稿機能を解除するときは、再度「混載 / Z 折れ」を押します。

2.4.2 折りぐせのついた原稿をセットする（Z折れ原稿）

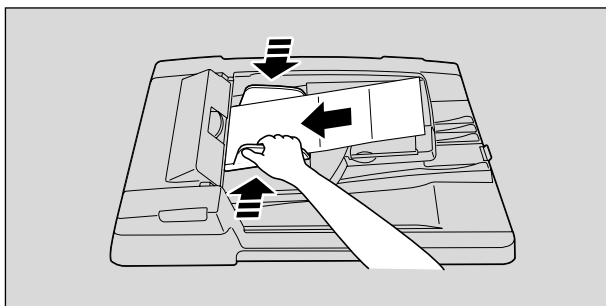
折りぐせのある原稿を ADF にセットしてコピーするとき、原稿サイズを正確に検知できます。

原則

原稿は ADF にセットします。

1

原稿をセットします。



2

基本設定画面の「混載 / Z 折れ」を押します。



必ず守ってください

折りぐせのついた原稿は、ADF にセットする前に伸ばしてください。伸ばさずにコピーをすると、紙づまりの原因になります。

参照

原稿のセット方法については、[「ADF に原稿をセットする」](#) (p. 2-6) をご覧ください。

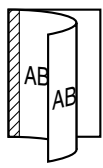

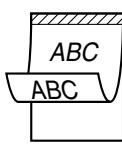

詳しく説明します

設定を中止する場合は、再度「混載 / Z 折れ」を押し、反転表示を解除してください。

2.4.3 とじ代を設定する（原稿のとじ代）

ADF に両面原稿をセットする場合、原稿のとじ代位置を設定することで、原稿ウラ面の天部（上側）を指定します。

原稿のとじ代位置について

原稿のとじ代	アイコン	説明
	[左] 	原稿の左側にとじ代のある原稿をセットした場合に選択します。
	[上] 	原稿の上側にとじ代のある原稿をセットした場合に選択します。

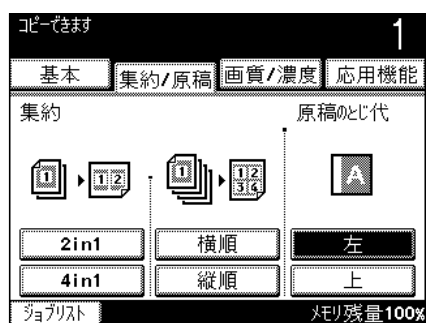
2.4.4 原稿のとじ代の設定のしかた

- 1 原稿をセットします。
- 2 基本設定画面の「集約 / 原稿」を押します。



集約 / 原稿画面が表示されます。

- 3 「原稿のとじ代」からとじ方向を選択します。



ひとこと

出荷時設定では、とじ方向は「左」が選択されています。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

ひとこと

とじ代のある原稿をセットする場合は、原稿の天部（上側）を奥側にしてセットしてください。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

2.5 印刷カラーを選ぶ

コピーをとるとき印刷カラーを選択できます。
印刷カラーには以下の5つの設定があります。

印刷カラー	説明
オートカラー	読込んだ原稿がフルカラーか白黒かを検知し、フルカラー／ブラックを自動的に選択してコピーできます。
フルカラー	読込んだ原稿の色に関わらずフルカラーでコピーできます。
2色カラー	読込んだ原稿の中で、カラーと判断した領域が指定した色でコピーされ、ブラックと判断した領域がブラックでコピーできます。(カラー領域で使用する色は、レッド、イエロー、グリーン、ブルー、マゼンタ、シアンから選択できます。p. 7-16)
ブラック	読込んだ原稿の色に関わらずモノクロでコピーできます。
モノカラー	読込んだ原稿が、カラー原稿、白黒原稿に関係なく、指定した1色でコピーできます。(色は21色の中から選択できます。p. 7-15) モノカラーを設定した場合、原稿の階調再現方法には以下の2つがあります。 <u>比視感度</u> ：原稿上の色の違い(目で見た色の濃さ)と階調レベルをモノカラーの濃淡差としてコピーします。 マーカーペンの色やグラフ用紙の青線、印鑑の赤色などをくっきりコピーできます。 <u>平均濃度</u> ：原稿上の色の違いに関わらず、階調レベルのみをモノカラーの濃淡差としてコピーします。雑誌や新聞など階調差で表現されている原稿にモノカラーを使うときや、下地の黄ばんだ原稿の黄ばみをとばすのに便利です。

ひとこと

出荷時設定では、「ブラック」が設定されています。

2.5.1 印刷カラーを選択する

ここでは、印刷カラーの選択のしかたについて説明します。

1

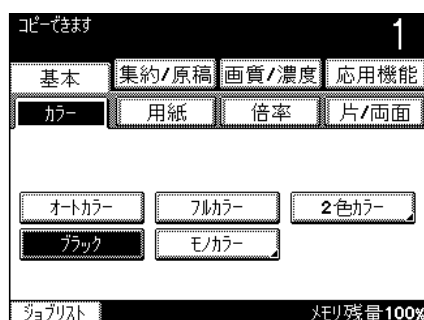
基本設定画面の「カラー」を押します。



カラー選択画面が表示されます。

2

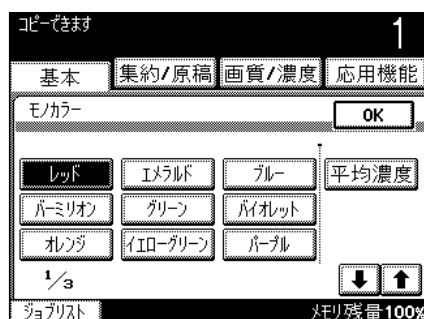
目的の印刷カラーを選択します。



- 2色カラーを選択した場合、目的のカラーキーを押し、[OK] を押します。



- モノカラーを選択した場合、目的のカラーキーを押し、[OK] を押します。



詳しく説明します

2色カラーの1色はブラックが設定されています。ここでは2色目に使用する色のキーを選択します。ブラックの変更はできません。

詳しく説明します

- ・ [↑]、[↓] を押し、目的のカラーを選択します。
- ・ モノカラーの原稿の階調再現方法を平均濃度に設定する場合は [平均濃度] を押します。
- ・ 平均濃度が反転していないときは、比視感度に設定されています。
- ・ セピア調 1 またはセピア調 2 を選択したときは、[平均濃度] は設定できません。

2.6 用紙を選ぶ

用紙サイズの選択には、原稿のサイズに合わせて自動で用紙を選択する方法と、手動で用紙を指定する方法があります。目的のコピー条件に応じ、いずれかの手順にしたがって設定します。出荷時設定では、[自動用紙] が選択されています。

原則

自動用紙と自動倍率は同時に設定できません。

2.6.1 自動的に用紙を選択する（自動用紙）

セットされた原稿サイズを検知し、同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が等倍に設定されている場合は、原稿サイズと同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が、拡大または縮小に設定されている場合は、設定されている倍率に対応したサイズの用紙を自動的に選択してコピーします。

1

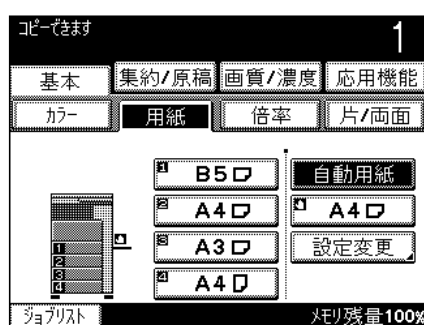
基本設定画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

[自動用紙] を押します。



ひとこと

専用紙設定した給紙トレイは、自動用紙機能で選択されません。（ただし、両面不可紙として設定された給紙トレイは、片面印刷の場合には、優先して選択されます。）特別な用紙を給紙トレイにセットした場合には必ず用紙種類を設定してください。詳しくは、「[専用紙として設定する](#)」(p. 6-13) をご覧ください。

詳しく説明します

- ・ 自動倍率設定時に自動用紙を選択すると、自動倍率が解除され、等倍が設定されます。
- ・ 給紙トレイの優先順序の設定については、「[< 給紙トレイ設定 >](#)」(p. 11-5) をご覧ください。

2.6.2 手動で目的の用紙を指定する

1

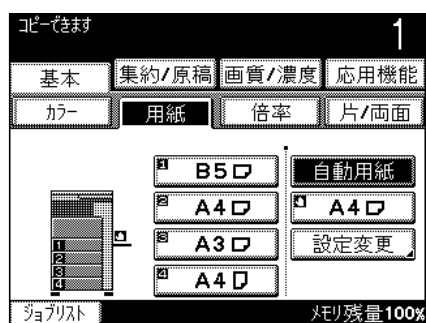
基本設定画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

目的の用紙がセットされた給紙トレイを選択します。



ひとこと

あらかじめ、目的の用紙を給紙トレイにセットしておきます。

詳しく説明します

自動倍率と合わせて設定することで、原稿サイズと用紙サイズに合った最適なコピー倍率が設定されます。自動倍率については、「[自動的に倍率を設定させる（自動倍率）](#)」(p. 2-18) をご覧ください。

2.7 倍率を選ぶ

原稿と異なるサイズの手紙にコピーするときや、画像のサイズを変えてコピーするときには倍率を設定できます。出荷時設定では、[等倍]が選択されています。

ここでは、倍率の設定のしかたについて説明します。

原則

自動倍率と自動手紙は同時に設定できません。



詳しく説明します

自動倍率を指定し、原稿よりも大きな手紙に拡大コピーしたい場合は、手紙の向きに合わせて原稿をセットします。

2.7.1 自動的に倍率を設定させる（自動倍率）

原稿サイズと選択した手紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。

1

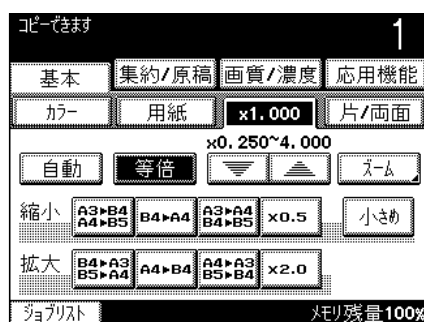
基本設定画面の[倍率]を押します。



倍率画面が表示されます。

2

[自動]を押します。



詳しく説明します

自動手紙設定時に自動倍率を選択した場合は、手紙選択画面が表示されますので、目的の手紙を選択してください。

2.7.2 原稿と同じ倍率にする（等倍）

原稿の画像を原寸（等倍）でコピーします。

1

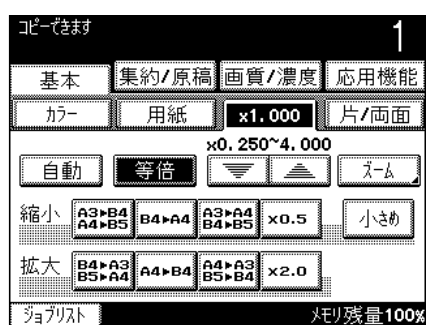
基本設定画面の「倍率」を押します。





倍率画面が表示されます。

2

「等倍」を押します。



詳しく説明します

[] を押すと拡大側へ、
[] を押すと縮小側へ
× 0.001 単位で倍率が設定できます。

2.7.3 テンキーで倍率を指定する（ズーム）

テンキーを使用して、縦と横の比率を変えずに $\times 0.250 \sim \times 4.000$ の間でコピー倍率を直接入力できます。

1

基本設定画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

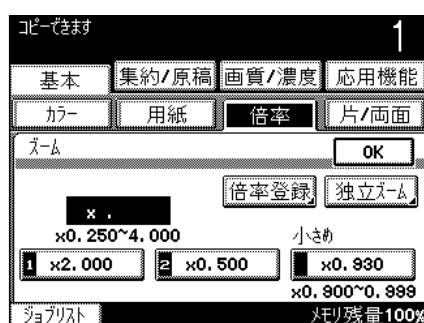
2

「ズーム」を押します。



3

テンキーで目的の倍率を入力します。($\times 0.250 \sim \times 4.000$)





4

「OK」を押します。



入力した倍率を登録できます。登録のしかたについては、「[目的の倍率を登録する](#)」(p. 2-26) をご覧ください。



[] を押すと拡大側へ、
[] を押すと縮小側へ
 $\times 0.001$ 単位で倍率が設定できます。



入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

2.7.4 原稿を少しだけ縮小させる（小さめ）

画像を、原稿サイズよりわずかに縮小（ $\times 0.930$ ）してコピーします。

1

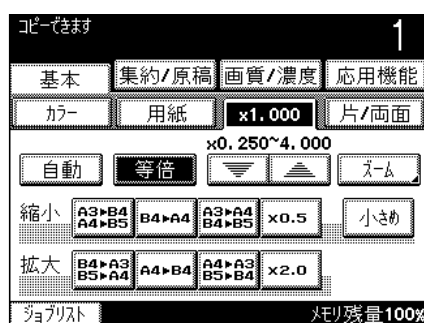
基本設定画面の「倍率」を押します。



倍率画面が表示されます。

2



「小さめ」を押します。



詳しく説明します

小さめコピーの倍率は、目的の倍率（ $\times 0.900 \sim \times 0.999$ ）に変更し、登録できます。小さめコピーの倍率変更／登録については、「[目的の倍率を登録する](#)」（p. 2-26）をごらんください。

詳しく説明します

[] を押すと拡大側へ、
[] を押すと縮小側へ
 $\times 0.001$ 単位で倍率が設定できます。

2.7.5 「縮小」、「拡大」から倍率を選択する（固定倍率）

よく使用する定形サイズ of 原稿から定形サイズ of 用紙にコピーする場合の最適な倍率が、あらかじめ設定されています。

1

基本設定画面の「倍率」を押します。





倍率画面が表示されます。

2

原稿と用紙サイズから最適な倍率を「縮小」、「拡大」から選択します。



詳しく説明します

[] を押すと拡大側へ、
[] を押すと縮小側へ
× 0.001 単位で倍率が設定できます。

2.7.6 テンキーで倍率を指定する（独立ズーム）

テンキーを使用して、縦（ $\times 0.250 \sim \times 4.000$ ）と横（ $\times 0.250 \sim \times 4.000$ ）の比率を変えてコピー倍率を直接入力できます。

1

基本設定画面の「倍率」を押します。





倍率画面が表示されます。

2

「ズーム」を押します。

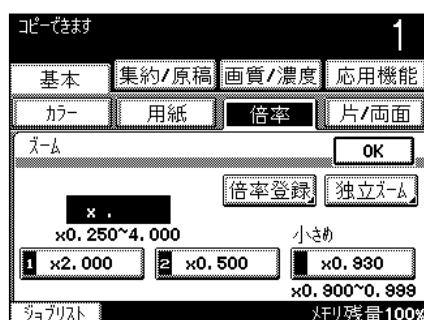


詳しく説明します

[] を押すと拡大側へ、
[] を押すと縮小側へ
 $\times 0.001$ 単位で倍率が設定できます。

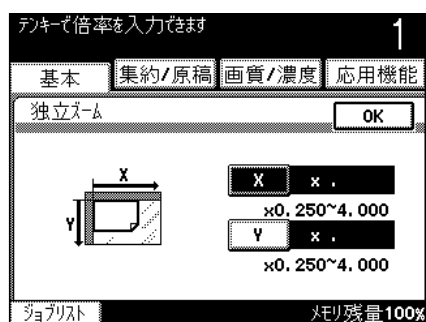
3

「独立ズーム」を押します。



4

[X] を押し、テンキーで X 辺の倍率を設定します。(× 0.250 ~ × 4.000)

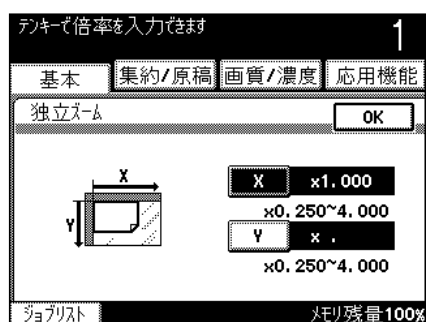


詳しく説明します

入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

5

[Y] を押し、テンキーで Y 辺の倍率を設定します。(× 0.250 ~ × 4.000)



6

[OK] を押します。

2.7.7 登録倍率から選択する

登録されているコピー倍率を、必要に応じて呼出し設定します。
また、登録されているコピー倍率を変更することもできます。

- 1 基本設定画面の「倍率」を押します。

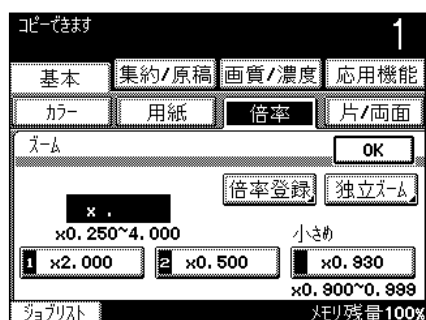


倍率画面が表示されます。

- 2 「ズーム」を押します。



- 3 「1」または「2」を押し、倍率を選択します。



- 4 「OK」を押します。



登録倍率には、目的の倍率を登録することができます。倍率の登録のしかたについては、「[目的の倍率を登録する](#)」(p. 2-26) をご覧ください。



- ・出荷時設定では、「等倍」が選択されています。
- ・「」を押すと拡大側へ、
「」を押すと縮小側へ
× 0.001 単位で倍率が設定できます。

2.7.8 目的の倍率を登録する

よく使用する倍率を2件と小さめ倍率を登録できます。

1

基本設定画面の「倍率」を押します。





倍率画面が表示されます。

2

「ズーム」を押します。

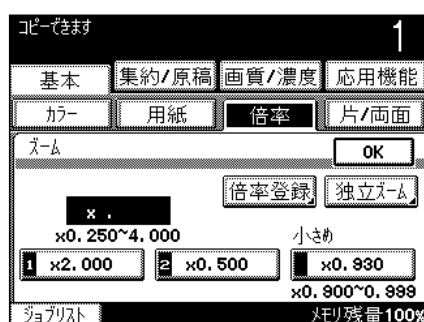


詳しく説明します

[[× 0.001 単位で倍率が設定できます。

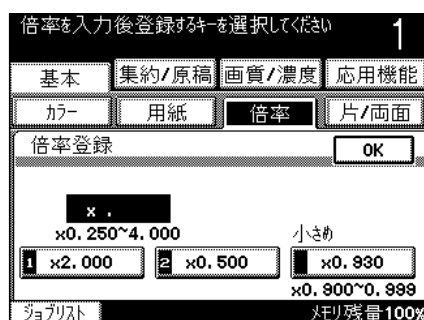
3

「倍率登録」を押します。



4

テンキーで目的の倍率を入力します。(× 0.250 ~ × 4.000)



詳しく説明します

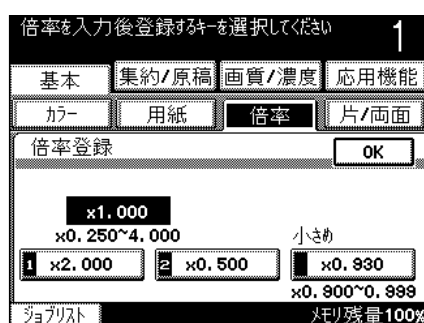
入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

5

登録するいずれかのキー [1]、[2]、または [小さめ] を押します。



詳しく説明します

【小さめ】の倍率を登録する場合は、× 0.900 ~ × 0.999 の範囲の中から目的の倍率を入力してください。

ひとこと

- ・登録倍率にはあらかじめ、× 2.000、× 0.500 が登録されています。選択されたキーに登録されていた倍率は、新たに入力した倍率に上書きされます。
- ・いずれの登録倍率のキーも押さずに【OK】を押すと設定は変更されません。

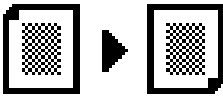
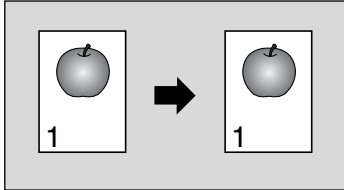
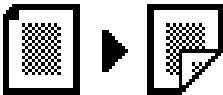
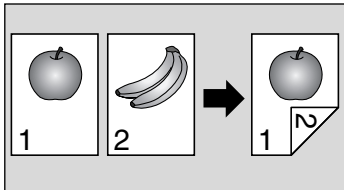
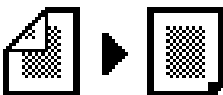
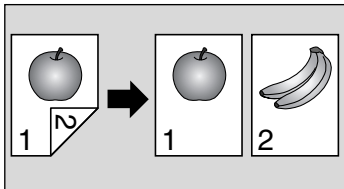
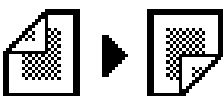
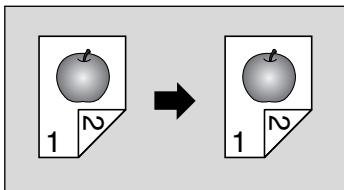
入力した倍率が登録されます。

6

【OK】を2回押します。

2.8 片面 / 両面を選ぶ

片面 / 両面には以下の 4 つの設定があります。

片面 / 両面	説明
片面＞片面 	片面原稿を用紙の片面にコピーします。 
片面＞両面 	2 枚の片面原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーします。 
両面＞片面 	両面原稿を 2 枚の用紙の片面にコピーします。 
両面＞両面 	両面原稿を用紙の両面にコピーします。 

ここでは、片面 / 両面の設定のしかたについて説明します。

ひとこと

- ・ [片面＞両面] はオプションの両面ユニットを装着している場合に選択できます。
- ・ [両面＞片面] はオプションの ADF を装着している場合に選択できます。
- ・ [両面＞両面] はオプションの両面ユニットと ADF を装着している場合に選択できます。

2.8.1 片面コピーを選択する

1

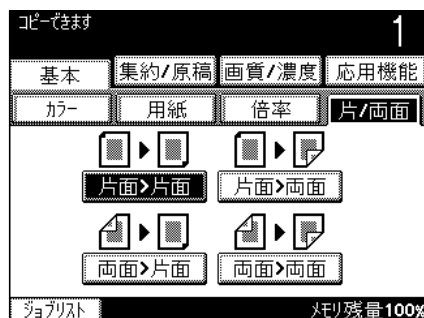
基本設定画面の「片面 / 両面」を押します。



片面 / 両面画面が表示されます。

2

「片面＞片面」、または「両面＞片面」を押します。



ひとこと

出荷時設定では、「片面＞片面」が設定されています。

ひとこと

「両面＞片面」を設定した場合、原稿のとり代位置を設定してください。原稿のとり代位置を設定していない場合、目的のコピーにならないことがあります。原稿のとり代については、「[とり代を設定する（原稿のとり代）](#)」(p. 2-13) をご覧ください。

2.8.2 両面コピーを選択する

1

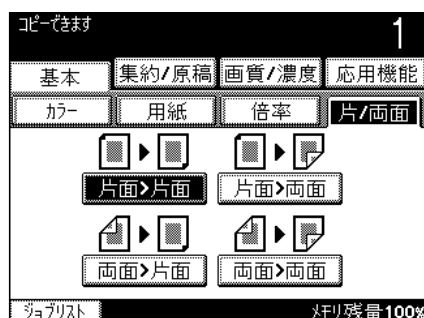
基本設定画面の「片面 / 両面」を押します。



片面 / 両面画面が表示されます。

2

「片面＞両面」、または「両面＞両面」を押します。



ひとこと

出荷時設定では、「片面＞片面」が設定されています。

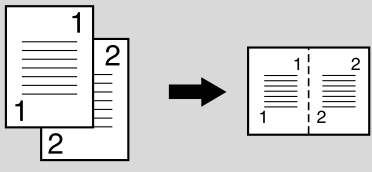
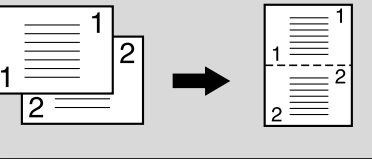
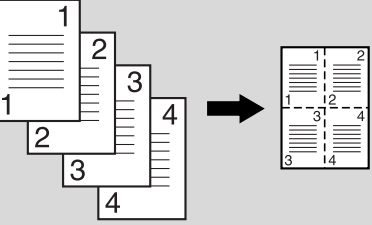
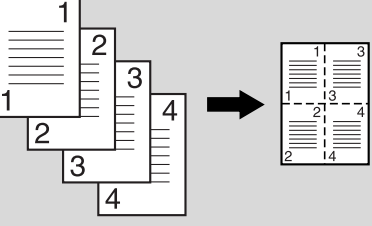
ひとこと

・「片面＞両面」を設定した場合、原稿のと同じ代位置を設定してください。原稿のと同じ代位置を設定していない場合、目的のコピーにならないことがあります。原稿のと同じ代については、「[同じ代を設定する（原稿のと同じ代）](#)」(p. 2-13) をごらんください。

2.9 集約コピーを選ぶ

複数枚（2 枚、4 枚）の原稿画像を、1 枚の用紙に集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

集約コピーには以下の 2 つの設定があります。

項目	説明
2 in 1	<p>2 枚の原稿画像を 1 枚の用紙に印刷します。</p> <div data-bbox="453 421 874 837"> <p>原稿が縦向きの場合</p>  <p>原稿が横向きの場合</p>  </div>
4 in 1	<p>4 枚の原稿画像を 1 枚の用紙に印刷します。原稿の集約順（ページ並び）を指定できます。</p> <p><横順></p> <div data-bbox="453 1070 874 1397">  </div> <p><縦順></p> <div data-bbox="453 1608 874 1935">  </div>

ここでは、集約コピーの設定のしかたについて説明します。

詳しく説明します

集約機能を選択すると原稿と用紙のサイズに基づいた適切な倍率を設定してコピーします。（お勧め倍率）
設定された倍率は、手動で変更することができます。

ひとこと

- ・出荷時設定では、「お勧め倍率」が設定されています。
- ・ユーザー設定の「集約倍率」でお勧め倍率を使用しないように設定できます。その場合、倍率は手動で設定してください。詳しくは、「[コピー設定](#)」(p. 11-6) をご覧ください。

2.9.1 複数枚の原稿を1枚の用紙に収める(集約)

1

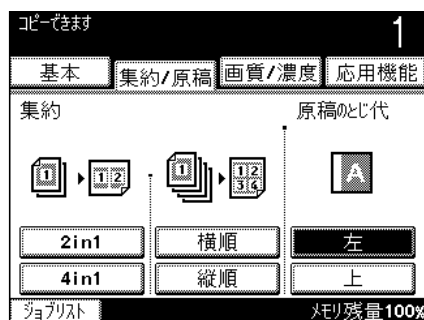
基本設定画面の「集約 / 原稿」を押します。



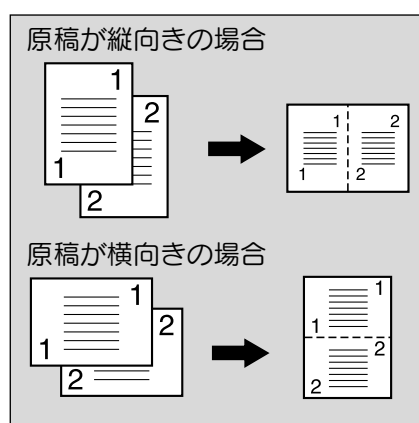
集約 / 原稿画面が表示されます。

2

目的の集約枚数を選択します。



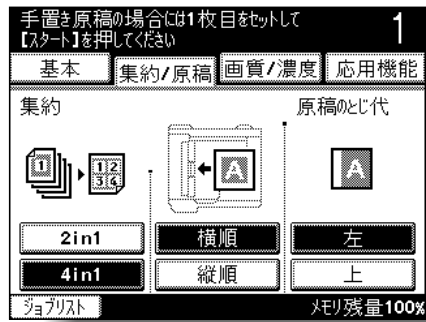
○ 「2in1」を選択した場合、集約順は以下のようになります。



詳しく説明します

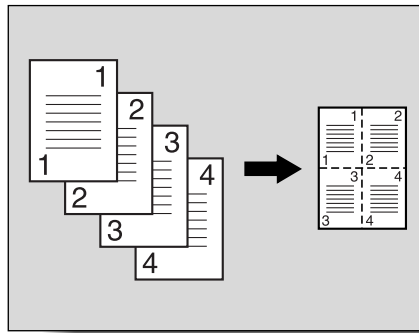
- ・ 集約する原稿の向きおよび枚数に合わせて、機能と集約順を選択します。
「4in1」を選択した場合、「縦順」または「横順」の集約順を画面上で選択できます。
- ・ 集約を設定した場合、原稿のと同じ代位置を設定してください。
原稿のと同じ代位置を設定していない場合、目的の集約順にならないことがあります。
原稿のと同じ代については、「[同じ代を設定する\(原稿のと同じ代\)](#)」(p. 2-13)をごらんください。
- ・ 集約の設定を解除するときは、選択した「2in1」または「4in1」を再度押します。

- [4in1] を選択した場合は、[横順] または [縦順] を押し、原稿の集約順を指定します。

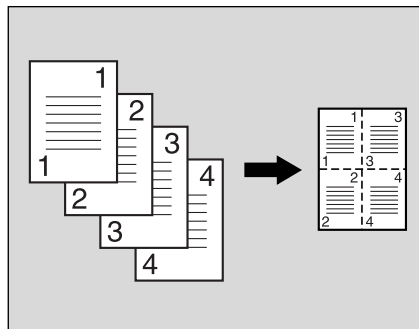


- [4in1] を選択した場合の [横順]、[縦順] の集約順は以下のようになります。

<横順>



<縦順>








2.10 原稿の画質を選ぶ

2.10.1 小さな文字や写真の入った原稿をセットする（原稿画質）

原稿の文字や画像のタイプに合わせて機能を選択し、よりよいコピー画質に調整します。

原稿画質には以下の設定があります。

アイコン	説明
 文字	文字のみで構成された原稿をコピーするのに適した機能です。 コピーされた文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい画像が得られます。
 写真	パンフレットやカタログなどの印刷された原稿をコピーするのに適した機能です。 通常の機能では再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を、可能な限り再現します。
 文字写真	文字と写真が混在するパンフレットやカタログなどの印刷された原稿をコピーするのに適した機能です。
 地図	地図などの下地色付原稿や鉛筆、色細線で描かれた原稿をコピーするのに適した機能です。シャープなコピー画像が得られます。
 薄文字	文字のみで構成された原稿で、原稿の濃度が薄い文字（鉛筆原稿など）をコピーするのに適した機能です。 コピーされた文字の濃度を濃く再現し、読みやすい文字が得られます。

ここでは、原稿画質の設定のしかたについて説明します。

ひとこと

出荷時設定では、「文字写真」が設定されています。

2.10.2 原稿画質の設定のしかた

1

原稿をセットします。

2

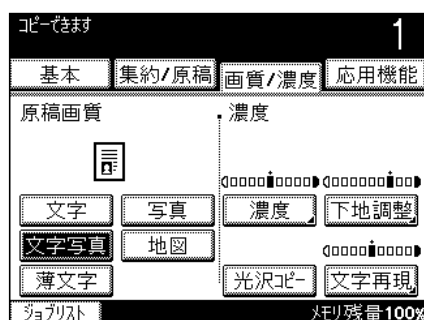
基本設定画面の「画質 / 濃度」を押します。



画質 / 濃度画面が表示されます。

3

セットした原稿に合った原稿画質機能を選択します。



- 文字のみの原稿の場合、[文字] を押します。
- 写真原稿の場合、[写真] を押します。
- 文字や写真の混在した原稿の場合、[文字写真] を押します。
- 地図原稿の場合、[地図] を押します。
- 文字の薄い原稿を濃くしたい場合、[薄文字] を押します。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

2.11 濃度を選ぶ

原稿の状態に合わせて、コピー濃度や下地濃度を調整します。また画像に光沢をつけたり、文字の再現レベルを調整します。

濃度調整には以下の設定があります。

機能名	説明
濃度	印刷画像濃度を 9 段階で調整できます。 [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。 [ふつう] を押すと、9 段階の中央に設定されます。
下地調整	下地色付原稿の下地色の濃度を 9 段階で調整できます。 [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ下地濃度が増減します。 [ふつう] を押すと、うすく側から 7 つ目の位置に設定されます。 [自動] を押すと、下地色の濃度を自動的に判断し、最適な下地濃度で印刷します。
文字再現	原稿の写真（図やグラフなど）と文字が重なっている場合（背景文字）などに、文字の再現レベルを 9 段階で調整できます。 [背景優先]、[文字優先] を押すごとに、1 段階ずつ文字再現レベルが増減します。 背景上の文字を強調したい場合は、[文字優先] を押し + 側に調整します。 背景上の文字を強調したくない場合は、[背景優先] を押し - 側に調整します。 [標準] を押すと、9 段階の中央に設定されます。
光沢コピー	画像に光沢をつけて印刷します。

ここでは、濃度調整の設定のしかたについて説明します。

2.11.1 印刷濃度を調整する（濃度）

1

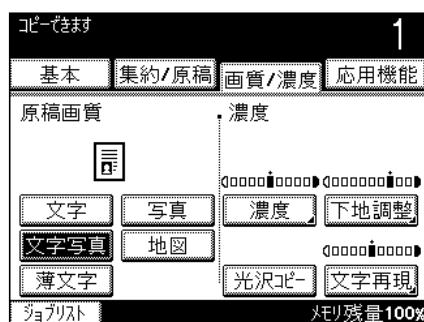
基本設定画面の「画質 / 濃度」を押します。



画質 / 濃度画面が表示されます。

2

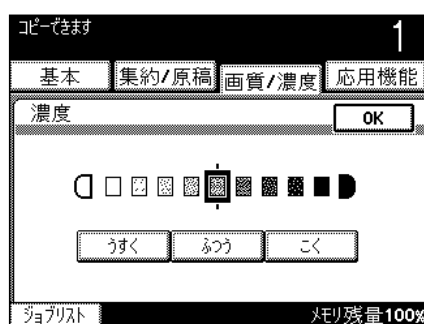
「濃度」を押します。



濃度調整画面が表示されます。

3

目的の濃度に調整します。



4

「OK」を押します。

詳しく説明します

- ・「うすく」、「こく」を押すごとに、1段階ずつ濃度が増減します。
- ・「ふつう」を押すと、中央（標準値）に戻ります。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

2.11.2 下地濃度を調整する（下地調整）

1

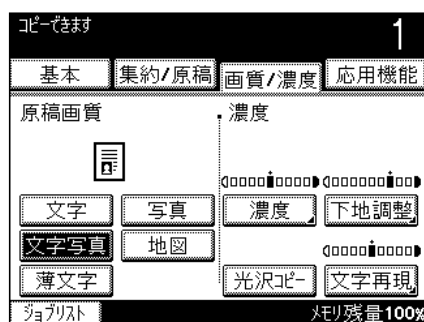
基本設定画面の「画質 / 濃度」を押します。



画質 / 濃度画面が表示されます。

2

「下地調整」を押します。



下地調整画面が表示されます。

3

目的の下地濃度に調整します。



4

「OK」を押します。

詳しく説明します

- ・「うすく」、「こく」を押すごとに、1段階ずつ濃度が増減します。
- ・「ふつ」を押すと、右から3番目（標準値）に戻ります。
- ・「自動」を押すと、下地色の濃度を自動的に判断し、最適な下地濃度で印刷します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

2.11.3 印刷画像に光沢をつける（光沢コピー）

1

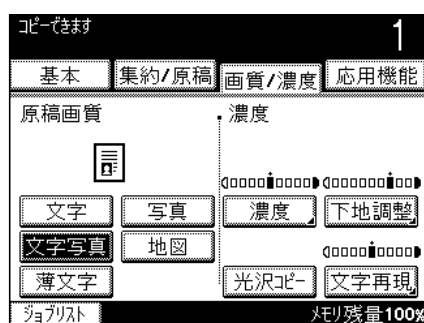
基本設定画面の「画質 / 濃度」を押します。



画質 / 濃度画面が表示されます。

2

「光沢コピー」を押します。



ひとこと

- ・ 光沢コピー機能を解除するときは、再度「光沢コピー」を押します。
- ・ 【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

2.11.4 文字の再現レベルを調整する

1

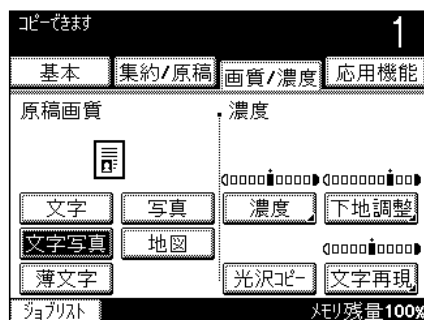
基本設定画面の「画質 / 濃度」を押します。



画質 / 濃度画面が表示されます。

2

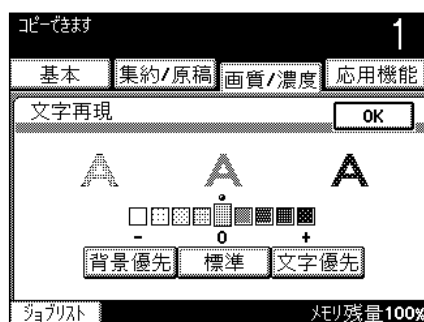
「文字再現」を押します。



文字再現レベル調整画面が表示されます。

3

目的の文字再現レベルに調整します。



4

「OK」を押します。

ひとこと

- ・出荷時設定では、「0」が設定されています。
- ・【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

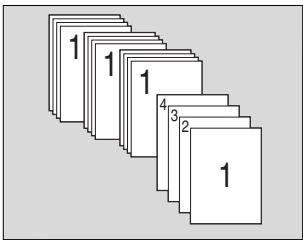
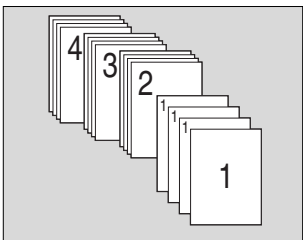
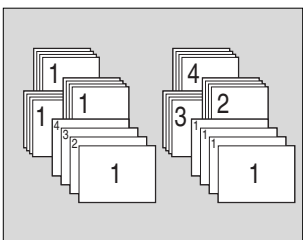
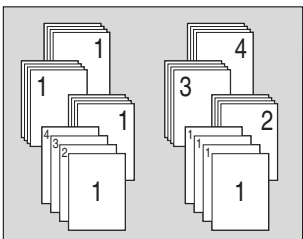
詳しく説明します

「背景優先」、「文字優先」を押すごとに、1段階ずつ濃度が増減します。

「標準」を押すと、9段階の中央「0」に設定されます。

2.12 仕上り機能を選ぶ

コピーを排紙トレイに排紙するときの仕分け方法や仕上りの状態を設定できます。

項目	説明
ソート	<p>複数枚の原稿を部数単位に分けて出力します。</p> 
グループ	<p>複数枚の原稿をページ単位に分けて出力します。</p> 
仕分け	<p><セパレータを装着していない場合> 仕分け機能の条件を満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けして排紙します。</p> 
	<p><セパレータ装着時> コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。</p> 

ここでは、仕上り機能の設定のしかたについて説明します。

原則

仕分け機能のシフト排紙はオプションのセパレータを装着した場合に使用できる機能です。

詳しく説明します

- ・ ADF に原稿をセットする場合、原稿を読み込みながら、指定した設定方法で出力します。その場合、ソートまたはグループの設定は関係ありません。
- ・ 原稿ガラスに原稿をセットする場合、ソートまたはグループの設定により、以下のように動作します。
 - <ソートを設定した場合>
すべての原稿を読み込み終えたあと、設定部数単位に分けて出力をします。原稿のセット方法について詳しくは、「[複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする](#)」(p. 2-9) をごらんください。
 - <グループを設定した場合>
原稿を 1 枚読むごとに、設定部数分の出力をします。

ひとこと

出荷時設定では、グループが設定されています。

詳しく説明します

仕分け機能は、セパレータが装着されていない場合、以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けして排紙します。

- ・ 印刷される用紙が 2 枚以上で、かつ 2 部以上指定のコピーである
- ・ 手差しトレイを含む 2 段以上のトレイに、サイズと種類の同じ用紙を □ 方向と ▢ 方向にセットする
- ・ 用紙機能で自動用紙を設定する
- ・ 混載原稿を設定しない
- ・ A4/A5/B5/B6/16K の用紙を使用する（使用できる用紙はトレイにより異なる）

セパレータ装着時にコピーの完了した用紙をシフトして排紙するには、管理者保守で排紙トレイの設定をトレイ 2 にしてください。

参照

セパレータ装着時の排紙トレイの設定については、「[<出力設定>](#)」(p. 11-14) をごらんください。

2.12.1 部数ごとに分けて排紙する（ソート）

1

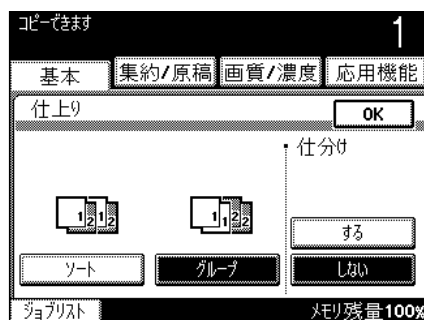
基本設定画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

2

「ソート」を押します。



- 部数ごとに仕分けして排紙したい場合は、「仕分け」の「する」を押します。

3



「OK」を押します。



基本設定画面に戻ります。

ひとこと

出荷時設定では、「グループ」が設定されています。

詳しく説明します

セパレータを装着していない状態で「仕分け」の「する」を選択した場合、以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を  方向と  方向の交互に仕分けして排紙します。

- ・印刷される用紙が2枚以上で、かつ2部以上指定のコピーである
- ・手差しトレイを含む2段以上のトレイに、サイズと種類の同じ用紙を  方向と  方向にセットする
- ・用紙機能で自動用紙を設定する
- ・混載原稿を設定しない
- ・A4/A5/B5/B6/16Kの用紙を使用する（使用できる用紙はトレイにより異なる）

セパレータを装着している状態で、排紙トレイをトレイ2に設定し、「仕分け」の「する」を選択した場合、コピーの完了した用紙をシフト（ずらして）して排紙します。排紙トレイの設定については、[「<出力設定>」](#) (p. 11-14) をご覧ください。

2.12.2 ページごとに分けて排紙する（グループ）

1

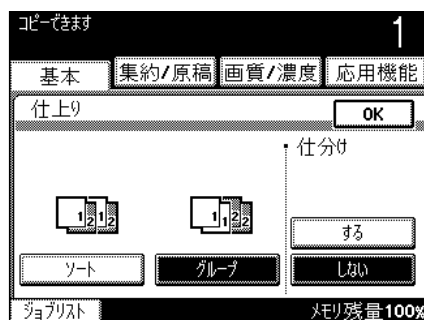
基本設定画面の「仕上り」を押します。



仕上り画面が表示されます。

2

「グループ」を押します。



○ ページごとに仕分けして排紙したい場合は、「仕分け」の「する」を押します。

3

「OK」を押します。

基本設定画面に戻ります。

ひとこと

出荷時設定では、「グループ」が設定されています。

詳しく説明します

セパレータを装着していない状態で「仕分け」の「する」を選択した場合、以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を□方向と■方向の交互に仕分けして排紙します。

- ・印刷される用紙が2枚以上で、かつ2部以上指定のコピーである
- ・手差しトレイを含む2段以上のトレイに、サイズと種類の同じ用紙を□方向と■方向にセットする
- ・用紙機能で自動用紙を設定する
- ・混載原稿を設定しない
- ・A4/A5/B5/B6/16Kの用紙を使用する（使用できる用紙はトレイにより異なる）

セパレータを装着している状態で排紙トレイをトレイ2に設定し、「仕分け」の「する」を選択した場合、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。排紙トレイの設定については、[「<出力設定>」](#) (p. 11-14) をご覧ください。

2.13 読み込み・印刷を中止する

原稿の読み込みや印刷の動作を中止したいときは、以下の手順にしたがってください。

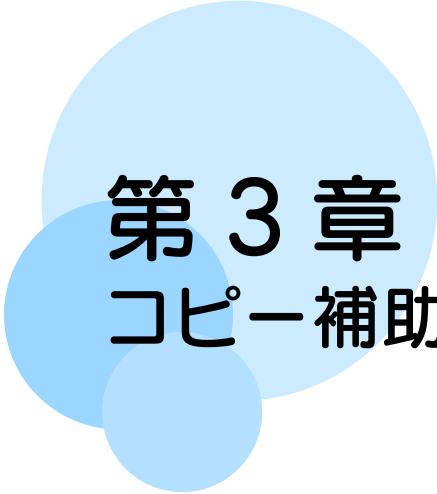
- ジョブの読み込み・印刷中に【ストップ】を押します。



読み込み・印刷を中止します。

ひとこと

- ・動作中のコピージョブは削除されます。
- ・ジョブリストからジョブを削除することもできます。ジョブの削除については、「[ジョブを削除する](#)」(p. 10-4) をご覧ください。



第 3 章

コピー補助機能

コピーするときに手助けになる機能について説明します。

3.1	コピー条件を確認する（設定内容）	3-2
3.2	割込んでコピーする（割込み）	3-4
3.3	コピー条件を登録する	3-5
3.4	登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼出し）	3-9
3.5	操作パネルの設定をする（ユニバーサル）	3-10

3.1 コピー条件を確認する（設定内容）

設定内容画面で、現在設定されているコピー条件の確認、変更ができます。

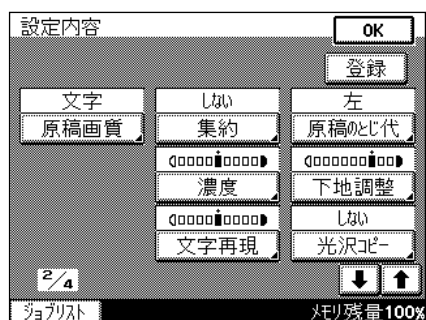
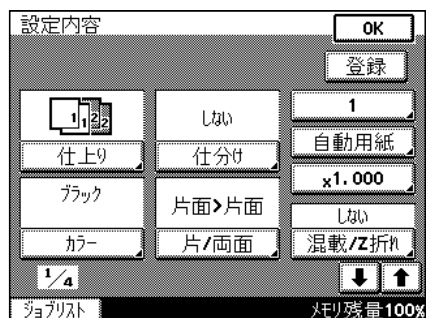
3.1.1 設定の確認のしかた

1

【設定内容】を押します。

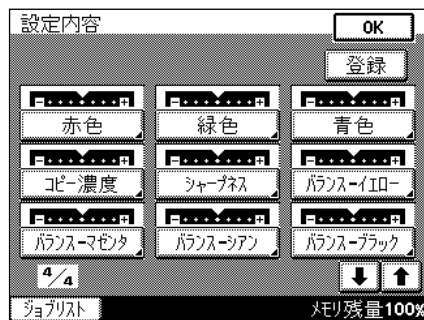
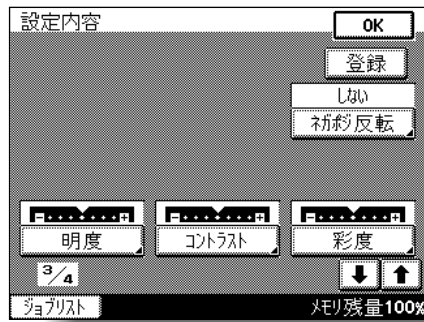


設定内容画面が表示されます。



詳しく説明します

設定内容画面は 4 画面あります。画面の左下に現在の画面番号が表示されます。[↓]、[↑] を押して目的の画面を表示させてください。



2

設定内容の確認が終了したら、[OK] または【設定内容】を押します。

基本設定画面に戻ります。

3.1.2 設定の変更のしかた

1

【設定内容】を押します。



設定内容画面が表示されます。

2

[↑] または [↓] を押して変更する機能のある画面を表示します。

3

変更する機能のキーを押します。

各機能の設定画面が表示されます。

4

各機能の設定方法にしたがい、変更を行ってください。

3.2 割込んでコピーする（割込み）

他のジョブの進行を中断し、一時的に異なるコピー条件でコピーできます。

急いでコピーをしたいときなどに便利です。

1

原稿をセットします。

2

【割込み】を押します。

- 現在のジョブが印刷中の場合は、「準備しています」と表示されます。



割込みランプが緑色に点灯し、印刷中のジョブは中断されます。

3

目的のコピー条件を設定します。

4

【スタート】を押します。

割込みコピーを開始します。

5

割込みジョブの印刷が終了したら、【割込み】を押します。

割込みランプが消灯し、割込みコピー設定が解除されます。
割込みコピー前のコピー条件が復帰します。

詳しく説明します

- ・ 原稿読み込み中は【割込み】を押すことができません。
- ・ 部門管理でログインしている場合は、割込みコピーを行うことができません。
- ・ 【割込み】を押すと、コピー条件は初期設定に戻ります。

参照

原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

ひとこと

割込みコピーを解除すると、割込み前に中断したジョブの印刷が自動的に再開されます。

3.3 コピー条件を登録する

よく使う各種コピー設定条件の組合わせを、初期設定またはプログラムとして本機に登録し、簡単に呼出すことができます。

3.3.1 初期設定を登録する

1

タッチパネルのキーおよび操作パネルのキーを使って、初期設定に登録するコピー条件を設定します。

2

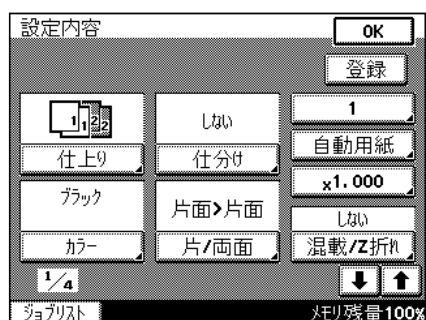
【設定内容】を押します。



設定内容画面が表示されます。

3

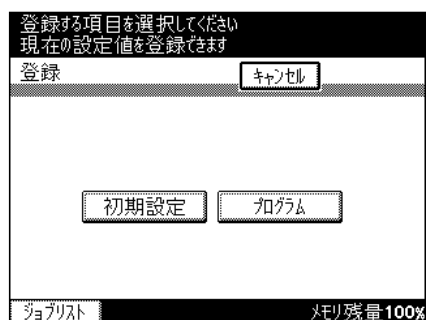
【登録】を押します。



登録画面が表示されます。

4

【初期設定】を押します。



確認画面が表示されます。

ひとこと

【設定内容】を押すと、現在設定されているコピー条件を確認できます。詳しくは、「[コピー条件を確認する（設定内容）](#)」(p. 3-2) をご覧ください。

詳しく説明します

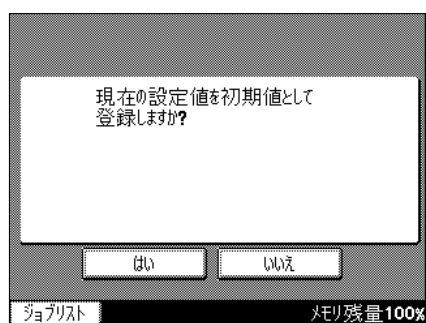
以降の操作途中に登録を中断する場合は、【リセット】を押します。いずれの画面が表示されていても、登録操作は中断されます。

ひとこと

【プログラム】を押すと、現在設定されているコピー条件をプログラムに登録できます。詳しくは、「[プログラムを登録する](#)」(p. 3-6) をご覧ください。

5

〔はい〕を押します。



コピー条件が初期設定として登録されます。

6

〔OK〕を押します。

基本設定画面に戻ります。

○【設定内容】を押しても基本設定画面に戻ります。

3.3.2 プログラムを登録する

1

タッチパネルのキーおよび操作パネルのキーを使って、プログラムに登録するコピー条件を設定します。

2

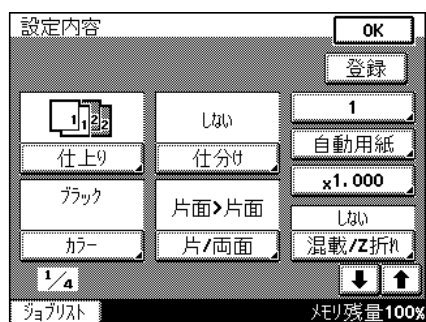
【設定内容】を押します。



設定内容画面が表示されます。

3

〔登録〕を押します。



登録画面が表示されます。

ひとこと

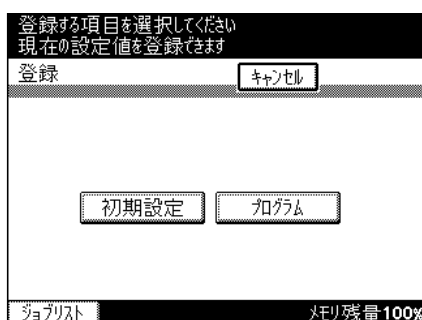
【設定内容】を押すと、現在設定されているコピー条件を確認できます。詳しくは、「[コピー条件を確認する（設定内容）](#)」(p. 3-2) をご覧ください。

詳しく説明します

- ・コピープログラムは最大で 10 件まで登録できます。
 - ・以降の操作途中に登録を中断する場合は、【リセット】を押します。
- いずれの画面が表示されていても、登録操作は中断されます。

4

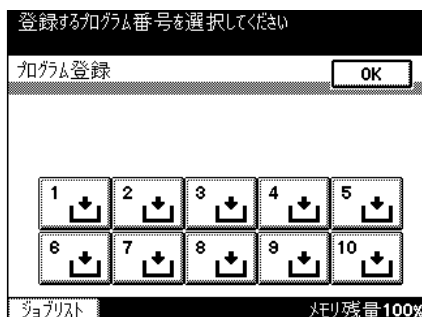
「プログラム」を押します。



プログラム登録画面が表示されます。

5

画面に表示されているコピープログラムキーの中から、コピー条件を登録したいキーを押します。



選択したキーにコピー条件が登録されます。

6

「OK」を2回押します。

基本設定画面に戻ります。

○【設定内容】を押しても基本設定画面に戻ります。

3.3.3 コピープログラムの削除のしかた

1

基本設定画面の「プログラム呼出し」を押します。



コピープログラム呼出し画面が表示されます。

ひとこと

「初期設定」を押すと、現在設定されているコピー条件を初期設定に登録できます。詳しくは、「[初期設定を登録する](#)」(p. 3-5) をご覧ください。

詳しく説明します

- ・コピープログラムが10件登録されている場合は、不要なコピープログラムを削除するか、上書きして登録してください。コピープログラムの削除については、「[コピープログラムの削除のしかた](#)」(p. 3-7) をご覧ください。
- ・すでにプログラム登録されているキーを押すと、上書きを確認するメッセージが表示されます。上書きする場合は「はい」を押します。
- ・コピープログラムの内容は、変更できません。

2

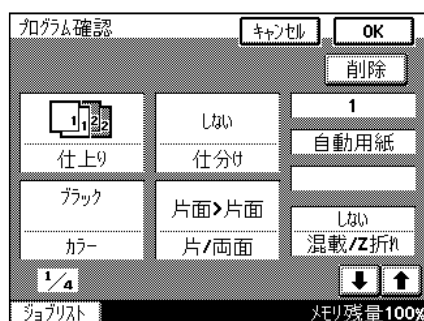
削除したいコピープログラムキーを押します。



プログラム確認画面が表示されます。

3

〔削除〕を押します。



削除確認画面が表示されます。

4

〔はい〕を押します。



登録されていたコピー条件は削除され、コピープログラム呼出し画面に戻ります。

5

〔OK〕を押します。

基本設定画面に戻ります。

3.4 登録したコピー条件でコピーする (コピープログラム呼出し)

登録したコピー条件を呼出しコピーします。

1

原稿をセットします。

2

基本設定画面の「プログラム呼出し」を押します。



コピープログラム呼出し画面が表示されます。

3

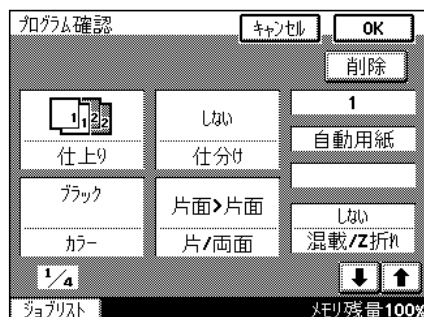
呼出したいコピー条件が登録されているコピープログラムキーを押します。



プログラム確認画面が表示されます。

4

選択したコピープログラムキーに登録されているコピー条件を確認し、「OK」を押します。



登録されていたコピー条件を呼出して設定し、基本設定画面に戻ります。

5

【スタート】を押します。

呼出されたコピー条件でコピーを開始します。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。



詳しく説明します

- ・コピープログラムの呼出しを中断する場合は、【リセット】を押します。
- ・コピープログラムキーを選択しないで【OK】を押すと、コピープログラムを呼出さずに基本設定画面に戻ります。



詳しく説明します

- ・プログラム確認画面は4画面あります。画面左下に現在の画面番号が表示されます。
- ・[↑]を押すと1つ前の画面に、[↓]を押すと次の画面に切り替わります。
- ・プログラム確認画面では、設定変更できません。

3.5 操作パネルの設定をする（ユニバーサル）

操作パネルに関する設定を変更する方法について説明します。

3.5.1 ユニバーサル画面を表示させる

1

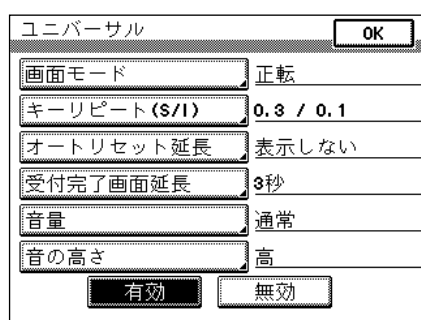
【ユニバーサル】を押します。



【ユニバーサル】が点灯し、ユニバーサル画面が表示されます。

2

設定を変更したいユニバーサル機能のキーを押します。



選択したキーの設定画面が表示されます。

詳しく説明します

- ・ユニバーサル設定画面から基本設定画面に戻りたい場合は、【ユニバーサル】、【リセット】、【OK】、【有効】、【無効】のいずれかを押します。ユニバーサルを有効にする場合は【OK】、【有効】、【ユニバーサル】を押します。
- ・ユニバーサルを有効にすると【ユニバーサル】が点灯します。
- ・一度ユニバーサルの各機能を設定しておく、次に使うとき【ユニバーサル】を押すと、設定されたユニバーサルの機能が有効になります。
- ・ユニバーサルを無効にしたい場合は、【ユニバーサル】を押したあと、【無効】または【リセット】を押します。

3.5.2 画面モードを設定する

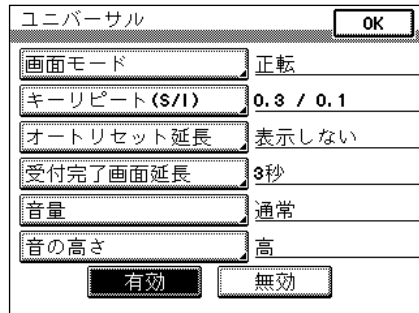
タッチパネルの表示を白黒反転するかどうかを設定します。

1

ユニバーサル画面を表示させます。

2

〔画面モード〕を押します。



画面モード画面が表示されます。

3

表示方法を選択します。



4

〔OK〕を2回押します。
基本設定画面に戻ります。



ユニバーサル画面の表示のしかたについては、「[ユニバーサル画面を表示させる](#)」(p. 3-10)をごらんください。



詳しく説明します

〔反転〕を押すと、タッチパネルの表示が反転し、〔正転〕を押すと、元の表示に戻ります。

3.5.3 キーリピートを設定する

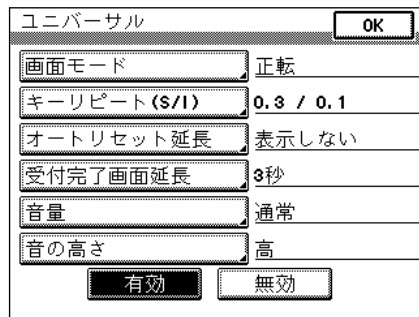
タッチパネル内の数値設定の [], [] を押してから数値が変わりはじめるまでの時間（開始までの時間）と次の数値に変わるまでの時間（間隔時間）を設定できます。

1

ユニバーサル画面を表示させます。



2

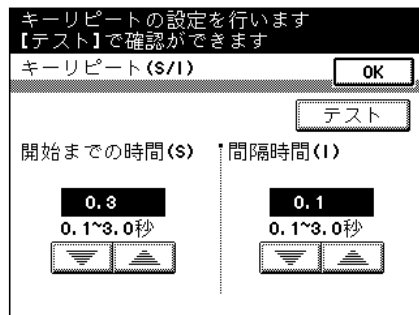
[キーリピート (S/I)] を押します。



キーリピート (S/I) 画面が表示されます。

3

[], [] を押して、キーリピートの開始までの時間と間隔時間を設定します。



4

[OK] を 2 回押します。
基本設定画面に戻ります。



ユニバーサル画面の表示のしかたについては、「[ユニバーサル画面を表示させる](#)」(p. 3-10) をご覧ください。

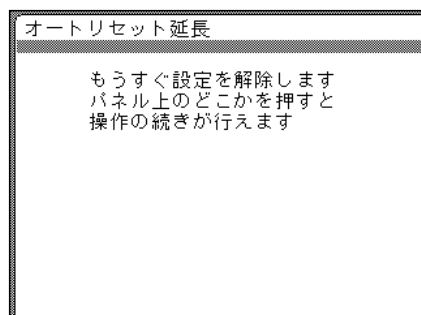
ひとこと

- ・ [テスト] を押し続けると、キーリピートの設定を確認できます。
- ・ 出荷時設定では、キーリピート開始までの時間は 0.3 秒、間隔時間は 0.1 秒が設定されています。

3.5.4 オートリセット確認の表示を設定する

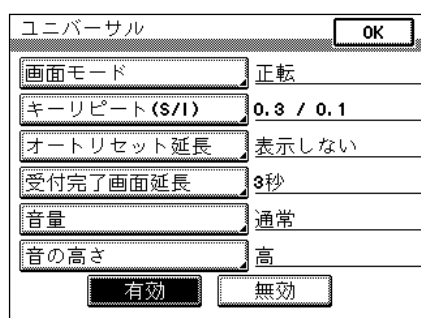
本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、オートリセット機能がはたらいってタッチパネルの表示は初期設定に戻ります。初期設定に戻る直前に表示される確認画面の表示時間を設定できます。

＜オートリセット延長確認画面＞



1 ユニバーサル画面を表示させます。

2 [オートリセット延長] を押します。



オートリセット延長画面が表示されます。

3 オートリセット確認画面の表示時間を選択します。



4 [OK] を2回押します。
基本設定画面に戻ります。



- ・オートリセット機能については、「＜パワーセーブ設定＞」(p. 11-14) をごらんください。
- ・ユニバーサル画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル画面を表示させる」(p. 3-10) をごらんください。



[30 秒]、[60 秒]、[90 秒]、[120 秒]、[表示しない] から選択します。[表示しない] を選択した場合、オートリセット確認画面は表示されずに初期設定へ戻ります。

ひとこと

- ・オートリセット延長確認画面を解除したあとに下記の時間が経過すると、再度オートリセット延長確認画面が表示されます。オートリセットの設定時間が5分以下の場合：5分
オートリセットの設定時間が5分以上の場合：オートリセット設定時間
- ・出荷時設定では、[表示しない] が設定されています。

3.5.5 受付完了画面の表示を設定する

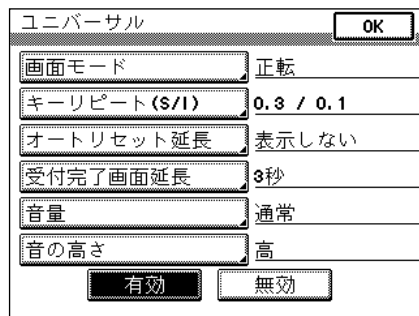
コピー完了後の受付番号、またはジョブ番号を確認するための受付完了画面の表示時間を設定できます。

<受付完了画面>



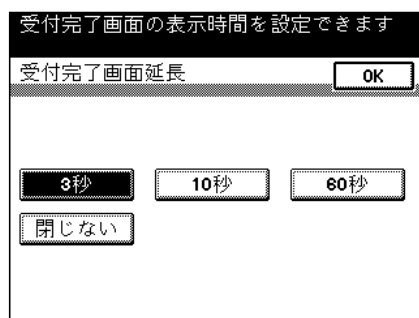
1 ユニバーサル画面を表示させます。

2 [受付完了画面延長] を押します。



受付完了画面延長画面が表示されます。

3 受付完了画面の表示時間を選択します。



4 [OK] を2回押します。
基本設定画面に戻ります。



ユニバーサル画面の表示のしかたについては、「[ユニバーサル画面を表示させる](#)」(p. 3-10) をご覧ください。



[3 秒]、[10 秒]、[60 秒]、[閉じない] から選択します。[閉じない] を選択した場合、受付完了画面で [OK] を押すまで受付完了画面が表示されます。

ひとこと

出荷時設定では、[3 秒] が設定されています。

3.5.6 音量を設定する

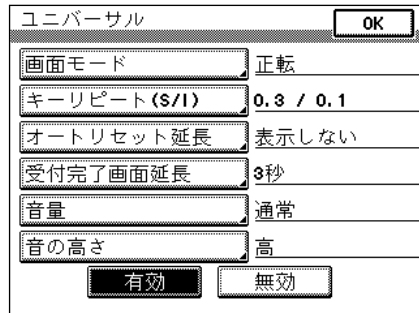
タッチパネルのキーを押したときの操作音の音量を設定できます。

1

ユニバーサル画面を表示させます。

2

〔音量〕を押します。



音量画面が表示されます。

3

音量を選択します。



4

〔OK〕を2回押します。
基本設定画面に戻ります。



ユニバーサル画面の表示のしかたについては、「[ユニバーサル画面を表示させる](#)」(p. 3-10)をごらんください。

ひとこと

- ・出荷時設定では、〔通常〕が設定されています。
- ・キーの操作音、アラーム音などの音量は設定メニューで変更できます。詳しくは、「[ユーザ保守を選択する](#)」(p. 11-10)をごらんください。

3.5.7 音の高さを設定する

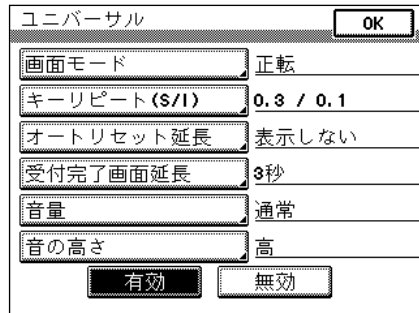
タッチパネルのキーを押したときの操作音の音の高さを設定できます。

1

ユニバーサル画面を表示させます。

2

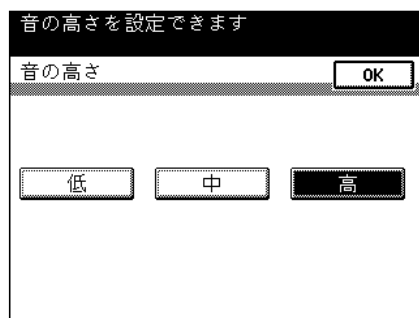
「音の高さ」を押します。



音の高さ画面が表示されます。

3

音の高さを選択します。



4

「OK」を2回押します。
基本設定画面に戻ります。



ユニバーサル画面の表示のしかたについては、「[ユニバーサル画面を表示させる](#)」(p. 3-10) をご覧ください。

ひとこと

出荷時設定では、「高」が設定されています。



第 4 章

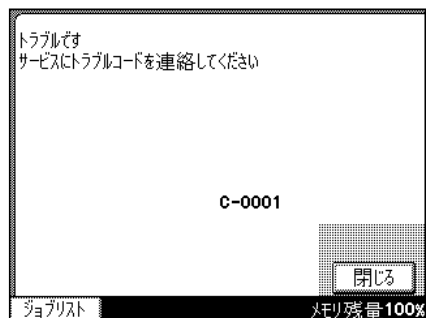
トラブルの処理

トラブルの処理方法について説明します。

4.1	「トラブルです」が表示されたら（サービスコール）	4-2
4.2	「紙づまりです」と表示されたら	4-3
4.3	「用紙を補給してください」と表示されたら	4-31
4.4	「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら	4-32
4.5	「…の交換時期です」と表示されたら	4-33
4.6	「…交換してください」と表示されたら	4-34
4.7	「現在ネットワーク登録中です すべての操作ができません しばらくお待ちください」と表示されたら	4-35
4.8	簡単なトラブルの処理	4-36
4.9	おもなメッセージと処理のしかた	4-38

4.1 「トラブルです」が表示されたら（サービスコール）

お客様では処理できないトラブルが起こったとき、「トラブルです サービスにトラブルコードを連絡してください」というメッセージが表示されます。（サービスコール画面）



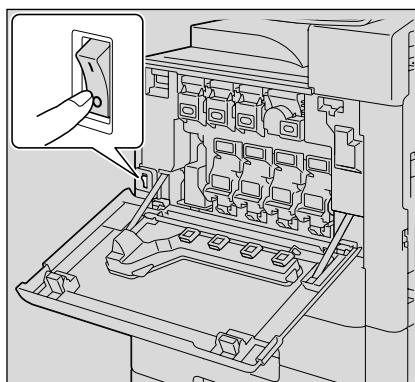
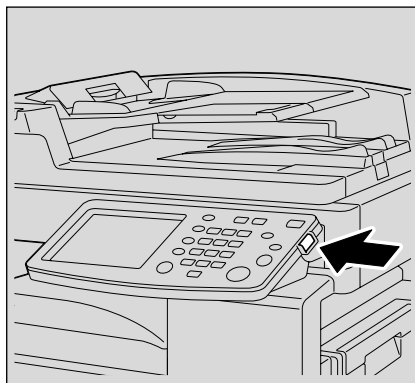
故障の原因になるおそれがありますので、サービスコール画面が表示されたら、速やかに左記の手順にしたがってサービス実施店にご連絡ください。

1

サービスコール画面のトラブルコード（例：C-0001）を書留めてください。

2

【副電源スイッチ】と【主電源スイッチ】を OFF にします。



3

本体の電源プラグをコンセントから抜きます。

4

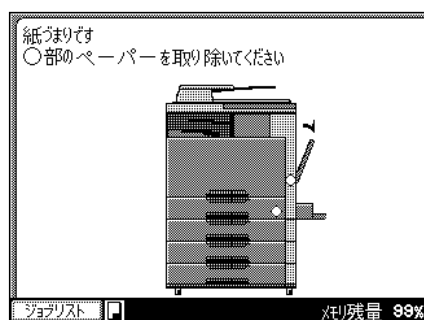
サービス実施店に連絡し、書留めたトラブルコードをお知らせください。

4.2 「紙づまりです」と表示されたら

印刷中に紙づまりが発生すると、「紙づまりです」というメッセージと、紙づまりの箇所が画面上に表示されます。（紙づまり位置表示画面）
このとき、紙づまりが適切に処理されるまでは、印刷ができなくなっています。

4.2.1 表示と紙づまり箇所

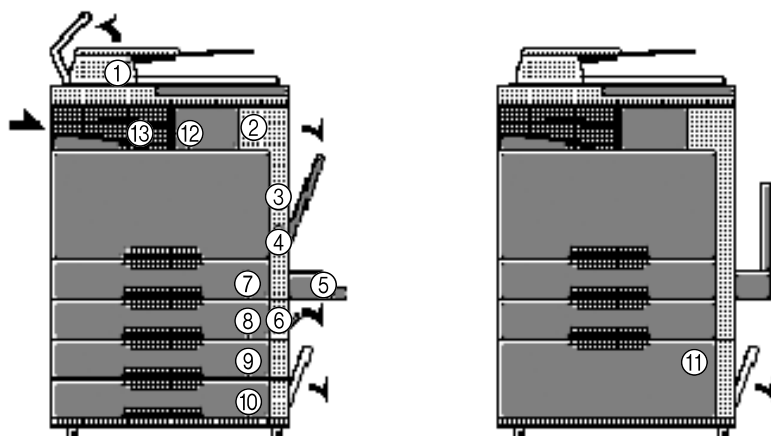
“X” マークの箇所が紙づまり発生位置です。また、“O” マークが点灯している箇所は、紙づまりの可能性のある位置ですので確認してください。
例：トレイ 1 で紙づまりが発生した場合のメッセージ



ひとこと

紙づまりが発生した箇所により紙づまり処理手順が異なります。紙づまり位置表示を見て、それぞれの説明にしたがって用紙を取除いてください。

4.2.2 紙づまり位置表示



ひとこと

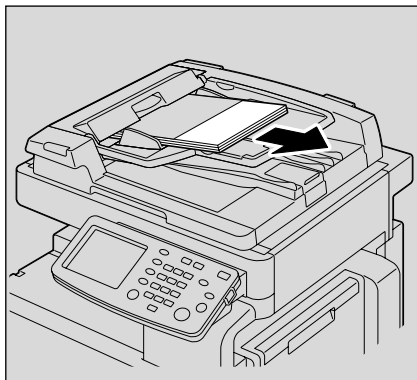
紙づまり位置表示画面で表示される図は、装着しているオプションにより異なります。

No	説明
1	ADF での紙づまり (p. 4-4)
2	定着部での紙づまり (p. 4-7)
3	両面ユニットでの紙づまり (p. 4-13)
4	本体内部での紙づまり (p. 4-10)
5	手差しトレイでの紙づまり (p. 4-15)
6	用紙縦搬送部での紙づまり (p. 4-17)
7	トレイ 1 での紙づまり (p. 4-20)
8	トレイ 2 での紙づまり (p. 4-23)
9	トレイ 3 での紙づまり (p. 4-25)
10	トレイ 4 での紙づまり (p. 4-25)
11	LCT での紙づまり (p. 4-26)
12	セパレータでの紙づまり (p. 4-29)
13	セパレータでの紙づまり (p. 4-29)

4.2.3 ADFでの紙づまり処理のしかた

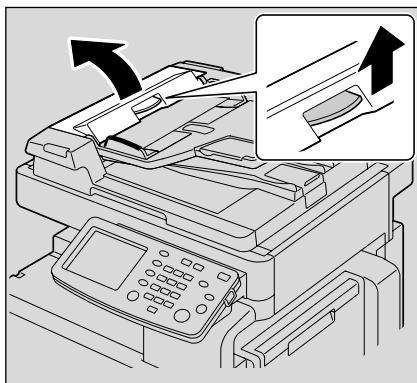
1

原稿給紙トレイに残っている原稿を取除きます。



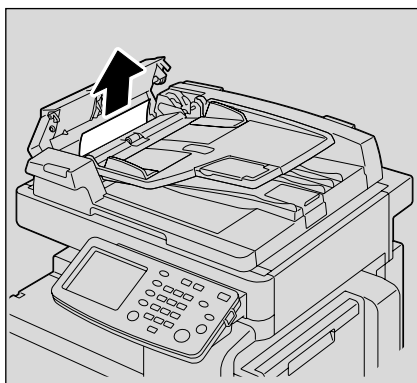
2

左カバー解除レバーを引き、左カバーを開きます。



3

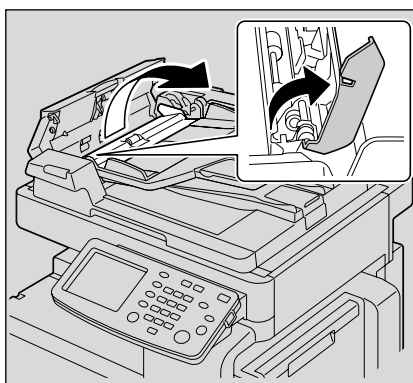
つまっている原稿をゆっくり取除きます。



紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 4-3)をごらんください。

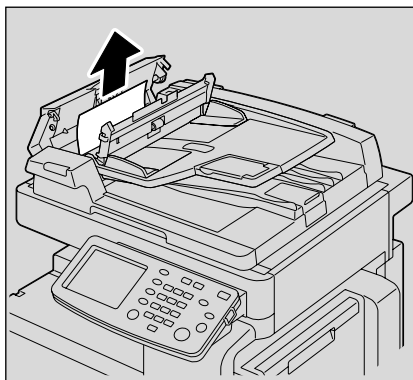
4

原稿ガイド側につまっている場合は、原稿ガイドの手前側のツマミを持ち上げ、原稿ガイドを開きます。



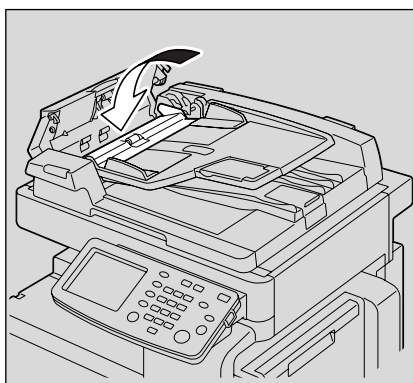
5

つまっている原稿をゆっくり取除きます。



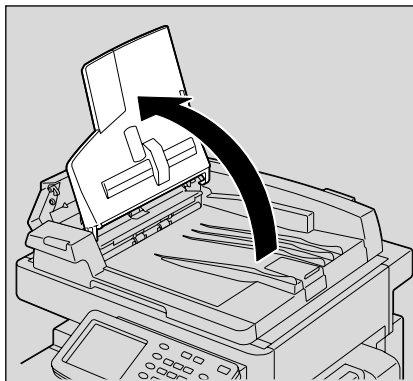
6

原稿ガイドを元の位置に戻します。



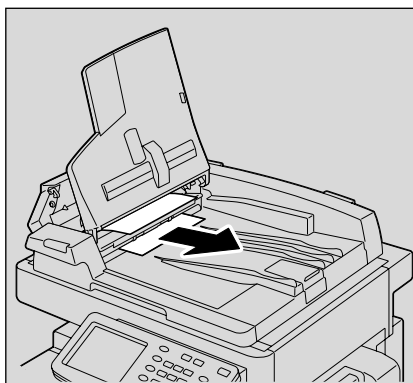
7

原稿給紙トレイを止まる位置まで上げます。



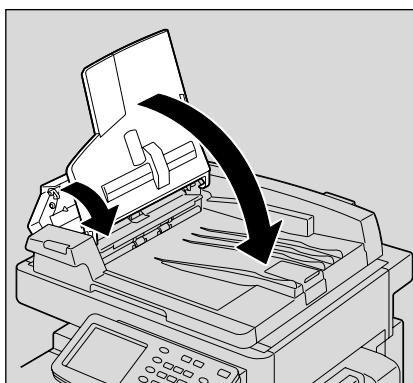
8

つまっている原稿をゆっくり取除きます。



9

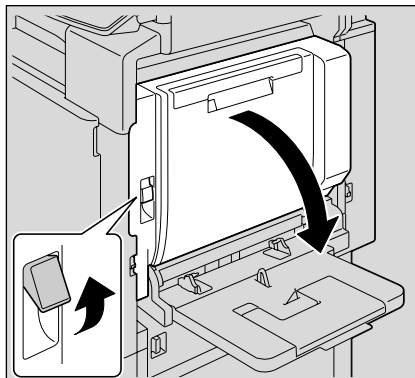
原稿給紙トレイを元の位置に戻して、左カバーを閉じます。



4.2.4 定着部での紙づまり処理のしかた

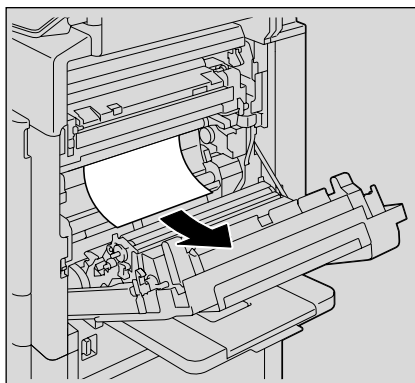
1

右上ドア解除レバーを引き、右上ドアを開きます。

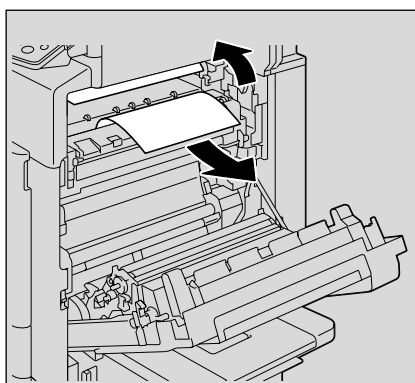


2

定着部につまっている用紙をゆっくり取除きます。



- 下側に取除くことができない場合は、定着ユニット上カバーを押上げ、上側に取除きます。



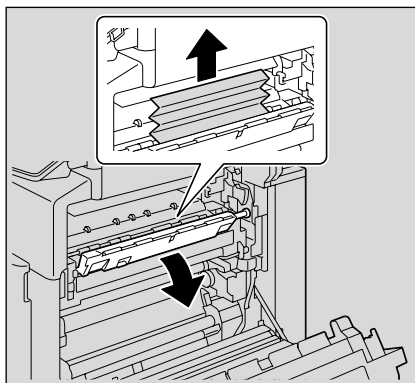
紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 4-3) をごらんください。



必ず守ってください

- ・ 定着部につまっている用紙は下側に取除いてください。
- ・ 用紙が以下のような状態になっている場合は、サービス実施店までご連絡ください。
 - ・ 用紙が定着ユニット内部に巻きついている場合
 - ・ 用紙が定着ユニット内部のローラー部に折曲がり、噛みこんでいる場合
- ・ 取除いた用紙が破れ、定着ユニット内に残ってしまった場合
- ・ 定着部を通っていないトナーは衣服または手などに付着することがあります。取扱いには十分に注意してください。

- 定着ユニット内部で、じゃばら状に用紙がつまっている場合は、定着力バーを開いて取除きます。

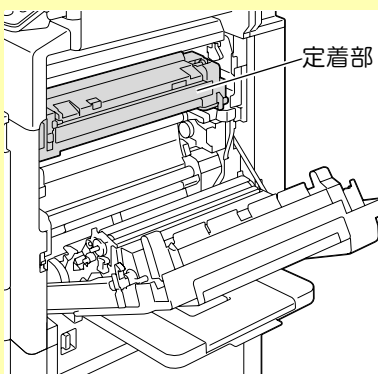


⚠ 注意



定着部周辺は高温となっています。

やけどの原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



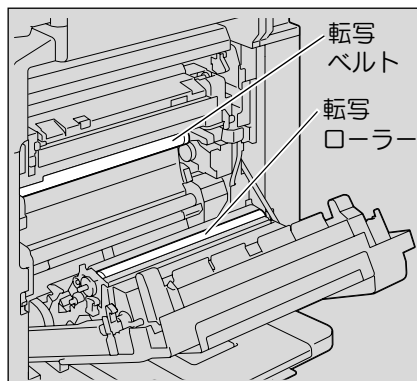
⚠ 注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。

トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。

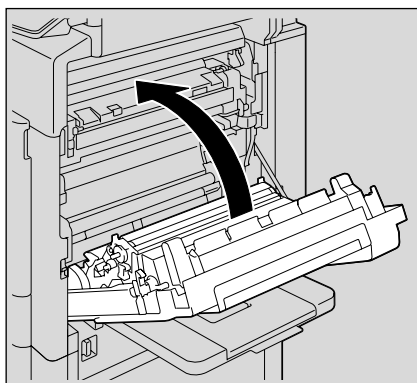
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

- 転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



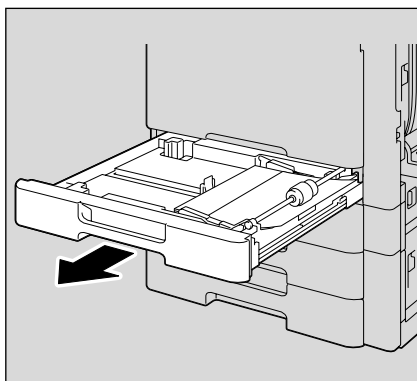
3

右上ドアを閉じます。



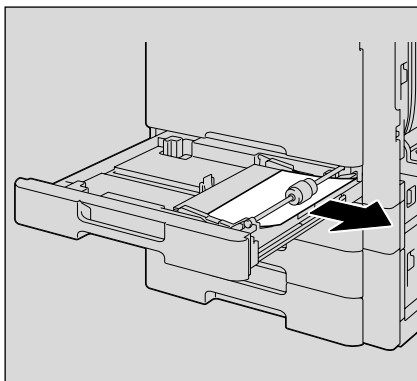
4

使用しているトレイを引出します。



5

つまっている用紙を取除きます。



必ず守ってください

ローラーまたは、フィルムには手を触れないように注意してください。

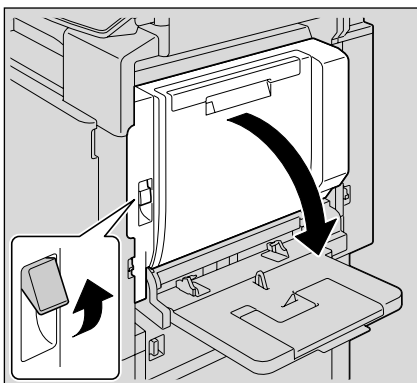
6

トレイを元に戻します。

4.2.5 本体内部での紙づまり処理のしかた

1

右上ドア解除レバーを引き、右上ドアを開きます。

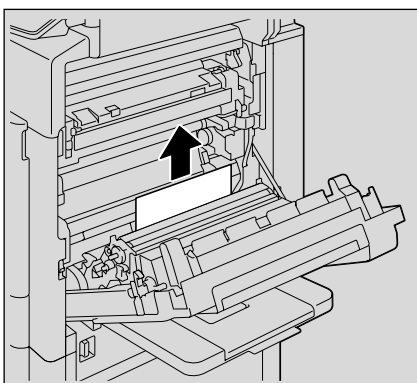


参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 4-3) をごらんください。

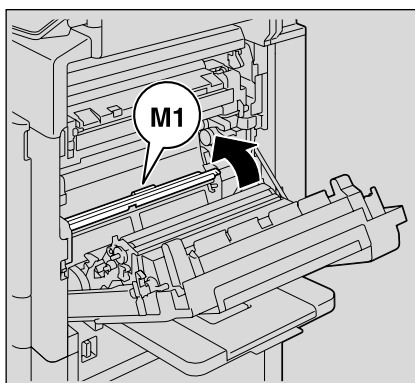
2

本体内部につまっている用紙をゆっくり取除きます。



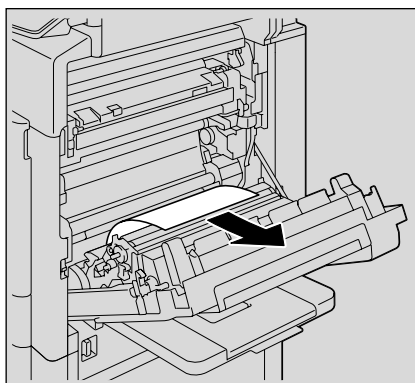
3

用紙の先端がタイミングローラー部にある場合は、内部カバー【M1】を開きます。



4

タイミングローラー部につまった用紙をゆっくり取除きます。



必ず守ってください

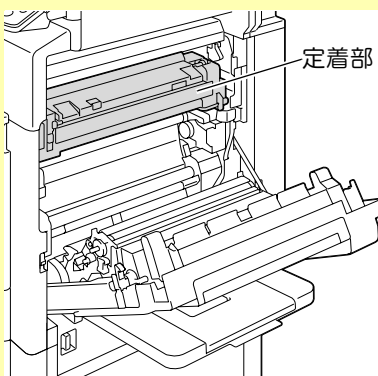
- ・用紙が以下の状態になっている場合は、サービス実施店までご連絡ください。
- ・用紙がタイミングローラー内部に巻きついている場合
- ・用紙がタイミングローラー内部に折曲がり、噛みこんでいる場合
- ・定着部を通過していないトナーは衣服または手などに付着することがあります。取扱いには十分に注意してください。

⚠ 注意



定着部周辺は高温となっています。

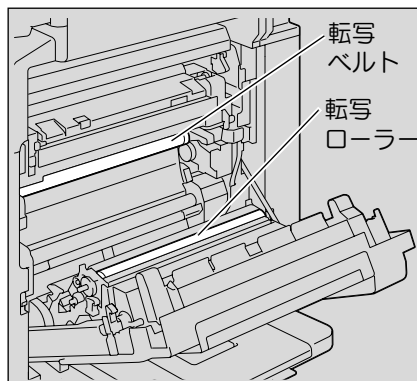
やけどの原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



⚠ 注意

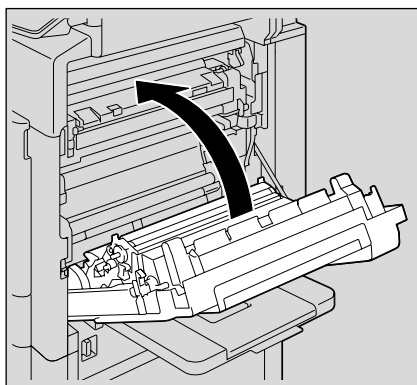
トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

- 転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



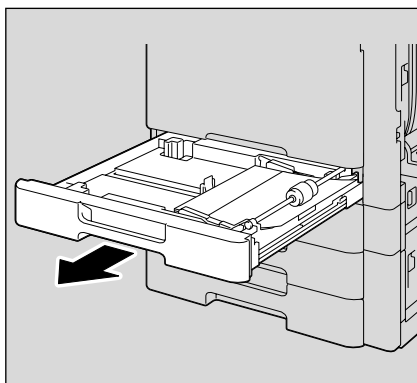
5

右上ドアを閉じます。



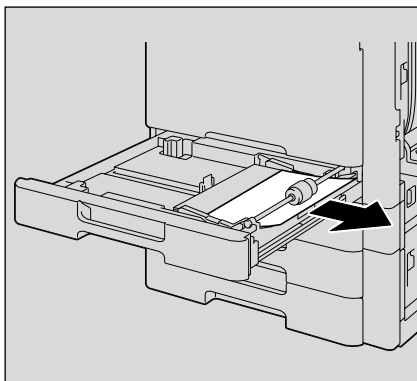
6

使用しているトレイを引出します。



7

つまっている用紙を取除きます。



必ず守ってください

ローラーまたは、フィルムには手を触れないように注意してください。

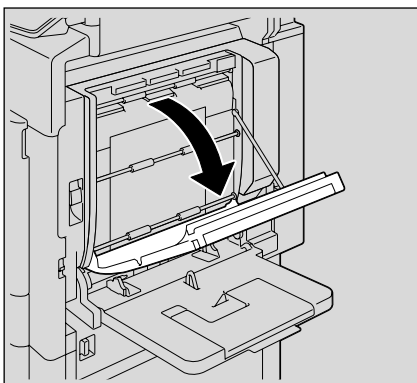
8

トレイを元に戻します。

4.2.6 両面ユニットでの紙づまり処理のしかた

1

両面ユニットドアを開きます。

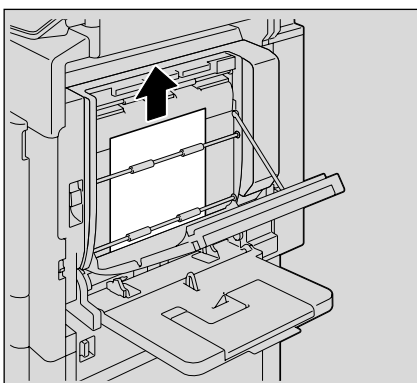


参照

紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 4-3) をごらんください。

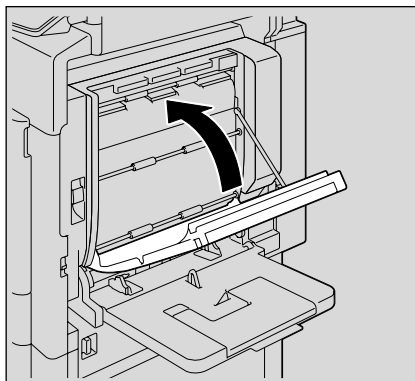
2

両面ユニットにつまっている用紙をゆっくり取除きます。



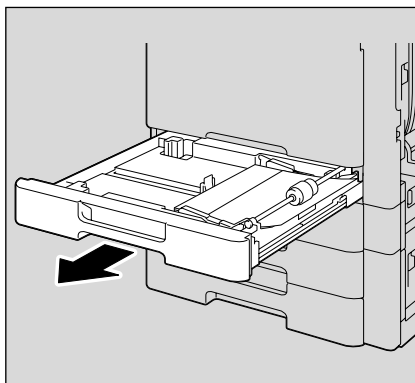
3

両面ユニットドアを閉じます。



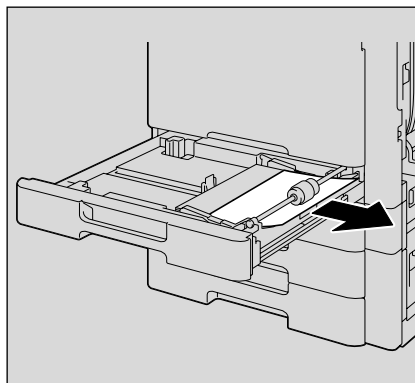
4

使用しているトレイを引出します。



5

つまっている用紙を取除きます。



6

トレイを元に戻します。

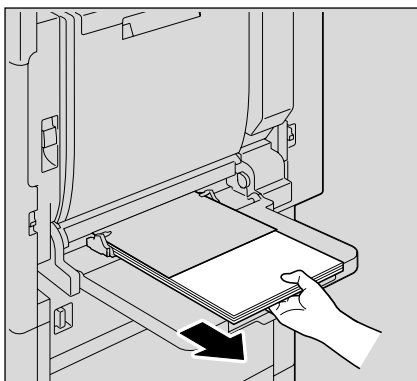
必ず守ってください

ローラーまたは、フィルムには手を触れないように注意してください。

4.2.7 手差しトレイでの紙づまり処理のしかた

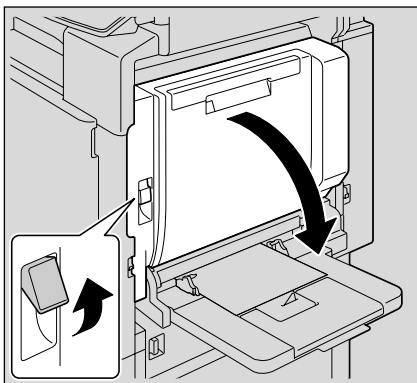
1

手差しトレイの用紙を取除きます。



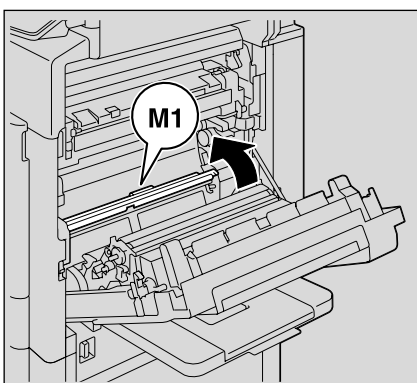
2

右上ドアを開きます。



3

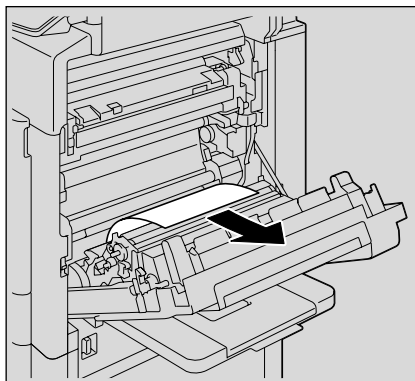
内部カバー【M1】を開きます。



紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 4-3) をご覧ください。

4

用紙をゆっくり取除きます。

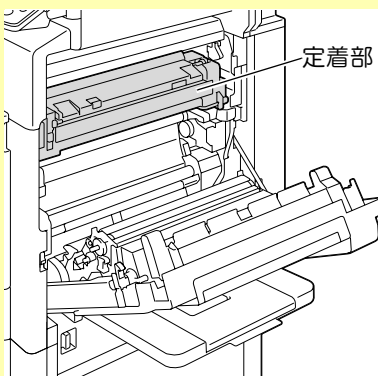


⚠ 注意



定着部周辺は高温となっています。

やけどの原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



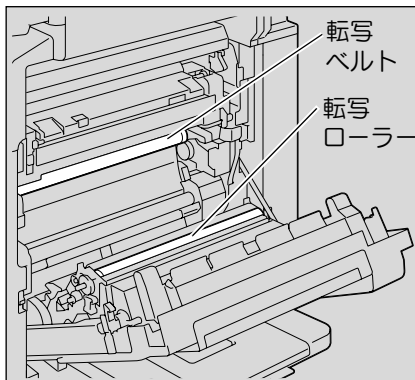
⚠ 注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。

トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。

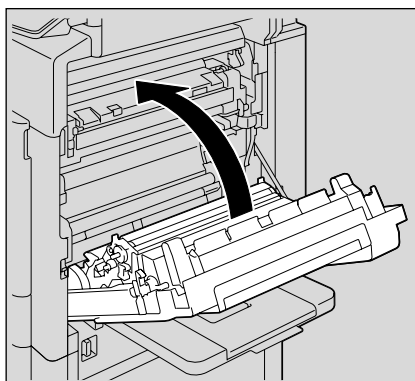
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

- 転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



5

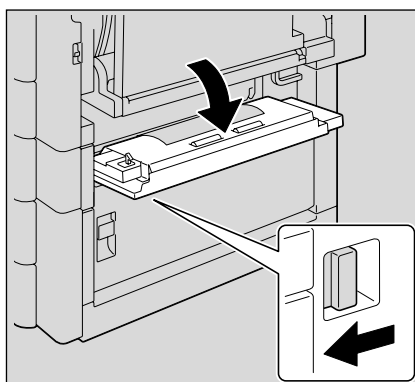
右上ドアを閉じます。



4.2.8 用紙縦搬送部での紙づまり処理のしかた

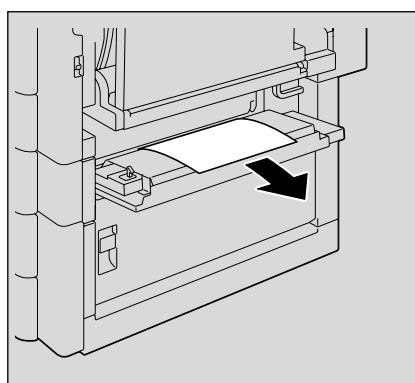
1

右中ドア解除レバーを引き、右中ドアを開きます。



2

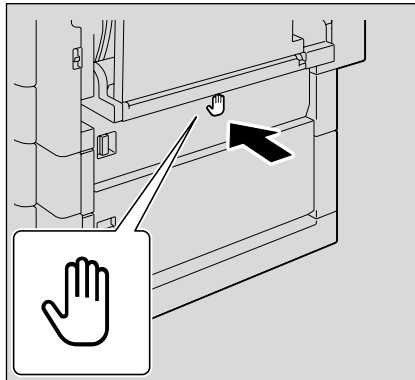
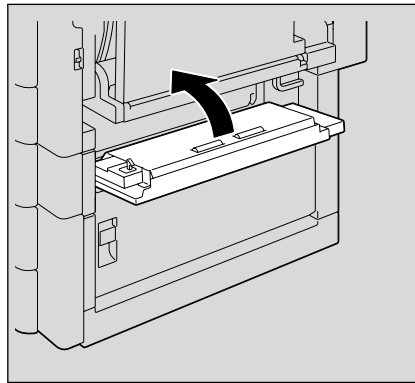
用紙をゆっくり取除きます。



紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 4-3) をごらんください。

3

右中ドアを閉じます。

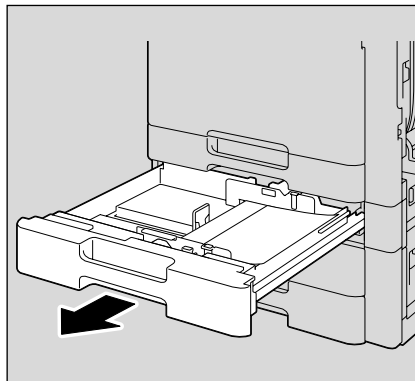


必ず守ってください

右中ドアは、手のマークの周辺を
押して確実に閉じてください。

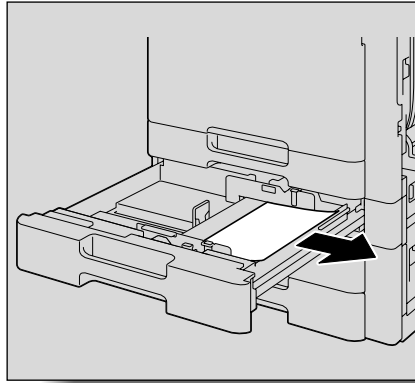
4

使用しているトレイを引出します。



5

つまっている用紙を取除きます。



必ず守ってください

フィルムには手を触れないように
注意してください。

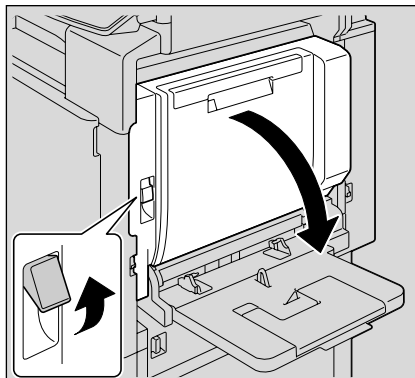
6

トレイを元に戻します。

4.2.9 トレイ 1 での紙づまり処理のしかた

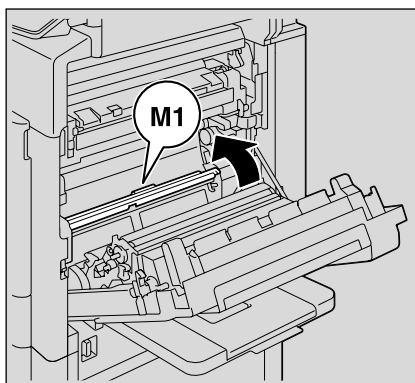
1

右上ドア解除レバーを引き、右上ドアを開きます。



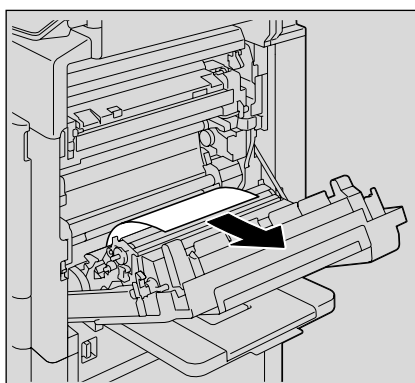
2

内部カバー【M1】を開きます。



3

用紙をゆっくり取除きます。



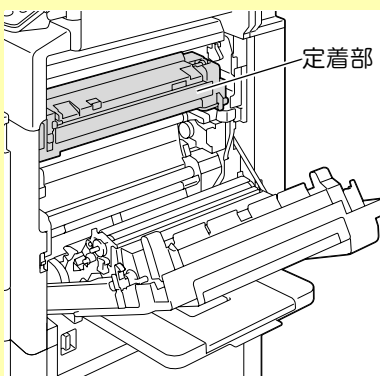
紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 4-3) をご覧ください。

⚠ 注意



定着部周辺は高温となっています。

やけどの原因となりますので、指定されたつまみやダイヤル以外の部分には触れないように注意してください。高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。



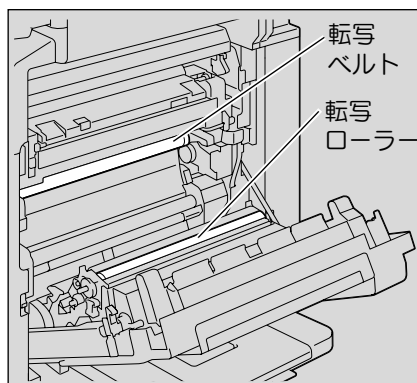
⚠ 注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。

トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。

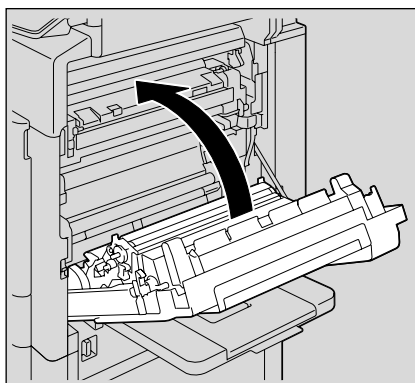
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

- 転写ベルトや転写ローラーの表面に触れると、印刷画質が低下する可能性があります。転写ベルトや転写ローラーの表面に触れないように注意してください。



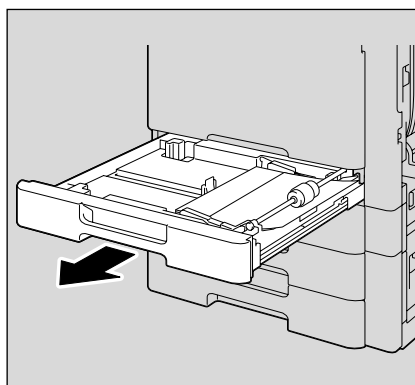
4

右上ドアを閉じます。



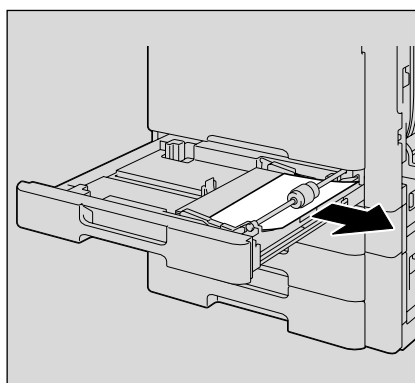
5

トレイ 1 を引出します。



6

つまっている用紙を取除きます。



7

トレイを元に戻します。

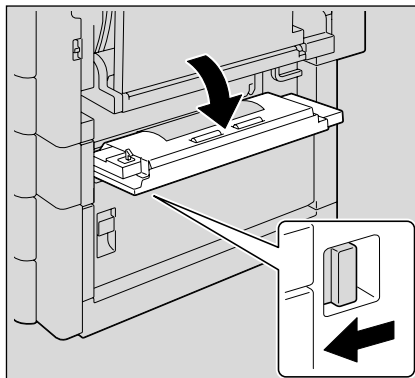
**必ず守ってください**

ローラーまたは、フィルムには手を触れないように注意してください。

4.2.10 トレイ 2 での紙づまり処理のしかた

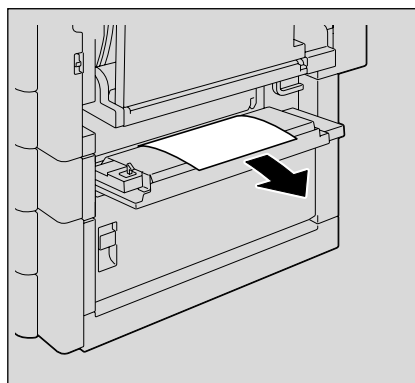
1

右中ドア解除レバーを引き、右中ドアを開きます。



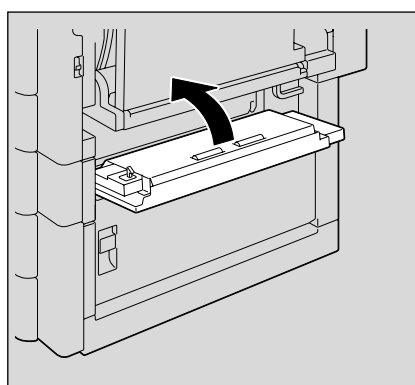
2

用紙をゆっくり取除きます。

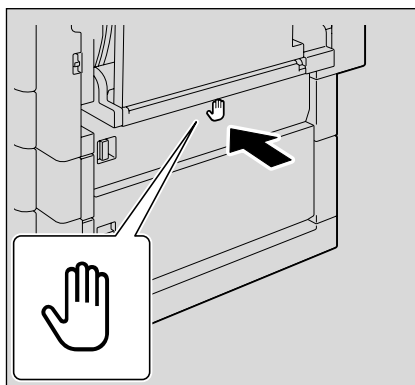


3

右中ドアを閉じます。



紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 4-3) をご覧ください。

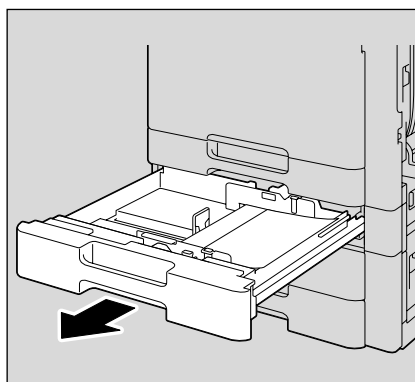


必ず守ってください

右中ドアは、手のマークの周辺を押して確実に閉じてください。

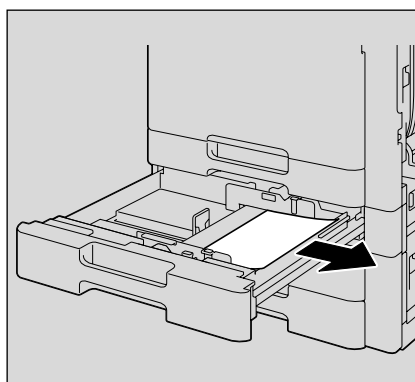
4

トレイ 2 を引出します。



5

つまっている用紙を取除きます。



必ず守ってください

フィルムには手を触れないように注意してください。

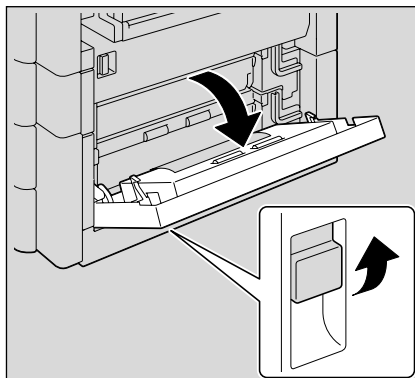
6

トレイを元に戻します。

4.2.11 給紙キャビネット（トレイ 3/4）での紙づまり処理のしかた

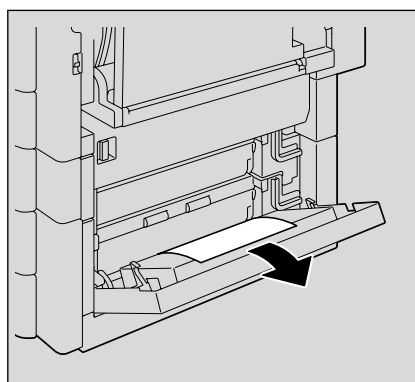
1

右下ドア解除レバーを引き、右下ドアを開きます。



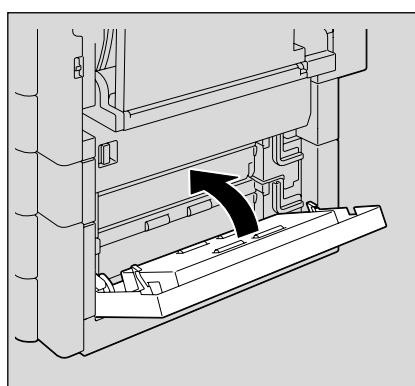
2

用紙をゆっくり取除きます。



3

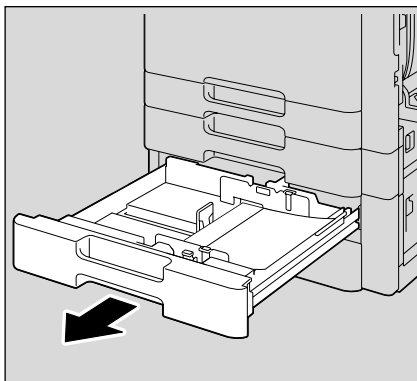
右下ドアを閉じます。



紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 4-3) をご覧ください。

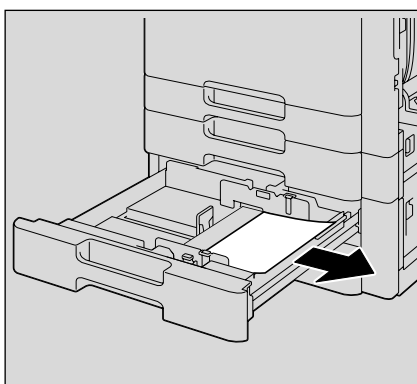
4

給紙トレイを引出します。



5

つまっている用紙を取除きます。



必ず守ってください

フィルムには手を触れないように注意してください。

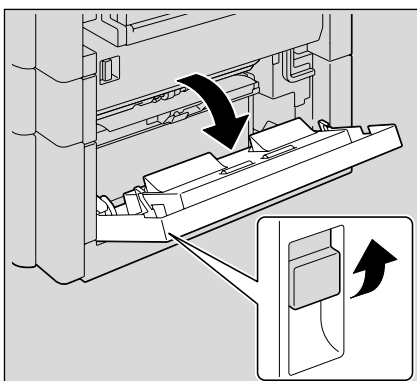
6

トレイを元に戻します。

4.2.12 LCT での紙づまり処理のしかた

1

右下ドア解除レバーを引き、右下ドアを開きます。

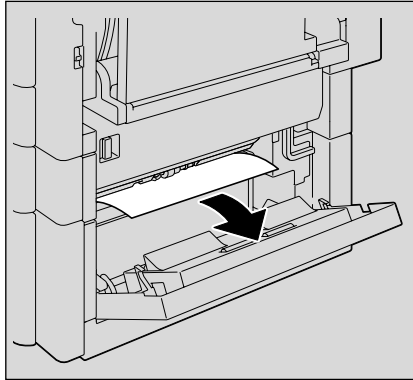


参照

紙づまり位置については、「[紙づまり位置表示](#)」(p. 4-3) をご覧ください。

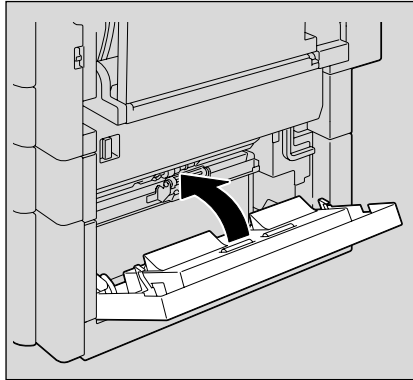
2

用紙をゆっくり取除きます。



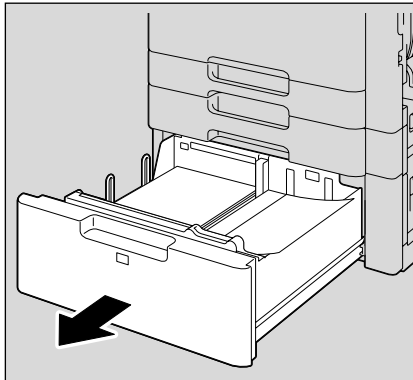
3

右下ドアを閉じます。



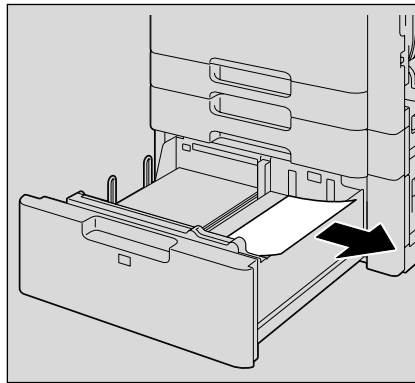
4

トレイ解除ボタンを押して、LCT を引出します。



5

つまっている用紙を取除きます。



必ず守ってください

フィルムには手を触れないように
注意してください。

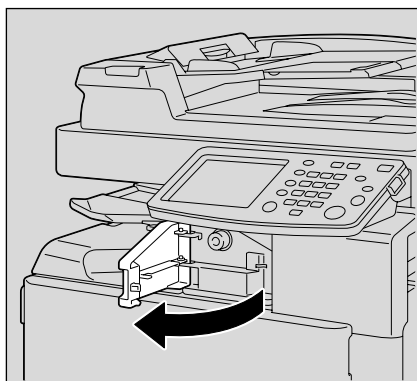
6

トレイを元に戻します。

4.2.13 セパレータでの紙づまり処理のしかた

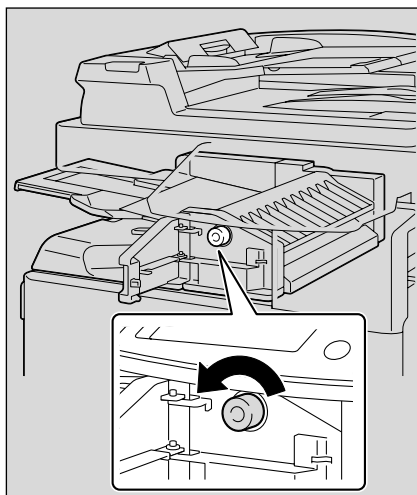
1

紙づまり処理ドアを開きます。



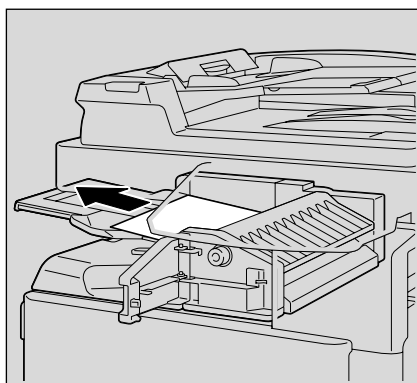
2

ダイヤルを回して用紙を送り出します。



3

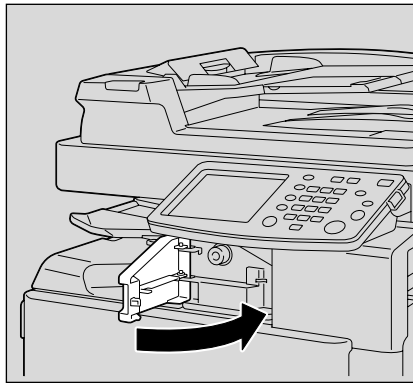
排紙トレイの用紙を取除きます。



紙づまり位置については、「紙づまり位置表示」(p. 4-3) をご覧ください。

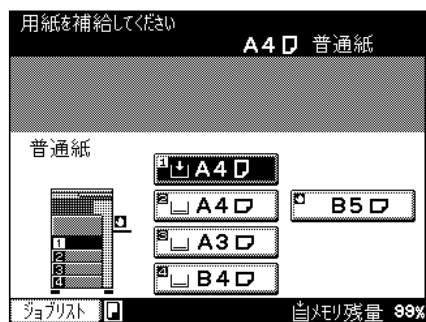
4

紙づまり処理ドアを閉じます。



4.3 「用紙を補給してください」と表示されたら

印刷中に用紙がなくなったときは、「用紙を補給してください」と表示されます。



反転表示されているトレイを確認して、用紙を補給します。



用紙の補給について詳しくは、「[トレイ 1 へ用紙をセットする](#)」(p. 1-22)、「[トレイ 2/3/4 へ用紙をセットする](#)」(p. 1-26)、「[LCT へ用紙をセットする](#)」(p. 1-27)、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-29) をご覧ください。

4.4 「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら

本機はメモリーを使用してコピーを行っています。

コピー操作中にメモリー残量不足を起こした場合、「メモリー残量不足のため、読み込みを中断しました」のメッセージが表示されます。



ひとこと

コピー操作中にメモリー残量不足を起こした場合、印刷が完了していないジョブは破棄されます。メモリー残量が十分あることを画面右下の「メモリー残量」の表示で確認して、印刷が完了していない原稿をセットし、コピーを行ってください。

4.5 「…の交換時期です」と表示されたら

本機内の各消耗品および交換部品の交換時期が近づくと、タッチパネルに下図のようなメッセージが表示され、交換時期をお知らせします。



ひとこと

メッセージが表示されたら、保守契約にしたがって各消耗品および交換部品の交換の準備を行ってください。

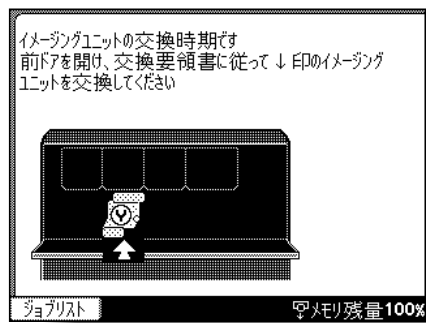


詳しく説明します

「…の交換時期です」の表示後に、「…を交換してください」と表示し、本機は停止します。「…の交換時期です」と表示してから、「…を交換してください」が表示するまでの印刷枚数は、印刷条件および各消耗品／交換部品によって異なります。

4.6 「…交換してください」と表示されたら

本機内の各消耗品および交換部品が交換時期になると、タッチパネルに下図のようなメッセージが表示されます。



ひとこと

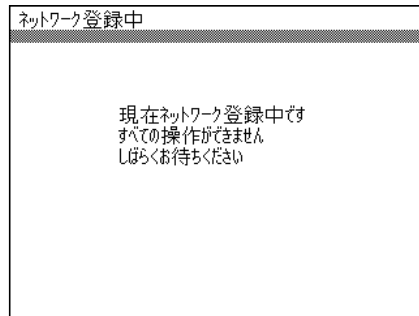
メッセージが表示されたら、保守契約にしたがって各消耗品および交換部品の交換処理を行ってください。

詳しく説明します

使用済みの消耗品および交換部品はサービス実施店が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。

4.7 「現在ネットワーク登録中です すべての操作ができませんしばらくお待ちください」と表示されたら

本機へ Assistant tool for C200 の管理者モードでアクセスしている場合に表示されます。



メッセージが表示されている間は電源を切断しないでください。Assistant tool for C200 から本機へのアクセスをログアウトすると基本画面に戻ります。

4.8 簡単なトラブルの処理

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
本体	【主電源スイッチ】を入れても機械が始動しない	コンセントへの接続は確実ですか？	電源プラグを正しくコンセントに接続してください。
		【副電源スイッチ】は ON になっていますか？	【副電源スイッチ】を ON にしてください。
	コピーがスタートしない	本体右上ドアを確実に閉じていますか？	本体右上ドアを確実に閉じてください。
		原稿に見合った適正な用紙が入っていますか？	適正なサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。
	画像がうすい／色がうすい	濃度の設定が、[うすく] になっていませんか？	濃度画面で [こく] を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。 (p. 2-37)
		用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。 (p. 1-22)、(p. 1-26)、(p. 1-27)、 (p. 1-29)
	画像がこい／色がこい	濃度の設定が、[こく] になっていませんか？	濃度画面で [うすく] を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。 (p. 2-37)
		原稿が原稿ガラス上から浮上がっていませんか？	原稿が原稿ガラス上に密着するようにセットしてください。(p. 2-7)
	画像がにじむまたはボケる	用紙が湿気をおびていませんか？	用紙を新しいものに交換してください。 (p. 1-22)、(p. 1-26)、(p. 1-27)、 (p. 1-29)
		原稿が原稿ガラス上から浮上がっていませんか？	原稿が原稿ガラス上に密着するようにセットしてください。(p. 2-7)
	印刷の全体が汚れる 印刷にスジが表れる	原稿ガラスが汚れていませんか？	原稿ガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。(p. 9-2)
		スリットガラスが汚れていませんか？	スリットガラスをスリットガラス清掃具で清掃してください。(p. 9-2)
		原稿押えパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押えパッドを清掃してください。 (p. 9-3)
		第 2 原図、OHP フィルムなどの透明度の高い原稿を使っていますか？	原稿の上に白紙をのせてコピーしてください。(p. 2-7)
		両面原稿を使っていますか？	うすい紙の両面原稿の場合、ウラ面の原稿内容が透けて、おもて面の原稿に写ってしまうことがあります。下地調整画面で下地レベルをうすくしてください。 (p. 2-38)
	印刷の画像が傾いている	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を原稿スケールに合わせて、正しくセットしてください。(p. 2-7) 原稿を ADF にセットし、ガイド板を原稿サイズに正しく合わせてください。 (p. 2-6)
		ADF に適した原稿がセットされていますか？	ADF に適していない原稿の場合は、原稿ガラスを使用してコピーしてください。 (p. 2-7)
		スリットガラスに異物が付着していませんか？(ADF 使用時)	スリットガラスをスリットガラス清掃具で清掃してください。(p. 9-2)
		給紙トレイのガイド板がきちんと用紙に合っていますか？	用紙端面にきちんとガイド板を合わせてください。
		カールの大きい用紙が給紙トレイにセットされていませんか？	用紙のカールを手でなおして給紙トレイにセットしなおしてください。

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
	印刷された用紙が反っている	お使いになる用紙（再生紙など）によっては反りが発生する場合があります。	給紙トレイにセットされている用紙を裏返してセットしなおしてください。 吸湿していない、新しい用紙に交換してください。 (p. 1-22)、(p. 1-26)、(p. 1-27)、 (p. 1-29)
	画像の周りが汚れる	原稿押えパッドが汚れていませんか？	柔らかな布に中性洗剤をつけ、原稿押えパッドを清掃してください。 (p. 9-3)
		原稿サイズより大きな用紙を選択していませんか？ (等倍×1.000 コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。 または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、拡大コピーをしてください。 (p. 2-18)
		原稿サイズと用紙の向きが違っていませんか？ (等倍×1.000 コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。または、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。
		用紙サイズに合った縮小コピー倍率が選択されていますか？ (縮小コピー倍率手動入力時)	用紙サイズにあった倍率を選択してください。(p. 2-20) または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、縮小コピーをしてください。 (p. 2-20)
	紙づまり処理してもコピーできない	他にも紙づまりはありませんか？	紙づまり位置表示などを見て、他の場所につまっている用紙を取除いてください。 (p. 4-3)
	両面＞片面、両面＞両面機能にならない	組み合わせできない設定を選んでいませんか？	選んでいる設定の組み合わせをご確認ください。
A D F	原稿が送られない	ADF が浮いていませんか？	ADF を確実に閉じてください。
		仕様以外の原稿を使用していませんか？	ADF にセットできる原稿の仕様を確認してください。(p. 6-17)
		正しく原稿をセットしていますか？	原稿を正しくセットしてください。 (p. 2-6)


上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。

上記処理を行ってもトラブルがなおらない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

4.9 おもなメッセージと処理のしかた

メッセージ	原因	処理のしかた
紙づまりです ○部のペーパーを取り除いてください	紙づまりが発生し、コピーができません。	つまっている用紙を取除いてください。(p. 4-3)
矢印部が開いています 確実に閉めてください	本体のドアやカバーが開いているため、コピーができません。	本体のドアやカバーを確実にセットしてください。
原稿サイズが検出できません 用紙を選択してください	①原稿が正しくセットされていない。 ②不定形サイズまたは、検出できない小サイズ of 原稿を使用している。	①原稿を正しくセットしてください。 ②用紙を選択して、コピーしてください。
用紙を補給してください	表示されているトレイに用紙がありません。	用紙を補給してください。 (p. 1-22)、(p. 1-26)、(p. 1-27)、 (p. 1-29)
最適用紙がありません 用紙を選択してください	適合するサイズの用紙が給紙トレイにセットされていません。	他のサイズの用紙を選択するか、適合するサイズの用紙をセットしてください。
用紙が正しくセットできていません 適切な用紙をセットしてください	適切な用紙サイズが給紙トレイにセットされていません。	給紙トレイの用紙を適切なサイズに設定してください。(p. 6-2)
ログインする部門名とパスワードを入力してください	部門管理されています。部門名と正しいパスワードを入力しないかぎりコピーはできません。	部門名と正しいパスワードを入力してください。(p. 1-20)
トラブルです サービスにトラブルコードを連絡してください	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店に連絡してください。
用紙に画像が収まらなかったため、ジョブを削除しました	ADF を使用し、画像を回転させて拡大コピーする場合、画像の幅が 297.0 mm を超えているとコピーできません。 例：A4 横>A3 縦、B5 横>B4 縦	画像の幅が 297.0 mm を超えないように、ADF にセットする原稿の向きを変更してください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。



第 5 章

仕様

本体およびオプションの仕様について説明します。

5.1	仕様	5-2
-----	----------	-----

5.1 仕様

5.1.1 本体仕様

仕様	
形式	スキャナー・プリンター 一体卓上型/自立型
原稿台方式	原稿台固定方式（ミラースキャン）
感光体	OPC
光源	白色希ガス蛍光灯
複写方式	レーザー静電複写方式
現像方式	乾式 2 成分 HMT 現像方式
定着方式	ベルト定着方式
解像度	読取り：600 dpi × 600 dpi 出力：600 dpi × 600 dpi
複写原稿	種類：シート、ブック（見開き）、立体物 サイズ：最大 A3（11 × 17） 重量：2 kg（立体物）
複写紙種類	普通紙（60 g/m ² ～ 90 g/m ² ）、厚紙 1（91 g/m ² ～ 150 g/m ² ）、 厚紙 2（151 g/m ² ～ 209 g/m ² ）、厚紙 3（210 g/m ² ～ 256 g/m ² ）、 OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙 両面：普通紙（64 g/m ² ～ 90 g/m ² ）、厚紙 1/2/3（91 g/m ² ～ 256 g/m ² ）
複写紙サイズ	<トレイ 1> A3 □ ～ B6 □、A6 □、はがき（100 mm × 148 mm）□ ^{*1} 、12-1/4 × 18 □ ^{*2} 、 12 × 18 □ ^{*2} ～ 5-1/2 × 8-1/2 □/□、8 × 13 □ ^{*3} 、16K □/□、8K □ 幅：90 mm ～ 311.1 mm、長さ：139.7 mm ～ 457.2 mm
用紙収容枚数	<トレイ 1> 普通紙：250 枚、厚紙 1/2/3、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙：20 枚
排紙トレイ積載枚数	普通紙：250 枚 厚紙：10 枚 OHP フィルム：1 枚
ウォームアップタイム	【主電源スイッチ】が ON の状態から【副電源スイッチ】を ON にして、印刷可能な状態になるまでの時間（室温 23℃） フルカラー：40 秒以下 / ブラック：37 秒以下 【主電源スイッチ】を ON にして、印刷可能な状態になるまでの時間（室温 23℃） 90 秒以下（オプション装着時は 100 秒以下）
画像欠け幅	先端：4.2 mm、後端：3 mm、右端：3 mm、左端：3 mm
ファーストコピータイム	フルカラー：13.5 秒以下 ブラック：10 秒以下 （A4 □ 印刷時）
コピースピード	フルカラー / ブラック：20 枚 / 分（片面）、18 枚 / 分（両面）
複写倍率	等倍：× 1.000 ± 0.5% 以下 拡大：× 1.154、× 1.224、× 1.414、× 2.000 縮小：× 0.866、× 0.816、× 0.707、× 0.500、小さめ（× 0.930）* ズーム：× 0.250 ～ × 4.000（× 0.001 ステップ） 倍率登録 3 * 小さめ倍率（× 0.900 ～ × 0.999）
連続複写枚数	1 枚～ 999 枚
濃度調整	コピー濃度：マニュアル濃度調整（9 段階） 下地濃度：マニュアル濃度調整および自動濃度調整（9 段階）
電源	AC100 V、12 A、50/60 Hz
最大消費電力	1,250 W 以下
大きさ	幅 620 mm × 奥行 688 mm × 高さ 648 mm
機械占有寸法 ^{*4}	幅 1,117 mm × 奥行 1,061 mm（セパレータ / 手差しトレイ装着時）
メモリー容量	64 MB
質量	約 68 kg

- *1 はがきとは、100 × 148 mm（郵政はがき）を指します。100 × 148 mm（郵政はがき）以外のはがきを使用する場合は、使用するはがきのサイズを確認したうえで、不定形サイズ画面にてサイズ設定したのちご使用ください。
- *2 A3 よりひと回り大きい用紙サイズです。12-1/4 × 18 は 311.1 × 457.2 mm、12 × 18 は 304.8 × 457.2 mm です。
- *3 Foolscap には、220 × 330 mm□、8-1/2 × 13 □、8-1/4 × 13 □、8-1/8 × 13-1/4 □、8 × 13 □ の 5 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス技術者におたずねください。
- *4 機械占有寸法は、給紙トレイを引出した状態の寸法です。
- この製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

5.1.2 自動両面ユニット AD-505

仕様	
用紙種類	普通紙 (64 g/m ² ~ 90 g/m ²)、厚紙 1 (91 g/m ² ~ 150 g/m ²)、厚紙 2 (151 g/m ² ~ 209 g/m ²)、厚紙 3 (210 g/m ² ~ 256 g/m ²)
用紙サイズ	A3 □ ~ A5 □、12-1/4 × 18 □ ^{*1} 、12 × 18 □ ^{*1} ~ 5-1/2 × 8-1/2 □、8 × 13 □ ^{*2} 、8K □、16K □/□ 幅：139.7 mm ~ 311.1 mm、長さ：176 mm ~ 457.2 mm
電源	本体から供給
最大消費電力	31 W 以下
大きさ	幅 156 mm × 奥行 438 mm × 高さ 343 mm
質量	紙 3.2 kg

- *1 A3 よりひと回り大きい用紙サイズです。12-1/4 × 18 は 311.1 × 457.2 mm、12 × 18 は 304.8 × 457.2 mm です。
- *2 Foolscap には、220 × 330 mm □、8-1/2 × 13 □、8-1/4 × 13 □、8-1/8 × 13-1/4 □、8 × 13 □ の 5 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス技術者におたずねください。

5.1.3 自動両面原稿送り装置 DF-612

仕様	
原稿通紙機能	標準機能：片面原稿、両面原稿 混載原稿機能：片面原稿、両面原稿混載
原稿種類	片面：普通紙 (38 g/m ² ~ 128 g/m ²) 両面・混載：普通紙 (50 g/m ² ~ 128 g/m ²)
原稿サイズ	片面原稿／両面原稿：A3 □ ~ A5 □、8-1/2 × 11 □/□ 混載原稿：同じ幅の原稿のみ使用可能
原稿積載量	片面原稿／両面原稿：最大 70 枚以下 (80 g/m ²)
電源	本体から供給
最大消費電力	55 W 以下
大きさ	幅 551 mm × 奥行 511 mm × 高さ 118 mm
質量	約 8.1 kg

5.1.4 給紙キャビネット PC-105

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) 厚紙 1 (91 g/m ² ~ 150 g/m ²) 厚紙 2 (151 g/m ² ~ 209 g/m ²) 厚紙 3 (210 g/m ² ~ 256 g/m ²)
用紙サイズ	A3 □ ~ A5 □、11 × 17 □ ~ 8-1/2 × 11 □/□、8 × 13 □*、16K □、8K □
収容枚数	トレイ 2 普通紙 : 500 枚、厚紙 1/2/3 : 150 枚
電源	本体から供給
最大消費電力	16 W 以下
大きさ	幅 600 mm × 奥行 578 mm × 高さ 168 mm
質量	約 14.7 kg
ユニット構成	給紙トレイ 1 段

* Foolscap には、220 × 330 mm □、8-1/2 × 13 □、8-1/4 × 13 □、8-1/8 × 13-1/4 □、8 × 13 □ の 5 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス技術者におたずねください。

5.1.5 給紙キャビネット PC-104

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) 厚紙 1 (91 g/m ² ~ 150 g/m ²) 厚紙 2 (151 g/m ² ~ 209 g/m ²) 厚紙 3 (210 g/m ² ~ 256 g/m ²)
用紙サイズ	A3 □ ~ A5 □、11 × 17 □ ~ 8-1/2 × 11 □/□、8 × 13 □*、16K □、8K □
収容枚数	トレイ 3 普通紙 : 500 枚、厚紙 1/2/3 : 150 枚
電源	本体から供給
最大消費電力	15 W 以下
大きさ	幅 600 mm × 奥行 578 mm × 高さ 301 mm
質量	約 24 kg
ユニット構成	給紙トレイ 1 段

* Foolscap には、220 × 330 mm □、8-1/2 × 13 □、8-1/4 × 13 □、8-1/8 × 13-1/4 □、8 × 13 □ の 5 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス技術者におたずねください。

5.1.6 給紙キャビネット PC-204

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) 厚紙 1 (91 g/m ² ~ 150 g/m ²) 厚紙 2 (151 g/m ² ~ 209 g/m ²) 厚紙 3 (210 g/m ² ~ 256 g/m ²)
用紙サイズ	A3 □ ~ A5 □、11 × 17 □ ~ 8-1/2 × 11 □/□、8 × 13 □*、16K □、8K □
収容枚数	上段 (トレイ 3) 普通紙 : 500 枚、厚紙 1/2/3 : 150 枚 下段 (トレイ 4) 普通紙 : 500 枚、厚紙 1/2/3 : 150 枚
電源	本体から供給
最大消費電力	15 W 以下
大きさ	幅 600 mm × 奥行 578 mm × 高さ 301 mm
質量	約 28 kg
ユニット構成	給紙トレイ 2 段

* Foolscap には、220 × 330 mm □、8-1/2 × 13 □、8-1/4 × 13 □、8-1/8 × 13-1/4 □、8 × 13 □ の 5 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス技術者におたずねください。

5.1.7 給紙キャビネット PC-405

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) 厚紙 1 (91 g/m ² ~ 150 g/m ²) 厚紙 2 (151 g/m ² ~ 209 g/m ²) 厚紙 3 (210 g/m ² ~ 256 g/m ²)
用紙サイズ	A4 □、8-1/2 × 11 □
収容枚数	普通紙 : 2,500 枚、厚紙 1/2/3 : 1,000 枚
電源	本体から供給
最大消費電力	45 W 以下
大きさ	幅 600 mm × 奥行 578 mm × 高さ 301 mm
質量	約 28 kg

5.1.8 マルチ手差し給紙ユニット MB-502

仕様	
用紙種類	普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)、厚紙 1 (91 g/m ² ~ 150 g/m ²)、厚紙 2 (151 g/m ² ~ 209 g/m ²)、厚紙 3 (210 g/m ² ~ 256 g/m ²)、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙
用紙サイズ	A3 □ ~ B6 □、A6 □、はがき (100 mm × 148 mm) □ ^{*1} 、12-1/4 × 18 □ ^{*2} 、12 × 18 □ ^{*2} ~ 5-1/2 × 8-1/2 □/□、8 × 13 □ ^{*3} 、16K □/□、8K □ 幅 : 90 mm ~ 311.1 mm、長さ : 139.7 mm ~ 457.2 mm
収容枚数	普通紙 : 100 枚、厚紙 1/2/3、はがき、ラベル用紙 : 20 枚、封筒 : 10 枚
電源	本体から供給
最大消費電力	27 W 以下
大きさ	幅 472 mm × 奥行 456 mm × 高さ 102 mm
質量	約 2.85 kg

*1 はがきとは、100 × 148 mm (郵政はがき) を指します。100 × 148 mm (郵政はがき) 以外のはがきを使用する場合は、使用するはがきのサイズを確認したうえで、不定形サイズ画面にてサイズ設定したのちご使用ください。

*2 A3 よりひと回り大きい用紙サイズです。12-1/4 × 18 は 311.1 × 457.2 mm、12 × 18 は 304.8 × 457.2 mm です。

*3 Foolscap には、220 × 330 mm □、8-1/2 × 13 □、8-1/4 × 13 □、8-1/8 × 13-1/4 □、8 × 13 □ の 5 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス技術者におたずねください。

5.1.9 セパレータ JS-505

仕様	
排紙トレイ	第 1 排紙トレイ、第 2 排紙トレイ
通紙機能	グループ、ソート、仕分けグループ、仕分けソート
用紙種類	<第 1 排紙トレイ> 普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) <第 2 排紙トレイ> 普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²)、厚紙 (91 g/m ² ~ 256 g/m ²)、OHP フィルム、はがき、封筒、ラベル用紙
用紙サイズ	<第 1 排紙トレイ> A3 □ ~ A5 □、11 × 17 □ ~ 8-1/2 × 11 □/□ <第 2 排紙トレイ> A3 □ ~ B6 □、A6 □、はがき (100 mm × 148 mm) □ ^{*1} 、12-1/4 × 18 □ ^{*2} 、11 × 17 □ ~ 5-1/2 × 8-1/2 □/□
用紙積載量	<第 1 排紙トレイ> 普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) : 50 枚 両面 : 普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) : 50 枚 <第 2 排紙トレイ> 普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) : 150 枚 厚紙 (91 g/m ² ~ 256 g/m ²)、OHP シート、はがき、ラベル用紙 : 20 枚 封筒 : 10 枚 両面 : 普通紙 (60 g/m ² ~ 90 g/m ²) : 150 枚、厚紙 (91 g/m ² ~ 256 g/m ²) : 20 枚
電源	本体より供給
最大消費電力	40 W 以下
シフト量	30 mm
仕分け機能	<第 2 排紙トレイ> 普通紙、厚紙 A3 □ ~ B5 □、11 × 17 □ ~ 8-1/2 × 11 □/□
大きさ	幅 423 mm/543 mm (補助トレイを引出した場合) × 奥行 477 mm × 高さ 130 mm

仕様	
質量	約 5 kg

- *1 はがきとは、100 × 148 mm（郵政はがき）を指します。100 × 148 mm（郵政はがき）以外のはがきを使用する場合は、使用するはがきのサイズを確認したうえで、不定形サイズ画面にてサイズ設定したのちご使用ください。
- *2 12-1/4 × 18 は A3 よりひと回り大きい 311.1 × 457.2 mm です。



第 6 章

用紙・原稿について

本機で使用する用紙と原稿の条件について説明します。

6.1	用紙について	6-2
6.2	用紙設定	6-6
6.3	原稿について	6-17

6.1 用紙について

以下の条件を満たす用紙をご使用ください。

6.1.1 使用できる用紙サイズ

不定形紙：

給紙口・その他	用紙幅	用紙長
手差しトレイ	90.0 mm ～ 311.1 mm	139.7 mm ～ 457.2 mm
トレイ 1	90.0 mm ～ 311.1 mm	139.7 mm ～ 457.2 mm
トレイ 2	—	—
1 段 / 2 段給紙キャビネット		
LCT		
両面印刷	139.7 mm ～ 311.1 mm	176 mm ～ 457.2 mm

定形紙：

給紙口・その他	用紙サイズ
手差しトレイ	A3 □ ～ B6 □、A6 □、はがき (100 mm × 148 mm) □ ^{*1} 、12-1/4 × 18 □ ^{*2} 、12 × 18 □ ^{*2} ～ 5-1/2 × 8-1/2 □/□、8 × 13 □ ^{*3} 、16K □/□、8K □
トレイ 1	A3 □ ～ B6 □、A6 □、はがき (100 mm × 148 mm) □ ^{*1} 、12-1/4 × 18 □ ^{*2} 、12 × 18 □ ^{*2} ～ 5-1/2 × 8-1/2 □/□、8 × 13 □ ^{*3} 、16K □/□、8K □
トレイ 2	A3 □ ～ A5 □、11 × 17 □ ～ 8-1/2 × 11 □/□、8 × 13 □ ^{*3} 、16K □、8K □
1 段 / 2 段給紙キャビネット	A3 □ ～ A5 □、11 × 17 □ ～ 8-1/2 × 11 □/□、8 × 13 □ ^{*3} 、16K □、8K □
LCT	A4 □、8-1/2 × 11 □
両面印刷	A3 □ ～ A5 □、12-1/4 × 18 □ ^{*2} 、12 × 18 □ ^{*2} ～ 5-1/2 × 8-1/2 □、8 × 13 □ ^{*3} 、8K □、16K □/□

- *1 はがきとは、100 × 148 mm（郵政はがき）を指します。100 × 148 mm（郵政はがき）以外のはがきを使用する場合は、使用するはがきのサイズを確認したうえで、不定形サイズ画面にてサイズ設定したのちご使用ください。
- *2 A3 よりひと回り大きい用紙サイズです。12-1/4 × 18 は 311.1 × 457.2 mm、12 × 18 は 304.8 × 457.2 mm です。
- *3 Foolscap には、220 × 330 mm □、8-1/2 × 13 □、8-1/4 × 13 □、8-1/8 × 13-1/4 □、8 × 13 □ の 5 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス技術者におたずねください。

積載する装置	積載可能サイズ
セパレータ JS-505	<第 1 排紙トレイ> A3 □ ～ A5 □、11 × 17 □ ～ 8-1/2 × 11 □/□ <第 2 排紙トレイ> A3 □ ～ B6 □、A6 □、はがき (100 mm × 148 mm) □ ^{*1} 、12-1/4 × 18 □ ^{*2} 、11 × 17 □ ～ 5-1/2 × 8-1/2 □/□

- *1 はがきとは、100 × 148 mm（郵政はがき）を指します。100 × 148 mm（郵政はがき）以外のはがきを使用する場合は、使用するはがきのサイズを確認したうえで、不定形サイズ画面にてサイズ設定したのちご使用ください。
- *2 12-1/4 × 18 は A3 よりひと回り大きい 311.1 × 457.2 mm です。








6.1.2 用紙種類および用紙容量





用紙種類	普通紙	厚紙 1	厚紙 2	厚紙 3
坪量 (g/m ²) 給紙口・その他	60 g/m ² ~ 90 g/m ²	91 g/m ² ~ 150 g/m ²	151 g/m ² ~ 209 g/m ²	210 g/m ² ~ 256 g/m ²
手差しトレイ	100 枚	20 枚	20 枚	20 枚
トレイ 1	250 枚	20 枚	20 枚	20 枚
トレイ 2	500 枚	150 枚	150 枚	150 枚
1 段 / 2 段給紙 キャビネット	500 枚	150 枚	150 枚	150 枚
LCT	2,500 枚	1,000 枚	1,000 枚	1,000 枚

用紙種類	OHP フィルム	はがき	封筒	ラベル用紙
給紙口・その他				
手差しトレイ	20 枚	20 枚	10 枚	20 枚
トレイ 1	20 枚	20 枚	20 枚	20 枚
トレイ 2	-	-	-	-
1 段 / 2 段給紙 キャビネット	-	-	-	-
LCT	-	-	-	-

6.1.3 専用紙について

OHP フィルムや色紙など、普通紙以外の用紙を専用紙と呼びます。給紙トレイに OHP フィルムや色紙などをセットした場合、必ず正しい種類の専用紙に設定してください。用紙種類が正しくない場合、紙づまりなどの原因となります。

用紙種類	アイコン	説明
片面専用紙		坪量 60 g/m ² ~ 90 g/m ² の普通紙で、両面に印刷したくない用紙（すでに 1 面に印刷がされている用紙など）をセットする場合に選択します。 片面印刷時には、自動用紙設定で優先して選択されます。 両面印刷時、用紙を自動選択しません。
特殊紙		坪量 60 g/m ² ~ 90 g/m ² の普通紙で、上質紙などの特別な用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
厚紙 1		坪量 91 g/m ² ~ 150 g/m ² の厚手の用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
厚紙 2		坪量 151 g/m ² ~ 209 g/m ² の厚手の用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
厚紙 3		坪量 210 g/m ² ~ 256 g/m ² の厚手の用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
封筒		封筒をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。
OHP		OHP フィルムをセットする場合に選択します。 自動用紙設定時、用紙を自動選択しません。OHP フィルムを選択するときは、カラー設定で「ブラック」を指定してから用紙種類を選択してください。

用紙種類	アイコン	説明
2 面目普通紙		片面に印刷された用紙をセットする場合に選択します。 両面の 2 面目は、トレイ 1 と手差しトレイで普通紙、厚紙 1、厚紙 2、厚紙 3 のときにのみ設定できます。
2 面目厚紙 1		
2 面目厚紙 2		
2 面目厚紙 3		

6.1.4 用紙使用上の注意

以下の用紙は使用しないでください。

印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 1 度通紙した OHP フィルム（白紙状態で排紙された OHP フィルムでも再使用できません。）
- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターで印刷された用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダー用の穴が開いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどの付いている用紙

6.1.5 用紙の保管

- 用紙は、湿気の少ない冷暗所に保存してください。
- 用紙が湿気をおびると、紙づまりの原因になります。
トレイにセットしきれなかった用紙は、包装紙に包み、または包装紙から取出した用紙はポリ袋に入れ、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙は、立てて置かず水平に保管してください。用紙にカールがついて、紙づまりの原因になります。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

6.1.6 ATS 機能（自動トレイ切換え機能）

連続印刷中、選択した給紙トレイの用紙が無くなった場合、以下の動作条件を満たした他の給紙トレイがあれば、自動的に給紙トレイを切換えて印刷を続けます。オプションの LCT を装着した場合、最大 3,350 枚（A4 の場合）の連続印刷が可能となります。（設定メニュー機能の ATS 許可で「許可」が設定されている場合のみ可能となります。）

＜動作条件＞

- 同じサイズ of 用紙
- 同じ向きの用紙
- 同じ種類の用紙

6.1.7 給紙トレイ切換え順位

出荷時設定では ATS 機能（自動トレイ切換え機能）がはたらいた場合、以下の優先順位で給紙トレイが選択されます。

手差しトレイ装着時

トレイ 1 → 手差しトレイ

増設給紙キャビネット + 手差しトレイ装着時

トレイ 1 → トレイ 2 → 手差しトレイ

1 段給紙キャビネット + 手差しトレイ装着時

トレイ 1 → トレイ 2 → トレイ 3 → 手差しトレイ

2 段給紙キャビネット + 手差しトレイ装着時

トレイ 1 → トレイ 2 → トレイ 3 → トレイ 4 → 手差しトレイ

LCT + 手差しトレイ装着時

トレイ 1 → トレイ 2 → トレイ 3 → 手差しトレイ

6.2 用紙設定

ここでは、各給紙トレイにセットされた用紙サイズおよび用紙種類の設定方法について説明します。

6.2.1 用紙サイズを自動で検出させる（自動検出）

トレイ 1 と手差しトレイの用紙サイズを自動的に検出します。

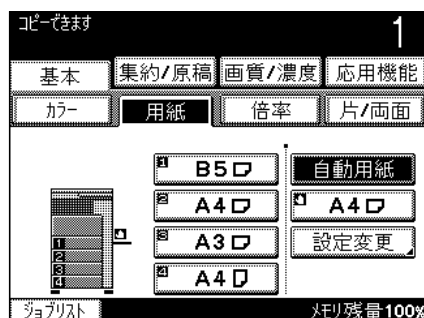
ここではトレイ 1 での自動検出の設定方法を説明します。

- 1 基本設定画面の「用紙」を押します。



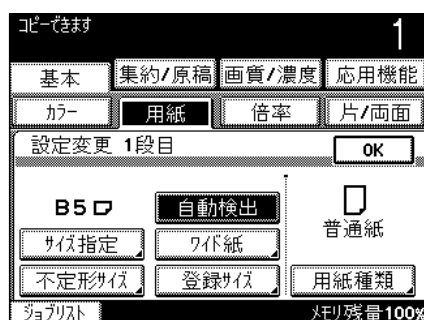
用紙画面が表示されます。

- 2 トレイ 1 のキーを押します。



- 3 「設定変更」を押します。

- 4 「自動検出」を押します。



出荷時設定では「自動検出」が選択されています。

- 5 「OK」を押します。



- ・トレイ 1 の用紙のセットについては、「[トレイ 1 へ用紙をセットする](#)」(p. 1-22) をご覧ください。
- ・手差しトレイの用紙のセットについては、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-29) をご覧ください。



手差しトレイで自動検出の設定をする場合は、手差しトレイのキーを押します。

6.2.2 用紙サイズを指定する（サイズ指定）

トレイ 1 と手差しトレイの用紙サイズを指定し、指定した用紙サイズ専用のトレイとして使用できます。

たとえば、はがきやインチサイズの用紙など、自動的にサイズが検出されない用紙を設定しておく便利です。

ここではトレイ 1 をはがき専用に設定する方法を説明します。

1

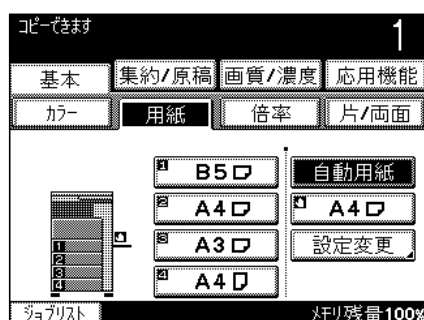
基本設定画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

トレイ 1 のキーを押します。

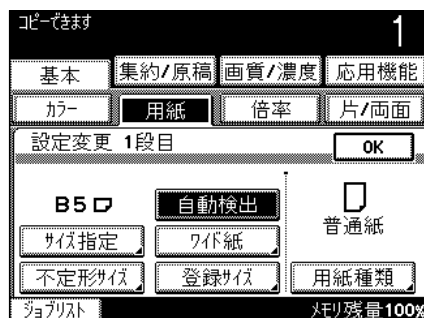


3

「設定変更」を押します。

4

「サイズ指定」を押します。



サイズ指定画面が表示されます。



サイズ指定された用紙サイズ以外の用紙をセットした場合、用紙サイズを自動検出しないため、紙づまりの原因となります。



- ・トレイ 1 の用紙のセットについては、「[トレイ 1 へ用紙をセットする](#)」(p. 1-22) をご覧ください。
- ・手差しトレイの用紙のセットについては、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-29) をご覧ください。



手差しトレイの用紙サイズを指定する場合は、手差しトレイのキーを押します。

5

〔その他〕を押します。



6

〔はがき 〇〕を押します。



- AB サイズの用紙を指定する場合は〔A 系 B 系〕を押します。
- インチサイズの場合には〔インチ系〕を押します。

7

〔OK〕を2回押します。

トレイ1の用紙サイズが設定されます。

6.2.3 不定形紙をセットする (不定形)

不定形紙は、トレイ1と手差しトレイにセットできます。

不定形紙を使用する場合は、用紙サイズを入力する必要があります。

ここではトレイ1に不定形紙を設定する方法を説明します。

1

基本設定画面の〔用紙〕を押します。



用紙画面が表示されます。

詳しく説明します

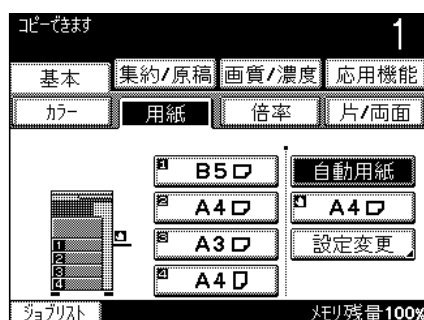
〔はがき 〇〕を選択すると〔厚紙 3〕が自動的に設定されます。はがき以外をセットした場合は、用紙種類の変更を行ってください。用紙種類の設定については、「[専用紙として設定する](#)」(p. 6-13)をごらんください。

参照

- ・トレイ1の用紙のセットについては、「[トレイ1へ用紙をセットする](#)」(p. 1-22)をごらんください。
- ・手差しトレイの用紙のセットについては、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-29)をごらんください。

2

トレイ 1 のキーを押します。



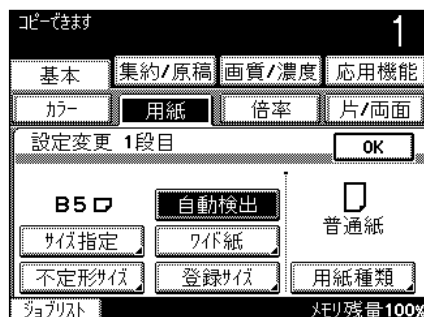
手差しトレイに不定形紙をセットする場合は、手差しトレイのキーを押します。

3

「設定変更」を押します。

4

「不定形サイズ」を押します。



不定形サイズ画面が表示されます。

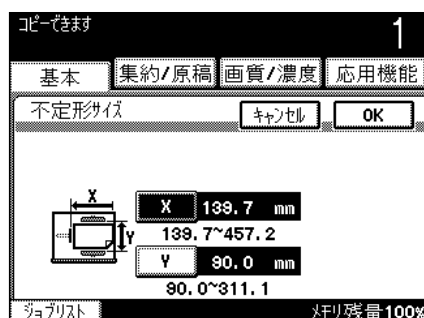
5

用紙の長さ [X] / 幅 [Y] を入力します。

- [X] が反転していることを確認し、テンキーで X 辺の長さを設定します。(139.7 mm ~ 457.2 mm)
- [Y] を押して反転させ、テンキーで Y 辺の長さを設定します。(90.0 mm ~ 311.1 mm)



入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。



6

「OK」を 2 回押します。

6.2.4 目的の用紙サイズを登録する（不定形）

4つの不定形紙を登録できます。

よく使用する用紙サイズを登録しておけば、次回使用するとき用紙サイズを入力する必要がなくなります。

ここではトレイ1に不定形縦のサイズを登録する方法を説明します。

1

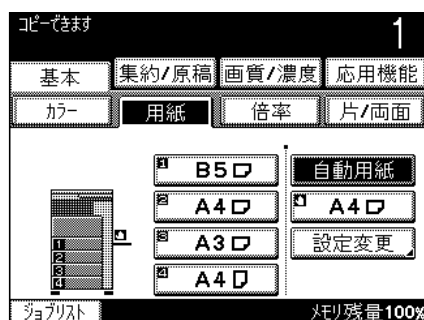
基本設定画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

トレイ1のキーを押します。

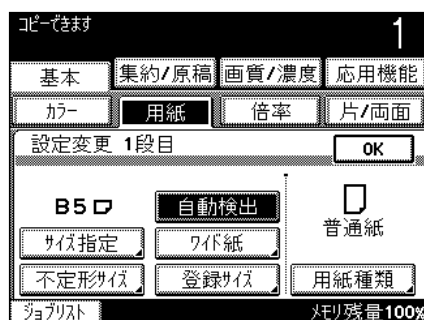


3

「設定変更」を押します。

4

「登録サイズ」を押します。



登録サイズ画面が表示されます。

参照

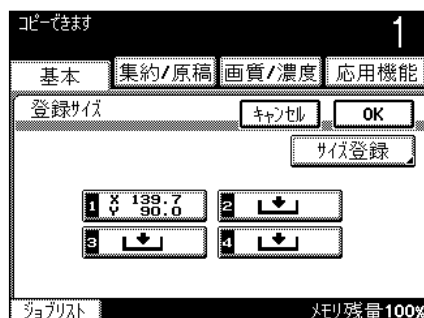
- ・トレイ1の用紙のセットについては、「[トレイ1へ用紙をセットする](#)」(p. 1-22)をごらんください。
- ・手差しトレイの用紙のセットについては、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-29)をごらんください。

詳しく説明します

手差しトレイに用紙サイズを登録する場合は、手差しトレイのキーを押します。

5

登録したいキーを押して、[サイズ登録]を押します。

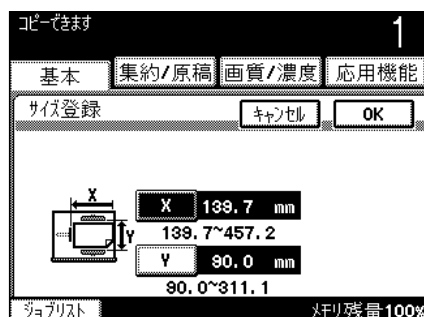


登録サイズ画面が表示されます。

6

X 辺サイズ／Y 辺サイズを設定します。

- [X] が反転していることを確認し、テンキーで、X 辺の長さを設定します。(139.7 mm ～ 457.2 mm)
- [Y] を押して反転させ、テンキーで、Y 辺の長さを設定します。(90.0 mm ～ 311.1 mm)



7

[OK] を 3 回押します。

6.2.5 ワイド紙の設定をする

原稿サイズに対して、ひと回り大きいサイズ用の紙をワイド紙として設定することで、原稿の画像を欠損させることなく用紙の中央に配置してコピーします。

ワイド紙は、トレイ 1 および手差しトレイに設定できます。

ここではトレイ 1 でのワイド紙の設定方法を説明します。

1

基本設定画面の [用紙] を押します。



用紙画面が表示されます。

詳しく説明します

- ・ X 辺、Y 辺は、画面のイラストで確認してください。
- ・ 入力を間違えたときは、【C】を押し、正しい数値を入力します。

詳しく説明します

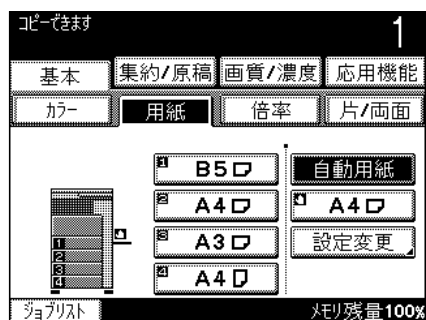
ワイド紙を設定する場合、定形サイズ以外に不定形サイズ用の紙が設定できます。不定形サイズ用の紙を使用する場合は、サイズ入力を行ってください。

参照

- ・ トレイ 1 の用紙のセットについては、「[トレイ 1 へ用紙をセットする](#)」(p. 1-22) をご覧ください。
- ・ 手差しトレイの用紙のセットについては、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-29) をご覧ください。

2

トレイ 1 のキーを押します。



詳しく説明します

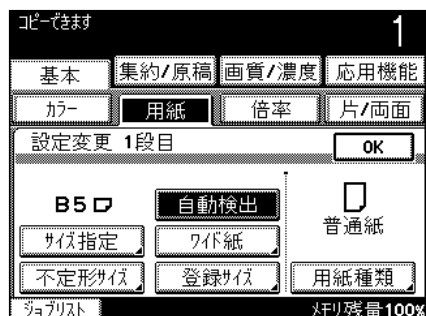
手差しトレイにワイド紙の設定をする場合には、手差しトレイのキーを押します。

3

「設定変更」を押します。

4

「ワイド紙」を押します。



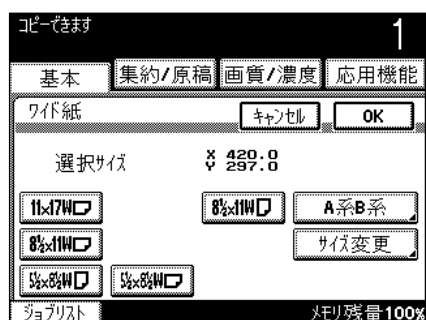
ワイド紙画面が表示されます。

5

セットする用紙のサイズを選択します。



- インチサイズのワイド紙を設定するときは、[インチ系] を押します。

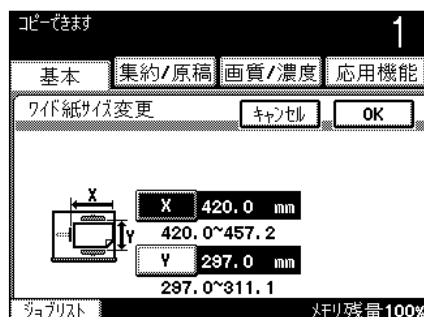


6

サイズの変更をしたい場合は、[サイズ変更] を押します。
ワイド紙のサイズ変更画面が表示されます。

7

X 辺サイズと Y 辺サイズを設定し、[OK] を押します。
[X] または [Y] を押し、テンキーで数値を入力します。



8

[OK] を 3 回押します。

6.2.6 専用紙として設定する

普通紙以外の OHP フィルムや特殊紙などをトレイにセットする場合には、トレイの用紙種類の設定を変更してください。
ここではトレイ 1 での専用紙の設定方法を説明します。

1

基本設定画面の [用紙] を押します。



用紙画面が表示されます。

詳しく説明します

- ・入力したサイズは、登録サイズキーに登録されます。次回からは、サイズの入力は不要です。また、サイズを変更することもできます。
- ・X 辺、Y 辺の同一サイズでの入力は行わないでください。
- ・入力を間違えたときは、[C] を押し、正しい数値を入力します。

必ず守ってください

特殊紙をセットしたトレイは、必ず該当する用紙種類に設定してください。誤った設定を行うと紙づまりの原因となります。

参照

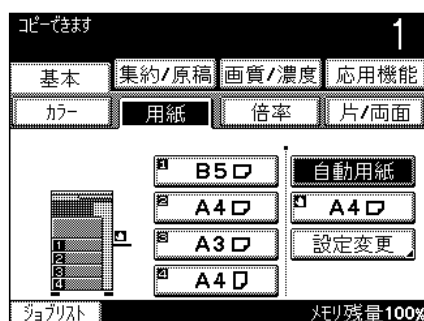
- ・トレイ 1 の用紙のセットについては、「[トレイ 1 へ用紙をセットする](#)」(p. 1-22) をご覧ください。
- ・トレイ 2/3/4 の用紙のセットについては、「[トレイ 2/3/4 へ用紙をセットする](#)」(p. 1-26) をご覧ください。
- ・手差しトレイの用紙のセットについては、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-29) をご覧ください。

詳しく説明します

- ・トレイ 2/3/4、手差しトレイに専用紙を設定する場合は、該当するトレイのキーを押します。
- ・専用紙として設定した給紙トレイは、自動用紙機能による選択の対象になりません。ただし、両面不可紙については、片面印刷時には優先的に選択の対象となります。
- ・自動トレイ切換え機能は同一の用紙種類を設定したトレイ間にかぎり動作します。

2

トレイ 1 のキーを押します。

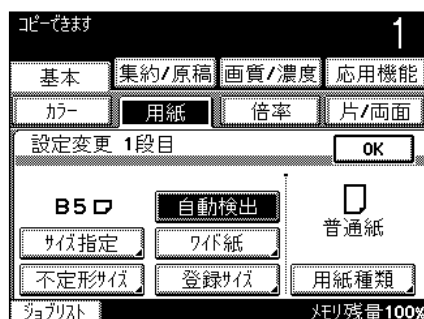


3

「設定変更」を押します。

4

「用紙種類」を押します。

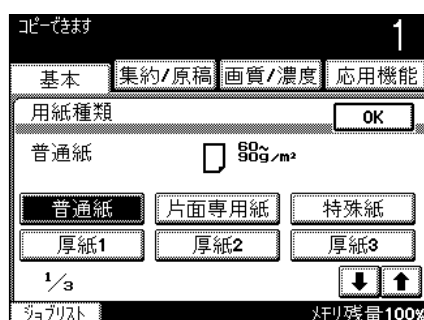


用紙種類画面が表示されます。

5

専用紙の種類を設定します。

○ 目的の用紙種類のキーを押します。



6

「OK」を2回押します。

詳しく説明します

- ・給紙トレイによりセットできる専用紙に制限があります。セット可能な用紙種類については、「仕様」(p. 5-2)をごらんください。
- ・[↓]、または[↑]を押して、目的の用紙種類のキーを表示させます。

必ず守ってください

はがきをセットしたときは、「厚紙3」を設定してください。

6.2.7 手動で両面印刷をする

両面ユニットに通紙できない用紙へ両面印刷したい場合は、「2 面目」を使用して印刷します。

2 面目の用紙は、トレイ 1 と手差しトレイにセットできます。

1

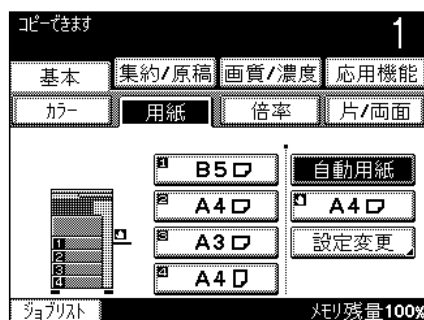
基本設定画面の「用紙」を押します。



用紙画面が表示されます。

2

トレイ 1 のキーを押します。

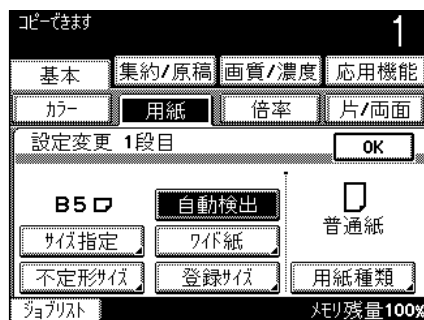


3

「設定変更」を押します。

4

「用紙種類」を押します。



用紙種類画面が表示されます。

ひとこと

自動用紙選択機能では「2 面目」を設定したトレイを選択しません。

参照

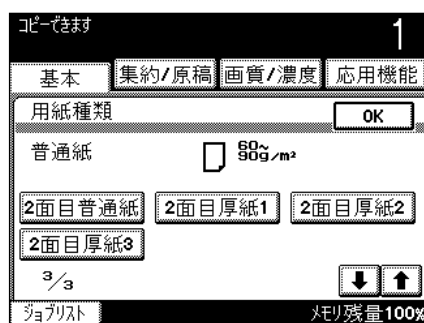
- ・トレイ 1 の用紙のセットについては、「[トレイ 1 へ用紙をセットする](#)」(p. 1-22) をご覧ください。
- ・手差しトレイの用紙のセットについては、「[手差しトレイへ用紙をセットする](#)」(p. 1-29) をご覧ください。

詳しく説明します

手差しトレイに用紙種類を設定する場合は、手差しトレイのキーを押します。

5

セットした用紙の種類を選択します。



詳しく説明します

[↓]、または[↑]を押して、目的の用紙種類のキーを表示させます。

6.3 原稿について

原稿をコピーするときは、ADF または原稿ガラス上にセットします。
ADF にセットできない原稿は、原稿ガラス上に直接セットしてコピーしてください。

6.3.1 ADF にセットできる原稿

ADF を使用する場合、2 つの設定があります。

- 通常設定
- 混載原稿、Z 折れ原稿設定

各設定によりセット可能な原稿種類に制限があります。

通常設定

	片面原稿	両面原稿
原稿種類／坪量	普通紙：38 g/m ² ～ 128 g/m ²	普通紙：50 g/m ² ～ 128 g/m ²
原稿サイズ	A3 □ ～ A5 □、8-1/2 × 11 □/□	
積載量	70 枚 (80 g/m ²)	

混載原稿設定

	片面原稿	両面原稿
原稿種類／坪量	普通紙：50 g/m ² ～ 128 g/m ²	
原稿サイズ	同じ幅の原稿のみ使用可能	
積載量	70 枚 (80 g/m ²)	

6.3.2 ADF にセットする原稿についての注意

以下のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因となるため、ADF にはセットしないでください。

- しわ、折れ、カール、破れなどのひどい原稿
- OHP フィルム、第 2 原図などの透明度の高い原稿
- カーボン紙などの表面がコーティング処理された原稿
- 128 g/m² 以上の厚手の原稿
- クリップ、ステーブルなどでとじられた原稿
- 本など製本されている原稿
- のりなどで貼り合わせてある原稿
- 切取りや切抜きのある原稿
- ラベル用紙
- オフセットマスター
- とじ穴の開いた原稿
- 本機で印刷した直後の原稿



2 つ折り、Z 折れ原稿など折り目のついた原稿を ADF にセットするときは折り目をよく伸ばしてください。

6.3.3 原稿ガラス上にセットできる原稿

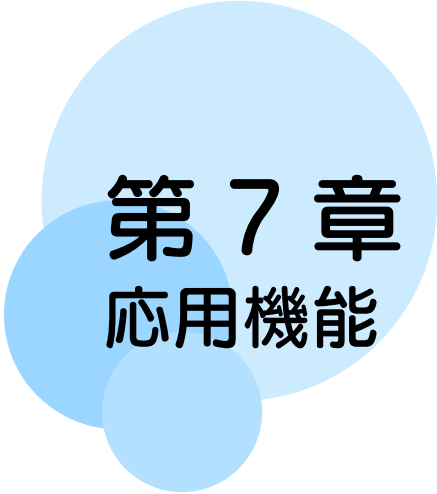
ADF にセットできない原稿などを、原稿ガラス上に直接セットしてコピーします。

原稿種類	シート、ブック（見開き）、立体物
原稿サイズ	A3 □ ～ A5 □
最大質量	2 kg

6.3.4 原稿ガラス上にセットする原稿についての注意

以下のような原稿を原稿ガラス上にセットする場合は注意が必要です。

- 不定形の原稿をセットした場合、原稿サイズを自動検出できないため、自動用紙および自動倍率機能が使用できません。不定形の原稿をセットした場合は、使用する用紙トレイと倍率を選択してください。
- OHP フィルムや第 2 原図などの透明度の高い原稿をセットした場合、原稿サイズを自動検出できません。原稿と同じサイズの白紙を重ねてセットしてください。
- 質量が 2 kg を超えるような立体原稿は、故障の原因となりますので、原稿ガラス上にはセットしないでください。
- 厚手の本などをセットした場合、強い力で上から押さえつけないでください。故障の原因となります。



第 7 章

応用機能

便利な応用機能を使ってコピーする方法について説明します。

7.1	カラー画質機能とサンプル	7-2
7.2	カラー反転や補色してコピーする（ネガポジ反転）	7-18
7.3	カラー画質を調整する	7-19
7.4	カラーバランスを調整する	7-21

7.1 カラー画質機能とサンプル

ここでは、フルカラーコピー機でできる多彩な機能を幅広く活用していただくときに役立つコピーサンプルを掲載しています。

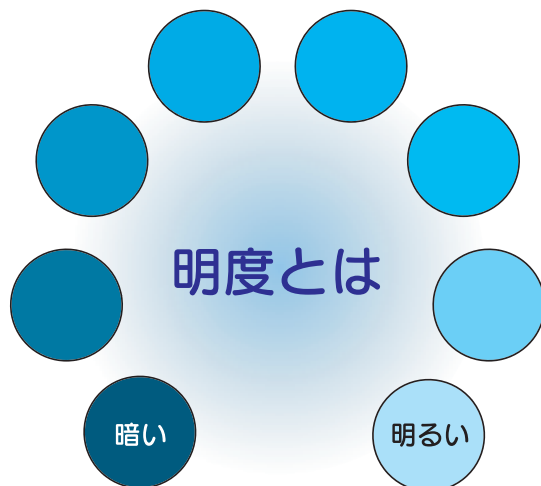
項目	説明	項目	説明
色についての知識 	色相、明度、彩度について説明します。(p. 7-3)	ネガポジ反転 	ネガティブ画像とポジティブ画像を反転してコピーします。(p. 7-17)
赤色 	赤色を調節します。(p. 7-5)	彩度 	鮮やかさを調節します。(p. 7-12)
緑色 	緑色を調節します。(p. 7-6)	シャープネス 	文字の鮮明度を調節します。(p. 7-13)
青色 	青色を調節します。(p. 7-7)	コピー濃度 	コピー濃度を調節します。(p. 7-14)
カラーバランス (カラー CMYK 調整) 	CMYK での色の強さを調節します。(p. 7-8)	モノカラー 	選んだ 1 色 (モノトーン) でコピーします。(p. 7-15)
明度 	明るさを調節します。(p. 7-10)	2 色カラー 	黒色と選んだ 1 色でコピーします。(p. 7-16)
コントラスト 	明暗の差を調節します。(p. 7-11)		

※掲載されている写真は印刷サンプルです。実際のカラーコピーとは多少色が異なる場合があります。

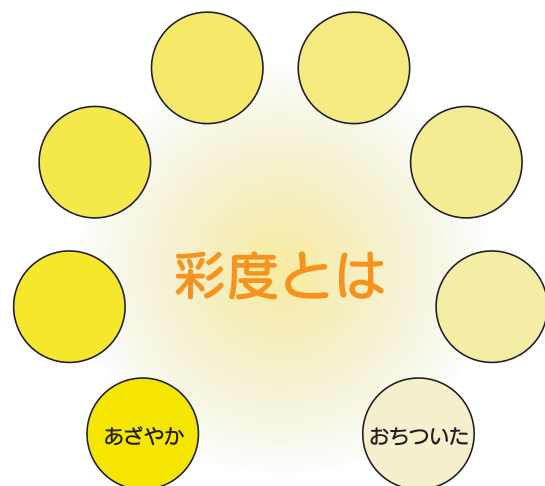
7.1.1 色についての知識



リンゴの色は赤、レモンの色は黄、空の色は青・・・というように、誰でもその「色あい」を思い浮かべることができます。この赤、黄、青というように、それぞれ区別される「色あい」を色相といいます。



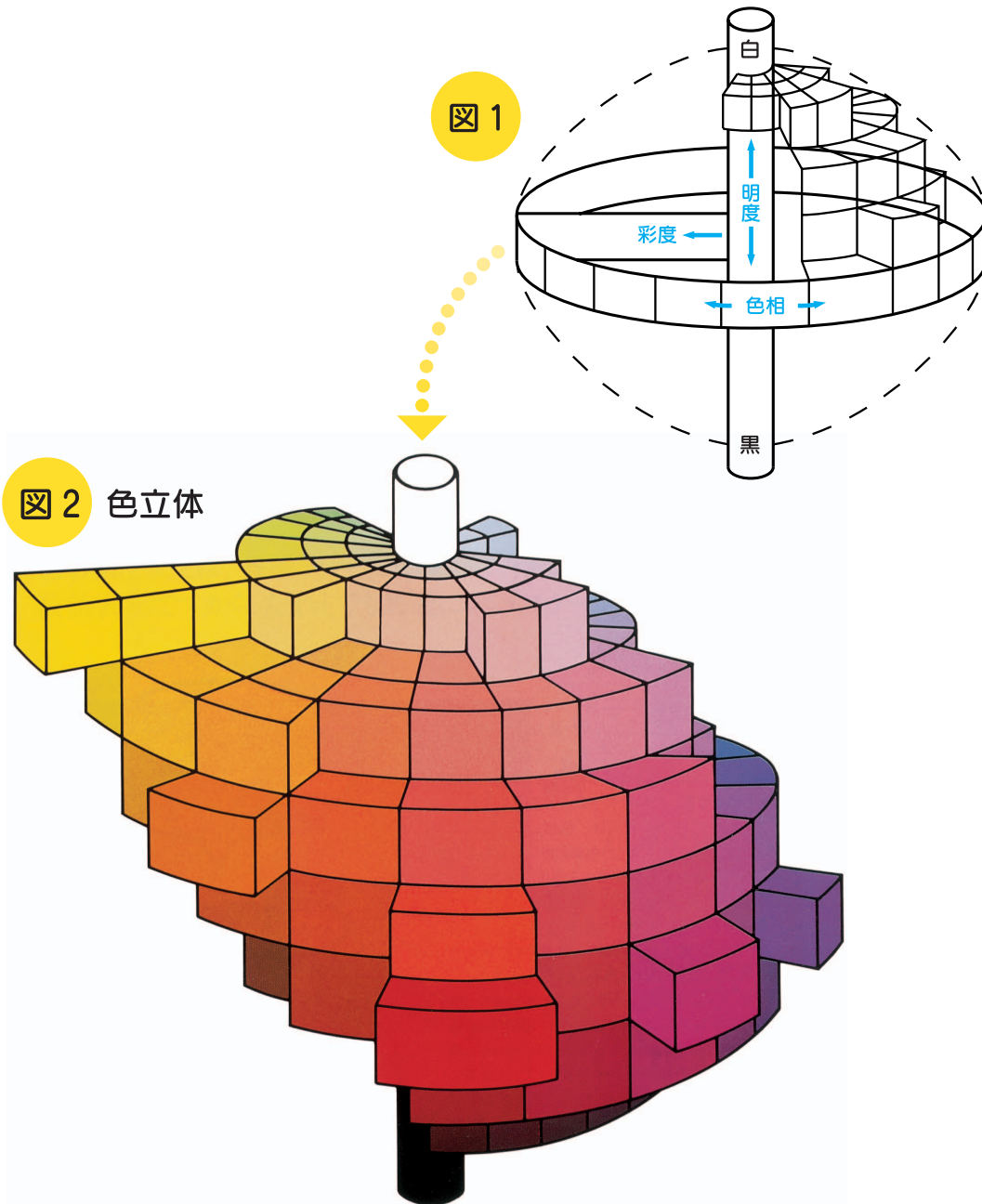
色と色を比較して、明るい色とか暗い色というように、色には「明るさ」の度合いがあります。たとえばレモンの黄色とグレープフルーツの黄色では、レモンの黄色の方が、より明るいですね。レモンの黄色とあずきの赤ではどうでしょう。やはり、レモンの黄色の方が明るい色ですね。このように、色相に関係なく比較できる「明るさ」の度合いを明度と呼んでいます。



同じ黄色でも、レモンと梨でくらべてみるとどうなるでしょう。「明るさ」というよりも、レモンはあざやかな黄色で、梨はにぶい黄色というように、「あざやかさ」にはおおきな違いがあることがわかります。このように色相や明度とはまた別に「あざやかさ」の度合いを示す性質を彩度と呼んでいます。

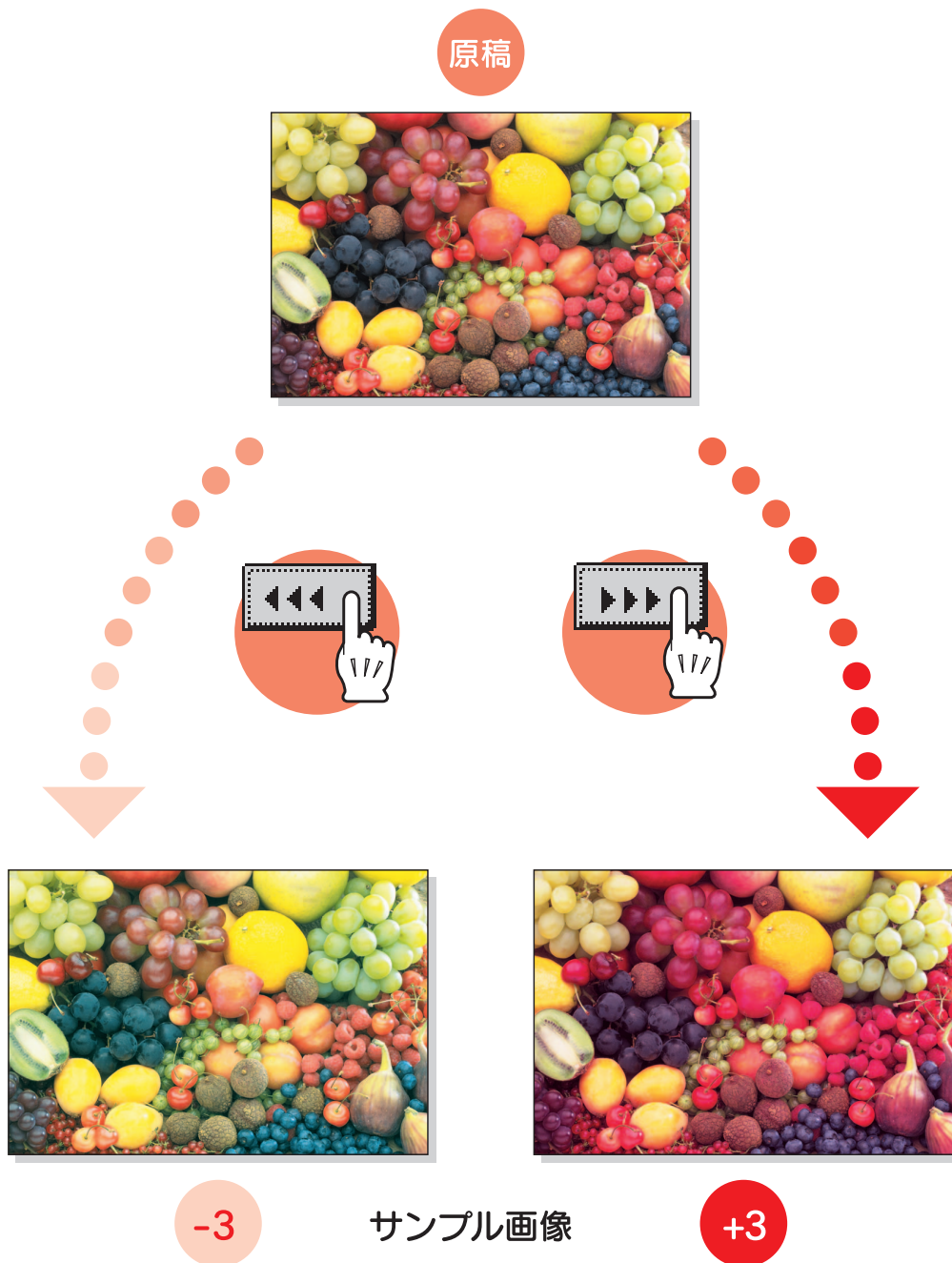
- 色相、明度、彩度の関係について（色立体図）

色相、明度、彩度。この3つの要素は色の三属性と呼ばれ、図1のように色相を外周、明度をタテ軸、彩度を中心からヨコ軸とした立体として考えることができます。図1で表した、三属性でつくられる立体に実際の色を配してみると図2のような色立体になります。彩度の段階が、色相と明度ごとにそれぞれ異なるため、色立体は複雑な形をしています。色相、明度、彩度、が変化していく様子がよくわかります。



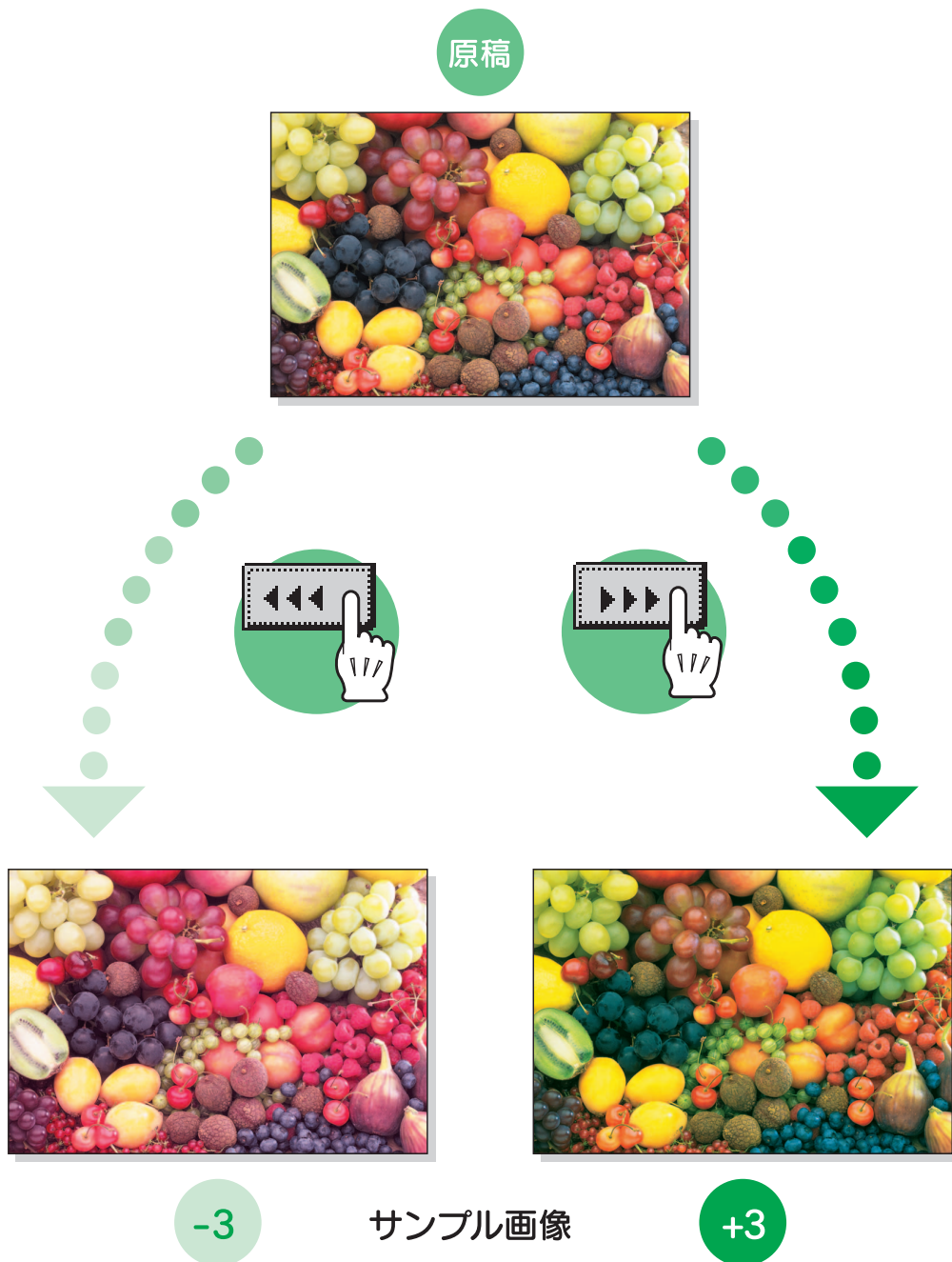
7.1.2 赤色

赤色の色あいを 19 段階に調整できます。
設定方法について詳しくは、[p. 7-19](#) をご覧ください。



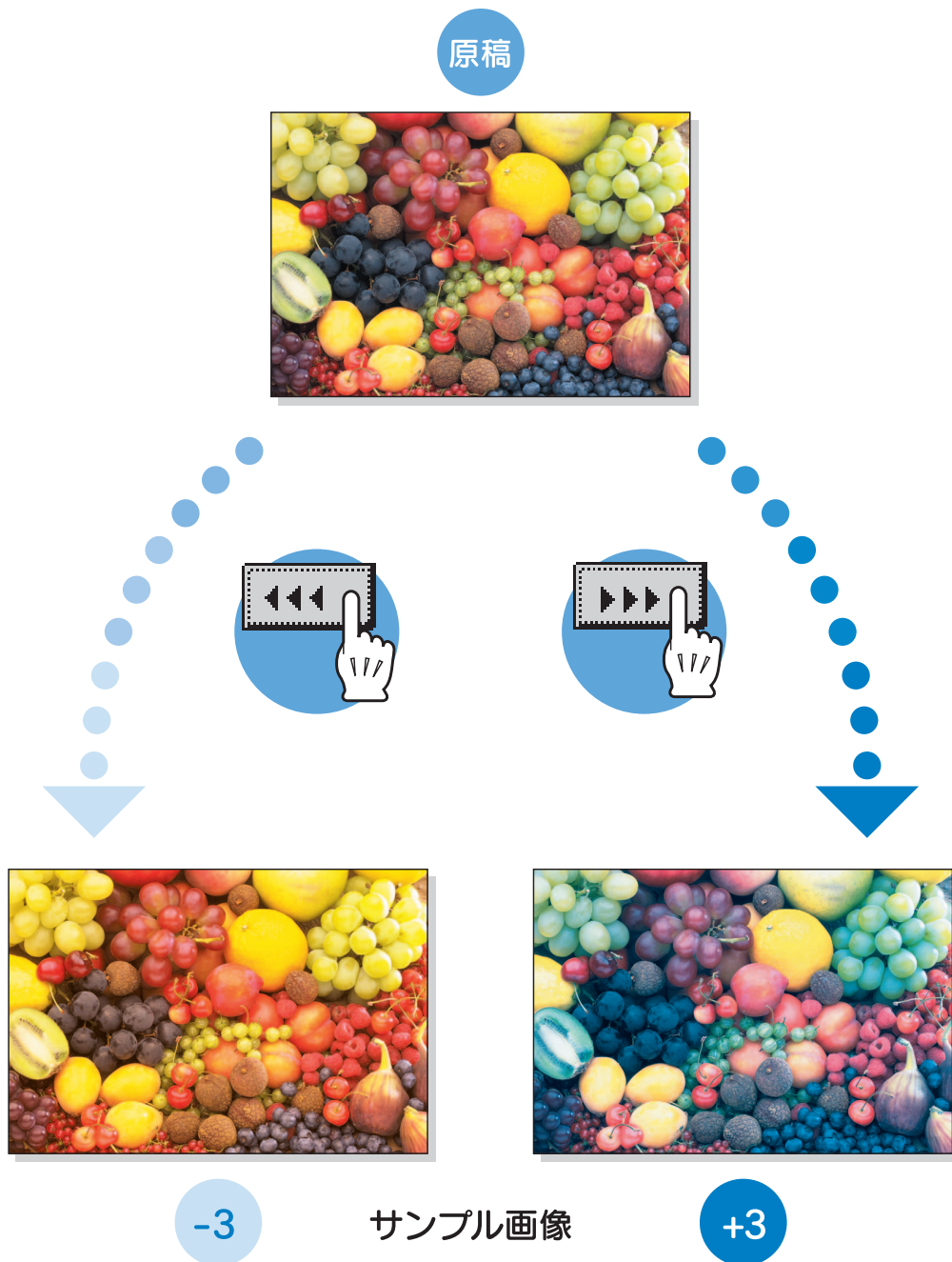
7.1.3 緑色

緑色の色あいを 19 段階に調整できます。
設定方法について詳しくは、[p. 7-19](#) をご覧ください。



7.1.4 青色

青色の色あいを 19 段階に調整できます。
設定方法について詳しくは、[p. 7-19](#) をご覧ください。



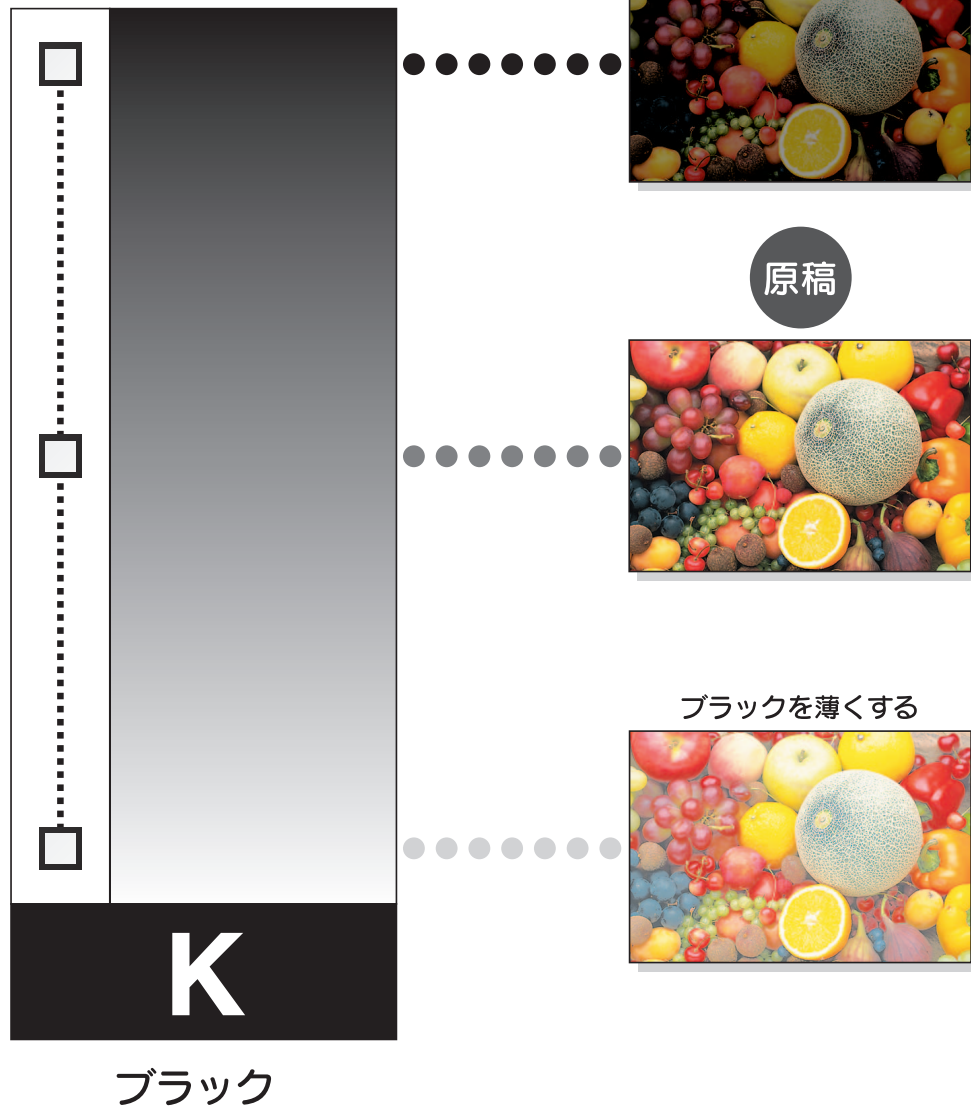
7.1.5 カラーバランス（カラー CMYK 調整）

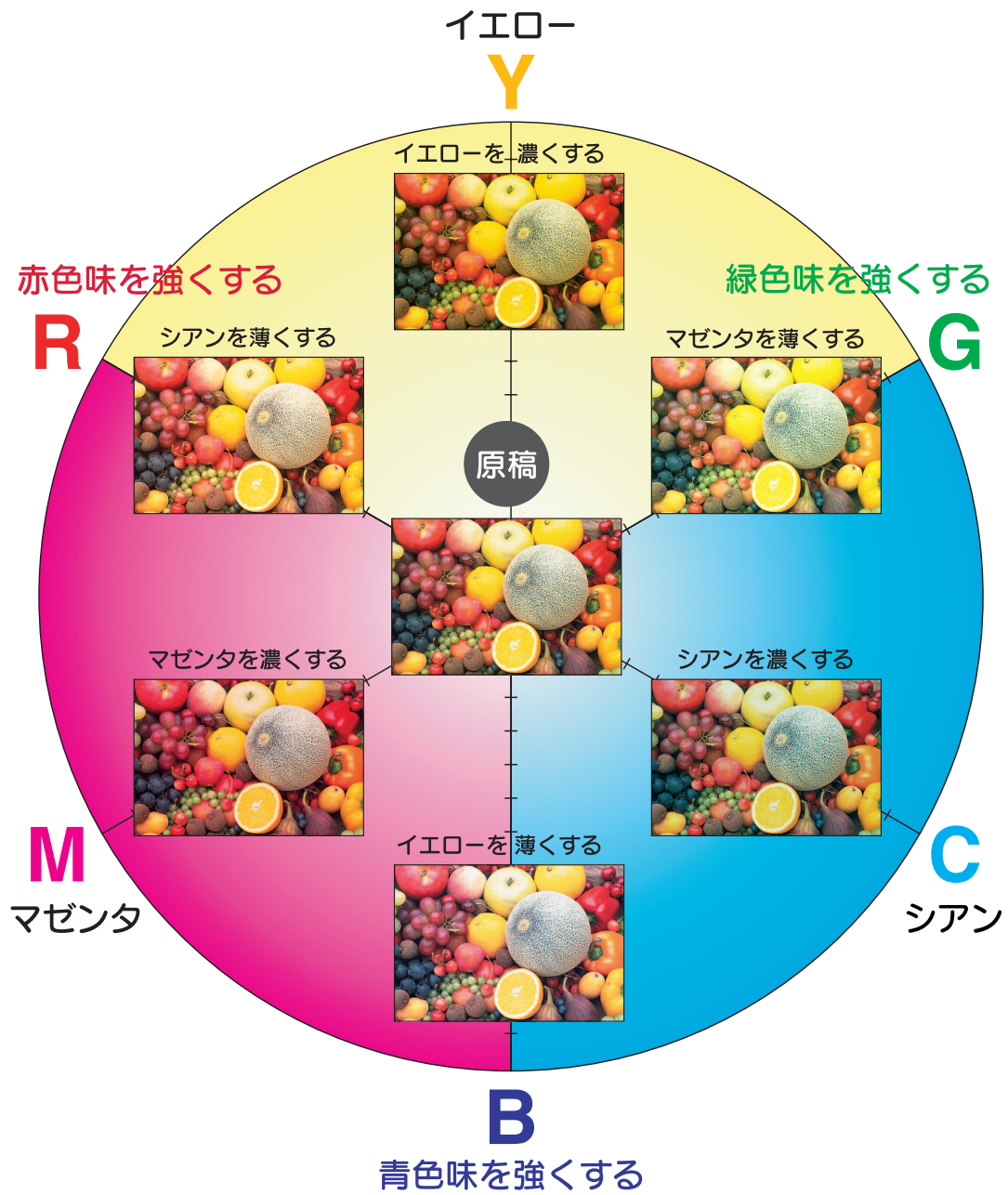
フルカラーコピーは、イエロー・マゼンタ・シアンの3色にブラックを加えた計4色のトナーを混ぜ合わせることで原稿の色を再現しています。

4色のトナーそれぞれの分量を変えることで、コピーの色あいをきめ細かく調整できます。カラーバランスを19段階に調整できます。

設定方法について詳しくは、[p. 7-21](#) をご覧ください。

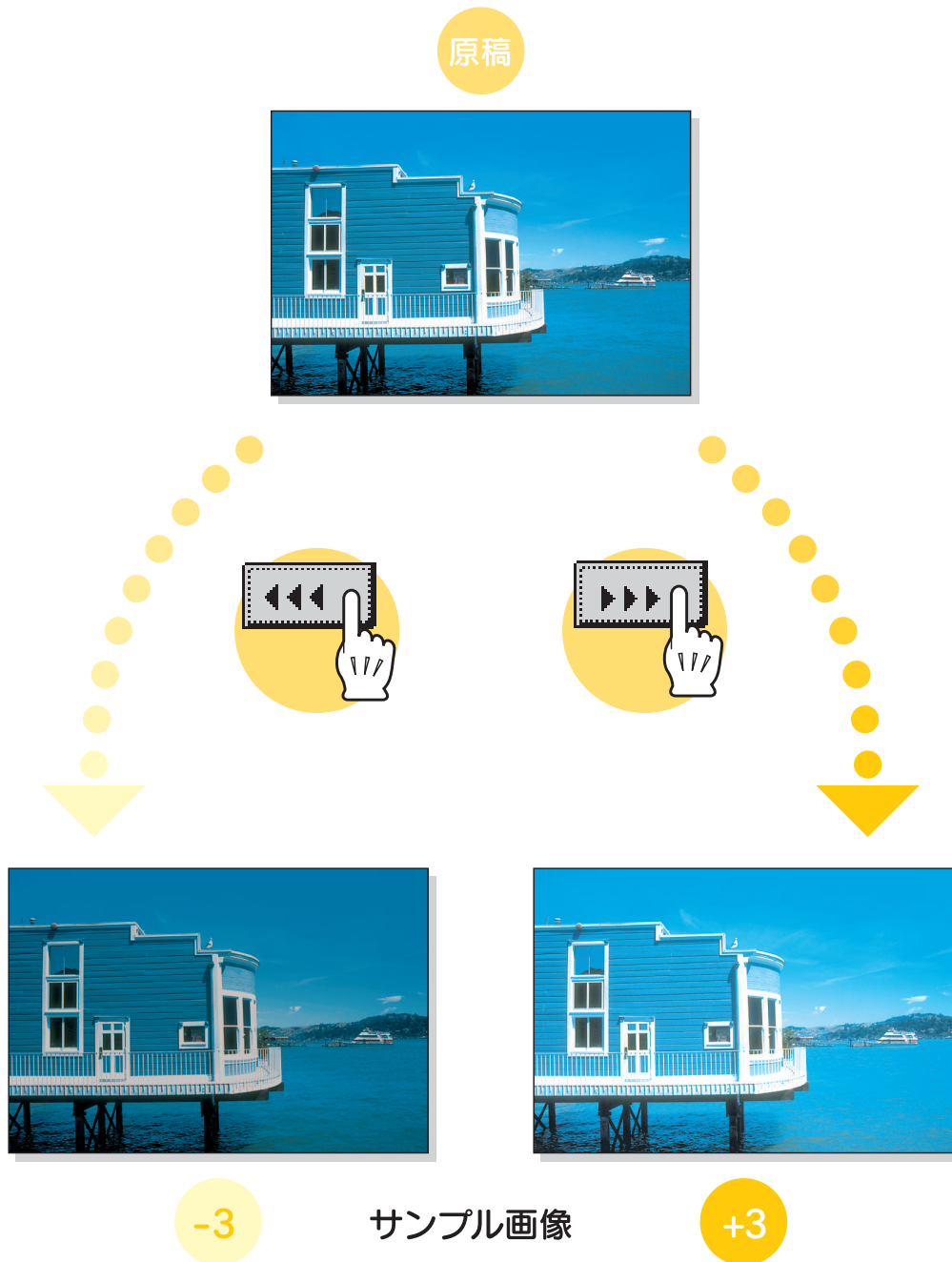
黒色味を調整する





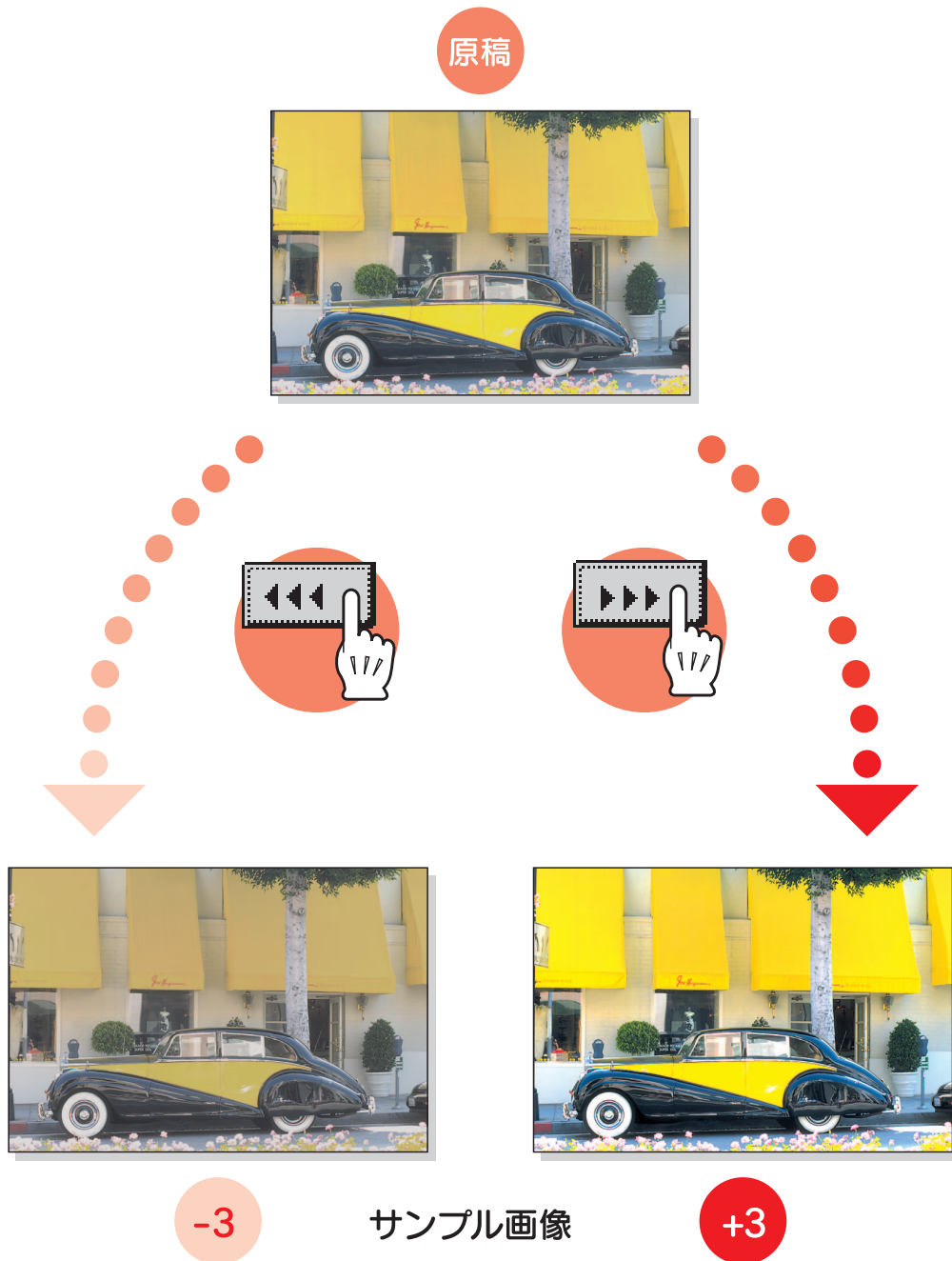
7.1.6 明度

画像の明暗を 19 段階に微調整できます。
設定方法について詳しくは、[p. 7-19](#) をご覧ください。



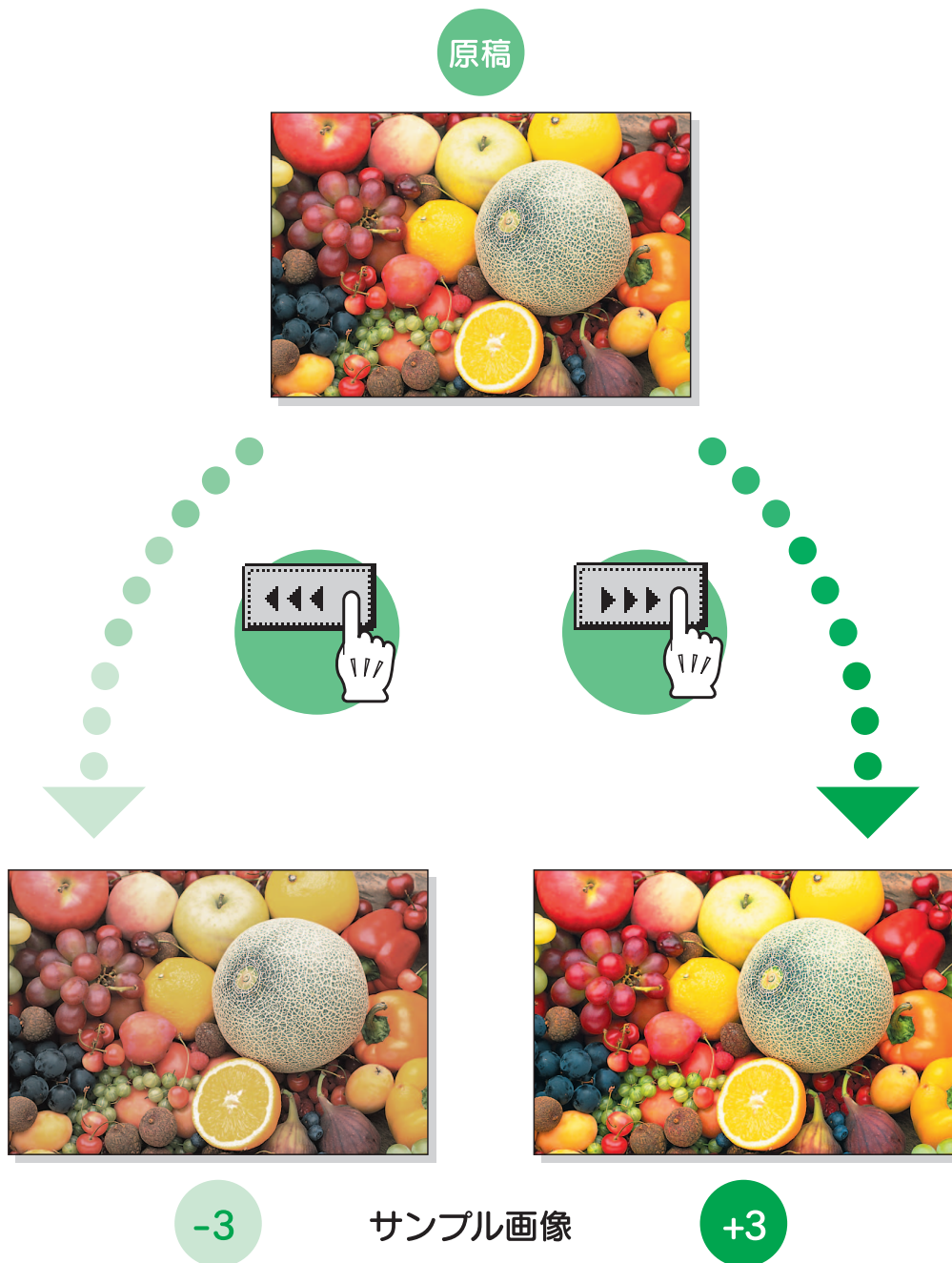
7.1.7 コントラスト

画像を、ソフトでなめらかなイメージからくっきりしたイメージまで 19 段階に微調整できます。
設定方法について詳しくは、[p. 7-19](#) をご覧ください。



7.1.8 彩度

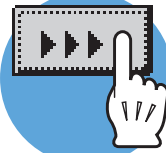
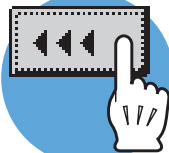
画像の鮮やかさを 19 段階に微調整できます。
設定方法について詳しくは、[p. 7-19](#) をご覧ください。



7.1.9 シャープネス

文字や画像の輪郭の強弱を 7 段階に調整できます。
設定方法について詳しくは、[p. 7-19](#) をご覧ください。

原稿



-3

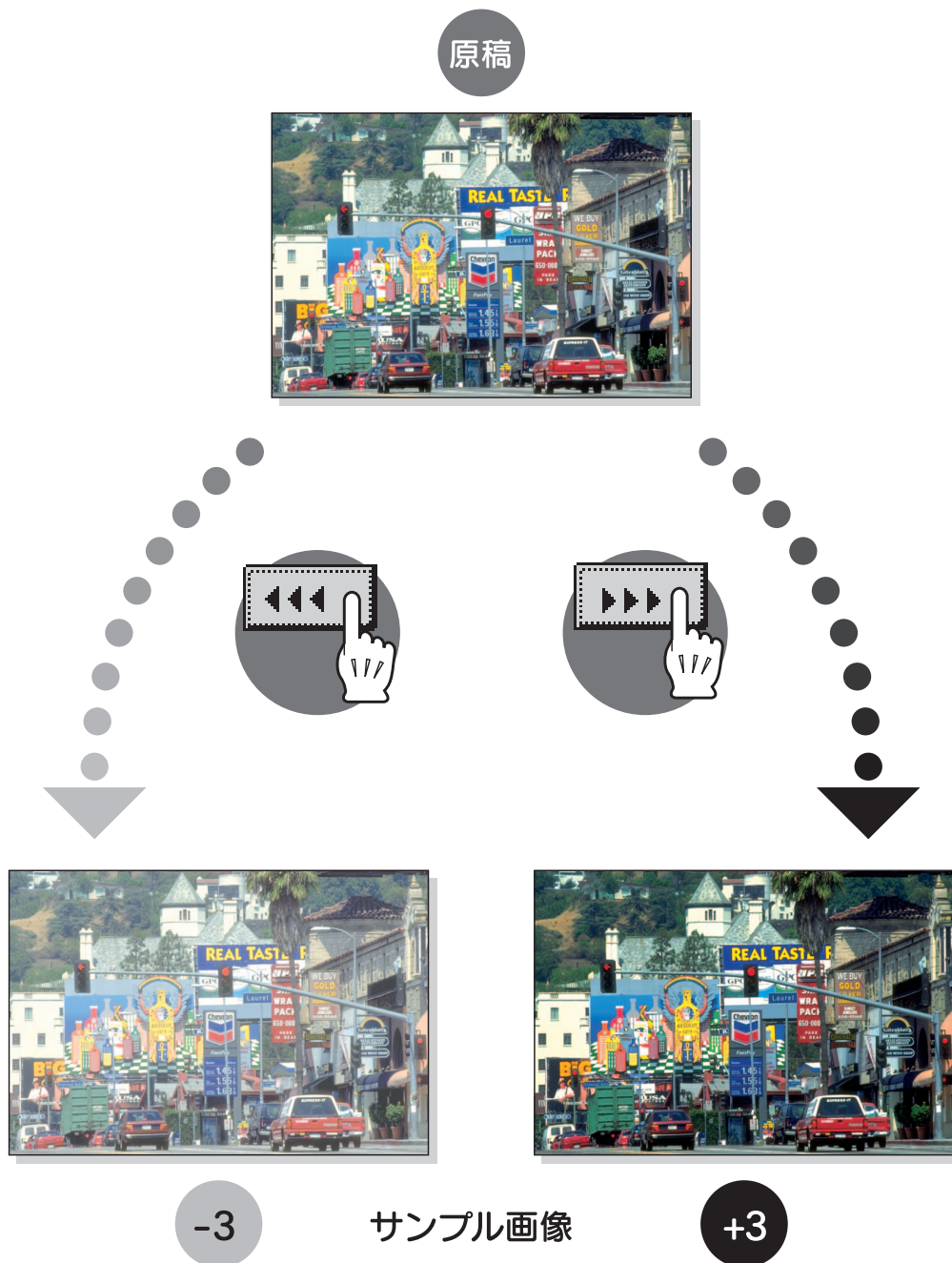
サンプル画像



+3

7.1.10 コピー濃度

画像の濃淡を 19 段階に微調整できます。
設定方法について詳しくは、[p. 7-19](#) をご覧ください。



7.1.11 モノカラー

21色の中から指定した1色でモノトーンのコピーをとることができます。
設定方法について詳しくは、[p. 2-14](#) をご覧ください。



7.1.12 2色カラー

原稿の黒色部分は黒色で、カラー部分は6色の中から指定した1色のモノトーンでコピーをとることができます。

設定方法について詳しくは、[p. 2-14](#) をご覧ください。



7.1.13 ネガポジ反転

原稿の濃淡を反転してコピーできます。

設定方法について詳しくは、[p. 7-18](#) をご覧ください。

- モノカラーコピー

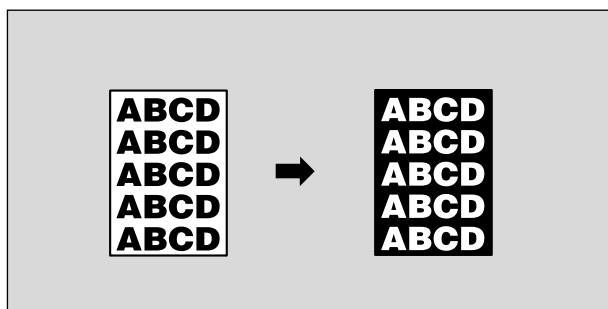


- フルカラーコピー



7.2 カラー反転や補色してコピーする（ネガポジ反転）

原稿の濃淡および色（階調）を反転させてコピーします。

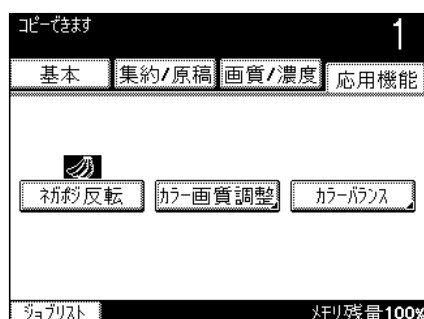


1

原稿をセットします。

2

〔応用機能〕を押し、〔ネガポジ反転〕を押しします。



3

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

4

テンキーでコピー部数を入力します。

5

【スタート】を押しします。



原稿のセット方法については、「[原稿をセットする](#)」(p. 2-6) をご覧ください。

ひとこと

- ・全ての応用機能を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。
- ・ネガポジ反転機能を解除するときは再度〔ネガポジ反転〕を押します。



モノカラーが設定されている場合は、選択されている色でカラー反転されます。

7.3 カラー画質を調整する

カラーコピーの原稿をイメージに合った画質に調整します。

カラー画質調整には 8 種類の機能があり、各機能は組合わせて使用することもできます。

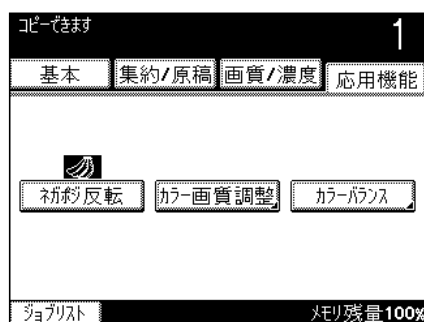
機能名	説明
明度	明るさの度合いを調整します。
コントラスト	濃淡のコントラストを調整します。
彩度	色のあざやかさの度合いを調整します。
赤色	赤色の色あいを調整します。
緑色	緑色の色あいを調整します。
青色	青色の色あいを調整します。
コピー濃度	コピー濃度を調整します。
シャープネス	文字のエッジ部分を強調させて読みやすくします。また、原稿のきつすぎる印象をなめらかな感じにさせたり、ぼやけた印象をくっきりさせたりします。

7.3.1 カラー画質機能の調整のしかた

ここでは、明度調整を例として説明します。

1

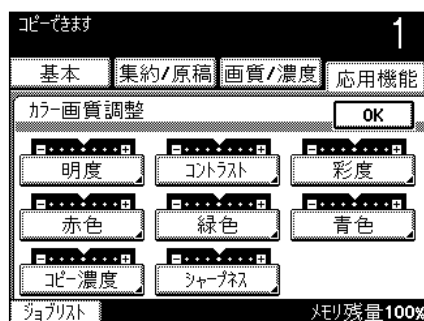
〔応用機能〕 を押し、〔カラー画質調整〕 を押します。



カラー画質調整画面が表示されます。

2

〔明度〕 を押します。



明度画面が表示されます。



カラー画質調整のサンプルイメージについては、「[カラー画質機能とサンプル](#)」(p. 7-2) をごらんください。

ひとこと

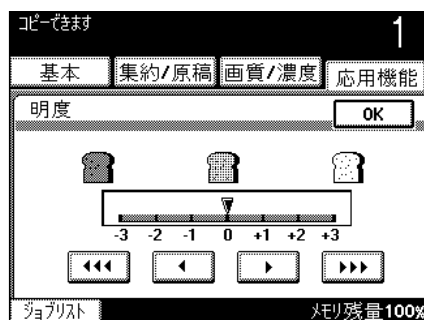
全ての応用機能を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。



カラー画質調整画面で目的の機能を選択します。

3

[◀◀]、[◀]、[▶]、[▶▶] で、調整値を設定します。



4

[OK] を2回押します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

詳しく説明します

- ・調整値は -3 ～ +3 の範囲を 1 ステップまたは 1/3 ステップで設定します。
- ・シャープネス機能は 1 ステップのみで設定します。

ひとこと

1/3 ステップで設定した場合、カラー画質調整画面では、最も近い 1 ステップの目盛で表示されます。

7.4 カラーバランスを調整する

イエロー（Y）、マゼンタ（M）、シアン（C）、ブラック（K）の各濃度を変更し、色味の調整を行います。

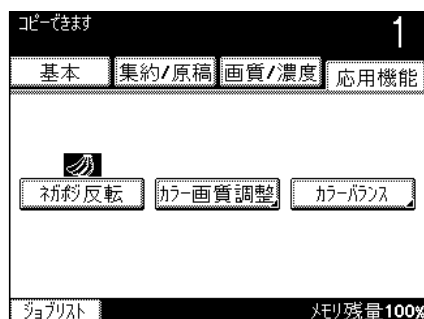
色味の調整は以下のように行います。

- 赤色味を強くするには、イエローおよびマゼンタの濃度を増やす、またはシアンの濃度を少なくします。
- 緑色味を強くするには、イエローおよびシアンの濃度を増やす、またはマゼンタの濃度を少なくします。
- 青色味を強くするには、マゼンタおよびシアンの濃度を増やす、またはイエローの濃度を少なくします。
- 黄色味を強くするには、イエローの濃度を増やす、またはマゼンタおよびシアンの濃度を少なくします。
- 黒色味を強くするには、ブラックの濃度を増やします。

ここでは、イエローの濃度変更を例として説明します。

1

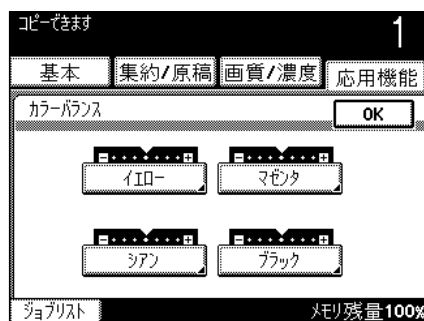
〔応用機能〕 を押し、〔カラーバランス〕 を押します。



カラーバランス画面が表示されます。

2

〔イエロー〕 を押します。



イエロー画面が表示されます。

ひとこと

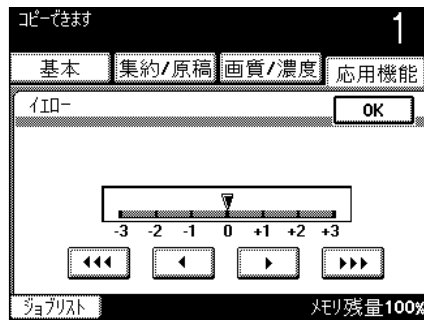
全ての応用機能を解除する場合は、【リセット】を押します。初期設定から変更された設定は全て解除されます。

詳しく説明します

カラーバランス画面で目的の色を選択します。

3

[◀◀]、[◀]、[▶]、[▶▶] で、調整値を設定します。



4

[OK] を2回押します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

詳しく説明します

調整値は -3 ~ +3 の範囲を 1 ステップまたは 1/3 ステップで設定します。

ひとこと

1/3 ステップで設定した場合、カラーバランス調整画面では、最も近い 1 ステップの目盛で表示されます。



第 8 章

トナーカートリッジ交換／廃棄トナーボックス交換／イメージングユニット交換

トナーカートリッジなどの消耗品の交換について説明します。

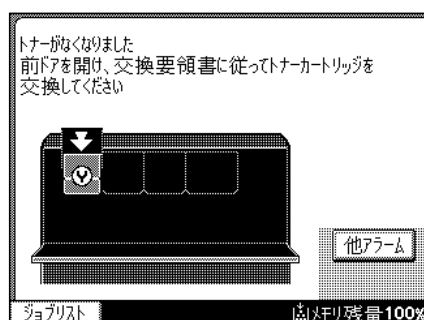
8.1	トナーカートリッジを交換する	8-2
8.2	廃棄トナーボックスを交換する	8-5
8.3	イメージングユニットを交換する	8-8

8.1 トナーカートリッジを交換する

トナーが残り少なくなると、下図のような事前通知メッセージが表示されます。



トナーがなくなると、下図のようなトナー交換処理メッセージが表示されます。



⚠ 注意

トナーおよびトナーカートリッジの取扱い
トナーまたはトナーカートリッジを火中に投じないでください。
トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

トナーで本体内部や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

ひとこと

メッセージが表示されたら、保守契約にしたがってトナーカートリッジの交換の準備を行ってください。

ひとこと

・メッセージ表示後に本機は停止します。保守契約にしたがってトナーカートリッジの交換を行ってください。また表示された色以外のトナーカートリッジの交換をしないでください。

参照

トナーカートリッジの交換のしかたについては、「[トナーカートリッジ交換のしかた](#)」(p. 8-3)をご覧ください。

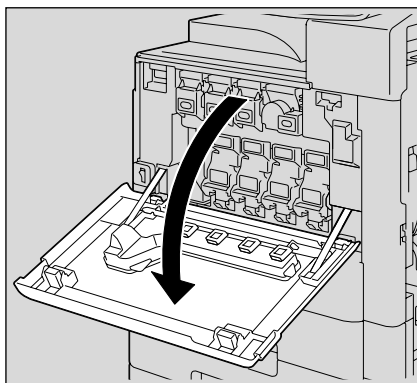
8.1.1 トナーカートリッジ交換のしかた

トナーカートリッジの交換のしかたは、全ての色（イエロー Y、マゼンタ M、シアン C、ブラック K）とも同じ交換手順です。

例：ブラックトナーカートリッジの交換のしかた

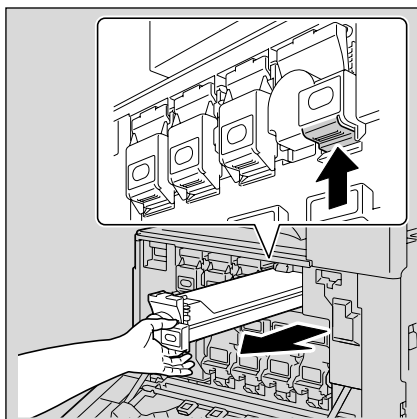
1

前ドアを開きます。



2

使い終わったトナーカートリッジのロックツメを押上げ、ロックを解除します。トナーカートリッジが止まる位置まで手前に引いてから上に持ち上げて引抜きます。



3

新しいトナーカートリッジを用意します。

- トナーカートリッジの色と本体側のラベルの色が同じであることを確認してください。

ひとこと

交換するトナーカートリッジの色と交換用に準備したトナーカートリッジの色が同じか確認します。



必ず守ってください

- ・ 他の色のトナーカートリッジは取付け位置が異なりますのでご注意ください。
- ・ ブラックのトナーカートリッジと他の色のトナーカートリッジでは形が異なります。



必ず守ってください

使用済みトナーカートリッジはサービス実施店が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。

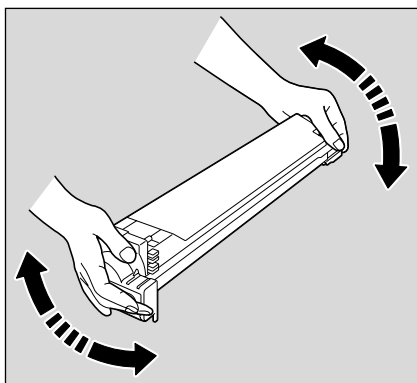


必ず守ってください

他の色のトナーカートリッジは取付けることができないようになっています。無理に取付けようとすると故障の原因になります。

4

新しいトナーカートリッジを個装箱から取出して、上下に5～10回程度よく振ります。

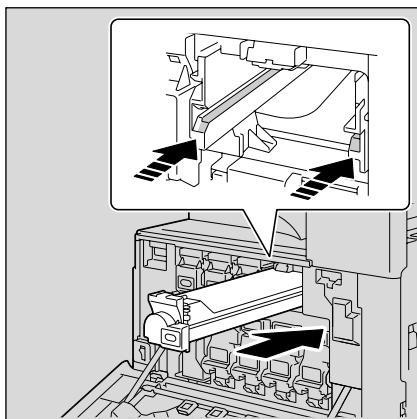


必ず守ってください

トナーカートリッジ内でトナーが固まっていることがありますので、必ずこの動作を行って、トナーをよく碎いてからトナーカートリッジの交換をしてください。

5

トナーカートリッジを本体側の溝に合わせて挿入し、ロックツメがロックするまで差込みます。

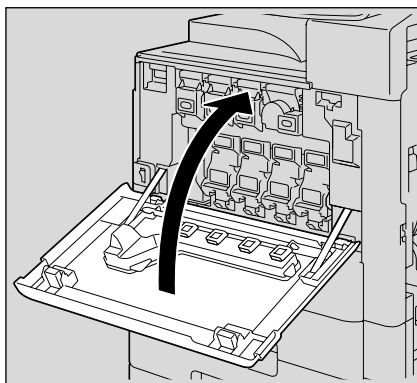


必ず守ってください

新しいトナーカートリッジを差込むときは、“カチッ”と音がするまで確実に差込んでください。

6

前ドアを閉じます。

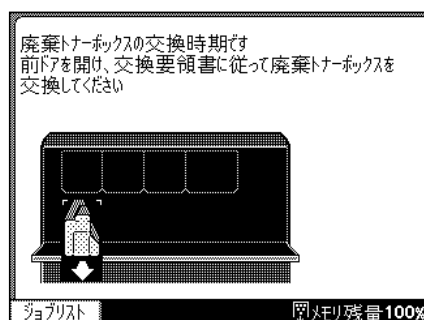


8.2 廃棄トナーボックスを交換する

廃棄トナーボックスの交換時期が近づくと、タッチパネルに下図のメッセージが表示され、交換時期をお知らせします。(ユーザー交換の場合)



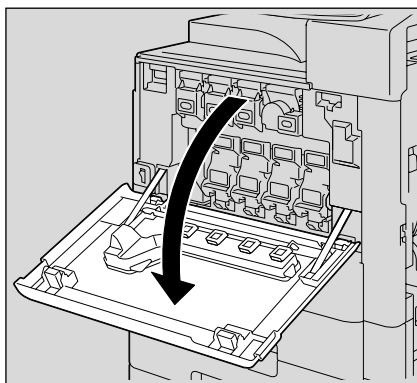
廃棄トナーボックスの交換時期になると、交換時期メッセージが表示され、本機は停止します。(ユーザー交換の場合)



8.2.1 廃棄トナーボックス交換のしかた

1

前ドアを開きます。



ひとこと

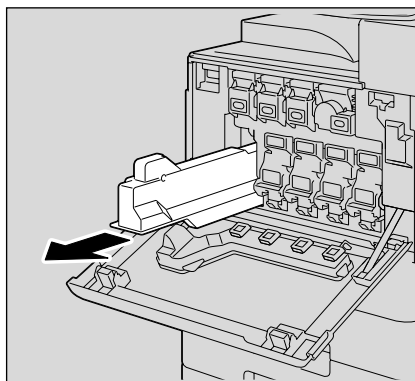
メッセージが表示されたら、保守契約にしたがって廃棄トナーボックスの交換の準備を行ってください。

詳しく説明します

「廃棄ボックスの交換時期です」が表示されてから、「…廃棄トナーボックスを交換してください」が表示されるまでの印刷枚数は、印刷条件および各消耗品 / 交換部品によって異なります。

2

廃棄トナーボックスを持上げて取外します。



必ず守ってください

取外した廃棄トナーボックスを傾けて放置しないでください。廃棄トナーがこぼれるおそれがあります。

⚠ 注意

トナーまたは廃棄トナーボックスを火中に投じないでください。トナーが飛散り、やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

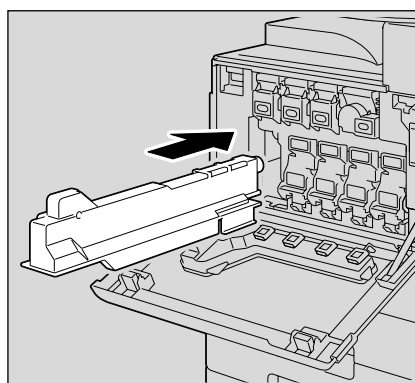
トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。

トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。

目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

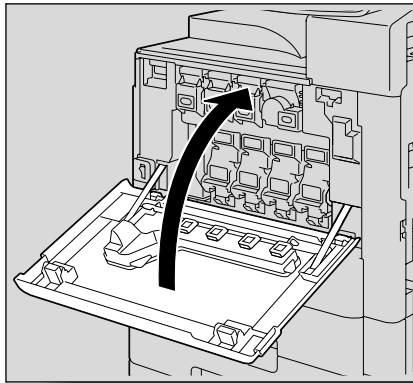
3

新しい廃棄トナーボックスを取付けます。



4

前ドアを閉じます。

**必ず守ってください**

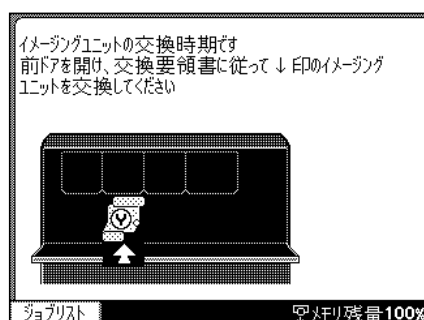
使用済みの廃棄トナーボックスはサービス実施店が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。

8.3 イメージングユニットを交換する

イメージングユニットの交換時期が近づくと、下図のような事前通知メッセージが表示されます。(ユーザー交換の場合)



イメージングユニットの交換時期に達しますと、交換時期メッセージが表示され、本機は停止します。(ユーザー交換の場合)



8.3.1 イメージングユニット交換のしかた

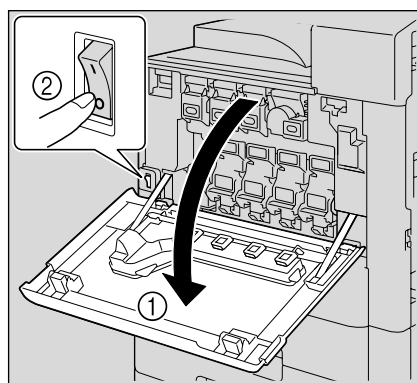
1

【副電源スイッチ】を押します。

タッチパネルの表示が消えたことを確認します。

2

前ドアを開き、【主電源スイッチ】の【○】を押します。



ひとこと

メッセージが表示されたら、保守契約にしたがってイメージングユニットの交換の準備を行ってください。

ひとこと

メッセージが表示されたら、保守契約にしたがってイメージングユニットの交換を行ってください。

参照

イメージングユニットの交換のしかたについては、「[イメージングユニット交換のしかた](#)」(p. 8-8)を
ごらんください。



必ず守ってください

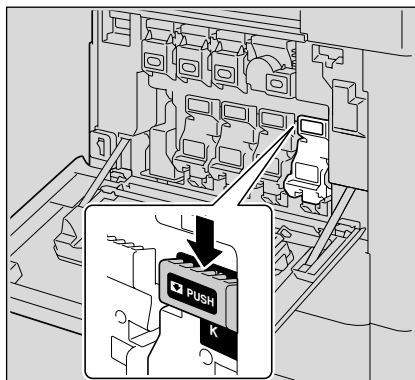
「…イメージングユニットを交換してください」が表示されるまでは、イメージングユニットの交換をしないでください。また表示された色以外のイメージングユニットの交換をしないでください。

ひとこと

交換するイメージングユニットの色と交換用に準備したイメージングユニットの色が同じか確認します。

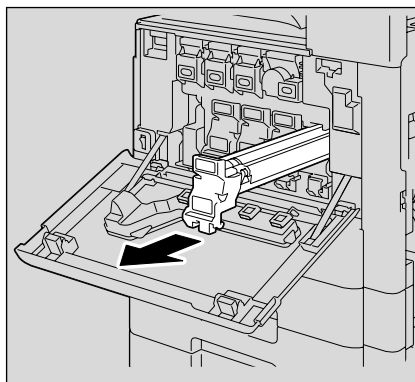
3

交換するイメージングユニットのロック解除つまみを押下げ、ロックを解除します。



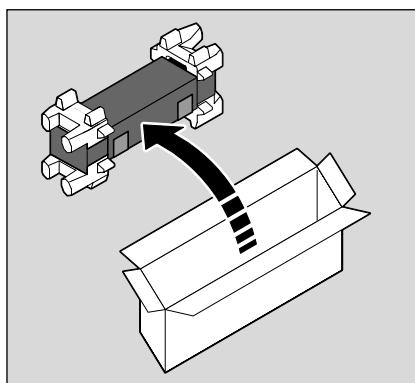
4

イメージングユニットを手前に引いて取外します。



5

イメージングユニットを個装箱から取出します。

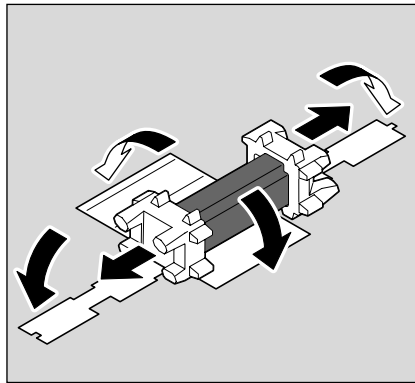


必ず守ってください

- ・イメージングユニットは光によるダメージを受けることがあります。取付ける直前まで黒ビニール袋から取出さないでください。
- ・イメージングユニットの上部を持たないでください。感光体に傷が付き、画像品質が低下するおそれがあります。

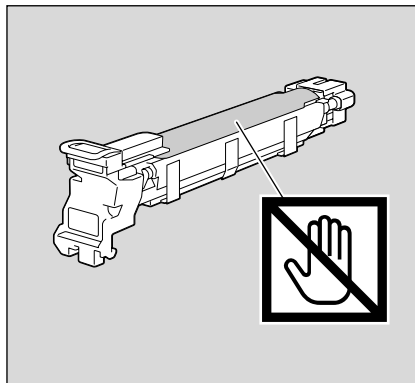
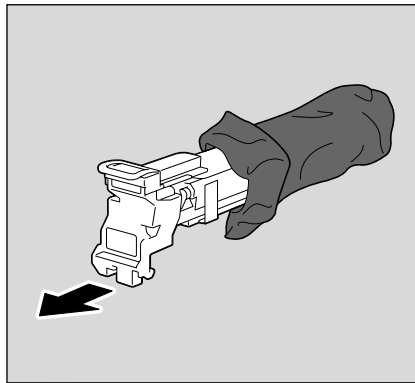
6

テープをはがし、梱包材を取外します。



7

黒ビニール袋からイメージングユニットを取り出します。

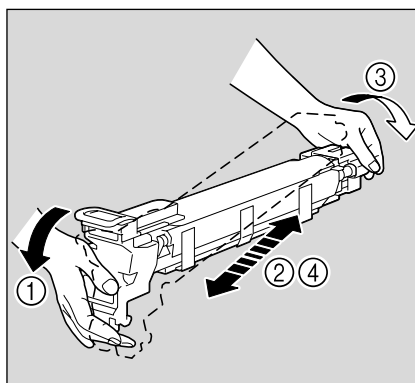


必ず守ってください

感光体には手を触れないでください。

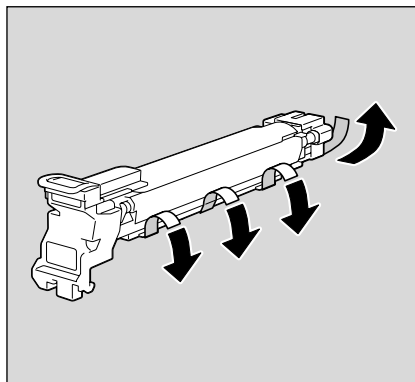
8

イメージングユニットを左に傾けて小さく2回、右に傾けて小さく2回振ります。



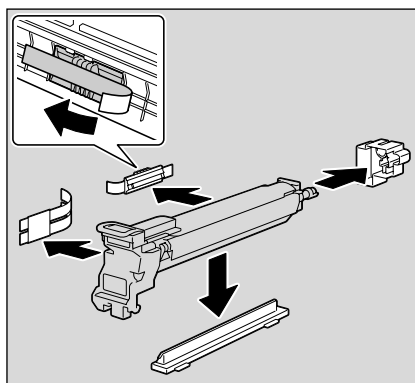
9

テープをはがします。



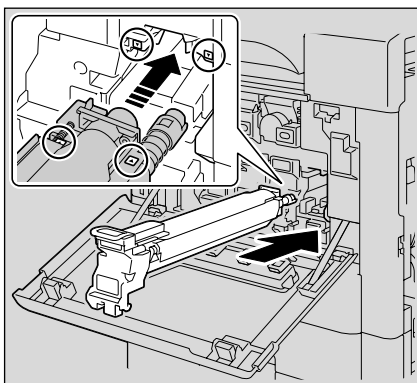
10

梱包材、固定材を取外します。



11

イメージングユニットの▲マークと本体の▼マークを合わせます。
イメージングユニットを本体に挿入します。

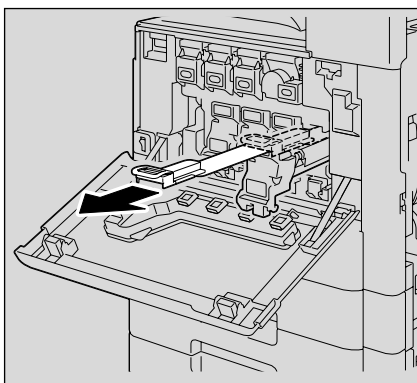


必ず守ってください

- ・イメージングユニットの色と本体挿入口のカラー表示ラベルの色が合っていることを確認してください。
- ・イメージングユニットを傾けた状態で、取付け部に挿入しないでください。
- ・イメージングユニットが確実に挿入されていることを確認してください。

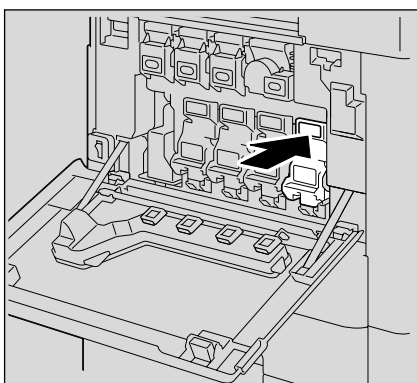
12

感光体保護シート取手を持上げてゆっくりと引抜きます。



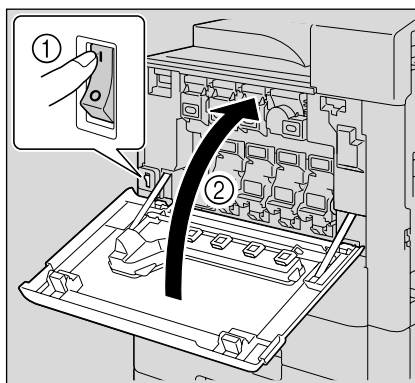
13

イメージングユニットを奥まで押込みます。



14

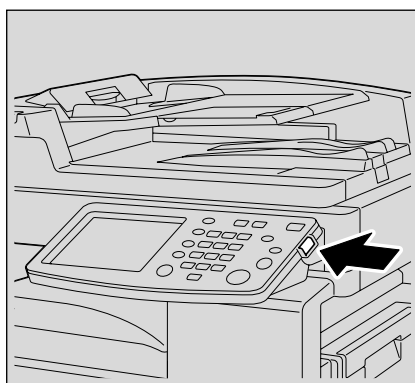
【主電源スイッチ】の【I】を押して、前ドアを閉じます。



15

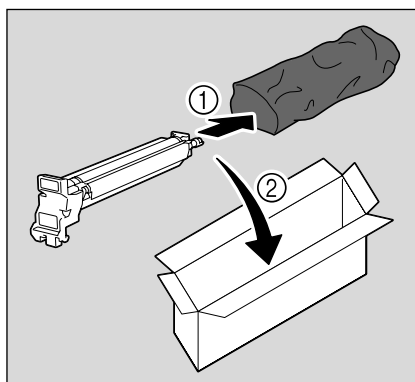
【副電源スイッチ】を押します。

タッチパネルが表示されたことを確認します。



16

交換したイメージングユニットを空になった黒ビニール袋に入れてから、個装箱に戻します。



必ず守ってください

使用済みイメージングユニットはサービス実施店が回収しますので、捨てずに個装箱に入れて保管しておいてください。

注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取扱ってください。

トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。

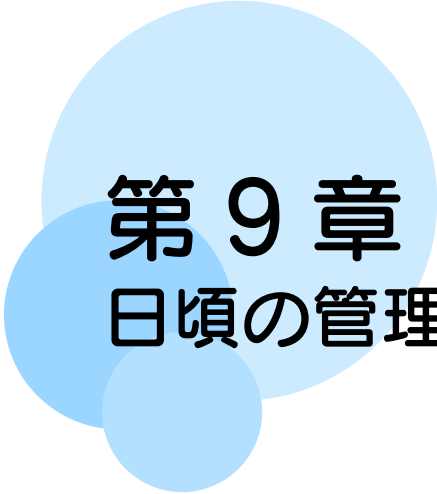
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

17

階調補正を行います。



階調補正のしかたについては、「[階調補正](#)」(p. 11-27) をご覧ください。



第 9 章

日頃の管理

本機の日頃の管理について説明します。

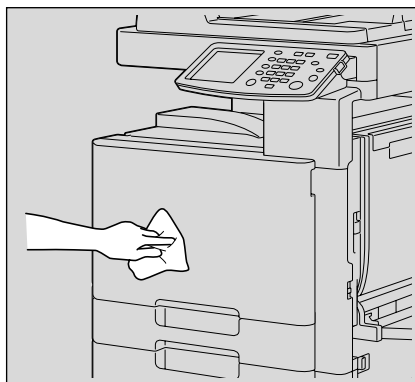
9.1	清掃のしかた	9-2
9.2	カウントを確認する	9-5
9.3	「装置の定期点検時期です」と表示されたら	9-7

9.1 清掃のしかた

ここでは各部の清掃のしかたについて説明します。

9.1.1 外装カバー

- 柔らかな布に家庭用中性洗剤をつけ、外装カバーの表面の汚れを拭取ります。



必ず守ってください

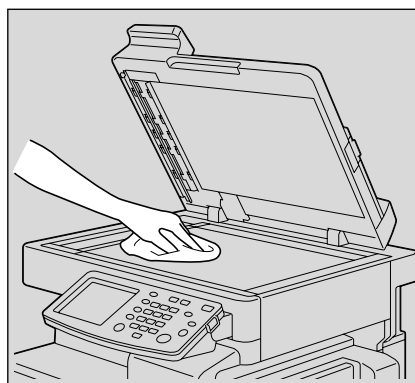
- ・清掃時は必ず本体の【主電源スイッチ】を OFF 【O】 にしてください。
- ・外装カバーの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

参照

電源の切りかたについては、「[電源の切りかた](#)」(p. 1-18) をご覧ください。

9.1.2 原稿ガラス

- 柔らかな布で原稿ガラスの表面を乾拭きし、汚れを拭取ります。

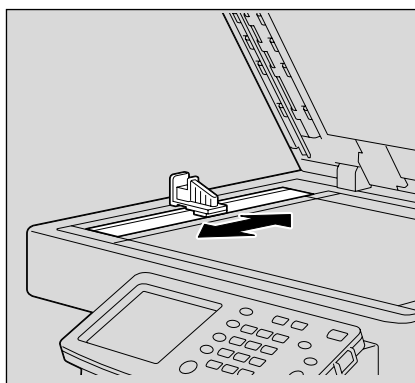


必ず守ってください

原稿ガラスの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

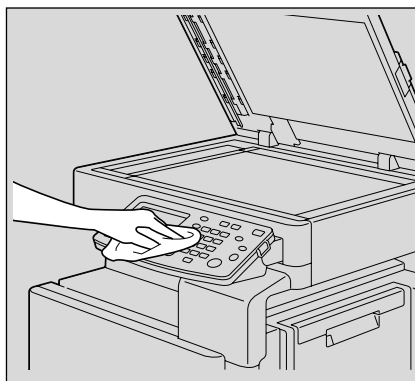
9.1.3 スリットガラス

- スリットガラス清掃具でスリットガラスの汚れを拭取ります。



9.1.4 操作パネル

- 柔らかな布で操作パネルの表面を乾拭きし、汚れを拭取ります。

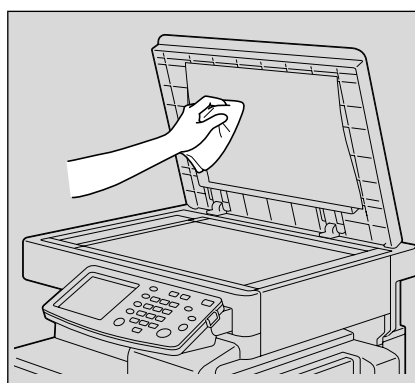
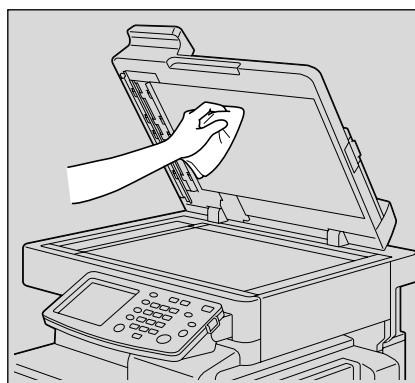


必ず守ってください

操作キー、タッチパネルを傷めるおそれがあるため、強く押さえないでください。また、家庭用中性洗剤、ガラスクリーナー、ベンジン、シンナーなどは絶対に使用しないでください。

9.1.5 原稿押えパッド

- 柔らかな布に家庭用中性洗剤をつけ、パッド面の汚れを拭取ります。



必ず守ってください

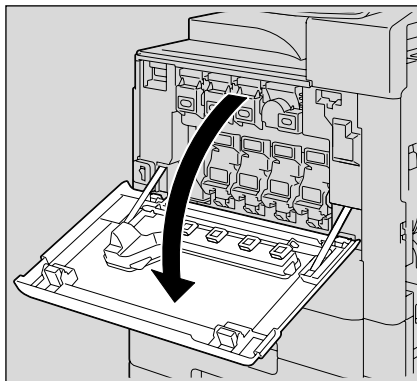
パッド面の清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

9.1.6 プリントヘッド

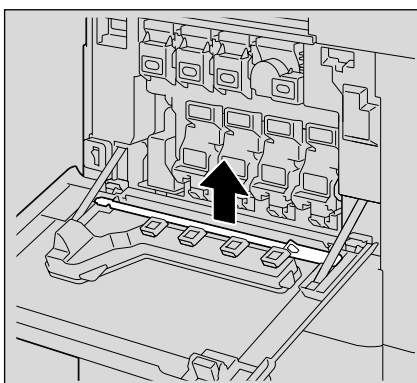
プリントヘッドが汚れると、印刷画像に異常をきたすことがあります。以下の手順にしたがってプリントヘッドを清掃してください。

1

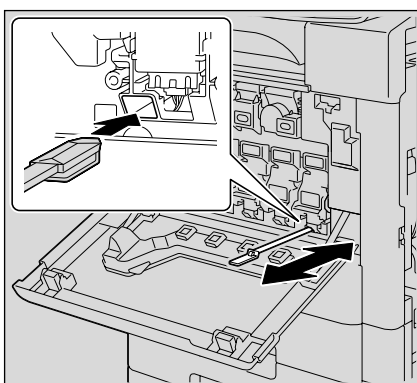
本体前ドアを開きます。

**2**

本体前ドアからプリントヘッド窓清掃具を取り出します。

**3**

プリントヘッド窓清掃具をプリントヘッド清掃口に挿入して前後に2、3回往復します。



9.2 カウントを確認する

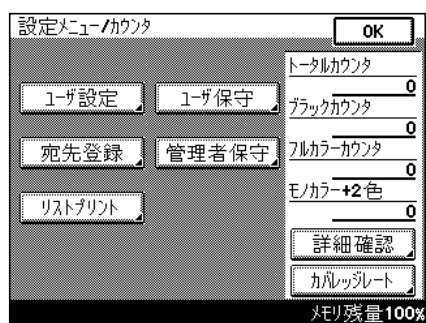
9.2.1 セールスカウントを確認する

セールスカウント表示画面を表示させて、カウント開始日からのトータルカウントを確認できます。

また、カウンタリストを印刷できます。

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 [詳細確認] を押します。



カウンタリスト表示画面が表示されます。

	コピー	プリント	スキャン	その他
トータル				
ブラック	0	0	0	0
フルカラー	0	0	0	0
モノカラー	0	0	0	0
2色	0	0	0	0
全色合計	0	0	0	0

○ カウンタリストを印刷する場合は、[プリント] を押します。

3 [OK] を2回押します。

基本設定画面に戻ります。

9.2.2 カバレッジレートを確認する

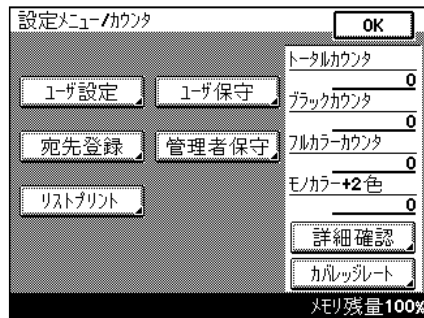
カバレッジレート表示画面ではトナーの使用率を確認できます。

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2

「カバレッジレート」を押します。



カバレッジレート画面が表示されます。

アプリケーション別	コピー【%】	プリント【%】	スキャン【%】
カラー(シアン)	0.000	0.000	0.000
カラー(マゼンタ)	0.000	0.000	0.000
カラー(イエロー)	0.000	0.000	0.000
カラー(ブラック)	0.000	0.000	0.000
ブラック	0.000	0.000	0.000

○ カバレッジレートを印刷する場合は、「プリント」を押します。

3

「OK」を2回押します。

基本設定画面に戻ります。

9.3 「装置の定期点検時期です」と表示されたら

「装置の定期点検時期です」と表示されたら、サービス実施店にご連絡し、定期点検を受けてください。





第 10 章

ジョブ確認

本機に登録されたジョブの確認、操作について説明します。

10.1	ジョブリスト画面の概要	10-2
10.2	ジョブ操作をする	10-3

10.1 ジョブリスト画面の概要

10.1.1 ジョブについて

コピーの準備をし、【スタート】を押すと、1件のコピー動作が本機に登録されます。登録された動作をジョブと呼びます。同様に、読み込み動作やスキャナー、コンピューターからの印刷指示もジョブとして登録されます。

- ジョブリスト画面で、実行中のジョブやジョブ履歴を確認できます。
- 「プリント順」の一番上にあるジョブから印刷されます。
- ジョブは、登録された順にジョブ番号が付けられ印刷など動作実行の順番を待ちます。

10.1.2 ジョブリスト画面について

ジョブリスト画面は次の5つに分類されます。タブで表示される内容を切換えることができます。

- ジョブ
実行中の機能が表示されます。
- プリント順
コピー、ファクス受信の印刷、レポートの印刷、コンピューターからの印刷などの印刷中および印刷待ちの文書の順番が最大8件まで表示されます。
- プリント
コピーおよびコンピューターからの印刷文書に関するプリント動作の状態が表示されます。
- 通信
ファクス機能で使します。
- 文書
ファクス機能で使します。



ひとこと

ジョブ番号は識別番号です。印刷順を示す番号ではありません。

参照

ジョブリストの「通信」および「文書」については、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をご覧ください。

10.2 ジョブ操作をする

10.2.1 動作中のジョブを確認する

登録されたジョブや印刷中のジョブ、印刷待ちのジョブなどを確認することができます。

1

[ジョブリスト] を押します。



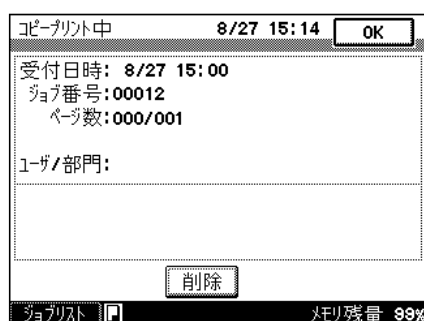
ジョブリスト画面が表示されます。

2

実行中のジョブを確認します。



- ジョブの詳細を確認したい場合は「状態」から、ジョブを押します。ジョブの詳細を確認し、[OK] を押します。



3

[OK] を押します。

ひとこと

ジョブは、1画面に4個まで表示されます。[↓]、[↑] を押して目的のジョブを表示させてください。

10.2.2 ジョブを削除する

登録されたジョブや印刷中のジョブを削除できます。

- 1 [ジョブリスト] を押します。



ジョブリスト画面が表示されます。

- 2 「状態」 から削除したいジョブを押します。



ジョブの詳細確認画面が表示されます。

- 3 [削除] を押します。



- 4 [OK] を2回押します。

ひとこと

ジョブは、1画面に4個まで表示されます。[↓]、[↑]を押して目的のジョブを選択してください。

10.2.3 プリント順を確認する

1

「ジョブリスト」を押します。



ジョブリスト画面が表示されます。

2

「プリント順」のタブを押します。



プリント順の画面が表示されます。

3

プリント順を確認し、「OK」を押します。



ひとこと

プリント順は、1 画面に 4 個まで表示されます。[↓]、[↑] を押し、目的のジョブを表示させてください。

10.2.4 プリントの状態を確認する

1

「ジョブリスト」を押します。



ジョブリスト画面が表示されます。

2

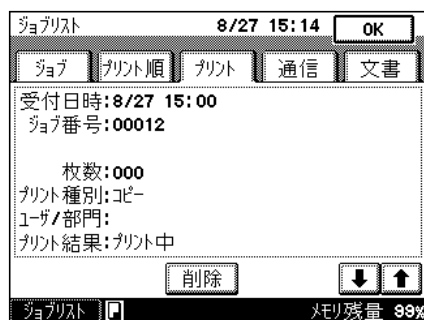
「プリント」のタブを押します。



プリントの状態の詳細画面が表示されます。

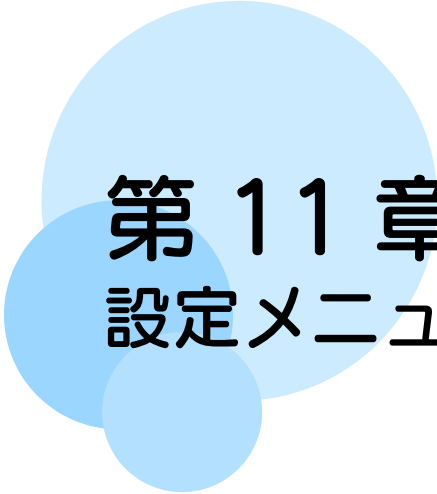
3

プリントの状態を確認し、「OK」を押します。



ひとこと

[↓]、[↑] を押して目的のジョブを表示させてください。



第 11 章

設定メニュー

日頃の使い方に合わせて、本機の設定を変更、管理する方法について説明します。

11.1	設定メニューの概要	11-2
11.2	ユーザ設定を選択する	11-5
11.3	ユーザ保守を選択する	11-10
11.4	宛先登録を選択する	11-12
11.5	管理者保守を選択する	11-14
11.6	リストプリントを選択する	11-22
11.7	色重ねズレの補正をする	11-24
11.8	階調補正	11-27
11.9	プリンタ調整	11-29
11.10	認証設定	11-31
11.11	部門管理設定	11-32
11.12	ファームウェアのバージョンを確認する	11-40
11.13	セキュリティ設定をする	11-41

11.1 設定メニューの概要

11.1.1 登録・設定項目一覧表

【設定メニュー / カウンタ】を押したときに表示されるキーを記載します。

ひとこと

設定メニューに表示されるキーは設定により異なります。

設定メニュー一覧

メニュー第 1 階層	メニュー第 2 階層	メニュー第 3 階層	詳細
ユーザ設定	環境設定	言語選択（表示用）	「 環境設定 」(p. 11-5) をごらんください。
		単位系設定	
		給紙トレイ設定	
		オートカラーレベル調整 ^{*3}	
		スキャナ露取り	
	画面設定	優先画面	「 画面設定 」(p. 11-6) をごらんください。
		優先ファクス画面 ^{*1}	
	初期設定	コピー	「 初期設定 」(p. 11-6) をごらんください。
		ファクス/スキャン ^{*1}	
	コピー設定	小サイズ原稿	「 コピー設定 」(p. 11-6) をごらんください。
		集約倍率	
		ソート/グループ自動切換え	
	プリンタ設定	基本設定	「 プリンタ設定 」(p. 11-7) をごらんください。
		用紙設定	
		PCL 設定	
		レポート出力	
	部門登録 ^{*2}	パスワード	「 部門登録 」(p. 11-8) をごらんください。
		SMTP 認証パスワード ^{*3}	
		POP3 パスワード ^{*3}	
ユーザ保守	キー音		「 ユーザ保守を選択する 」(p. 11-10) をごらんください。
	アラーム音		
	回線モニタ音		
	完了音		
	パネルクリーニング		
	露取り		
	POP3 受信		
	プリント処理		
宛先登録 ^{*3}	ワンタッチ		「 宛先登録を選択する 」(p. 11-12) をごらんください。
	インデックス		
	登録文字列		
	掲示板 ^{*4}		
管理者保守 ^{*5}	環境設定	パワーセーブ設定	「 環境設定 」(p. 11-14) をごらんください。
		出力設定	
		言語選択（入出力）	
		日時設定	
		エキスパート調整	
		用紙サイズ / 種類カウンタ	

メニュー第 1 階層	メニュー第 2 階層	メニュー第 3 階層	詳細
	宛先登録 ^{*3}	ワンタッチ	「 管理者設定 」(p. 11-16) をごらんください。
		インデックス	
		登録文字列	
		掲示板 ^{*4}	
	管理者設定	管理者パスワード	「 管理者設定 」(p. 11-16) をごらんください。
		管理データメール送信	
	部門管理	認証設定	「 部門管理 」(p. 11-16) をごらんください。
		部門管理設定 ^{*6}	
	文書管理	管理者転送	「 文書管理 」(p. 11-17) をごらんください。
		受信文書	
	プリンタ設定	タイムアウト設定	「 プリンタ設定 」(p. 11-17) をごらんください。
	ファクス設定 ^{*4}	自局 ID	「 ファクス設定 」(p. 11-17) をごらんください。
		受信機能	
		パスワード通信	
		自局電話番号情報 1	
		自局電話番号情報 2	
		ナンバーディスプレイ	
		ダイヤルイン	
	送信設定	発信元登録	「 送信設定 」(p. 11-17) をごらんください。
		リダイヤル ^{*1}	
	受信設定	オフモード時の出力設定	「 受信設定 」(p. 11-18) をごらんください。
		受信文書ボックス削除	
	レポート設定	結果レポート	「 レポート設定 」(p. 11-18) をごらんください。
		通信管理レポート	
	リストプリント	設定リスト	「 リストプリント 」(p. 11-18) をごらんください。
		送信管理レポート ^{*3}	
		受信管理レポート ^{*3}	
		ワンタッチリスト ^{*3}	
		プログラム一覧 ^{*3}	
		掲示板リスト ^{*3*4}	
	ネットワーク設定	基本設定	「 ネットワーク設定 」(p. 11-18) をごらんください。
		DNS 設定	
		装置名	
		SMTP 送信設定	
		SMTP 受信設定	
		POP3 設定	
		スキャナ送受信設定	
		LDAP 設定	
		フレームタイプ設定	
		IP 中継設定 ^{*4}	
		RAW ポート番号設定	
	ソフトウェア DIPSW 設定		「 ソフトウェア DIPSW 設定 」(p. 11-19) をごらんください。

メニュー第1階層	メニュー第2階層	メニュー第3階層	詳細
	Ping		「Ping」(p. 11-19) をごらんください。
	ファームウェアバージョン表示		「ファームウェアバージョン表示」(p. 11-19) をごらんください。
	セキュリティ設定	管理機能設定	「セキュリティ設定」(p. 11-19) をごらんください。
リストプリント ^{*3}	送信管理レポート		「リストプリントを選択する」(p. 11-22) をごらんください。
	受信管理レポート		
	掲示板リスト ^{*4}		
	ワンタッチリスト		
	プログラム一覧		

*1 オプションのFAXキットを装着していない場合は表示されるキー名称が異なります。

*2 部門を登録し、その部門にログインしている場合に表示されます。

*3 ソフトウェア DIPSW の設定によっては、表示されない場合があります。

*4 オプションのFAXキットを装着していない場合は表示されません。

*5 認証設定の「部門管理」を「管理する」に設定し、部門にログインせずに【設定メニュー / カウンタ】を押した場合は、^{*5}マークがついているキーのみが表示されます。

*6 認証設定の「部門管理」を「管理しない」に設定している場合は表示されません。

11.2 ユーザ設定を選択する

ここでは、【設定メニュー / カウンタ】を押し、[ユーザ設定] で設定できる主な機能について紹介します。

11.2.1 環境設定

< 言語選択（表示用） >

機能説明	出荷時設定
タッチパネルに表示される言語を以下の中から設定できます。 日本語、英語	日本語

< 単位系設定 >

機能説明	出荷時設定
タッチパネルに表示される数値の単位を以下の中から設定できます。 mm（数値）、インチ（数値）、インチ（分数）	mm（数値）

< 給紙トレイ設定 >

設定項目	機能説明	出荷時設定
優先用紙	自動用紙機能がはたらいたとき、優先して選択される給紙トレイを設定できます。	1 段目
ATS 許可	給紙トレイを手動で選択し、コピー中にそのトレイの用紙がなくなった場合に、同じサイズの用紙がセットされている給紙トレイに自動的に切替えるかを設定できます。	禁止
指定給紙トレイ不一致	指定した給紙トレイに該当する用紙がない場合の動作を設定できます。 ・ [固定トレイ] : 動作を停止します。 ・ [トレイ優先] : 指定給紙トレイに該当する用紙の有無を優先して判断し、ない場合、他の給紙トレイに該当する用紙があればその給紙トレイを選択します。	固定トレイ
用紙種類 / サイズ選択	手差しトレイとトレイ 1 の用紙サイズ、用紙種類を設定します。 トレイ 2、トレイ 3、トレイ 4 の用紙種類を設定します。	用紙サイズ : 自動検出 用紙種類 : 普通紙

< オートカラーレベル調整 >

機能説明	出荷時設定
オートカラー設定時のカラー原稿と白黒原稿の判定基準レベルを調整できます。判定基準レベルは 5 段階から設定できます。	3

< スキャナ露取り >

機能説明
露取りを行う時刻を設定します。



用紙種類および用紙サイズについては、「[用紙設定](#)」(p. 6-6) をご覧ください。

ひとこと

ソフトウェア DIPSW（モード 403）でコピー機能の使用を許可しない設定になっている場合に、[用紙種類 / サイズ選択]、[オートカラーレベル調整] は表示されません。ソフトウェア DIPSW については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をご覧ください。

ひとこと

露取り時刻を設定すると、毎日決まった時刻に露取りが行われ、スキャナーでの結露を防ぐことができます。

11.2.2 画面設定

<優先画面>

機能説明	出荷時設定
電源を入れたときやオートリセット機能がはたらいたときなどに表示される優先画面を設定できます。 ・ [コピー] : コピー画面を優先画面として設定します。 ・ [ファクス / スキャン] : ファクス / スキャン画面を優先画面として設定します。	コピー

<優先ファクス画面>

機能説明
優先して表示されるファクス画面を設定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をご覧ください。

11.2.3 初期設定

<コピー>

機能説明	出荷時設定
コピー機能の初期設定値を設定できます。 電源スイッチを ON【I】にしたとき、または【リセット】を押したときに選択されるコピー条件を設定できます。 ・ [現在の設定] : 設定メニュー画面に入る前にタッチパネル上で設定された各項目がコピー機能の初期設定として登録されます。 ・ [出荷時設定] : 出荷時の設定値がコピー機能の初期設定に登録されます。	出荷時設定

<ファクス / スキャン>

設定項目	機能説明
ファクス / スキャナ初期設定	ファクスおよびスキャン機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をご覧ください。
IP 中継 中継先選択	
ファイル形式	

11.2.4 コピー設定

<小サイズ原稿>

機能説明	出荷時設定
自動用紙設定時に原稿ガラス上にセットした原稿サイズが小さくサイズ検出できないとき、または原稿がセットされていないときのコピー設定ができます。 ・ [コピー可] : A5 □ サイズの用紙にコピーします。 ・ [コピー不可] : 原稿サイズが検出できないためコピーされません。【スタート】を押すと用紙画面が表示されるので、用紙を選択してください。	コピー不可

ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は、[ファクス / スキャン] が [E-Mail] と表示されます。

ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は、[優先メール画面] が表示されます。



初期設定、出荷時設定については、[p. 1-16](#) をご覧ください。



詳しく説明します

スキャン機能やファクス機能の初期設定を変更する場合、【ファクス / スキャン】を押し、設定メニュー画面を表示してからこれらの設定を行います。

ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は、[メール / スキャナ] が表示されます。

<集約倍率>

機能説明	出荷時設定
<p>自動用紙設定時に集約を選択すると、自動で適した倍率にするかしないかを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [呼出す] : 以下のように倍率が設定されます。 2in1・・・× 0.707 4in1・・・× 0.500 ・ [呼出さない] : 倍率は自動で設定されません。 	呼出す

<ソート / グループ自動切換え>

機能説明	出荷時設定
<p>1 ジョブで印刷する用紙枚数が 2 枚以上ある場合、ソートする／しないの自動切換えをするかしないかを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [する] : ADF に原稿をセットし、【スタート】を押したときに、原稿枚数が 1 枚の場合は自動的にソートしないを選択し、原稿枚数が 2 枚以上の場合は自動的にソートするを選択します。 ・ [しない] : ソートする／しないの自動切換えは行いません。 	する

11.2.5 プリンタ設定

設定項目	機能説明
基本設定	プリンター機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザズガイド プリンター機能編」をごらんください。
用紙設定	
PCL 設定	
レポート出力	プリンター機能に関する設定内容をレポートとして印刷できます。詳しくは、「ユーザズガイド プリンター機能編」をごらんください。

11.2.6 部門登録

設定項目	機能説明
パスワード	現在ログインしている部門のパスワードを変更できます。 現在のパスワードを入力したあと、新しいパスワードを入力してください。
SMTP 認証パスワード	現在ログインしている部門の SMTP 認証パスワードを変更できます。 現在のパスワードを入力したあと、新しいパスワードを入力してください。
POP3 パスワード	現在ログインしている部門の POP3 パスワードを変更できます。 現在のパスワードを入力したあと、新しいパスワードを入力してください。

ひとこと

- ・部門を登録し、その部門にログインしている場合に、[部門登録] は表示されます。
- ・ソフトウェア DIPSW で、電子メールの from 情報に部門設定を「する」(モード 366)、SMTP 認証機能を「使用する」(モード 380)、SMTP 認証ユーザ名および SMTP 認証パスワードを POP3 ユーザ名および POP3 パスワードと「共有しない」(モード 380) を設定している場合、[SMTP 認証パスワード] が表示されます。
- ・ソフトウェア DIPSW で電子メールの from 情報に部門設定を「する」(モード 366)、SMTP の前に着信確認 (POP3) を「使用する」(モード 350) を設定している場合、[POP3 パスワード] が表示されます。
- ・ソフトウェア DIPSW については、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

11.2.7 ユーザ設定画面を表示させる

【設定メニュー / カウンタ】を押し、[ユーザ設定] を表示させるまでの手順を説明します。

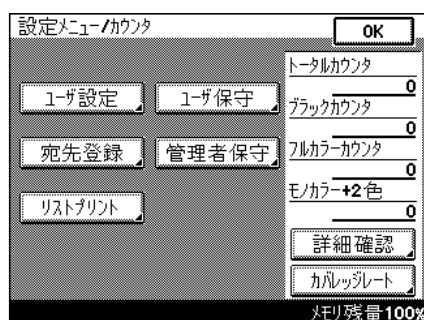
1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。



2

「[ユーザ設定]」を押します。



ユーザ設定画面が表示されます。



ひとこと

- ・ソフトウェア DIPSW（モード 477）で宛先登録の制限を設定している場合、[宛先登録]、[リストプリント] は表示されません。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・認証設定の「部門管理」を「管理する」に設定し、部門にログインせずに【設定メニュー/カウンタ】を押した場合は、「管理者保守」のみが表示されます。

ひとこと

- ・設定メニューを終了するときは、コピー、ファクス / スキャンのいずれかの画面になるまで [OK] を押します。
- ・部門を登録し、その部門にログインしている場合は、「部門登録」が表示されます。

11.3 ユーザ保守を選択する

ここでは、【設定メニュー / カウンタ】を押し、[ユーザ保守] で設定できる主な機能について紹介します。

11.3.1 キー音

機能説明	出荷時設定
タッチパネルのキーを操作したときや操作パネルの操作が受け付けられないときなどに鳴る、キー音の音量を設定します。0 ～ 5 までの範囲で設定します。	3

ひとこと

[キー音]、[アラーム音]、[回線モニタ音]、[完了音] を「0」に設定すると、音が鳴らなくなります。

11.3.2 アラーム音

機能説明	出荷時設定
紙づまりのときなどに鳴る、アラーム音の音量を設定します。0 ～ 5 までの範囲で設定します。	3

11.3.3 回線モニタ音

機能説明	出荷時設定
ファクス通信時に聞こえるモニタスピーカからの音量を設定します。0 ～ 5 までの範囲で設定します。この項目は、オプションの FAX キットが装着されている場合に表示されます。	3

11.3.4 完了音

機能説明	出荷時設定
操作の正常終了や異常終了のときなどに鳴る、完了音の音量を設定します。0 ～ 5 までの範囲で設定します。	3

11.3.5 パネルクリーニング

機能説明
タッチパネルの清掃をする場合に、パネルクリーニング画面を表示させます。

11.3.6 露取り

機能説明
スキャナーが結露し、コピーした画像や送信した画像が乱れた場合に露取りを行います。

11.3.7 POP3 受信

機能説明
インターネットファクスを手動で受信できます。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.3.8 プリント処理

機能説明

ファクス受信した文書を印刷するときの設定を変更できます。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス 機能編」をごらんください。

11.3.9 ユーザ保守画面を表示させる

【設定メニュー / カウンタ】を押し、[ユーザ保守] を表示させるまでの手順を説明します。

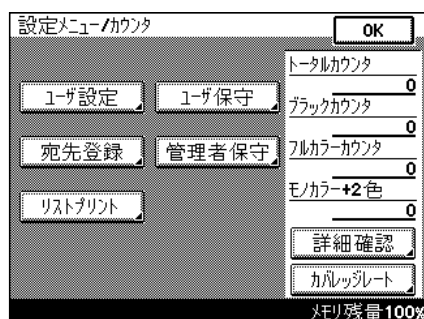
1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。



2

[ユーザ保守] を押します。



ユーザ保守画面が表示されます。



ひとこと

- ・ソフトウェア DIPSW（モード 477）で宛先登録の制限を設定している場合、[宛先登録]、[リストプリント] は表示されません。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・認証設定の[部門管理]を[管理する]に設定し、部門にログインせずに【設定メニュー / カウンタ】を押した場合は、[管理者保守]のみが表示されます。

ひとこと

設定メニューを終了するときは、コピー、ファクス / スキャンのいずれかの画面になるまで [OK] を押します。

11.4 宛先登録を選択する

ここでは、【設定メニュー / カウンタ】を押し、[宛先登録] で設定できる主な機能について紹介します。

11.4.1 ワンタッチ

機能説明
ワンタッチにファクス、スキャンしたデータの宛先を登録できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.4.2 インデックス

機能説明
ファクス機能のワンタッチ画面で表示されるインデックスを登録できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.4.3 登録文字列

機能説明
メールアドレスを入力するときに表示される、[ドメイン] に記載されるアドレスを登録できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.4.4 掲示板

機能説明
掲示板の登録、操作ができます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.4.5 宛先登録画面を表示させる

【設定メニュー/カウンタ】を押し、[宛先登録] を表示させるまでの手順を説明します。

1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。



ひとこと

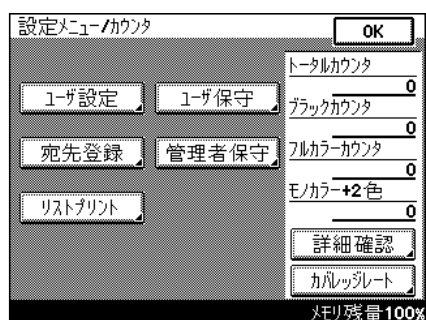
・ソフトウェア DIPSW（モード 477）で宛先登録の制限を設定している場合、[宛先登録] は表示されません。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

オプションの FAX キットを装着している場合に [掲示板] が表示されます。

2

「宛先登録」を押します。



宛先登録画面が表示されます。



ひとこと

- ・ソフトウェア DIPSW（モード 477）で宛先登録の制限を設定している場合、「宛先登録」、「リストプリント」は表示されません。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・認証設定の「部門管理」を「管理する」に設定し、部門にログインせずに【設定メニュー/カウンタ】を押した場合は、「管理者保守」のみが表示されます。

ひとこと

設定メニューを終了するときは、コピー、ファクス/スキャンのいずれかの画面になるまで「OK」を押します。

11.5 管理者保守を選択する

ここでは、【設定メニュー / カウンタ】を押し、[管理者保守] で設定できる主な登録および機能について紹介します。

11.5.1 環境設定

<パワーセーブ設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
オートリセット	コピー、ファクス / スキャンの各機能でのオートリセット機能がはたらくまでの時間を [30 秒]、1 ～ 240 分または [しない] から設定できます。	1 分
低電力設定	低電力モードがはたらくまでの時間を 1 分～240 分から設定できます。	10 分
スリープ設定	スリープモードがはたらくまでの時間を 1 分～240 分から設定できます。	20 分
LCD バックライトオフ	タッチパネルが消灯するまでの時間を 1 ～240 分から設定できます。	1 分
パワーセーブ移行設定	ファクス機能、プリンター機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。	即時

<出力設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
受信プリント出力設定	ファクス機能、プリンター機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をごらんください。	
排紙トレイ設定	コピー、プリンター、ファクスのそれぞれのジョブに、優先出力される排紙トレイを設定できます。	コピー：トレイ 2 プリンタ：トレイ 2 ネットワーク：トレイ 1 ファクス（ポート 1）：トレイ 1 ファクス（ポート 2）：トレイ 1



排紙トレイ設定は、オプションのセパレータを装着している場合に表示されます。

<言語選択（入出力）>

機能説明	出荷時設定
入出力用言語を以下の中から設定できます。 日本語、英語	日本語

<日時設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
日時設定	現在の日付、時刻を設定できます。	-
タイムゾーン	タイムゾーンを -12:00 ～ 13:00 から 30 分単位で設定ができます。日本国内のタイムゾーンは +9:00 が標準です。	+9 : 00

<エキスパート調整>

設定項目		機能説明	出荷時設定
AE レベル調整		AE (Auto Exposure) の初期値を 0 ~ 4 から設定します。設定値が大きくなるほど、原稿の下地が強調されます。	2
濃度補正	厚紙画像濃度 - イエロー	厚紙、OHP フィルムの印刷画像濃度の補正ができます。濃度補正は、色ごと (カラー画像のイエロー、マゼンタ、シアン、ブラック、モノクロ画像濃度) に補正できます。数値が大きいほど濃度は濃くなります。 イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックは、-5 ~ +5 から調整できます。 モノクロ画像濃度は -2 ~ +2 から調整できます。	0
	厚紙画像濃度 - マゼンタ		0
	厚紙画像濃度 - シアン		0
	厚紙画像濃度 - ブラック		0
	モノクロ画像濃度		0
画像安定化		階調補正を行っても画像が安定しない場合に、画像安定化を行うことができます。 ・ [初期化 + 画像安定化] : [画像安定化] を行っても効果が得られない場合に行います。 ・ [画像安定化] : 通常の画像安定化を行います。	初期化 + 画像安定化
色重ねズレ補正	シアン	印刷結果に色ずれが見られる場合、色ずれを補正できます。	-
	マゼンタ		-
	イエロー		-
階調補正	圧縮優先	印刷画像の色階調が変化した場合に、階調を補正できます。メモリーへ保存する画像枚数を増やすことを重視して補正します。	-
	階調優先	印刷画像の色階調が変化した場合に、階調を補正できます。画像の階調表現を重視して補正します。	-
	解像度優先	印刷画像の色階調が変化した場合に、階調を補正できます。文字や線などの再現性を重視して補正します。	-
プリンタ調整	メディア調整	用紙種類の特性により、プリント画像不良 (白抜け、白斑点、ザラツキ) が発生した場合、用紙種類に応じてパラメータを -8 ~ +7 の間で調整できます。	0



- ・ 色重ねズレ補正の手順については、「[色重ねズレの補正をする](#)」(p. 11-24) をご覧ください。
- ・ 階調補正の手順については、「[階調補正](#)」(p. 11-27) をご覧ください。
- ・ プリンタ調整の手順については、「[プリンタ調整](#)」(p. 11-29) をご覧ください。

ひとこと

OHP フィルムについては、モノクロ画像濃度のみが有効です。

<用紙サイズ / 種類カウンタ>

機能説明
特定の用紙サイズと用紙種類を組合わせて登録し、カウントする設定ができます。

11.5.2 宛先登録

<ワンタッチ>

機能説明
ワンタッチにファクス、スキャンしたデータの宛先を登録できます。詳しくは、「ユーザズガイドネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。

<インデックス>

機能説明
ファクス機能のワンタッチ画面で表示されるインデックスを登録できます。詳しくは、「ユーザズガイドネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。

<登録文字列>

機能説明
メールアドレスを入力するときに表示される、[ドメイン]に記載されるアドレスを登録できます。詳しくは、「ユーザズガイドネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。

<掲示板>

機能説明
掲示板の登録、操作ができます。詳しくは、「ユーザズガイドネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.5.3 管理者設定

<管理者パスワード>

機能説明
管理者保守での認証時に必要な管理者パスワードの設定、変更ができます。管理者パスワードは、8桁で設定できます。

<管理データメール送信>

機能説明
通信管理レポート（送信管理レポート/受信管理レポート）を管理者にメール送信できます。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.5.4 部門管理

<認証設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
部門管理	部門管理をするかしないかを設定します。	管理しない
部門未指定プリント	部門が特定できない印刷を許可するかしないかの設定ができます。許可した場合印刷枚数は、パブリックとしてカウントされます。	許可しない

ひとこと

- ・ソフトウェア DIPSW（モード 477）で宛先登録の制限を設定している場合に、[宛先登録]が表示されます。
- ・オプションの FAX キットを装着し、ソフトウェア DIPSW（モード 477）で宛先登録の制限を設定している場合に、[掲示板]が表示されます。
- ・ソフトウェア DIPSW については、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

<部門管理設定>

設定項目	機能説明
部門登録	本機を使用する部門を登録できます。部門ごとに、部門名、パスワード、出力許可、ネットワーク情報、印刷部数の上限、機能の制限を設定できます。また、部門ごとにコピー、プリンター、ファクス / スキャンの使用状況を確認できます。
一括カウンタクリア	登録されている全ての部門のカウンターをクリアします。

ひとこと

認証設定の「部門管理」を「管理する」に設定している場合に、「部門管理設定」が表示されます。

11.5.5 文書管理

設定項目	機能説明
管理者転送	管理者が設定した宛先に、本機からの送信文書を転送できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能編」をご覧ください。
受信文書	受信文書の受信のしかたを設定します。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能編」をご覧ください。

11.5.6 プリンタ設定

設定項目	機能説明	出荷時設定
タイムアウト設定	通信タイムアウトまでの時間を設定できます。詳しくは、「ユーザーズガイド プリンター機能編」をご覧ください。	60 秒

11.5.7 ファクス設定

設定項目	機能説明
自局 ID	ファクス機能に関する設定をします。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能編」をご覧ください。
受信機能	
パスワード通信	
自局電話番号情報 1	
自局電話番号情報 2	
ナンバーディスプレイ	
ダイアルイン	

ひとこと

オプションの FAX キットを装着している場合に、「ファクス設定」が表示されます。

11.5.8 送信設定

設定項目	機能説明
発信元登録	ファクス送信に関する設定をします。「ユーザーズガイド ネットワークスキャン / ファクス / ネットワークファクス機能編」をご覧ください。
リダイヤル	

ひとこと

オプションの FAX キットを装着していない場合は、「リダイヤル」が「リトライ」と表示されます。

11.5.9 受信設定

設定項目	機能説明
オフモード時の出力設定	ファクス受信に関する設定をします。「ユーザズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。
受信文書ボックス削除	

11.5.10 レポート設定

設定項目	機能説明
結果レポート	ファクスの送受信のレポートの出力条件を設定できます。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。
通信管理レポート	

11.5.11 リストプリント

設定項目	機能説明
設定リスト	本機の各設定値の一覧を印刷できます。
送信管理レポート	ファクスおよびスキャン機能に関する設定を行います。
受信管理レポート	詳しくは、「ユーザズガイド ネットワークスキャン/ファクス/ネットワークファクス機能編」をごらんください。
ワンタッチリスト	
プログラム一覧	
掲示板リスト	

ひとこと

- ・ソフトウェア DIPSW（モード 477）で宛先登録の制限を設定している場合に、[送信管理レポート]、[受信管理レポート]、[ワンタッチリスト]、[プログラム一覧]が表示されます。
- ・オプションの FAX キットを装着し、ソフトウェア DIPSW（モード 477）で宛先登録の制限を設定している場合に、[掲示板リスト]が表示されます。
- ・ソフトウェア DIPSW については、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

11.5.12 ネットワーク設定

設定項目	機能説明
基本設定	ネットワークに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
DNS 設定	
装置名	
SMTP 送信設定	
SMTP 受信設定	
POP3 設定	
スキャナ送受信設定	
LDAP 設定	
フレームタイプ設定	
IP 中継設定	
RAW ポート番号設定	

ひとこと

オプションの FAX キットを装着している場合に、[IP 中継設定]が表示されます。

11.5.13 ソフトウェア DIPSW 設定

機能説明
ソフトウェア DIPSW に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

11.5.14 Ping

機能説明
ネットワークに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

11.5.15 ファームウェアバージョン表示

機能説明
本機のファームウェアバージョンの確認ができます。

11.5.16 セキュリティ設定

<管理機能設定>

設定項目	機能説明	出荷時設定
部数上限設定	一度に設定できるコピー部数の上限を設定できます。	制限しない

11.5.17 管理者保守画面を表示させる

【設定メニュー / カウンタ】を押し、[管理者保守] を表示させるまでの手順を説明します。

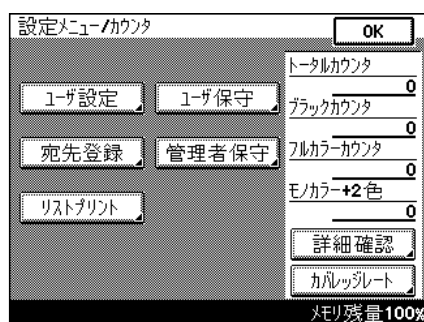
1

【設定メニュー / カウンタ】を押します。



2

[管理者保守] を押します。



詳しく説明します

・管理者パスワードは絶対に忘れないでください。管理者パスワードを忘れた場合、サービス技術者による設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

ひとこと

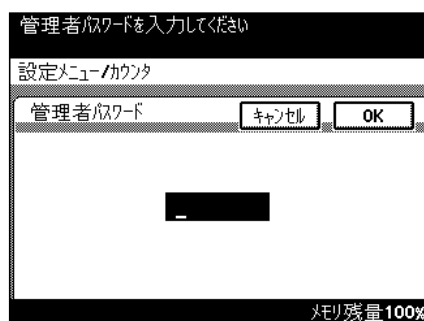
- ・ソフトウェア DIPSW (モード 477) で宛先登録の制限を設定している場合、[宛先登録]、[リストプリント] は表示されません。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・認証設定の「部門管理」を「管理する」に設定し、部門にログインせずに【設定メニュー / カウンタ】を押した場合は、[管理者保守] のみが表示されます。

参照

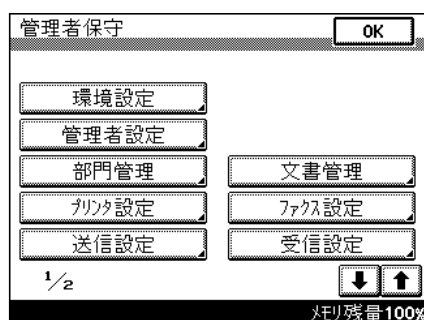
文字の入力のしかたは、「[文字を入力するには](#)」(p. 12-2) をごらんください。

3

管理者パスワードを入力し、[OK] を押します。



管理者保守画面が表示されます。



ひとこと

- ・ 設定メニューを終了するときは、目的の画面になるまで [OK] を押しても終了できます。
- ・ ソフトウェア DIPSW（モード 477）で宛先登録の制限を設定している場合は、[宛先登録] が表示されます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

11.6 リストプリントを選択する

ここでは、【設定メニュー／カウンタ】を押し、[リストプリント] で設定できる主な機能について紹介します。

11.6.1 送信管理レポート

機能説明
ファクスの送信の記録が記載されたレポートを印刷できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.6.2 受信管理レポート

機能説明
ファクスの受信の記録が記載されたレポートを印刷できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.6.3 掲示板リスト

機能説明
掲示板に登録された文書の一覧を印刷できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.6.4 ワンタッチリスト

機能説明
登録したワンタッチのリストを印刷できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

11.6.5 プログラム一覧

機能説明
選択したプログラムの内容を印刷できます。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワークスキャン／ファクス／ネットワークファクス機能編」をごらんください。

ひとこと

・ソフトウェア DIPSW（モード 477）で宛先登録の制限を設定している場合、[リストプリント] は表示されません。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

ひとこと

オプションの FAX キットを装着している場合に、[掲示板リスト] が表示されます。

11.6.6 リストプリント画面を表示させる

【設定メニュー／カウンタ】を押し、[リストプリント]を表示させるまでの手順を説明します。

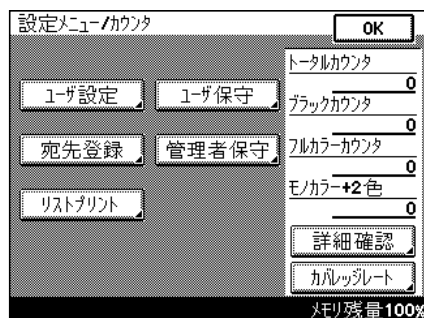
1

【設定メニュー／カウンタ】を押します。

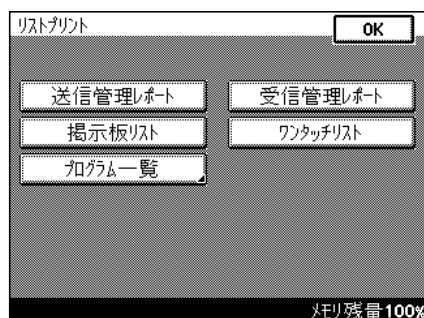


2

[リストプリント]を押します。



リストプリント画面が表示されます。



ひとこと

- ・ソフトウェア DIPSW（モード 477）で宛先登録の制限を設定している場合、[宛先登録]、[リストプリント] は表示されません。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。
- ・認証設定の「部門管理」を「管理する」に設定し、部門にログインせずに【設定メニュー / カウンタ】を押した場合は、「管理者保守」のみが表示されます。

ひとこと

設定メニューを終了するときは、コピー、ファクス／スキャンのいずれかの画面になるまで [OK] を押します。

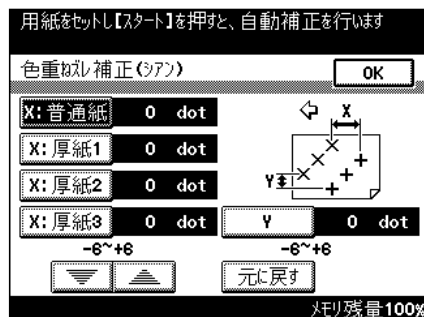
11.7 色重ねズレの補正をする

11.7.1 色重ねズレ補正（シアン、マゼンタ、イエロー）

印刷結果に色ずれが見られる場合、色ずれを補正できます。
色ずれは、普通紙、厚紙 1、2、3 でそれぞれ補正できます。
色重ねズレ補正のしかたは、シアン、マゼンタ、イエローで同じ手順です。

ここでは A3 サイズの普通紙を使用して、シアンの色重ねズレ補正をする場合の手順を説明します。

- 1 管理者保守画面を表示させます。
- 2 [環境設定] を押します。
環境設定画面が表示されます。
- 3 [エキスパート調整] を押します。
エキスパート調整画面が表示されます。
- 4 [色重ねズレ補正] を押します。
色重ねズレ補正画面が表示されます。
- 5 [シアン] を押します。
色重ねズレ補正（シアン）画面が表示されます。



- 6 トレイ 1/2/3/4 に用紙をセットします。
- 7 【スタート】を押します。
テストパターンが印刷されます。



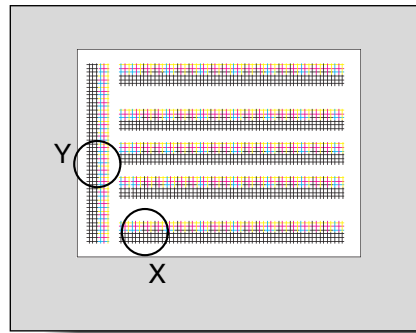
管理者保守画面の表示のしかたは、
「[管理者保守画面を表示させる](#)」
(p. 11-20) をご覧ください。


ひとこと

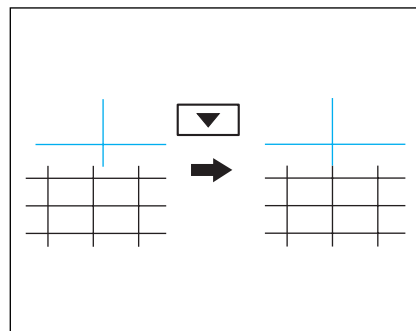
テストパターンは普通紙がセットされているトレイから、A3 □、11 × 17 □、A4 □、8-1/2 × 11 □の優先順で自動選択された用紙に印刷されます。手差しトレイは選択されません。


8

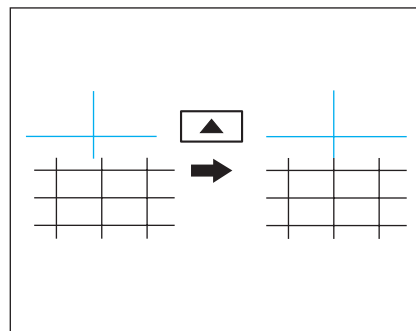
テストパターンのXとY位置の、ブラック線の基準点からシアン線までの距離を確認します。





- X 部の線が下図のようにずれている場合は、X 値の [] を押して補正値を減らしてください。




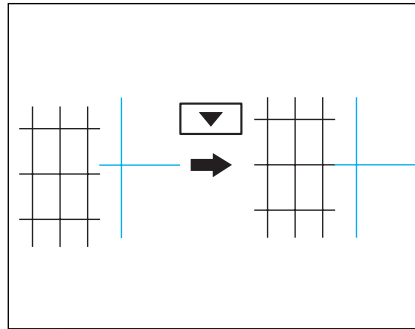
- X 部の線が下図のようにずれている場合は、X 値の [] を押して補正値を増やしてください。




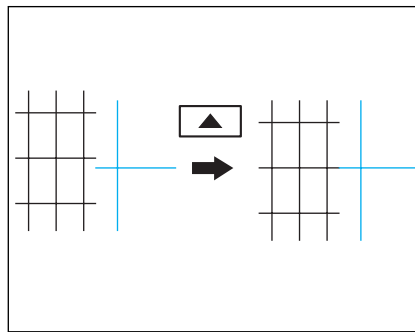
ひとこと

- ・ [] または [] を押しつづけると、数値が連続で変化します。
- ・ -6 dot ~ +6 dot の範囲で設定が可能です。
- ・ 1 dot 分補正すると、テストパターンの X 部、Y 部のシアン線は補正前の位置から 0.042 mm 移動します。
- ・ [元に戻す] を押すと、設定した補正値は、今まで設定していた値に戻ります。

- Y 部の線が下図のようにずれている場合は、[Y] を押したあとに、Y 値の [] を押して補正値を減らしてください。



- Y 部の線が下図のようにずれている場合は、[Y] を押したあとに、Y 値の [] を押して補正値を増やしてください。



- 基準点にずれがない場合は、手順 10 に進んでください。

9

【スタート】を押します。

補正されたテストパターンが印刷されます。

10

印刷結果を確認します。

- ブラック線とシアン線のずれがない場合は、手順 11 に進みます。
- 調整が必要な場合は、手順 8 ～ 9 を繰り返します。

11

[OK] を押します。

ひとこと

【スタート】を押すと補正値が確定されます。設定を取消するには、【スタート】を押す前に、【リセット】を押します。

ひとこと

【リセット】を押すと設定は中止され、初期設定に戻ります。

11.8 階調補正

印刷画像の色階調が変化した場合に、階調を補正できます。

以下の項目の階調を補正できます。

- 圧縮優先：
メモリへ保存する画像枚数を増やすことを重視して補正します。
- 階調優先：画像の階調表現を重視して補正します。
- 解像度優先：
文字や線などの再現性を重視して補正します。

ここではコピーの階調補正手順を説明します。

原則

- ・ 階調補正を行う前に、必ず本機を再起動してください。
- ・ イメージングユニット交換後は、必ず階調補正を行ってください。

1

管理者保守画面を表示させます。

2

「環境設定」を押します。

環境設定画面が表示されます。

3

「エキスパート調整」を押します。

エキスパート調整画面が表示されます。

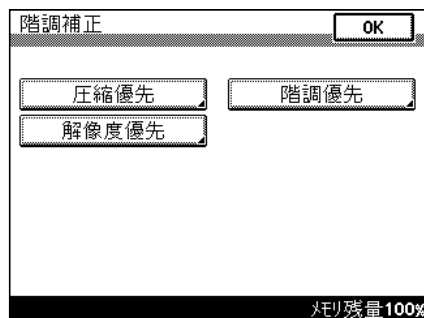
4

「階調補正」を押します。

階調補正画面が表示されます。

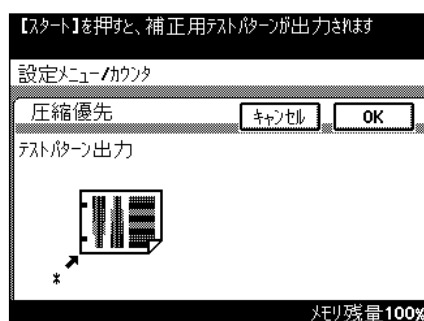
5

補正する項目のキーを押します。



6

【スタート】を押します。



- ・ 【主電源スイッチ】を OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあげないと、正常に機能しないことがあります。
- ・ 階調補正を行う前に、画像安定化を行ってください。

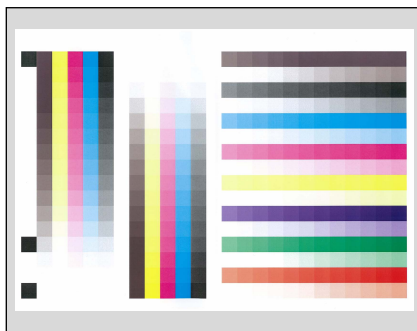


管理者保守画面の表示のしかたは、「[管理者保守画面を表示させる](#)」(p. 11-20) をご覧ください。

ひとこと

テストパターンは普通紙がセットされているトレイから、A3 □、11 × 17 □、A4 □、8-1/2 × 11 □ の優先順で自動選択された用紙に印刷されます。手差しトレイは選択されません。

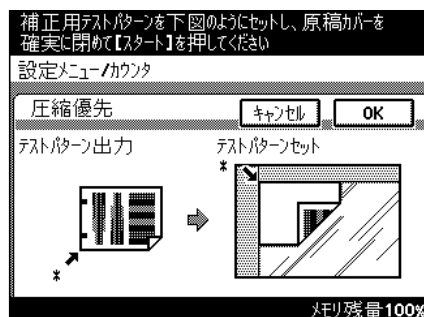
テストパターンが印刷されます。



7

テストパターンが印刷された用紙を原稿ガラス上にセットします。

○ 画面を参考に、用紙の向きに注意してセットします。



8

テストパターンと同じサイズの白紙をテストパターンの上に 10 枚以上セットします。

9

ADF またはオリジナルカバーを閉じます。

10

【スタート】を押します。

印刷されたテストパターンが読み込まれます。

11

手順 5 ～ 10 までの操作を 2 回繰り返します。

12

【OK】を押します。

ひとこと

原稿が透けないよう、白紙 10 枚をセットします。透けてしまうと、階調補正が正しく行われません。

ひとこと

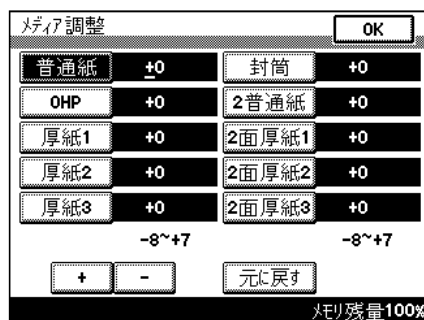
テストパターンを読み込むと、読み込んだ画像を元に自動で階調補正が行われます。

11.9 プリンタ調整

11.9.1 メディア調整

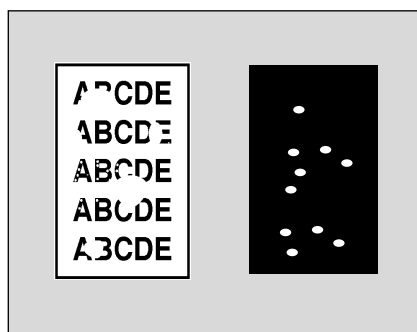
プリント画像不良を用紙種類ごとに調整できます。

- 1 管理者保守画面を表示させます。
- 2 [環境設定] を押します。
環境設定画面が表示されます。
- 3 [エキスパート調整] を押します。
エキスパート調整画面が表示されます。
- 4 [プリンタ調整] を押します。
プリンタ調整画面が表示されます。
- 5 [メディア調整] を押します。
メディア調整画面が表示されます。
- 6 調整する用紙種類キーを押します。



- 片面コピー時に画像不良が発生した場合は、1 面目の用紙種類を選択します。
- 両面コピー時のウラ面に画像不良が発生した場合は、2 面目の用紙種類を選択します。

- 7 [+]、[-] を押してから、テンキーで調整値のパラメータを設定します。(-8 ~ +7)
- プリント画像に白抜けや白斑点がある場合、[-] 側の数値を設定します。

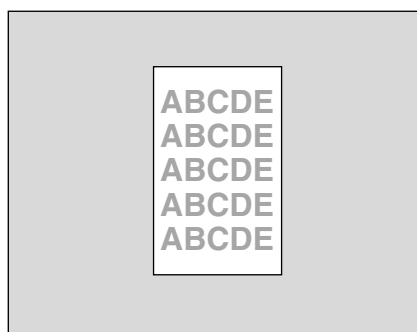


管理者保守画面の表示のしかたは、
「管理者保守画面を表示させる」
(p. 11-20) をご覧ください。



白抜けや白斑点の白点部分の大きさが 0.5 mm 以下のものに対して調整が可能です。

- プリント画像にザラツキがある場合、[+] 側の数値を設定します。



8

[OK] を 2 回押します。
再度コピーを行います。

9

プリント画像を確認し、画像不良がなくなっていれば調整を終了します。
○ まだ調整が必要な場合は、手順 1 ～ 8 を繰り返します。

詳しく説明します

画像不良の度合いが悪化しているようであれば、手順 7 の調整を [+]、[-] 逆方向に調整してください。

11.10 認証設定

部門管理を設定すると、本機の使用を制限することができます。
また、部門別に出力や読込みのカウント管理ができます。

11.10.1 認証設定のしかた

- 1 管理者保守画面を表示させます。
- 2 [部門管理] を押します。
部門管理画面が表示されます。
- 3 [認証設定] を押します。
認証設定画面が表示されます。
- 4 [部門管理] を押します。
部門管理画面が表示されます。
- 5 [管理する] を押し、[OK] を押します。
「すべての管理データをクリアしますか？」というメッセージが表示されます。
- 6 [はい] を押します。
部門管理データが初期化され、自動的に再起動します。

ひとこと

- ・本機では、部門を 50 件まで登録できます。
- ・部門管理が設定されていると、本機の待機中に認証画面が表示されます。部門を指定して本機を使用するには、部門名、パスワードを入力する必要があります。詳しくは、「[部門ごとに本機の使用者を制限する（部門認証）](#)」（p. 1-20）をごらんください。

詳しく説明します

認証設定を行う前に以下の点を確認してください。認証設定を行うと、メモリに蓄積されている情報が消失します。

- ・通信や、コンピューターからの印刷が行われていないこと。
- ・コピーやプリントのジョブが残っていないこと（メモリ残量が 100 % であること）。

参照

管理者保守画面の表示のしかたは、「[管理者保守画面を表示させる](#)」（p. 11-20）をごらんください。

11.11 部門管理設定

11.11.1 部門登録

本機を使用する部門ごとに、部門名、パスワードを設定できます。

- 1 管理者保守画面を表示させます。
- 2 [部門管理] を押します。
部門管理画面が表示されます。
- 3 [部門管理設定] を押します。
部門管理設定画面が表示されます。
- 4 [部門登録] を押します。
登録する部門の選択画面が表示されます。
- 5 目的の部門キーを押します。

部門登録画面が表示されます。

- 6 [部門名] を押します。

部門名画面が表示されます。



管理者保守画面の表示のしかたは、「[管理者保守画面を表示させる](#)」(p. 11-20) をご覧ください。

ひとこと

認証設定の[部門管理]を[管理する]に設定している場合に、[部門管理設定]が表示されます。

ひとこと

- ・ 本機では、部門管理を 50 件まで登録できます。
- ・ 登録済のキーを押すと部門登録の内容を変更または削除できます。

7

部門名を入力し（英数字、記号で 12 文字まで）、[OK] を押します。



部門名が設定されます。

8

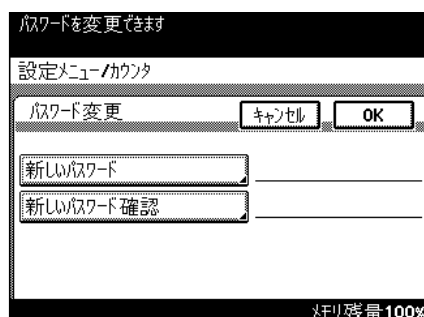
[パスワード] を押します。

○ パスワードを登録しない場合は、手順 13 に進んでください。

パスワード変更画面が表示されます。

9

[新しいパスワード] を押します。



パスワード画面が表示されます。

10

パスワードを入力し（英数字、記号で 8 文字まで）、[OK] を押します。



11

[新しいパスワード確認] を押します。

パスワード画面が表示されます。



文字の入力のしかたは、「[文字を入力するには](#)」(p. 12-2) をご覧ください。

ひとこと

すでに登録されている部門名は登録できません。

ひとこと

パスワードを登録しない場合は、ログイン画面でパスワードを入力せずにログインできます。

12

確認のため、もう一度同じパスワードを入力し、[OK] を 2 回 押します。

パスワードが設定されます。

13

[出力許可] を押します。

出力許可画面が表示されます。

14

それぞれの目的のキーを押します。

- この部門の出力を許可する場合は、[許可] を押します。
- この部門の出力を禁止する場合は、[禁止] を押します。



15

[OK] を押します。

出力許可が設定されます。

16

[ネットワーク情報] を押します。

ネットワーク情報の設定画面が表示されます。

ひとこと

- ・「カラー印刷」を禁止した場合、オートカラー、フルカラー、2色カラー、単色カラーでの印刷ができません。
- ・「ブラック印刷」を禁止した場合、オートカラー、ブラックでの印刷ができません。
- ・「カラー印刷」、「ブラック印刷」の両方を禁止した場合、正しく認証されても「コピーは禁止です」と表示されます。
- ・「カラー送信」を禁止した場合、カラーでのスキャン送信ができません。

ひとこと

- ・ソフトウェア DIPSW で、電子メールの from 情報に部門設定を「する」(モード 366) を設定している場合、[ネットワーク情報] が表示されます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク 管理者編」をごらんください。

17

目的のキーを押して、ネットワーク情報の設定をします。

- 登録する部門のメールアドレスを設定する場合は、[fromメールアドレス] を押して、メールアドレスを入力します。(英数字、記号で 64 文字まで)
- 登録する部門の SMTP 認証ユーザ名を設定する場合は、[SMTP 認証ユーザ名] を押して、ユーザ名を入力します。(英数字、記号で 64 文字まで)
- 登録する部門の SMTP 認証パスワードを設定する場合は、[SMTP 認証パスワード] を押して、パスワードを入力します。(英数字、記号で 32 文字まで)
- 登録する部門に POP3 ユーザ名を設定する場合は、[POP3 ユーザ名] を押して、ユーザ名を入力します。(英数字、記号で 64 文字まで)
- 登録する部門に POP3 パスワードを設定する場合は、[POP3 パスワード] を押して、パスワードを入力します。(英数字、記号で 32 文字まで)

18

[OK] を押し、[↓] を押します。

ネットワーク情報が設定されます。

19

[上限設定] を押します。

上限設定画面が表示されます。

ひとこと

- ・ ソフトウェア DIPSW で、SMTP 認証機能を「使用する」(モード 380)、SMTP 認証ユーザ名および SMTP 認証パスワードを POP3 ユーザ名および POP3 パスワードと「共有しない」(モード 380)を設定している場合に、[SMTP 認証ユーザ名]、[SMTP 認証パスワード]が表示されます。
- ・ ソフトウェア DIPSW で、SMTP の前に着信確認 (POP3) を「使用する」(モード 350)を設定している場合に、[POP3 ユーザ名]、[POP3 パスワード]が表示されます。
- ・ ソフトウェア DIPSW については、「ユーザズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

20

「カラー」または「ブラック」を押します。



カラーまたはブラックの印刷枚数の上限設定画面が表示されます。

21

テンキーで部数上限枚数を入力し、「OK」を押します。

○「カラー」または「ブラック」の上限を設定しない場合は、「無効」を押します。



詳しく説明します

- ・印刷枚数の上限値は 1 ～ 999,999 枚の間で設定できます。
- ・入力した数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[一字削除] を押し、数字を入力します。
- ・入力した数字を全て取消す場合は、【C】を押します。

22

「OK」を 2 回押します。

上限枚数が設定されます。

23

「機能制限」を押します。

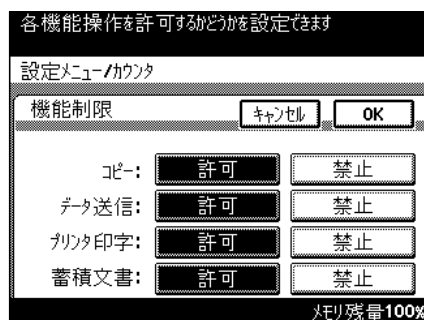
機能制限画面が表示されます。

24

目的のキーを押します。

制限できるのは、以下の機能です。

- コピー操作
- データ送信（ファクス / スキャナ操作）
- プリンタ印字
- 蓄積文書



25

[OK] を 2 回押します。

機能制限が設定されます。

ひとこと

- ・「コピー」を禁止した場合、正しく認証されても「コピー操作はできません」と表示されます。
- ・「データ送信」を禁止した場合、ファクス / スキャナの操作はできません。
- ・「コピー」、「データ送信」を禁止した場合、正しく認証されても「アプリケーション操作はできません」と表示されます。
- ・「プリンタ印字」を禁止した場合、コンピューターからのプリントはできません。
- ・「蓄積文書」を禁止した場合、ジョブリストの「文書」タブの操作はできません。

参照

- ・ジョブリストについては、「[ジョブリスト画面について](#)」(p. 10-2) をご覧ください。

11.11.2 部門カウンタ

部門ごとに以下の項目を確認できます。

<全プリント>

コピー、プリンターの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：ブラック、フルカラー、モノカラー、2色、全色合計の総印刷枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙でのブラック、フルカラー、モノカラー、2色、全色合計の総印刷枚数
- 上限値：部門登録で設定したカラー（フルカラー、モノカラー、2色）、またはブラックの印刷枚数の上限設定値

<コピー>

コピーの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：ブラック、フルカラー、モノカラー、2色、全色合計の総コピー印刷枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙でのブラック、フルカラー、モノカラー、2色、全色合計の総コピー印刷枚数

<プリンタ>

プリンターの総印刷枚数が表示されます。

- トータル：ブラック、フルカラー、2色、全色合計の総プリンター印刷枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙でのブラック、フルカラー、2色、全色合計の総プリンター印刷枚数

<スキャン>

- トータル：スキャンでの、ブラック、フルカラーの総印刷枚数／総読取り枚数、ファクス送信枚数
- 大サイズ：スキャンの大サイズ用紙での、ブラック、フルカラーの総印刷枚数／総読取り枚数

<その他>

- 原稿枚数：読込んだ原稿枚数が表示されます。
- 用紙枚数：印刷時に使用した用紙枚数が表示されます。

詳しく説明します

- ・ 部門が特定できない印刷は「パブリック」にカウントされます。「パブリック」は部門登録画面の「4」のタブを押すと表示されます。
- ・ 「パブリック」の使用を許可するかどうかはソフトウェア DIPSW（モード 835）で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

11.11.3 部門カウンタの表示のしかた

- 1 管理者保守画面を表示させます。
- 2 [部門管理] を押します。
部門管理画面が表示されます。
- 3 [部門管理設定] を押します。
部門管理設定画面が表示されます。
- 4 [部門登録] を押します。
部門登録画面が表示されます。
- 5 目的の部門キーを押します。
- 6 [カウンタ] を押します。

各部門のカウンタの詳細画面が表示されます。

- 7 確認する項目のタブを押し、カウンタを確認します。

	トータル	大サイズ	上限値
ブラック	0	0	0
フルカラー	0	0	0
モノカラー	0	0	
2色	0	0	
全色合計	0	0	

- 8 [OK] を押します。



管理者保守画面の表示のしかたは、「[管理者保守画面を表示させる](#)」(p. 11-20) をご覧ください。

ひとこと

認証設定の[部門管理]を[管理する]に設定している場合に、[部門管理設定]が表示されます。



- 各部門カウンタ画面で表示されている[カウンタクリア]を押すと、カウンタクリアの確認画面が表示されます。確認画面で[はい]を押すと、表示している部門のカウンタがクリアされます。
- 各部門カウンタ画面で表示されている[プリント]を押すと、表示している部門の部門カウンタリストを印刷できます。

11.12 ファームウェアのバージョンを確認する

本機のファームウェアのバージョンを確認する方法を説明します。

- 1 管理者保守画面を表示させます。
- 2 [ファームウェアバージョン表示] を押します。
ファームウェアバージョン表示画面が表示されます。
- 3 ファームウェアバージョンを確認します。

ファームウェアバージョン表示		OK
MAIN	1234002-5678-G01-0102	
プリンタ	1234002-5678-G01-0102	
LCT	1234002-5678-G01-0102	
ジョブサーバー	1234002-5678-G01-0102	
		メモリ残量100%

- 4 [OK] を押します。



管理者保守画面の表示のしかたは、
「[管理者保守画面を表示させる](#)」
(p. 11-20) をご覧ください。

11.13 セキュリティ設定をする

一度にコピーできる部数の上限を設定できます。

1

管理者保守画面を表示させます。

2

「セキュリティ設定」を押します。

セキュリティ設定画面が表示されます。

3

「管理機能設定」を押します。

管理機能設定画面が表示されます。

4

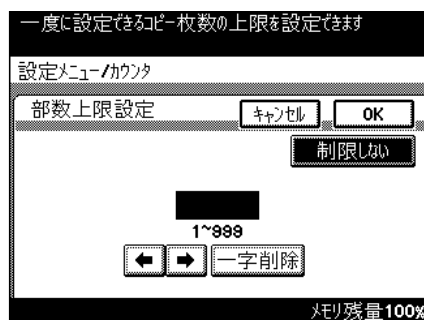
「部数上限設定」を押します。

部数上限設定画面が表示されます。

5

テンキーで部数上限枚数を入力し、「OK」を押します。

- コピー部数の上限を設定しない場合は、「制限しない」を押します。



6

「OK」を押します。



管理者保守画面の表示のしかたは、「[管理者保守画面を表示させる](#)」(p. 11-20) をごらんください。

ひとこと

一度にコピーできる部数の上限はソフトウェア DIPSW (モード 417) でも設定できます。ソフトウェア DIPSW については「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



詳しく説明します

- ・ コピー部数の上限値は 1 ~ 999 枚の間で設定できます。
- ・ 入力した数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[一字削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した数字を全て取消す場合は、【C】を押します。



第 12 章

付録

文字入力のしかたの説明と用語集について書いてあります。

12.1	文字を入力するには	12-2
12.2	入力文字一覧	12-8
12.3	用語集	12-15

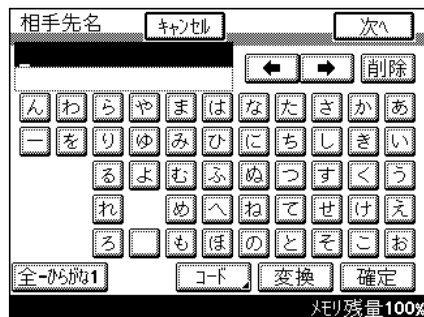
12.1 文字を入力するには

宛先登録や部門登録などで文字を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について説明します。数字を入力するときはテンキーから直接入力します。

12.1.1 入力モードを切替える

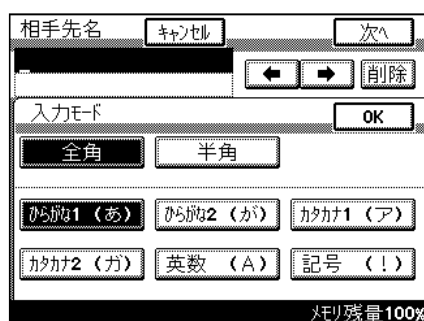
目的の文字を入力するために、全角文字、半角文字の切換えや文字の種類（ひらがな、漢字、カタカナ、英字、数字、記号）の切換えを行います。

- 1 文字入力画面で入力モード切換えキーを押します。



入力モード画面が表示されます。

- 2 [全角] または [半角] を押し、入力モードを選択します。



- 3 [OK] を押します。
入力モードが選択されます。

12.1.2 ひらがなを入力する

- 1 入力モード画面で [ひらがな 1 (あ)] を押して、[OK] を押します。
 - 濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、[ひらがな 2 (か)] を押します。

ひとこと

- ・入力モード切換えキーには選択されている入力モード名（「全-ひらがな 1」など）が表示されます。
- ・文字入力画面によっては入力モード切換えキーが表示されません。

ひとこと

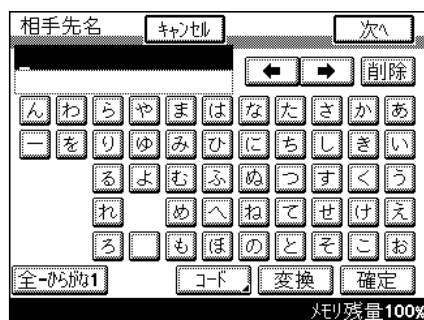
[半角] が選択されている場合は、[ひらがな 1 (あ)] および [ひらがな 2 (か)] は表示されません。

参照

入力モードの表示方法については、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-2) をごらんください。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。



3

「確定」を押します。

12.1.3 漢字を入力する

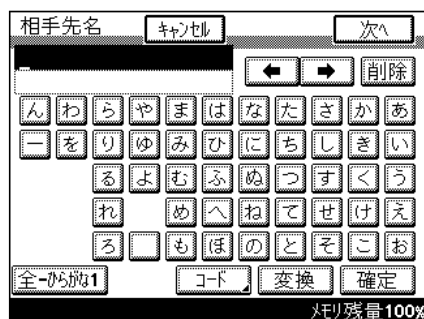
1

入力モード画面で「ひらがな 1 (あ)」を押して、「OK」を押します。

- 濁音（「がぎぐげご」など）、半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、「ひらがな 2 (か)」を押します。

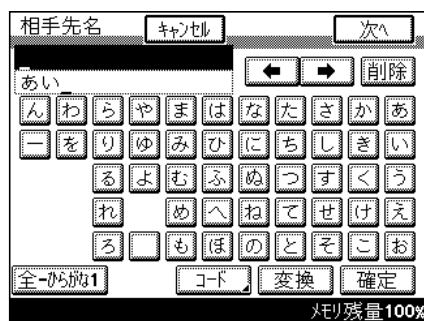
2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。



3

「変換」を押します。



変換候補画面が表示されます。

詳しく説明します

- ・入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。
- ・文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置換えられます。
- ・文字の削除のしかたはソフトウェア DIPSW（モード 478）で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

参照

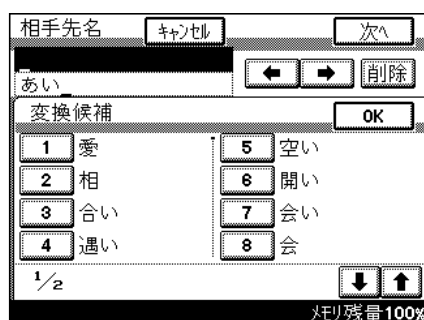
入力モードの表示方法については、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-2) をごらんください。

詳しく説明します

- ・入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・入力した文字を全て取消す場合は、【C】を押します。
- ・文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置換えられます。
- ・文字の削除のしかたはソフトウェア DIPSW（モード 478）で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。

4

表示された候補の中から、入力したい漢字のキーを押します。



- 目的の漢字が表示されないときは、[↓]、[↑] を押して、目的の漢字を検索してください。

12.1.4 カタカナを入力する

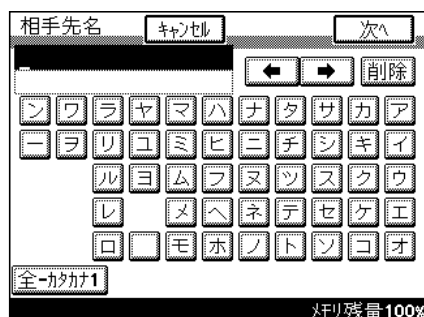
1

入力モード画面で「カタカナ 1 (ア)」を押して、[OK] を押します。

- 濁音（「ガギグゲゴ」など）、半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力したいときは、「カタカナ 2 (カ)」を押します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。



入力モードの表示方法については、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-2) をごらんください。



- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した文字を全て取消す場合は、[C] を押します。
- ・ 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置換えられます。
- ・ 文字の削除のしかたはソフトウェア DIPSW（モード 478）で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



入力する文字の全角、半角の切換えかたについては、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-2) をごらんください。

12.1.5 英数字を入力する

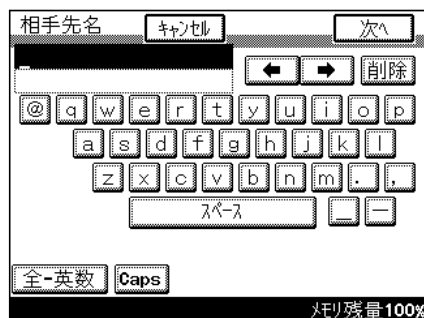
1

入力モード画面で「英数 (A)」を押して、「OK」を押します。

○ 数字を入力するときはテンキーから直接入力します。

2

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。



入力モードの表示方法については、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-2) をご覧ください。



詳しく説明します

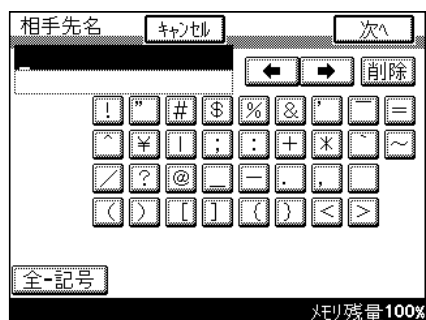
- ・ 英数字の入力で大文字・小文字を切換えたい場合は、「Caps」を押します。解除する場合は、再度「Caps」を押します。
- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、「←」、「→」で修正する文字にカーソルを合わせ、「削除」を押して、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した文字を全て取消す場合は、「C」を押します。
- ・ 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置換えられます。
- ・ 文字の削除のしかたはソフトウェア DIPSW (モード 478) で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「[ユーザーズガイド ネットワーク管理者編](#)」をご覧ください。



入力する文字の全角、半角の切換えかたについては、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-2) をご覧ください。

12.1.6 記号を入力する

- 1 入力モード画面で「記号（!）」を押して、「OK」を押します。
- 2 表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。



入力モードの表示方法については、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-2)をごらんください。



詳しく説明します

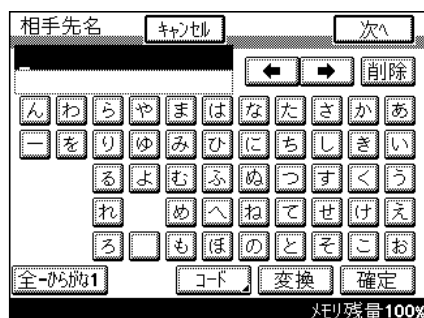
- ・ 入力した文字や数字を修正する場合は、[←]、[→] で修正する文字にカーソルを合わせ、[削除] を押し、文字や数字を入力します。
- ・ 入力した文字を全て取消す場合は、[C] を押します。
- ・ 文字数が制限を超えると、最後の文字が入力した文字に置換えられます。
- ・ 文字の削除のしかたはソフトウェア DIPSW (モード 478) で設定できます。ソフトウェア DIPSW については、「ユーザーズガイド ネットワーク管理者編」をごらんください。



入力する文字の全角、半角の切換えかたについては、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-2)をごらんください。

12.1.7 文字コードで入力する

- 1 入力モード画面で「ひらがな 1 (あ)」または「ひらがな 2 (か)」を押して、「OK」を押します。
- 2 「コード」を押します



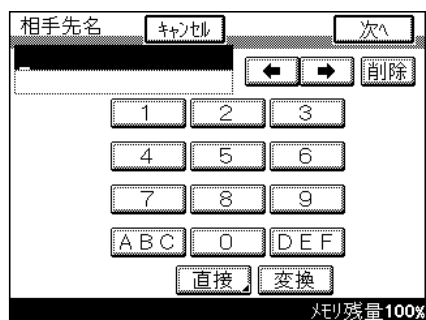
文字コード入力画面が表示されます。



入力モードの表示方法については、「[入力モードを切替える](#)」(p. 12-2)をごらんください。

3

入力する文字の文字コード（4桁）を入力し、[変換]を押します。

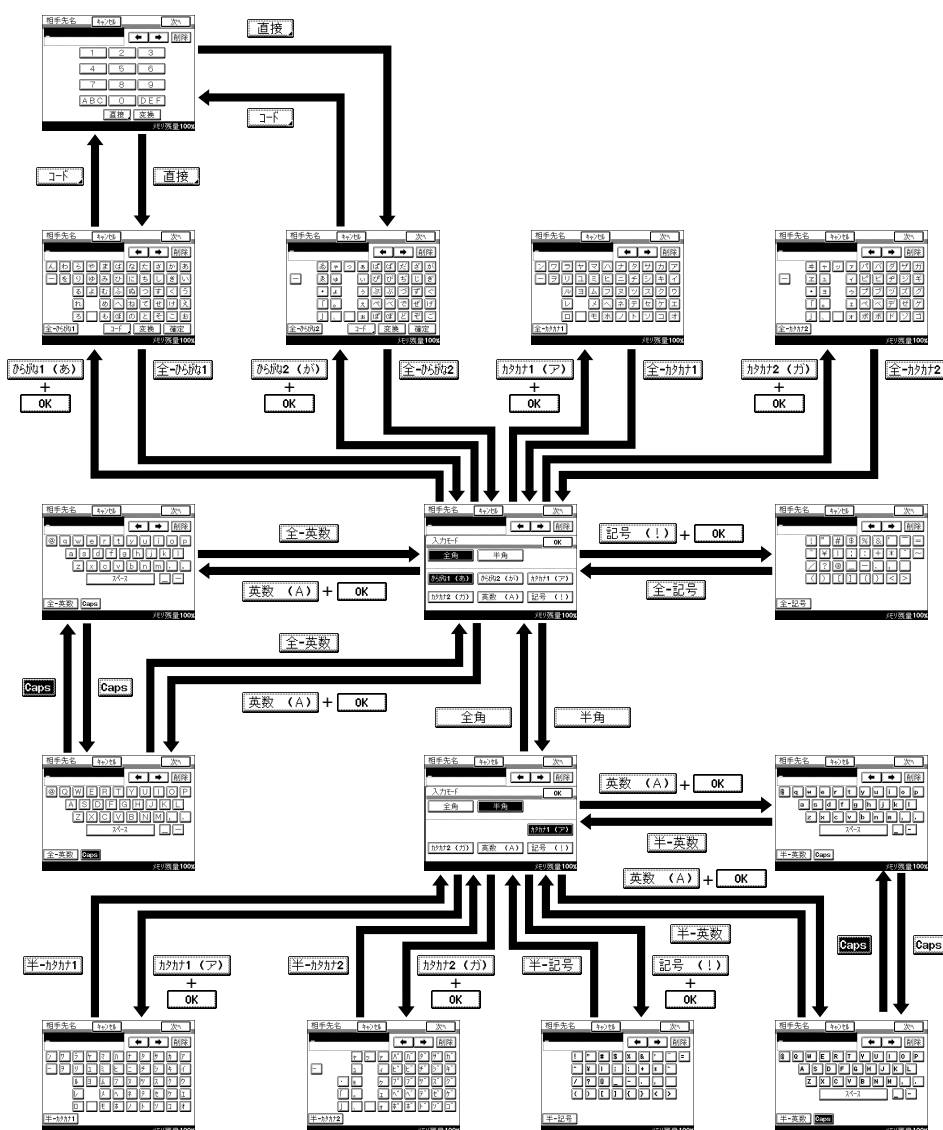


詳しく説明します

- ・文字コードはタッチパネルの数字キーまたは[ABC]、[DEF]で入力します。[ABC]は押すごとに、「A」「B」「C」「A」の順に文字が変わります。[DEF]は押すごとに、「D」「E」「F」「D」の順に文字が変わります。
- ・テンキーで文字コードを入力することもできます。【*】で「A」「B」「C」を、【#】で「D」「E」「F」を入力できます。
- ・[直接]を押すと、文字入力の画面に戻ります。
- ・文字コードと文字の対応については、Shift-JISコード表（[p. 12-9](#)）をごらんください。

12.2 入力文字一覧

入力画面



ひらがな	あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむめもやゆよりるれろわんがぎくげごさじずせそだちづでどばびぶべぼ ばびぶべぼゑ あいうえおやゆよつ —[[:(aベ-2)・[]]、。
カタカナ(全角)	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワンガギグゲゴザズゼゾダヂヅデドバビブベボ バビブベボヱ アイウエオヤユヨツ —[[:(aベ-2)・[]]、。
カタカナ(半角)	アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニネノハヒフヘホマミムメモヤユヨラリルレロワンガギグゲゴザズゼゾ ダヂヅデドバビブベボ アイウエオヤユヨツ —[[:(aベ-2)・[]]、。
英数字／記号 (全角)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz [[:(aベ-2)! " # \$ % & ' () + , - . / ¥ : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { } ~ * ' 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
英数字／記号	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz [[:(aベ-2)! " # \$ % & ' () + , - . / ¥ : ; < = > ? @ [\] ^ _ ` { } ~ * ' 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

(一部入力できないものもあります)

[illegible][illegible]

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
88A0	唾娃阿哀愛挨始逢葵茜穉惡握渥旭葦
88B0	芦鰲梓庄幹扱宛姐虻鮎綯綾鮎或栗裕
88C0	安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉困夷委
88D0	威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣
88E0	講遑遺医井亥域育郁穢一沓溢逸稻茨
88F0	芋翮允印咽員因姻引飲淫胤蔭
8940	院陰隱韻吋右宇烏羽迂雨卯鵲竊丑碓
8950	臼渦噓唄蔚蔚鰓姥厥浦瓜閨噉云運雲
8960	荏餌齏嬰影映曳采永泳洩瑛盈穎穎
8970	英衛詠銳液疫益駢悅謁越閱樓厭円
8980	園堰奄宴延怨掩援沿演炎焰煙燕猿緣
8990	艷苑園遠鉛篇塢於汚甥凹央奧往応押
89A0	旺橫歐毆王翁襖鶯鷗黃岡冲荻億屋億
89B0	臚桶壯乙俺卸恩溫穩音下化飯何伽伽
89C0	佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂
89D0	禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩貨迦過
89E0	露蚊俄峨我牙画臥芽蛾簀雅猷駕介会
89F0	解回塊壞迴快怪悔恢懷戒拐拐
8A40	魁晦械海灰界皆給芥蟹開階貝凱劾外
8A50	咳害崖慨慨涯碍蓋街該鑑骸淫馨蛙垣
8A60	柿蚯鈎劃嚇各廓扞攪格核殼獲確獲寬

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8A70	角赫較郭闊隔革学岳樂額額掛笠檉
8A80	樞梔鰵瀉割喝恰括活渴滑萼褐轄旦鯢
8A90	叶柁樺鞞株兇龜蒲釜鎌噓鴨栢茅萱粥
8AA0	刈菊瓦乾侃冠寒刊勘勸卷喚堪姦完官
8AB0	寬干幹患感憾憾換敢柑柑棺款歆汗漢
8AC0	澗濯環甘監看竿管簡緩迂翰肝肱莞觀
8AD0	諫賁還鑑間閑閑陷韓館館丸含岸巖玩
8AE0	癌眼岩翫鷹雁頑顏願企伎危喜器基奇
8AF0	嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄
8B40	機鼎穀氣汽穢祈季稀紀徽規記貴起軌
8B50	輝飢騎鬼龜龜儀妓官戲技擬欺攢疑祇
8B60	義議誼議掬鞠鞠吉吃喫桔橘詰沽杵黍
8B70	却客虧虐逆丘久仇休及吸宮弓急救
8B80	朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧牛去居
8B90	巨拒拋拳渠虛許鉅鋸漁粟魚亨亨京供
8BA0	俠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峽強彊怯
8BB0	恐恭挾教橘況狂狹矯胸膺興齋鄉鏡鑿
8BC0	饗驚仰凝堯曉業局曲極玉桐杆僅勤均
8BD0	巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿襟謹近
8BE0	金吟銀九俱句区狗攷矩苦鉅軀駟駒具
8BF0	愚虞喰空偶寓遇隅申榔釧屑屈

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8C40	掘窟耆靴舊窪熊隈衆衆縹桑鞣黝君薰
8C50	訓群羣郡卦袞祁係傾刑兄啓圭珪型契
8C60	形怪患慶慧憩揭携敬景桂溪畦稽系經
8C70	繼繫野荃荃蚩計詣警輕頸鴉芸迎鯨
8C80	劇戟擊激隙析傑欠決潔穴結血訣月件
8C90	俟倦健兼券劓喧圈堅嫌建憲懸拳捲揆
8CA0	權牽犬猷研硯絹臬肩兇謙賢軒遣鍵陝
8CB0	顯驗駭元原嚴幻弦減源玄現絃絃言諺
8CC0	限乎個古呼固姑孤己庫弧尸故枯湖狐
8CD0	糊袴股胡孤虎誇跨鈿雇顧鼓五互伍午
8CE0	吳吾娛後御悟梧檣瑚暮語誤護餉乞鯉
8CF0	交佼侯候倖光公功劬勾厚口向
8D40	后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸公庚康弘
8D50	恒慌抗拘控攻昂晃晃抗校梗構江洪浩
8D60	港溝甲皇硬稿糠紅紃絞綱耕耑肯肱腔
8D70	膏航荒行衡講貢購郊薛鉏鉏鋼閣降
8D80	頂香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟趨克刻
8D90	告固毅酷鵠黑獄漚腰慥忽惚偈狛込此
8DA0	頃今困坤壘嬌恨懇昏昆根梱涸痕紺良

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8DB0	魂些佐叉唆嵯左差查沙磋砂詐鎖綰坐
8DC0	座挫債催再戔戔塞妻宰彩才採栽歲濟
8DD0	災采犀碎砦祭齋細菜裁載際劑在材罪
8DE0	財冴坂阪堺堺肴咲崎崎崎篇作削昨搾
8DF0	昨朔柵窄策索錯梭銑銑匙匙冊刷
8E40	察拶撮擦札殺薩雜韋韋轔轔鑄鮫皿晒三
8E50	傘參山慘撒散棧燦珊產算纂蜚讀贇酸
8E60	餐斬暫殘仕仔伺使刺司史嗣四士始姉
8E70	姿孖屍市師志思指支攷斯施旨枝止
8E80	死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌
8E90	詔資賜雌飼齒事似侍兒字寺慈持時次
8EA0	滋治爾璽痔磁示而耳自蔣薛夕鹿式識
8EB0	鷗竺軸穴零七叱執失嫉室悉濕漆疾質
8EC0	実都篠僊柴芝屢蕊縞書写射捨赦斜煮
8ED0	社紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌釈
8EE0	錫若寂弱惹主取守手朱殊狩殊種腫趣
8EF0	酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周
8F40	宗就州修愁拾洲秀秋終繡習臬舟冤衆
8F50	襲讐蹴輶邁酉酬集醜什仕充十從戎衆

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
8F60	汁洪獸縱重銃叔夙宿淑祝縮肅塾熟出
8F70	術述俊峻春瞬竣舜駿准循旬楯殉淳
8F80	準潤盾純巡遵醇順処初所曙渚庶緒
8F90	署書薯諸諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝
8FA0	匠升召哨商唱嘗獎娼宵將小小尚庄
8FB0	床廠廠承抄招掌捷昇昌昭崑松梢樟樵
8FC0	沼涉涉湘燒焦照症省硝礁祥称章笑粧
8FD0	紹肖莛莛蕉衡裳訟証詔詳象賞醬鉦鍾
8FE0	鐘障鞘上丈丞丞冗刺城場壤娘常情擥
8FF0	柔杖淨狀置榘燕讓讓錠囁埴飾
9040	拭植殖燭織職色蝕食蝕辱尻伸信侵唇
9050	娠覆審心慎振新晋森森浸深申珍真神
9060	秦紳臣苾薪親診身辛進針震人仁刃塵
9070	王尋甚尽腎訊迅陣鞞筇譚須酢囟厨
9080	逗吹垂帥推水炊睡粹翠衰遂醉錐錘隨
9090	瑞髓崇嵩数枢趨雛据杉梃營顛雀裾澄
90A0	摺忒世瀨欽是凄制勢姓征性成政整星
90B0	晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請
90C0	逝醒青静齊稅脆隻席惜戚斥苔析石積
90D0	籍績脊責赤跡蹟碩切拙接撰折設窃節
90E0	說雪絶舌蟬仙先千占宣專尖川戰扇撰

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
90F0	栓柁泉浅洗染潜煎煎煽旋穿箭線
9140	織羨腺舛船薦詮賤踐選譚錢銑閃鮮前
9150	善漸然全禪繕膳嚙嚙咀措會曾楚狙
9160	疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遯鼠僧創双
9170	叢倉喪壯奏爽宋屬匠忽想搜掃掃搔
9180	操早曹巢槍槽槽燥争瘦相窓糴總綜聰
9190	草莊葬蒼藻裝走送邁鎗霜騷像增憎臆
91A0	藏贈造促側則則息捉束測足速俗属賊
91B0	族統卒袖其揃存孫尊損村遜他多太汰
91C0	詔唾墮妥情打柁舵情陀駝驢体堆対耐
91D0	岱帶待怠態戴替泰滯胎腿苔貸貸退逮
91E0	隊黨鯛代台大第醞醞鷹瀟瀟卓啄宅托
91F0	挾挾沢濯琢託譯濁諾苒苒舛只
9240	叩但達辰奪脫戾豎豎泚棚谷裡鱗誰丹
9250	單嘆坦坦探旦歎淡滄炭短端竿綻耽胆
9260	蛋誕鍛団壇彈断暖壇段男談值知地弛
9270	恥智池痴稚置致蚰遲馳榮番竹筑蕃
9280	逐秩袂茶嫡着中仲由忠拙昼柱注虫衷
9290	註酎鑄駐槽潞猪苧苧貯丁兆凋喋龍帖
92A0	帳庁弔張彫徵徵挑暢朝潮牒町眺聽脹
92B0	腸蝶調諜超跳跳長頂鳥勅步直朕沈珍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
92C0	賃鎮陳津墜椎椎追鋤痛通塚梅捆槐佃
92D0	漬柁辻鳶綴鍔椿漬坪垂嬌紬爪吊釣鶴
92E0	亭低停偵剃貞呈堤定帝底庭弟悌抵
92F0	挺挺梯汀碇禎程締艇訂諦蹄遞
9340	邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適適溺哲徹
9350	撤轍迭鉄典填天展店添纏甜貼転顛点
9360	伝殿殿田電克吐堵塗妬屠徒斗杜渡登
9370	莞賭途都鍛砥砥努度土奴怒倒党冬
9380	凍力唐塔塘套宕島嶋悼投搭束桃栲棟
9390	盜淘湯涛灯燈当痘禱等答筒糖統到董
93A0	蕩藤討膳豆踏逃透鋤陶頭騰閫働動同
93B0	堂導懂撞洞瞳童胴萄萄銅峠鴉匿得德
93C0	流特誓禿蕉毒独詭詭櫟凸突椽屈薦苕
93D0	夷西潯噸屯惇敦沌豚遁頓吞曇鈍奈那
93E0	内乍廂薙謎灘捺鍋櫛馴繩噸南楠軟難
93F0	汝二尼式迓勾脈肉虹廿日乳入
9440	如尿菲任妊忍認濡襦苾寧葱猫熱年念
9450	捻撚燃粘乃迺之埜囊惱濃納能腦膿農
9460	頑蜚巴把播霸杷波派琶破婆罷芭馬俳
9470	癸拌排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅
9480	煤煤猥猥壳賠陪這蠅羴刈秋伯剥博拍

	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 A B C D E F
9490	柏泊白箔粕舶薄迫曝爆縛莫駁麥函
94A0	箱谿著肇筈櫛櫛肌畑畠八鉢浣浣醜髮
94B0	伐罰拔筏閥闊嘶塙塙隼伴判半反叛帆
94C0	搬斑斑汜汎版犯班畔繁般般藩販範采煩
94D0	煩飯挽挽番盤盤蕃蛭匪卑否妃庇彼悲
94E0	扉批披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被誹費
94F0	避非飛樋鯨備尾微毳毳毳眉美
9540	鼻柁稗匹匹罷彥膝麥肘粥必畢筆逼佗
9550	姬媛紐百謬依彪標水漂瓢票票評豹廟
9560	描病秒苗鋤鋤蒜蝻蝻品彬斌浜瀕貧賈
9570	頻敏瓶不付埠夫婦富富布府怖扶敷
9580	芹菩浮父符腐膚芙諸負賦赴阜附侮撫
9590	武舞葡葡部封楓風蒼落伏副復幅服福
95A0	腹複覆淵弗弗沸仏物耐分吻墳墳憤份
95B0	焚奮粉糞紛雰文聞丙併兵堀幣平弊柄
95C0	並蔽閉陞米頁儼壁癖碧別瞥蔑篋偏嫵
95D0	片篇編辺返遍便勉婉弁鞭保鋪鋪圃捕
95E0	步甫補輔穗募墓慕戊暮母簿菩倣倣包
95F0	呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋
9640	法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂褒訪豐邦鋒飽
9650	鳳鵬乏亡傍剗妨妨帽忘忙房暴望某棒

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9660	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉞	防	吠	類	北	僕	卜	墨	撲
9670	朴	牧	睦	穆	釦	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆	
9680	摩	磨	麻	埋	妹	枚	每	哩	模	幕	膜	枕	鮪	枉		
9690	鱗	樹	亦	侯	又	抹	末	沫	迄	蔣	磨	万	慢	滿	漫	
96A0	蔓	味	未	魅	巳	質	岬	密	蜜	湊	衰	稔	妙	耗	民	
96B0	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鷗	棕	婿	娘	冥	名	命	明	盟
96C0	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	麵	麵	摸	模	茂	妄	
96D0	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	李	勿	餅	尤	戾
96E0	粉	糞	問	悶	紋	門	勿	也	夜	爺	耶	弥	矢	厄		
96F0	役	約	業	訖	躍	靖	柳	數	鍾	偷	愈	油	癒			
9740	諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	憂	損	有	柚	湧	涌	
9750	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与	嘗
9760	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	搖	攏	曜	楊	樣	洋	溶	浴
9770	用	窯	羊	耀	莠	蓉	要	謠	遙	陽	養	慾	抑	欲		
9780	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	賴	雷	洛	絡	落	酪	
9790	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	史	履	李	梨	理	璃	痢
97A0	裏	裡	離	離	陸	律	率	立	律	掠	略	劉	溜	琉	留	
97B0	疏	拉	隆	竜	龍	侶	慮	旅	慮	了	亮	兩	凌	寮	寮	
97C0	梁	涼	獮	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	綠	倫
97D0	厘	林	淋	淋	臨	臨	輪	麟	麟	璘	璘	璘	璘	璘	璘	璘
97E0	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	苓	鈴	隸	零	靈	麗	齡	曆	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
97F0	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯			
9840	蓮	連	鍊	呂	魯	櫛	炉	路	露	勞	婁	廊	弄	朗	樓	
9850	榔	浪	漏	牢	狼	耄	老	耄	蠟	郎	六	麓	祿	肋	錄	論
9860	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	梓	驚	互	巨	鯢	詫	藁	藁	碗
9870	灣	碗	腕													
9880																
9890																弌
98A0	丐	丕	个	卬	、	井	ノ	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事	舒	式
98B0	于	亞	一	亢	京	毫	璽	从	从	仄	仆	仇	仗	伢	伢	伢
98C0	仟	价	伢	伢	估	佛	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝	佝
98D0	侑	伴	來	侑	儻	俟	俟	俟	俟	俟	俟	俟	俟	俟	俟	俟
98E0	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨	倨
98F0	會	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕	偕
9940	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉	僉
9950	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻	儻
9960	兪	兮	冀	門	同	冊	冉	岡	青	萬	冕	一	冠	冠	冠	冠
9970	霧	、	決	汨	冲	冰	况	冽	冽	冽	冽	冽	冽	冽	冽	冽
9980	凰	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、
9990	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗	剗
99A0	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
99B0	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿	勿

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
99C0	卅	卉	𠂔	準	卞	門	后	郊	卻	卷	厂	廐	廐	廐	廐	廐
99D0	廠	厶	參	慕	雙	曼	曼	曼	叮	叭	叭	叭	叭	叭	叭	叭
99E0	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭	吭
99F0	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀	咀
9A40	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫	咫
9A50	畦	畦	畦	畦	畦	畦	畦	畦	畦	畦	畦	畦	畦	畦	畦	畦
9A60	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏
9A70	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏
9A80	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏
9A90	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏	𦵏
9AA0	國	團	團	團	團	團	團	團	團	團	團	團	團	團	團	團
9AB0	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠	垠
9AC0	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵	坵
9AD0	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟	墟
9AE0	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
9AF0	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀	宀
9B40	奸	妁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁	姁
9B50	娜	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉	娉
9B60	媽	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗
9B70	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗	嫗
9B80	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它	它

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
9B90	寶	剗	將	專	對	尛	尛	尛	尛	尛	尛	尛	尛	尛	尛	尛
9BA0	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏	屏
9BB0	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴	峴
9BC0	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑	崑
9BD0	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠	嶠
9BE0	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠	厠
9BF0	幣	幫	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵	幵
9C40	廖	廣	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐	廐
9C50	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃
9C60	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖
9C70	徘	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠	徠
9C80	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙
9C90	協	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆
9CA0	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛	悛
9CB0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍
9CC0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍
9CD0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍
9CE0	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍	慍
9CF0	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺	懺
9D40	憂	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡	戡
9D50	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉	抉

[illegible][illegible]


[illegible][illegible]

12.3 用語集

本体コピー機能に使われる用語について説明します。

	用語	説明
数字	2 面目	片面に印刷されている用紙を使用して印刷するとき設定する機能です。
アルファベット	ADF	自動両面原稿送り装置のことです。原稿を自動で読込ませることができます。(ADF = Automatic document feeder)
	AE レベル調整	原稿の下地を調節する機能です。設定値が大きくなるほど、原稿の下地が強調されます。(AE = Auto Exposure)
	ATS	自動トレイ切換え機能のことです。(ATS=Auto Tray Switch)
あ行	青色	水や空の色をより青々とさせたいときなど、青色の色合いを調整する機能です。
	赤色	人の肌に赤みをつけたいときなど、赤色の色合いを調整する機能です。
か行	片面 / 両面	原稿の読込み面と用紙の印刷したい面を片面にするか、両面にするか指定する機能です。
	カラー	指定したカラーでコピーできる機能です。“2 色カラー” 機能を使うと、指定したカラーとブラックの 2 色でコピーできます。
	カラー画質調整	カラーコピーの原稿のイメージに合った画質でコピーするための設定ができます。
	カラーバランス	シアン (C)、マゼンタ (M)、イエロー (Y)、ブラック (K) の色ごとに濃度のバランスを調整する機能です。各色 -3 から +3 の間の 19 段階で微調整できます。
	グループ	コピーをページ単位で出力する機能です。1 ページ目が指定した部数分出力されたあと、2 ページ目が指定した部数分出力されます。
	原稿画質	原稿の文字や画像のタイプに合わせて機能を選択し、よりよいコピー画質に調整できる機能です。
	原稿のとり代	セットした原稿の、片側の余白位置を指定する機能です。片面原稿を両面コピーする場合や、両面原稿を片面コピーする場合に、コピーの上下が逆にならないように設定できます。
	光沢コピー	画像の光沢度を向上させることができる機能です。
	コピー濃度	コピー濃度を -3 から +3 の間の 19 段階で微調整する機能です。
	混載原稿	異なるサイズが混じった原稿を、自動両面原稿送り装置にセットしても、原稿ごとに原稿サイズを検知し、適正な用紙にコピーされる機能です。
	コントラスト	コントラストの濃淡を調整する機能です。
さ行	彩度	色のあざやかさの度合いを調整する機能です。
	仕上り	コピーを排紙トレイに出力するときの仕分け方法や仕上り方法を設定できます。
	仕分け	コピーを仕分けして出力する機能です。
	下地調整	下地に色がついている原稿の下地濃度を 9 段階に設定してコピーする機能です。
	自動倍率	ADF や原稿ガラス上に原稿をセットし、用紙のサイズを選択すると、適正な倍率を自動で選択する機能です。
	自動用紙	ADF や原稿ガラス上にセットされた原稿サイズを検知し、等倍のときは同じサイズの用紙を、変倍のときは倍率に対応したサイズの用紙を自動で選択する機能です。
	シャープネス	文字のエッジ部分を強調して、読みやすくする機能です。また、原稿の印象を調整する機能です。
	集約	1 枚の用紙に、複数の原稿を縮小し並べてコピーする機能です。集約する枚数により 2in1、4in1 の機能を選択できます。
	ズーム	セットした原稿をテンキーで指定した倍率で拡大／縮小し、用紙にコピーする機能です。
	選択トレイの設定変更	給紙トレイにセットされていない用紙サイズや、普通紙以外の用紙にコピーする設定ができます。
	ソート	コピーを部数単位で出力する機能です。1 部目が出力されたあと、2 部目のコピーが出力されます。

	用語	説明
た行	小さめ	原稿の画像をわずかに縮小しコピーする機能です。
な行	ネガポジ反転	原稿の濃淡および色（階調）を反転してコピーする機能です。
	濃度	印刷画像濃度を 9 段階で設定してコピーする機能です。
は行	倍率	コピー倍率を変更できます。
ま行	緑色	森や樹々の葉をより青々とさせたいときなど、緑色の色合いを調整する機能です。
	明度	明るさの度合いを調整する機能です。
	文字再現	原稿の写真（図やグラフなど）と文字が重なっている場合（背景文字）などに、コピー上の文字の再現性を設定する機能です。
や行	用紙	印刷する用紙の種類とサイズを設定できます。



第 13 章

索引

13.1 使用別索引	13-2
13.2 項目別索引	13-6

13.1 使用別索引

■ あ行

選ぶ

印刷カラーを選ぶ	2-14
片面 / 両面を選ぶ	2-28
管理者保守を選択する	11-14
仕上り機能を選ぶ	2-41
集約コピーを選ぶ	2-31
ユーザ設定を選択する	11-5
ユーザ保守を選択する	11-10

■ か行

かえる

操作パネルの角度をかえる	1-14
--------------------	------

確認する

カウントを確認する	9-5
コピー条件を確認する（設定内容）	3-2
設定メニュー	11-2
動作中のジョブを確認する	10-3
プリント順を確認する	10-5
プリントの状態を確認する	10-6
用語集	12-15

紙づまり

「紙づまりです」と表示されたら	4-3
-----------------------	-----

カラー

色についての知識	7-3
カラー画質機能	7-2
カラー画質を調整する	7-19

消す

ジョブを削除する	10-4
----------------	------

原稿

ADF にセットする原稿についての注意	6-17
ADF にセットできる原稿	6-17
折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿）	2-12
原稿ガラス上にセットする原稿についての注意	6-18
原稿ガラス上にセットできる原稿	6-18
原稿と用紙の表示について	11
原稿の画質を選ぶ	2-34
原稿をセットする	2-6
サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）	2-11
複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする	2-9

交換する

イメージングユニットを交換する	8-8
「…交換してください」と表示されたら	4-34
トナーカートリッジを交換する	8-2
廃棄トナーボックスを交換する	8-5

■ さ行

指定する

用紙サイズを指定する（サイズ指定）	6-7
-------------------------	-----

自動

ATS 機能（自動トレイ切換え機能）	6-5
自動的に設定を取消す（オートリセット）	1-18
用紙サイズを自動で検出させる（自動検出）	6-6

準備する

「以下のユニットが交換時期に達しています」と表示されたら	4-33
------------------------------------	------

セキュリティ

セキュリティ設定をする	11-41
認証設定	11-31
部門管理設定	11-32
部門ごとに本機の使用者を制限する（部門認証）	1-20

設定する

専用紙として設定する	6-13
操作パネルの設定をする（ユニバーサル）	3-10
不定形紙をセットする（不定形）	6-8
ワイド紙の設定をする	6-11

節電

自動的に節電状態にする（スリープ）	1-19
自動的に節電状態にする（低電力）	1-19
タッチパネルを暗くする（LCD バックライトオフ）	1-19

セットする

折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿）	2-12
--------------------------------	------

掃除する

外装カバー	9-2
原稿押えパッド	9-3
原稿ガラス	9-2
スリットガラス	9-2
操作パネル	9-3
プリントヘッド	9-4

■ た行**中止する**

読み込み・印刷を中止する	2-44
--------------------	------

調整する

プリンタ調整	11-29
文字の再現レベルを調整する	2-40

点検

「装置の定期点検時期です」と表示されたら	9-7
----------------------------	-----

電源

電源の入れかた	1-16
電源の切りかた	1-18

登録する

初期設定を登録する	3-5
登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼出し）	3-9
プログラムを登録する	3-6
目的の倍率を登録する	2-26
目的の用紙サイズを登録する（不定形）	6-10

トラブル

簡単なトラブルの処理	4-36
「トラブルです」と表示されたら（サービスコール）	4-2

■ な行

名前とはたらきを確認する

各部の名称とはたらき	1-2
------------------	-----

入力する

濃度を選ぶ	2-36
文字を入力するには	12-2

■ は行

倍率

倍率を選ぶ	2-18
-------------	------

反転する

カラー反転や補色してコピーする（ネガポジ反転）	7-18
-------------------------------	------

表示させる

宛先登録画面を表示させる	11-12
管理者保守画面を表示させる	11-20
ユーザ設定画面を表示させる	11-8
ユーザ保守画面を表示させる	11-11
リストプリント画面を表示させる	11-23

保管する

用紙の保管	6-4
-------------	-----

補正する

色重ねズレの補正をする	11-24
階調補正	11-27

■ ま行

メッセージ

おもなメッセージと処理のしかた	4-38
-----------------------	------

メモリ

「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら	4-32
-----------------------------	------

■ や行

用紙

LCT へ用紙をセットする	1-27
原稿と用紙の表示について	11
使用できる用紙サイズ	6-2
専用紙について	6-3
手差しトレイへ用紙をセットする	1-29
トレイ 1 へ用紙をセットする	1-22
トレイ 2/3/4 へ用紙をセットする	1-26
用紙種類および用紙容量	6-3
用紙使用上の注意	6-4

用紙の保管	6-4
用紙を選ぶ	2-16
「用紙を補給してください」と表示されたら	4-31

読込み

ウォームアップ中に読込みする	1-17
----------------------	------

■ わ行

割込む

割込んでコピーする（割込み）	3-4
----------------------	-----

13.2 項目別索引

Numerics

2 in 1	2-31
2 色カラー	2-14, 7-16
4 in 1	2-31

A

ADF	1-5, 2-6, 4-4, 5-3, 6-17
ATS 機能	6-5

L

LCD バックライトオフ	1-19, 11-14
LCT	1-27, 4-26, 5-5

P

Ping	11-19
------------	-------

Z

Z 折れ原稿	2-12
--------------	------

あ行

アイコン	1-12
青色	7-7
赤色	7-5
宛先登録	11-12
イメージングユニット	8-8
色重ねズレ補正	11-24
印刷カラー	2-14
印刷の中止	2-44
ウォームアップ	1-17
受付完了画面延長	3-14
オートカラー	2-14
オートリセット	1-18
オートリセット延長	3-13
音の高さ	3-16
オプション	1-2
音量	3-15

か行

外装カバー	9-2
階調補正	11-27
各部の名称	1-2
片面 / 両面	2-28
片面コピー	2-29
カバレッジレート	9-6
紙づまり	4-3
紙づまり位置表示	4-3
画面設定	11-6
画面モード	3-11
カラー CMYK 調整	7-8
カラー画質	7-19

カラーバランス	7-8
環境設定	11-5, 11-14
管理者設定	11-16
管理者保守	11-14
キーリピート (S/I)	3-12
基本設定画面	1-11
給紙	1-22, 1-26, 1-27, 1-29
給紙キャビネット PC-104	5-4
給紙キャビネット PC-105	5-4
給紙キャビネット PC-204	5-5
給紙キャビネット PC-405	5-5
グループ	2-41, 2-43
原稿	6-17
原稿押えパッド	9-3
原稿画質	2-34, 12-15
原稿ガラス	2-7, 6-18, 9-2
原稿セット方法	2-6
原稿のとじ代	2-13, 12-15
原稿の向き	11
光沢コピー	2-36, 2-39
固定倍率	2-22
コピー設定	11-6
コピー濃度	7-14
コピープログラム呼出し	3-9
混載原稿	2-11, 12-15
コントラスト	7-11

さ行

サービスコール	4-2
彩度	7-12
仕上り機能	2-41
下地調整	2-36, 2-38
自動トレイ切換え機能	6-5
自動倍率	2-18
自動用紙	2-16
自動両面原稿送り装置 DF-612	5-3
自動両面ユニット AD-505	1-4, 4-13, 5-3
シャープネス	7-13
集約	2-31
受信設定	11-18
主電源スイッチ	1-16
消耗品	8-2, 8-5, 8-8
初期設定	11-6
ジョブの確認	10-3
ジョブの削除	10-4
ジョブリスト画面	10-2
仕分け	2-41
ズーム	2-20
スリープ	1-19
スリットガラス	9-2
清掃	9-2
セールスカウンタ	9-5
セキュリティ設定	11-19
設定内容	3-2

設定メニュー	11-2
節電	1-19
セパレータ JS-505	1-9, 4-29, 5-6
専用紙	6-3, 6-13
操作パネル	1-10, 1-14, 9-3
送信設定	11-17
ソート	2-41, 2-42
ソフトウェア DIPSW 設定	11-19

た行

タッチパネル	1-11
小さめ	2-21
定期点検	9-7
定着部	1-8, 4-7
低電力モード	1-19
手差しトレイ	1-4, 1-29, 4-15
等倍	2-19
独立ズーム	2-23
トナーカートリッジ	8-2
トラブルコード	4-2
トラブルの処理	4-36
トレイ 1	1-4, 1-22, 4-20
トレイ 2	1-4, 1-26, 4-23
トレイ 3	1-5, 1-26, 4-25
トレイ 4	1-5, 1-26, 4-25

な行

認証設定	11-31
ネガポジ反転	7-17, 7-18
ネットワーク設定	11-18
濃度	2-36, 2-37

は行

廃棄トナーボックス	8-5
倍率登録	2-26
パワーセーブ	11-14
ファームウェアバージョン表示	11-19
ファクス設定	11-17
副電源スイッチ	1-16
不定形紙	6-8
部門管理	1-20, 11-16
部門管理設定	11-32
部門登録	11-8
部門認証	1-20
ブラック	2-14
プリンタ設定	11-7, 11-17
プリンタ調整	11-15, 11-29
プリント順の確認	10-5
プリント状態の確認	10-6
プリントヘッド	9-4
フルカラー	2-14
プログラム登録	3-6
文書管理	11-17

本体内部	1-8, 4-10
------------	-----------

ま行

マルチ手差し給紙ユニット MB-502	1-2, 5-6
緑色	7-6
明度	7-10
メッセージ	4-32, 4-33, 4-34, 4-38, 9-7
メモリ	4-32
メンテナンス	9-2
文字再現	2-40
モノカラー	2-14, 7-15

や行

ユーザ設定	11-5
ユーザ保守	11-10
ユニット交換時期	4-33
ユニバーサル	3-10
用紙エンプティールンプ	1-4
用紙サイズ	6-2
用紙種類	6-3
用紙設定	6-6
用紙セット	1-22, 1-26, 1-27, 1-29
用紙の保管	6-4
用紙補給	4-31
用紙容量	6-3
読み込みの中止	2-44

ら行

リストプリント	11-18, 11-22
両面コピー	2-30
レポート設定	11-18

わ行

ワイド紙	6-11
割込み	3-4

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》
販売店名
電話番号
担当部門
担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》
TEL

コニカミルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。 <http://bj.konicaminolta.jp>

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号 フリーダイヤル：0120-805039（受付時間：土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）



KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング

Copyright

2008 KONICA MINOLTA BUSINESS TECHNOLOGIES, INC.

A02F-9581-00

2008.11